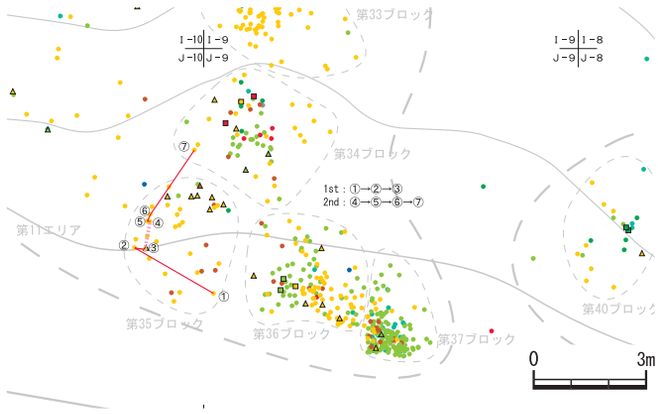
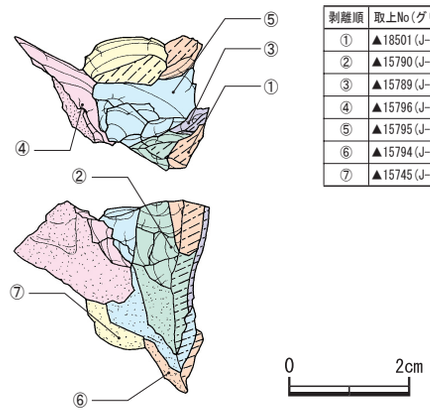
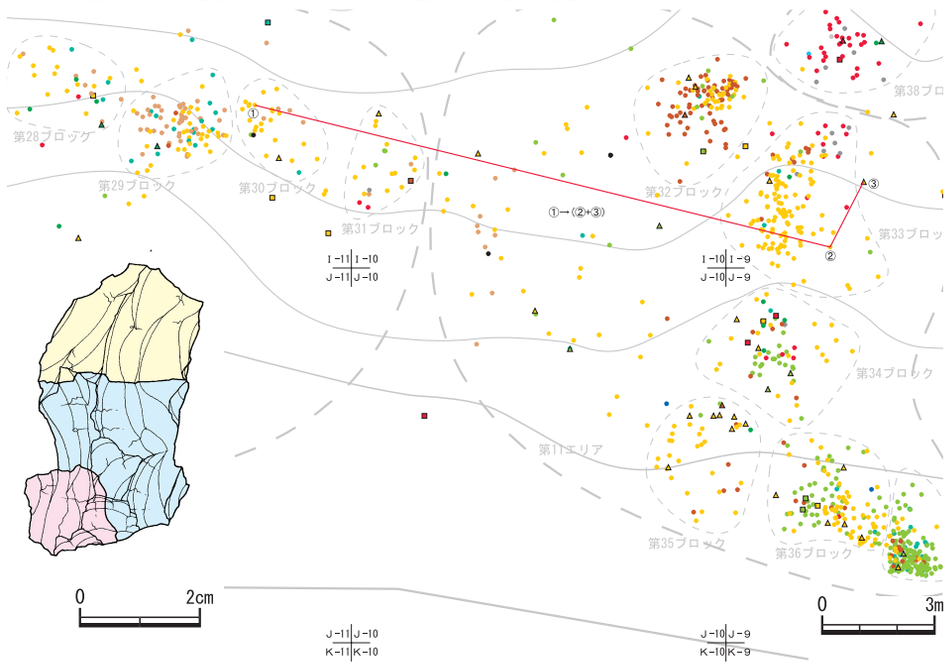


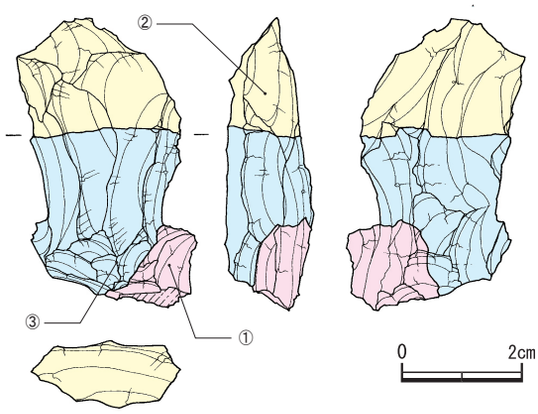


剥離順	取上No(グリッド/層位)	分類L2	図No
①	▲18501(J-9/Ⅹ Ⅶ)	剥片	-
②	▲15790(J-10/Ⅹ Ⅶ)	剥片	-
③	▲15789(J-10/Ⅹ Ⅶ)	剥片	-
④	▲15796(J-10/Ⅹ Ⅵ)	剥片	-
⑤	▲15795(J-10/Ⅹ Ⅵ)	剥片	-
⑥	▲15794(J-10/Ⅹ Ⅶ)	剥片	-
⑦	▲15745(J-10/Ⅹ Ⅶ)	剥片	-

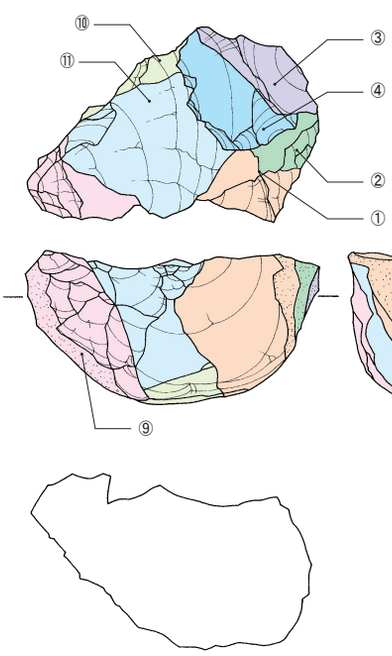
第278図　第Ⅰ文化層接合資料No. 26実測図及び接合状況図

剥離順	取上No(グリッド/層位)	分類L2	図No
①	▲14814(I-11/Ⅹ Ⅶ)	剥片	-
②	▲15529(I-9/Ⅹ Ⅶ)	石核	-
③	▲15474(I-9/Ⅹ Ⅶ)	石核	-

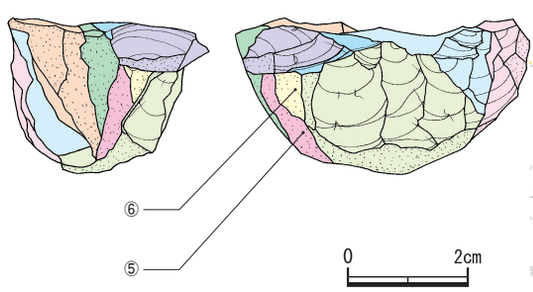


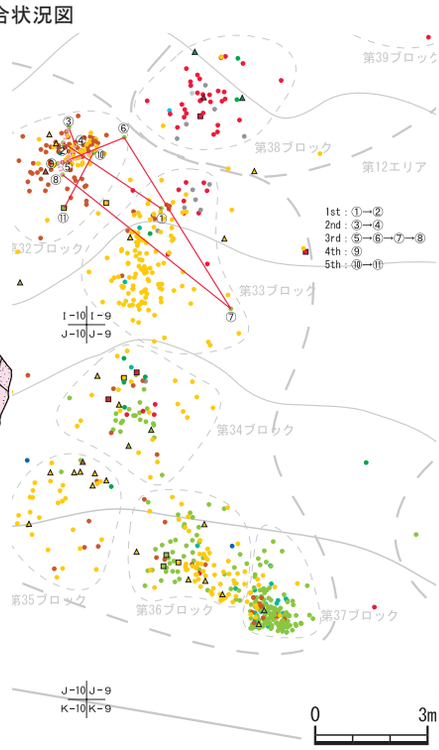


第279図　第Ⅰ文化層接合資料No. 27実測図及び接合状況図

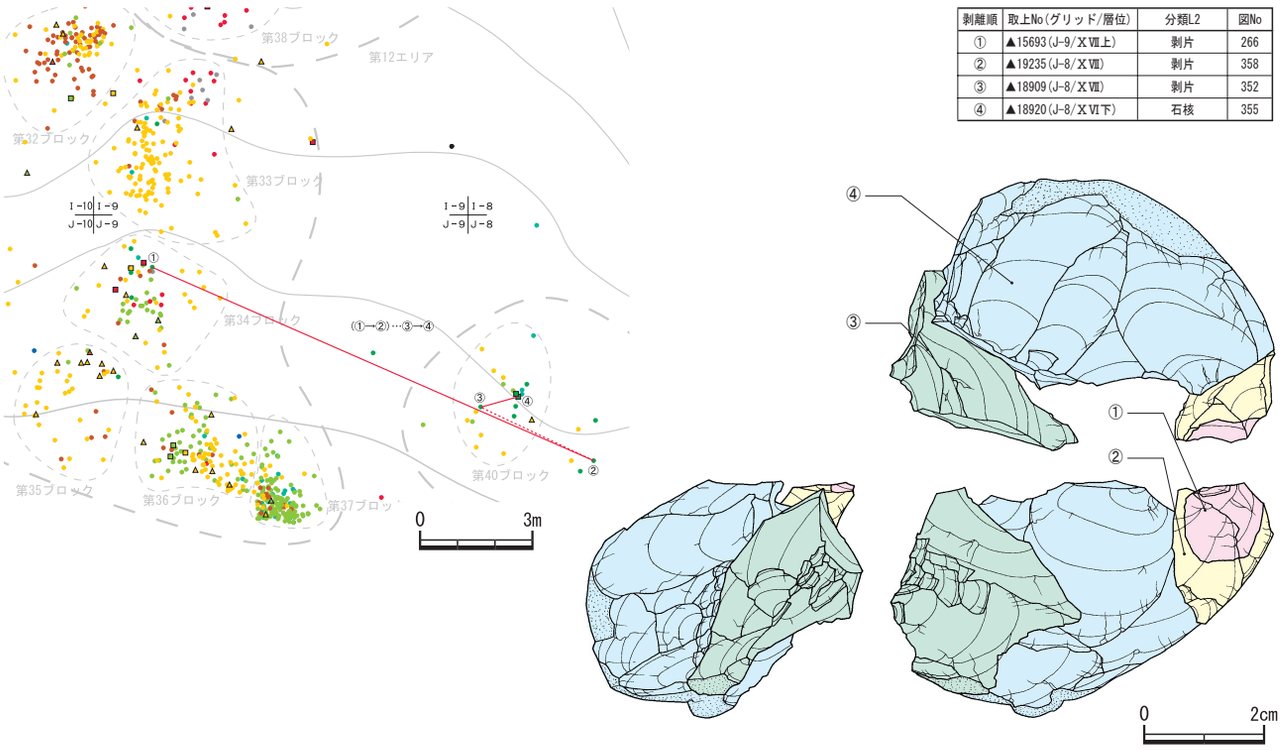


剥離順	取上No(グリッド/層位)	分類L2	図No
①	▲15483(I-9/Ⅹ Ⅶ)	剥片	256
②	▲18471(I-10/Ⅹ Ⅶ)	剥片	-
③	▲18474(I-10/Ⅹ Ⅶ)	剥片	-
④	▲18217(I-10/Ⅹ Ⅶ)	剥片	-
⑤	▲15656(I-10/Ⅹ Ⅶ)	剥片	-
⑥	▲18447(I-9/Ⅹ Ⅶ上)	剥片	-
⑦	▲15472(I-9/Ⅹ Ⅶ)	剥片	257
⑧	▲18460(I-10/Ⅹ Ⅶ)	剥片	-
⑨	▲15654(I-10/Ⅹ Ⅵ下)	台形様石器	237
⑩	▲18448(I-9/Ⅹ Ⅶ上)	剥片	250
⑪	▲15631(I-10/Ⅹ Ⅶ)	石核	251



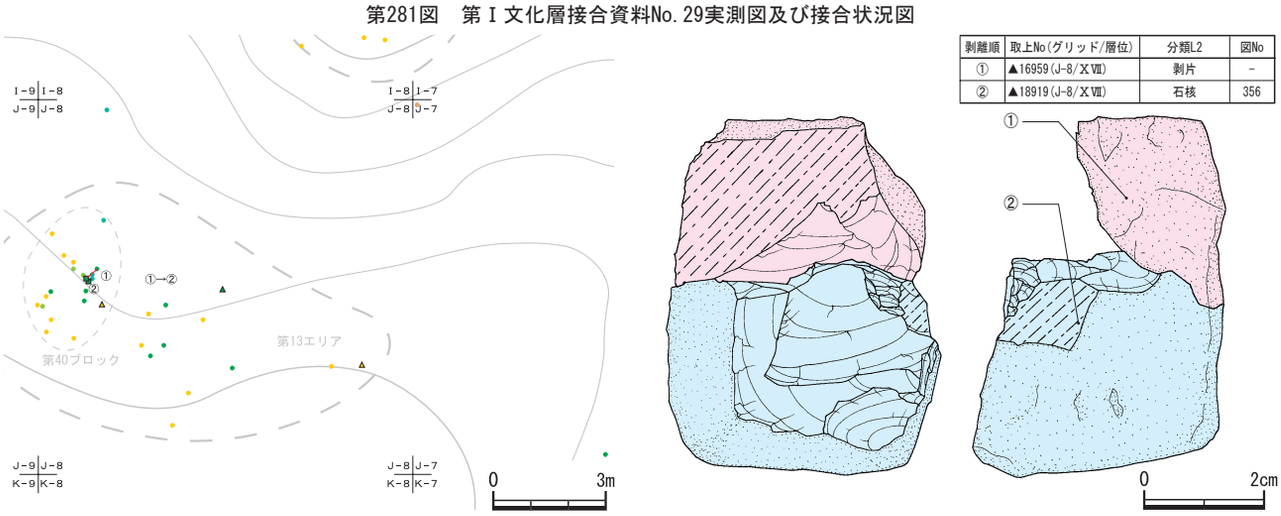


第280図　第Ⅰ文化層接合資料No. 28実測図及び接合状況図



剥離順	取上No(グリッド/層位)	分類L2	図No
①	▲15693(J-9/Ⅹ Ⅶ上)	剥片	266
②	▲19235(J-8/Ⅹ Ⅶ)	剥片	358
③	▲18909(J-8/Ⅹ Ⅶ)	剥片	352
④	▲18920(J-8/Ⅹ Ⅵ下)	石核	355

第281図　第Ⅰ文化層接合資料No.29実測図及び接合状況図



剥離順	取上No(グリッド/層位)	分類L2	図No
①	▲16959(J-8/Ⅹ Ⅶ)	剥片	-
②	▲18919(J-8/Ⅹ Ⅶ)	石核	356

第282図　第Ⅰ文化層接合資料No.30実測図及び接合状況図

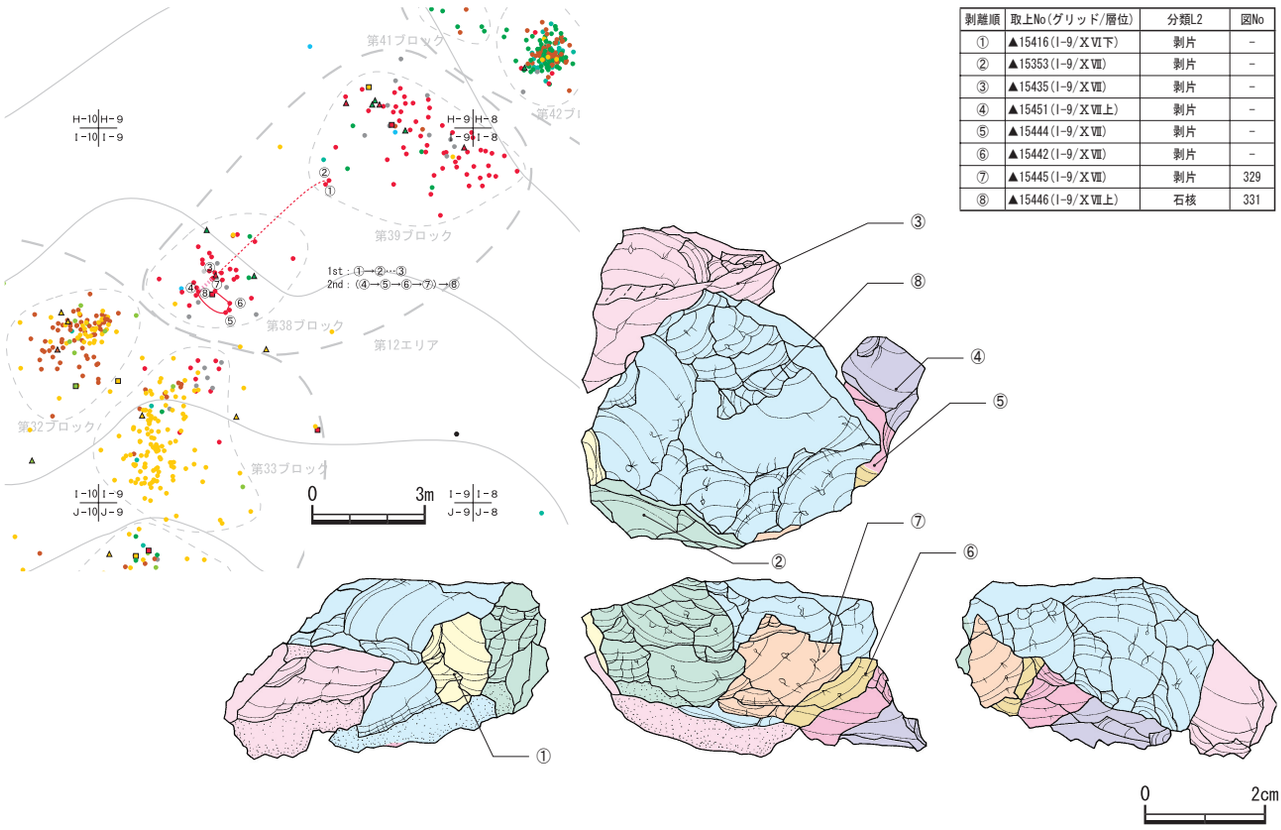
られるが，①の場面では打面調整を行った痕跡がある。②は剥離後下縁を中心に調整剥離がなされている。また①は先の剥離以前に横広剥片採取の痕跡を残す。

接合資料No.16(第268図)　[SH2A]

２点の石核の接合資料で，節理によりＡとＢに分割される。分割したＡとＢは独自の剥片剥離を展開することになる。Ａは節理に沿って打面転移と連続剥離を繰り返している。①から④にかけては，節理に沿って正面手前から奥への剥離により，薄い縦長剥片を得たと思われる。そのうち③は背面からの加撃で折断されている。⑤以降は節理面を打面にして打面の周縁部の剥片剥離を続けた結果，⑪は丈の短い円柱状石核として残されている。最終段階の剥片は階段状剥離が多いが，小型の台形様石器を目的とした剥片剥離だったと思われる。⑪は同一打面からの数回の剥離の後，廃棄されている。Ｂは①～⑳で正面と左右両側面を作業面とし，打面を主に上下に移しながら剥片剥離を続けた接合資料である。初期段階がやや大型を目的とした剥片獲得に対して，⑪以降は小型化して行く。はじめに右側面を作業面として裏面または下面からの剥離を行い，次に，左側面を作業面として打面を展開しながら剥片剥離を行っている。その後，正面を作業面とした剥離が行われている。剥離後調整された剥片は折断されたものが多い。なお実測後に３点が接合している。

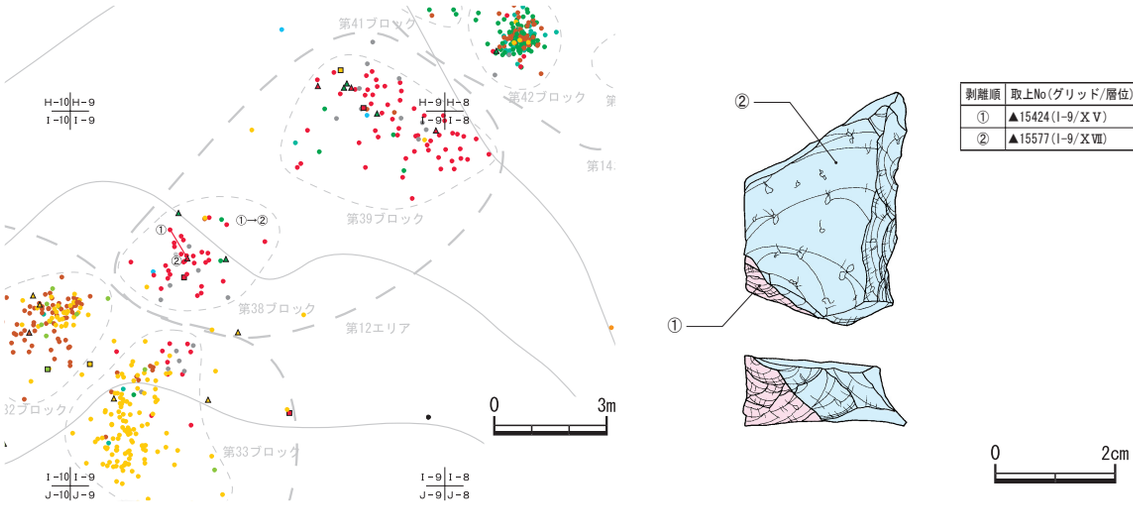
接合資料No.17(第269図)　[SH2A]

連続剥離がみられる接合資料である。素材は節理に富み，剥離の際に節理面で脱落する等，全体として良好な剥片は得られていない。一旦①→②を，左側面を打面にして剥離した後，打面を正面に移して一括を剥離している。その後打面を上面に移して④以降を連続的に剥離している。



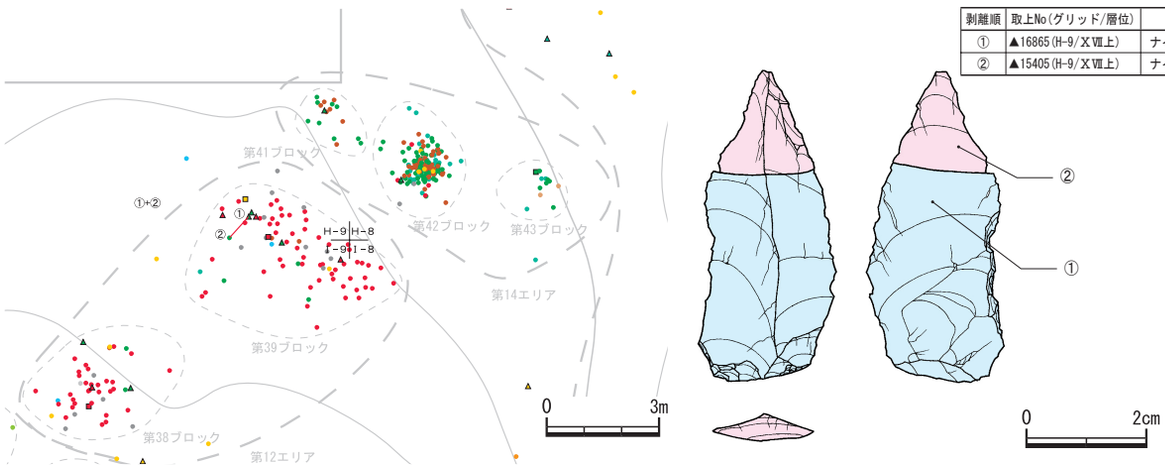
剥離順	取上No(グリッド/層位)	分類L2	図No
①	▲15416(I-9/ⅩⅥ下)	剥片	-
②	▲15353(I-9/ⅩⅦ)	剥片	-
③	▲15435(I-9/ⅩⅦ)	剥片	-
④	▲15451(I-9/ⅩⅦ上)	剥片	-
⑤	▲15444(I-9/ⅩⅦ)	剥片	-
⑥	▲15442(I-9/ⅩⅦ)	剥片	-
⑦	▲15445(I-9/ⅩⅦ)	剥片	329
⑧	▲15446(I-9/ⅩⅦ上)	石核	331

第283図　第Ⅰ文化層接合資料No.31実測図及び接合状況図



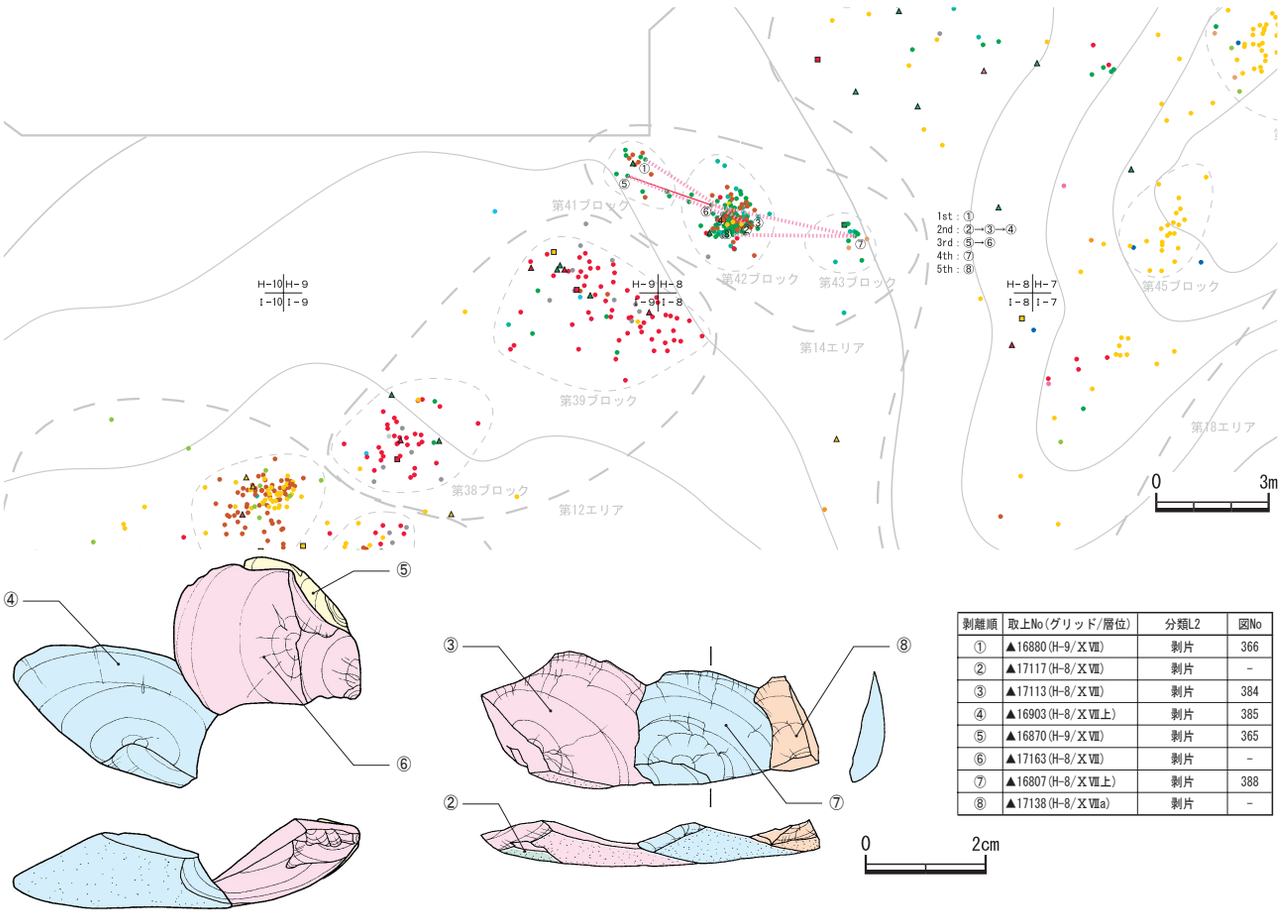
剥離順	取上No(グリッド/層位)	分類L2	図No
①	▲15424(I-9/ⅩⅤ)	剥片	-
②	▲15577(I-9/ⅩⅦ)	二次加工痕剥片	328

第284図　第Ⅰ文化層接合資料No.32実測図及び接合状況図



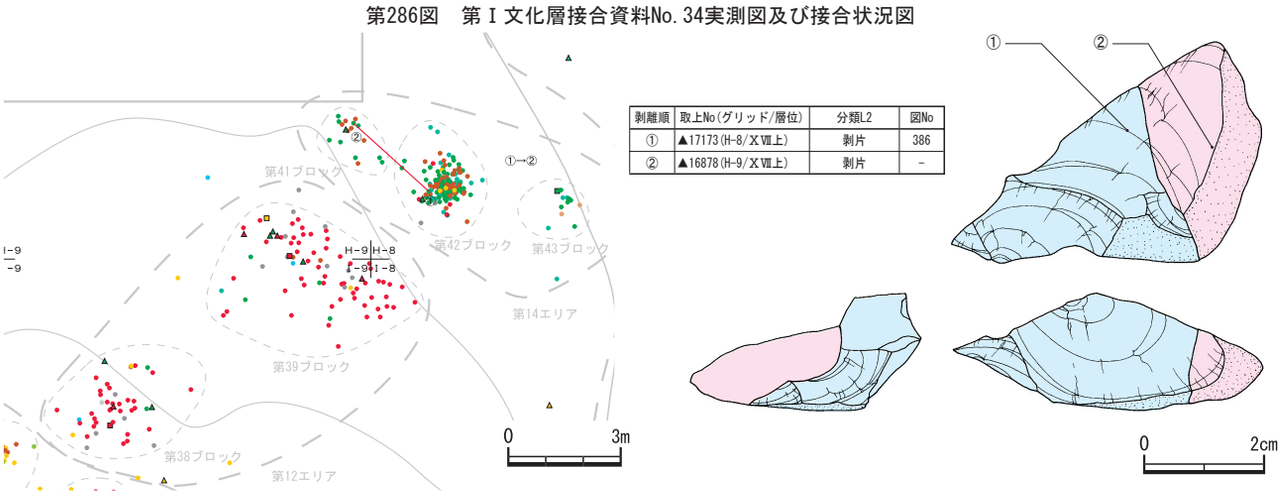
剥離順	取上No(グリッド/層位)	分類L2	図No
①	▲16865(H-9/ⅩⅦ上)	ナイフ形石器	336
②	▲15405(H-9/ⅩⅦ上)	ナイフ形石器	335

第285図　第Ⅰ文化層接合資料No.33実測図及び接合状況図



剥離順	取上No(グリッド/層位)	分類L2	図No
①	▲16880(H-9/Ⅹ Ⅶ)	剥片	366
②	▲17117(H-8/Ⅹ Ⅶ)	剥片	-
③	▲17113(H-8/Ⅹ Ⅶ)	剥片	384
④	▲16903(H-8/Ⅹ Ⅶ上)	剥片	385
⑤	▲16870(H-9/Ⅹ Ⅶ)	剥片	365
⑥	▲17163(H-8/Ⅹ Ⅶ)	剥片	-
⑦	▲16807(H-8/Ⅹ Ⅶ上)	剥片	388
⑧	▲17138(H-8/Ⅹ Ⅶa)	剥片	-

第286図　第Ⅰ文化層接合資料No.34実測図及び接合状況図



剥離順	取上No(グリッド/層位)	分類L2	図No
①	▲17173(H-8/Ⅹ Ⅶ上)	剥片	386
②	▲16878(H-9/Ⅹ Ⅶ上)	剥片	-

第287図　第Ⅰ文化層接合資料No.35実測図及び接合状況図

接合資料No.18(第270図)　[SH2A]

節理を利用するため，打面を転回しながら連続剥離を行ったと思われる接合資料である。まず，左側面を打面に[①+(②→③)]を節理に沿って剥離し，得られた縦長剥片を折断して石器製作に利用したものと思われる。次に，⑧→⑨を半割し，⑧→⑨では節理面を打面に，横長剥片を得ている。一方，[⑩→⑪→⑫→(⑬→⑭)]は打面を移しながら，剥片剥離作業を続けている。

接合資料No.19(第271図)　[SH2A]

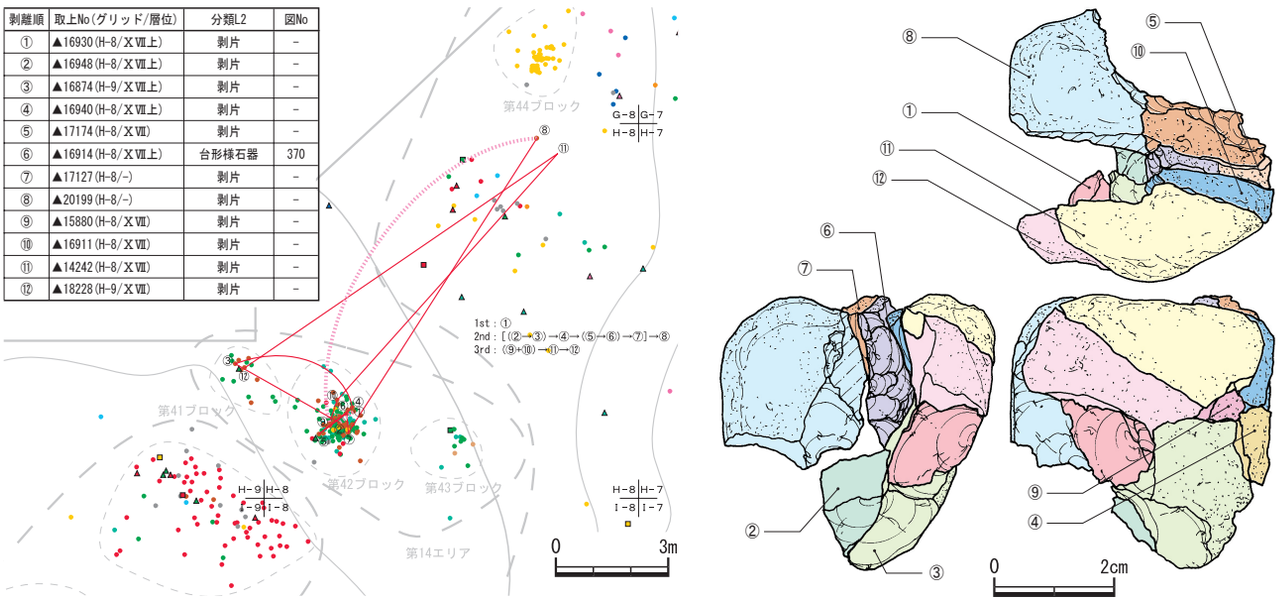
削器と剥片との接合資料である。素材は節理面に富む頁岩である。①の剥離後，さらに剥離を重ねて抉入状の刃部を形成している。

接合資料No.20(第272図)　[SH2A]

台形様石器と剥片の接合資料で，台形様石器２点を含んでいる。単一打面から３回剥離を行い，そのうちの②と⑥の２点から台形様石器を製作している。②は剥片の頭部を節理面で折断したうえで，台形様石器に調整しているが，その際に①(実測後に接合したブランティングチップ)を剥離している。(④+⑤+⑥)は背面からの加撃で破断されたとみられる。

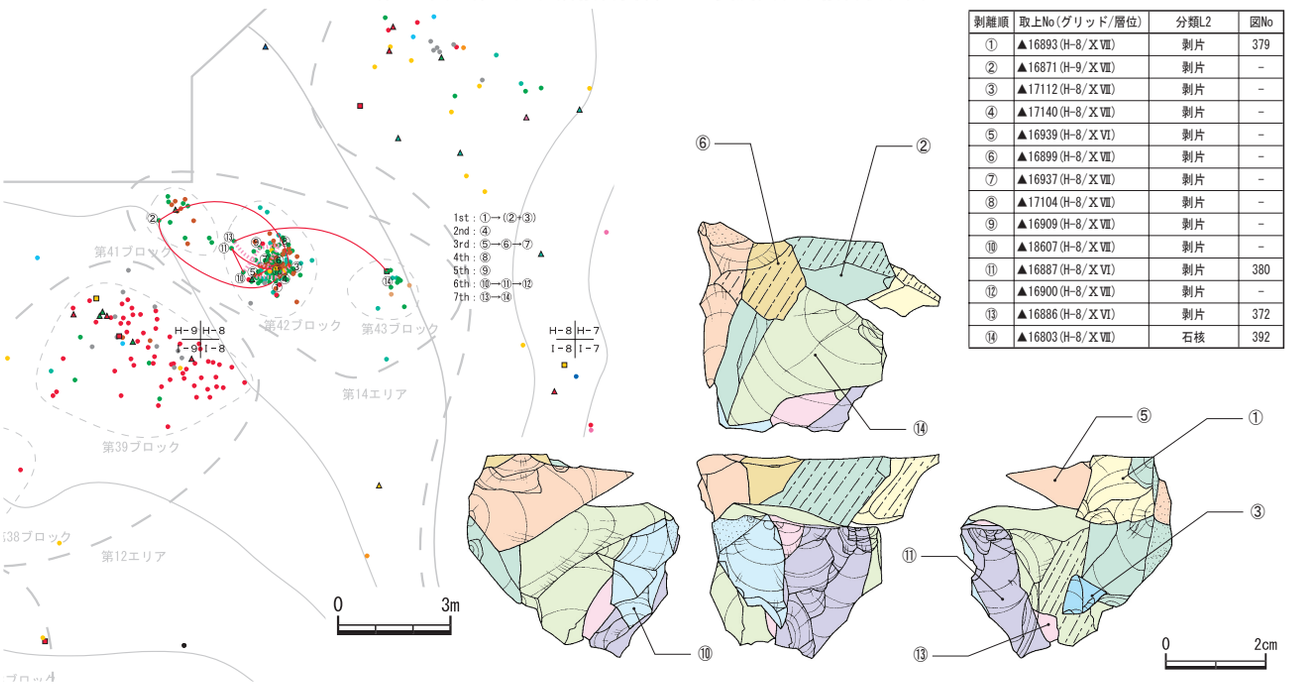
接合資料No.21(第273図)　[SH2A]

台形様石器と剥片の接合資料である。②は左側面からの圧力により節理面で分割されている。No.21は接合資料No.16～



剥離順	取上No(グリッド/層位)	分類L2	図No
①	▲16930(H-8/XⅦ上)	剥片	-
②	▲16948(H-8/XⅦ上)	剥片	-
③	▲16874(H-9/XⅦ上)	剥片	-
④	▲16940(H-8/XⅦ上)	剥片	-
⑤	▲17174(H-8/XⅦ)	剥片	-
⑥	▲16914(H-8/XⅦ上)	台形様石器	370
⑦	▲17127(H-8/-)	剥片	-
⑧	▲20199(H-8/-)	剥片	-
⑨	▲15880(H-8/XⅦ)	剥片	-
⑩	▲16911(H-8/XⅦ)	剥片	-
⑪	▲14242(H-8/XⅦ)	剥片	-
⑫	▲18228(H-9/XⅦ)	剥片	-

第288図　第Ⅰ文化層接合資料No.36実測図及び接合状況図



剥離順	取上No(グリッド/層位)	分類L2	図No
①	▲16893(H-8/XⅦ)	剥片	379
②	▲16871(H-9/XⅦ)	剥片	-
③	▲17112(H-8/XⅦ)	剥片	-
④	▲17140(H-8/XⅦ)	剥片	-
⑤	▲16939(H-8/XⅥ)	剥片	-
⑥	▲16899(H-8/XⅦ)	剥片	-
⑦	▲16937(H-8/XⅦ)	剥片	-
⑧	▲17104(H-8/XⅦ)	剥片	-
⑨	▲16909(H-8/XⅦ)	剥片	-
⑩	▲18607(H-8/XⅦ)	剥片	-
⑪	▲16887(H-8/XⅥ)	剥片	380
⑫	▲16900(H-8/XⅦ)	剥片	-
⑬	▲16886(H-8/XⅥ)	剥片	372
⑭	▲16803(H-8/XⅦ)	石核	392

第289図　第Ⅰ文化層接合資料No.37実測図及び接合状況図

20・15と同一石材による資料であり，同一母岩の可能性もある。

接合資料No.22(第274図)　[CC1A]

石核の同一打面から連続して剥離した様子がみられる接合資料である。少なくとも同一打面から３回の剥離がみられ，その最後の剥離が①である。石核調整剥片とみられるが，その後同一打面からの剥離はみられない。

接合資料No.23(第275図)　[CC1A]

台形様石器を目的に側縁部の調整を行っていたところ，偶発的に破断した接合資料である。素材は連続剥離された不定形の横広剥片である。

接合資料No.24(第276図)　[CC1A]

台形様石器の調整の過程を示す接合資料である。②は右側縁の打瘤部分を抉り気味に調整し，下部に自然面あるいは節理面を基部として，左側縁に調整剥離が施されている。①は調整剥離の途中で脱落したものと思われる。

接合資料No.25(第277図)　[SH2A]

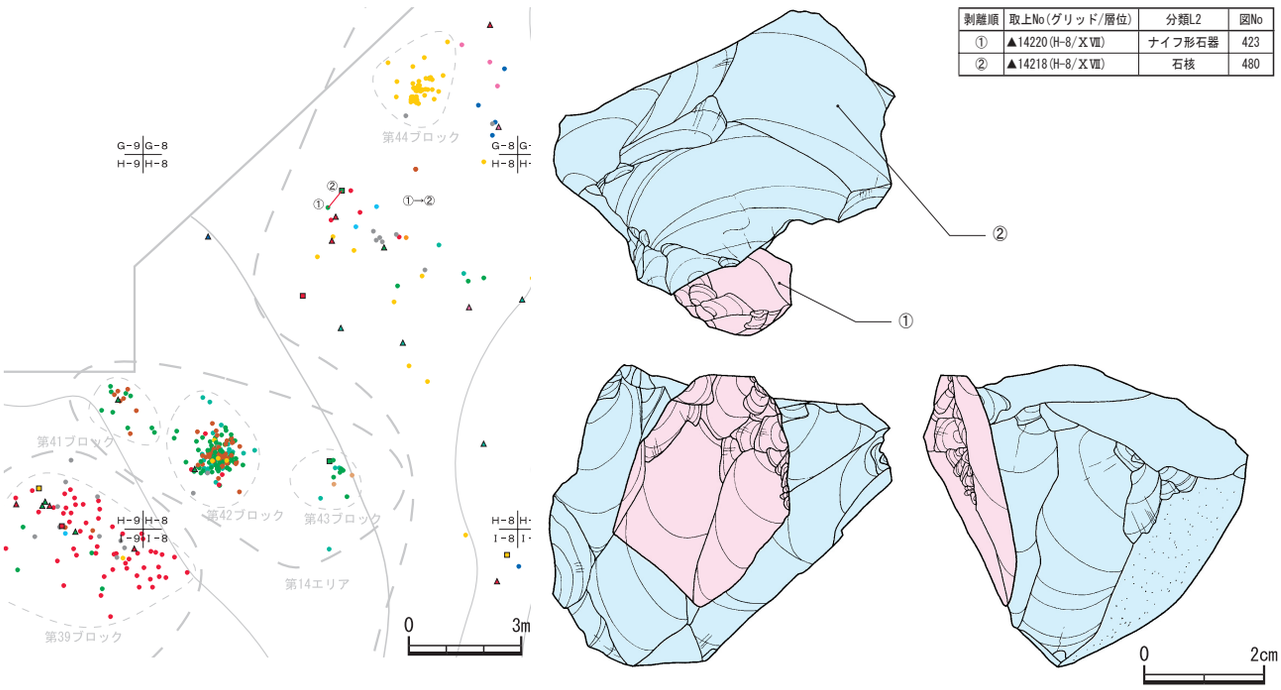
台形様石器の整形段階で，偶発的に破断したものとみられる接合資料である。剥片を横位に利用して台形様石器を製作するにあたり，基部の調整する際に節理によって破断したものとみられる。

接合資料No.26(第278図)　[CC1A]

折断剥片を含む接合資料である。石核素材は自然面を残す分割礫で，分割面を打面に①から剥離が始められている。③と④の間では打面再生が行われている。また⑥と⑦は折断されているが，意図的であるかは明確ではない。

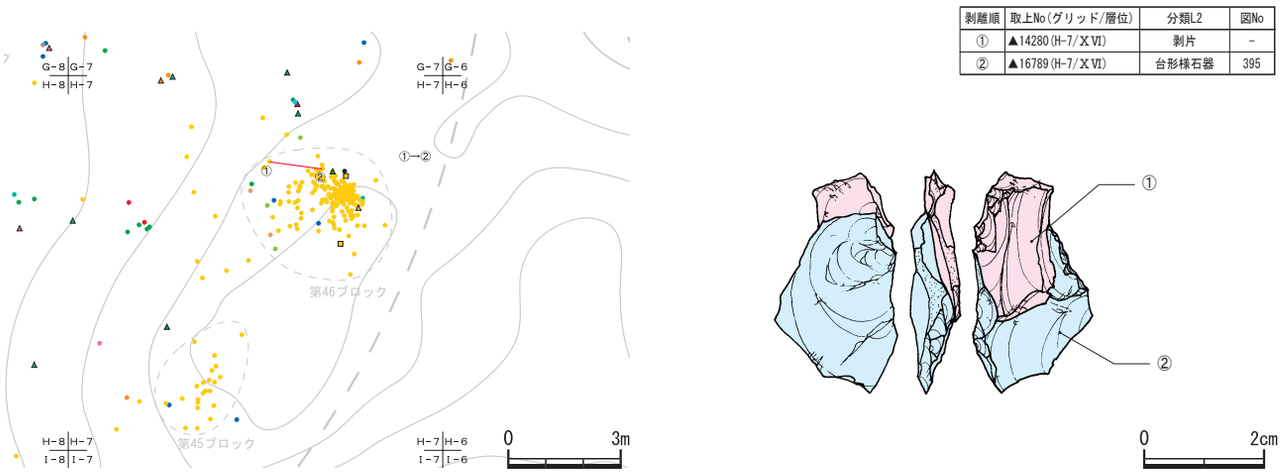
接合資料No.27(第279図)　[CC]

石核と剥片の接合資料である。流理の多い玉随の剥片素材



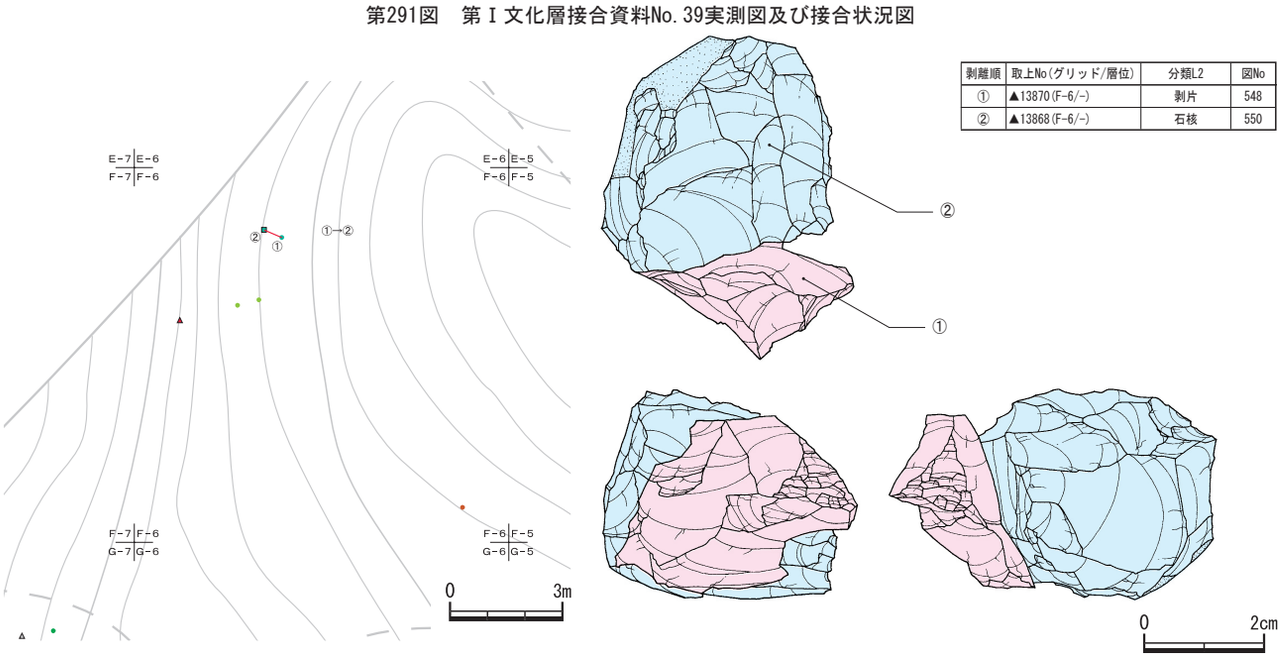
剥離順	取上No(グリッド/層位)	分類L2	図No
①	▲14220(H-8/XⅦ)	ナイフ形石器	423
②	▲14218(H-8/XⅦ)	石核	480

第290図　第Ⅰ文化層接合資料No.38実測図及び接合状況図



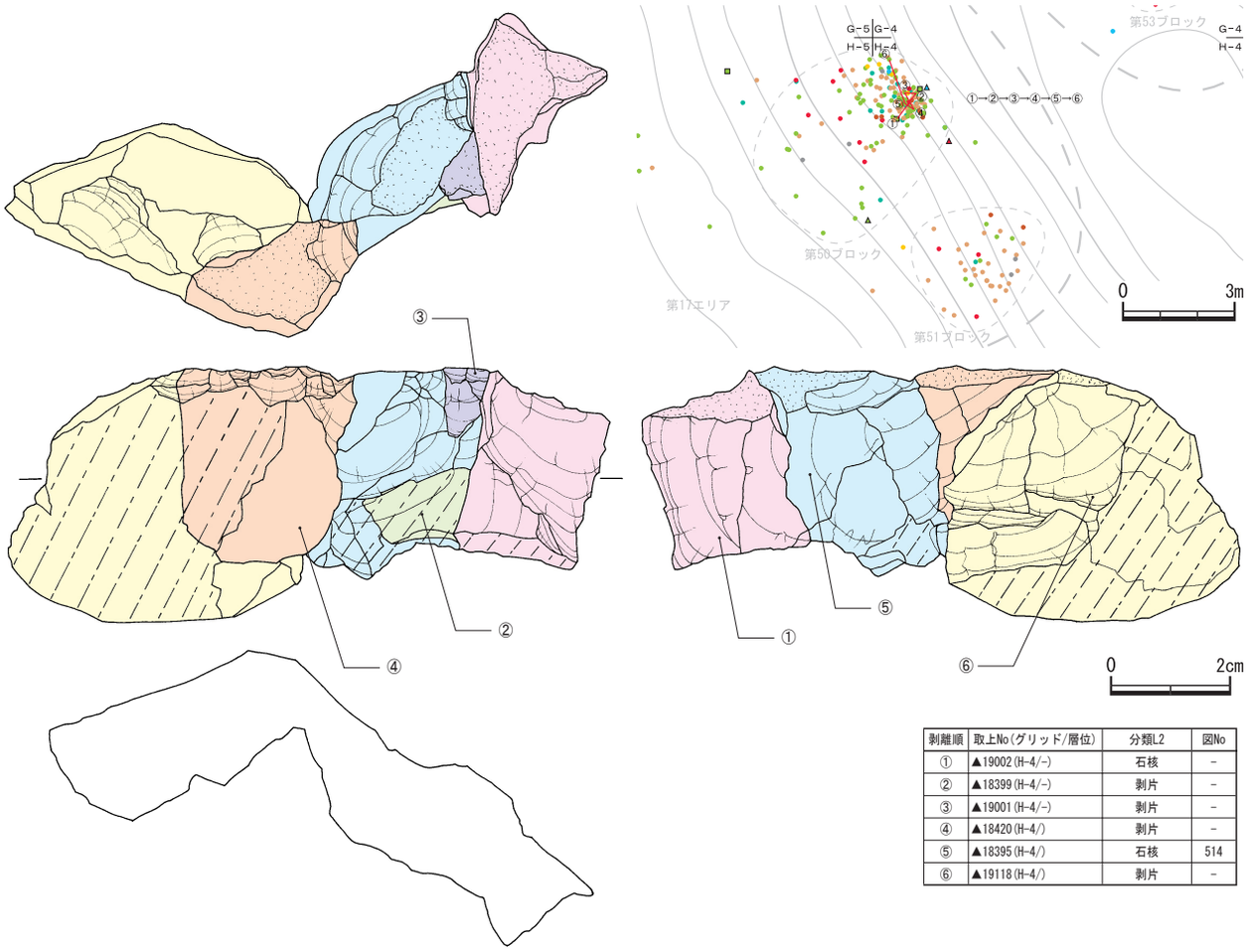
剥離順	取上No(グリッド/層位)	分類L2	図No
①	▲14280(H-7/XⅥ)	剥片	-
②	▲16789(H-7/XⅥ)	台形様石器	395

第291図　第Ⅰ文化層接合資料No.39実測図及び接合状況図



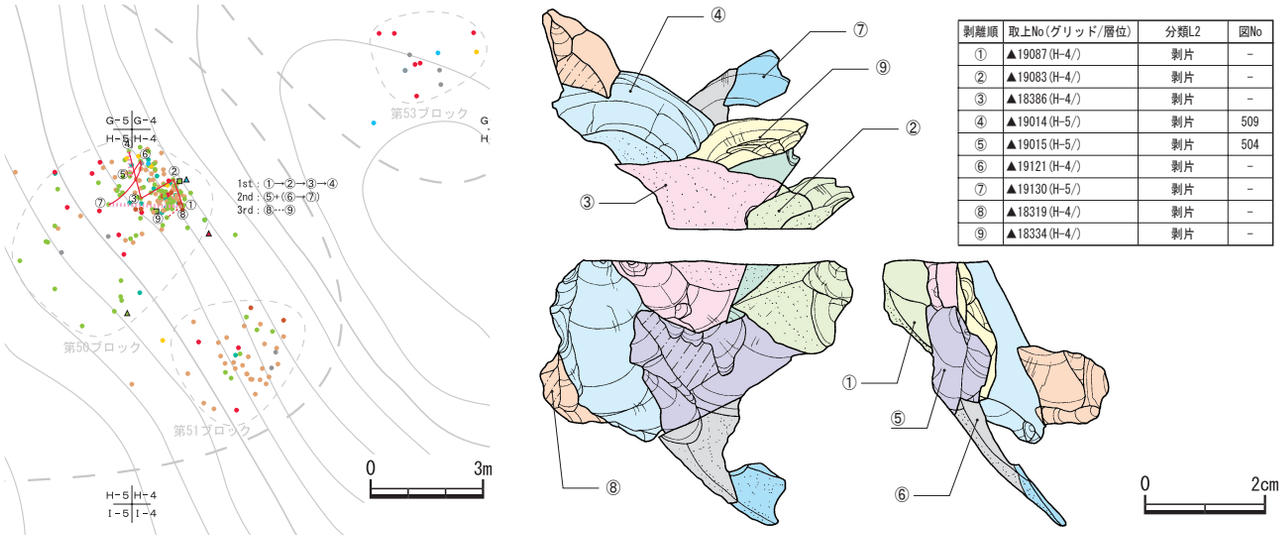
剥離順	取上No(グリッド/層位)	分類L2	図No
①	▲13870(F-6/-)	剥片	548
②	▲13868(F-6/-)	石核	550

第292図　第Ⅰ文化層接合資料No.40実測図及び接合状況図



剥離順	取上No(グリッド/層位)	分類L2	図No
①	▲19002(H-4/-)	石核	-
②	▲18399(H-4/-)	剥片	-
③	▲19001(H-4/-)	剥片	-
④	▲18420(H-4/)	剥片	-
⑤	▲18395(H-4/)	石核	514
⑥	▲19118(H-4/)	剥片	-

第293図　第Ⅰ文化層接合資料No.41実測図及び接合状況図



剥離順	取上No(グリッド/層位)	分類L2	図No
①	▲19087(H-4/)	剥片	-
②	▲19083(H-4/)	剥片	-
③	▲18386(H-4/)	剥片	-
④	▲19014(H-5/)	剥片	509
⑤	▲19015(H-5/)	剥片	504
⑥	▲19121(H-4/)	剥片	-
⑦	▲19130(H-5/)	剥片	-
⑧	▲18319(H-4/)	剥片	-
⑨	▲18334(H-4/)	剥片	-

第294図　第Ⅰ文化層接合資料No.42実測図及び接合状況図

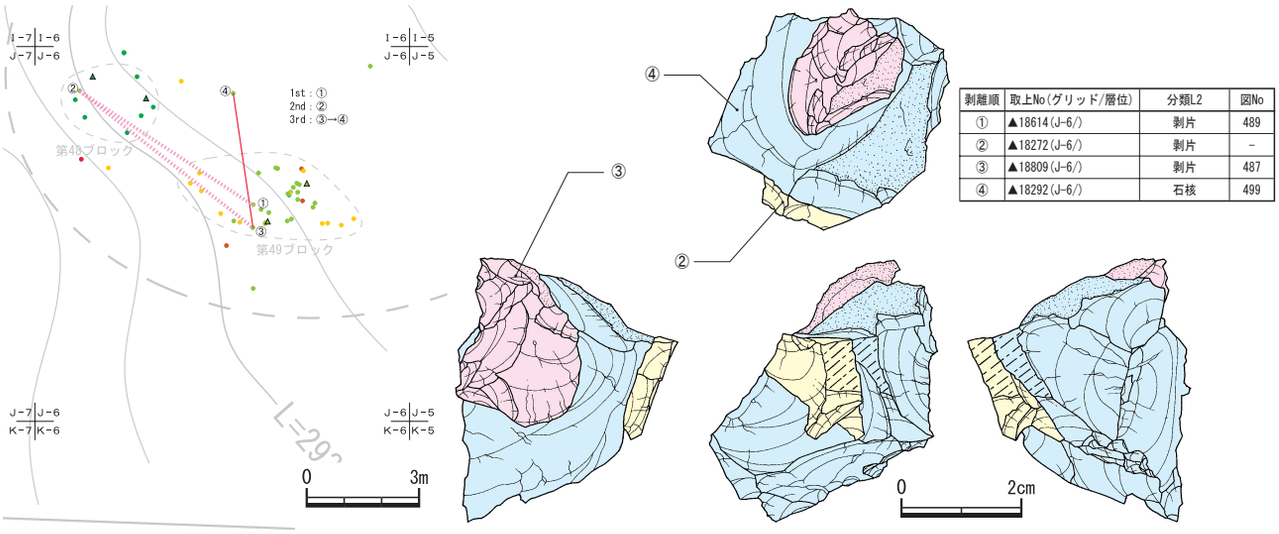
の石核の周縁を剥離していたところ，偶発的に破断したものと思われる。

接合資料No.28(第280図)　[SH2]

半割された円礫の分割面を打面にして，剥片剥離を続けた接合資料である。礫面の残る作業面から①・②を剥離し，その後，③・④を剥離しているが，この剥離は打面調整剥離と見られ，⑤等の剥離が継続する。

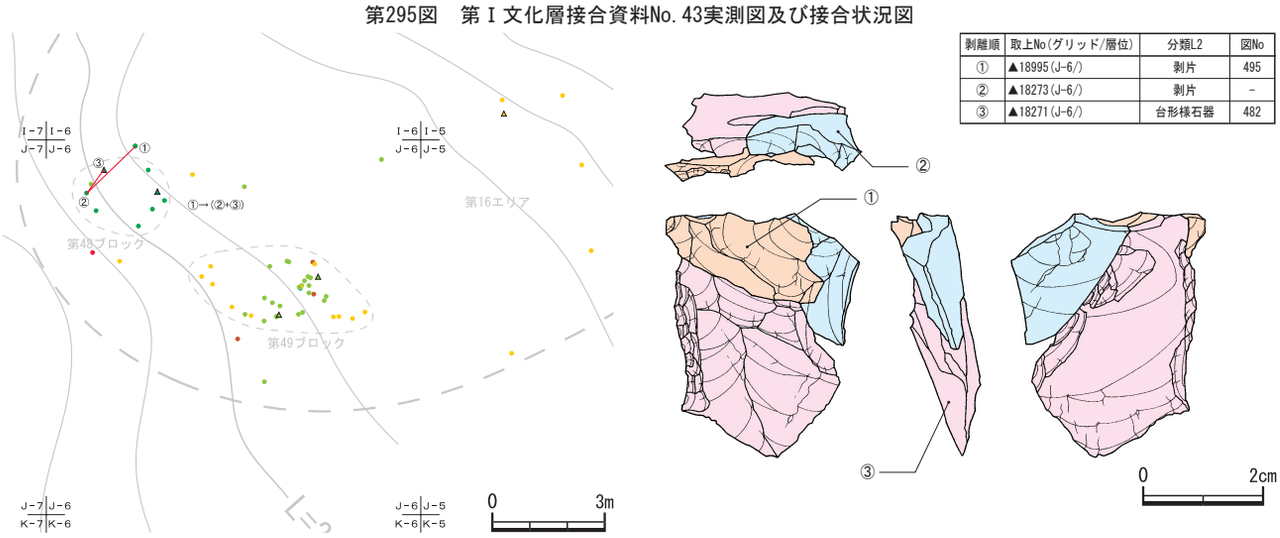
接合資料No.29(第281図)　[SH1A]

打面転移を繰り返しながら不定形剥片を採取した石核の接合資料である。礫面を残した円礫を素材に，①から③までは連続して同一打面からの剥離がみられる。なお，③は打面再生剥片と判断できそうである。その後は，稜線打面に沿って交互剥離が進行している。残された剥離面からは，不定形の横広剥片を獲得していたと見られる。



剥離順	取上No(グリッド/層位)	分類L2	図No
①	▲18614(J-6/)	剥片	489
②	▲18272(J-6/)	剥片	-
③	▲18809(J-6/)	剥片	487
④	▲18292(J-6/)	石核	499

第295図　第Ⅰ文化層接合資料No.43実測図及び接合状況図



剥離順	取上No(グリッド/層位)	分類L2	図No
①	▲18995(J-6/)	剥片	495
②	▲18273(J-6/)	剥片	-
③	▲18271(J-6/)	台形様石器	482

第296図　第Ⅰ文化層接合資料No.44実測図及び接合状況図

接合資料No.30(第282図)　[SH1B]

自然礫を二分割し，その分割面を剥離作業面として利用した石核２点の接合資料である。２点は複数の打面転移を行いながらそれぞれ横長剥片を得ているが，節理等の影響をうけ，良好な剥片を量産できないまま数カ所を打面に試行した後，廃棄されている。

接合資料No.31(第283図)　[OB2A]

打面転移しながら剥片剥離を行った接合資料である。素材は晶子に富む黒曜石で底面に自然面を残す。基本的に打面は平坦に調整された上面を利用し，作業面は打面を軸にしたときの周縁で，右回りに打点をずらしながら剥離が行われている。ただ(④→⑤→⑥→⑦)のほかに数回打面を側縁部に設定し，右方向からの左にむけて行った剥離や，底面を打面にした痕跡がみられる。③はどの段階で剥離されたかは不明だが，大きさから作業面再生剥片の可能性がある。

接合資料No.32(第284図)　[OB2A]

二次加工痕剥片と剥片との接合資料である。素材は不純物に富む黒曜石である。①は，②の周縁の調整中に剥離されたものである。

接合資料No.33(第285図)　[SH1A]

縦長剥片素材のナイフ形石器の接合資料である。破断した時期については明らかではない。

接合資料No.34(第286図)　[SH1A]

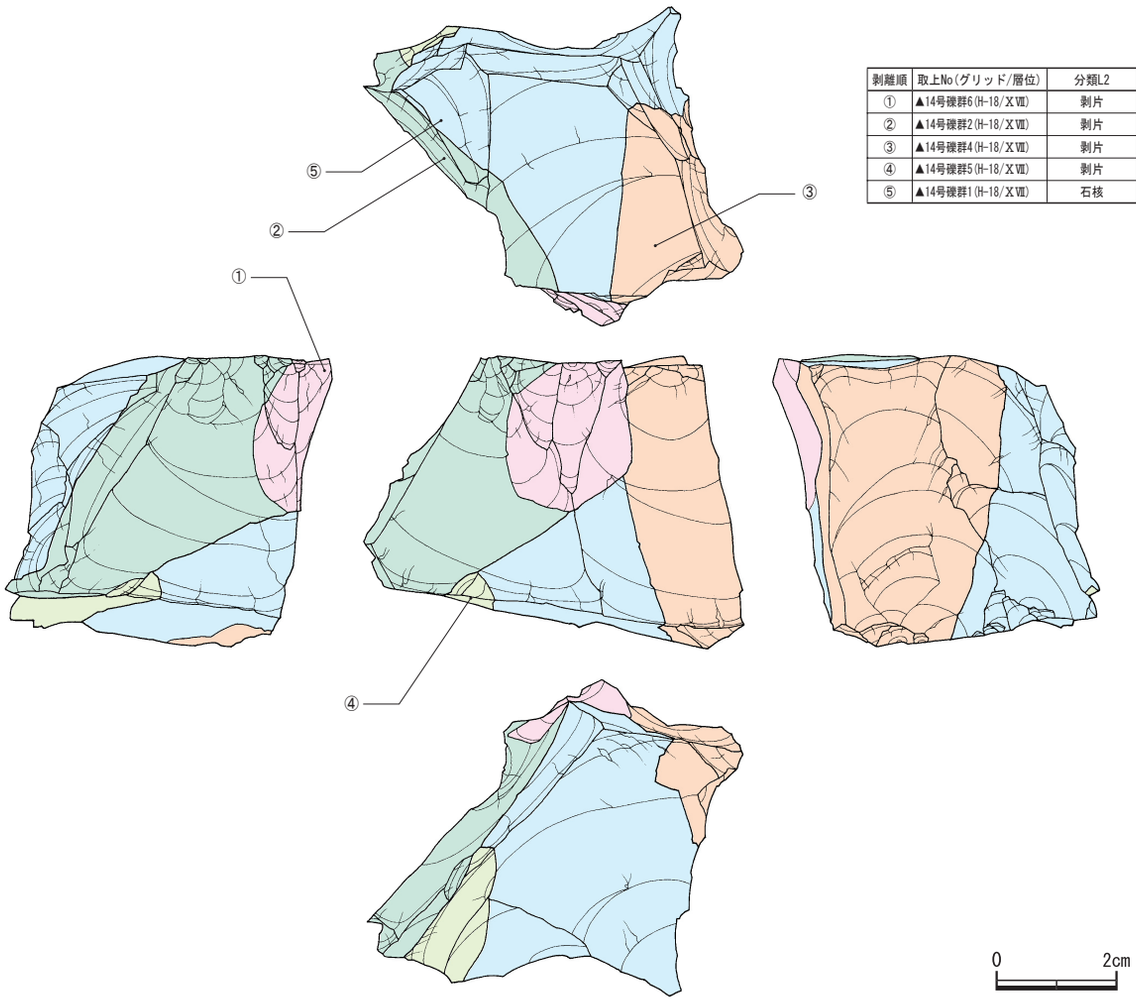
円礫を分割し，その分割面を打面にして剥離を行った接合資料である。図の２点の資料は実測後に接合した。①（実測後に接合）の剥離面を打面にして円礫の先端部を分割し，その分割面を利用して②以降の剥片剥離を行っている。各剥片は礫皮面を持ち，未調整であるため，接合状況から石核調整の際の剥片とも考えられるが，ほぼ同一の形状から，目的剥片の可能性もある。

接合資料No.35(第287図)　[SH1A]

礫面を残す石核(①＋②)から，横広剥片を継続的に剥離している時点で，偶発的に石核が破断したとみられる。従って，石核の破断品の接合資料と判断する。

接合資料No.36(第288図)　[CH3]

節理に富むチャートが素材の接合資料である。①は先行して分割された剥片素材の石核からの剥片とも考えられる。その後主に右側縁の自然面を打面に剥離が続けられるが，そのうち②と⑥は腹面中央部からの加撃で折断されている。台形



剥離順	取上No(グリッド/層位)	分類L2	図No
①	▲14号礫群6(H-18/Ⅹ Ⅶ)	剥片	146
②	▲14号礫群2(H-18/Ⅹ Ⅶ)	剥片	156
③	▲14号礫群4(H-18/Ⅹ Ⅶ)	剥片	157
④	▲14号礫群5(H-18/Ⅹ Ⅶ)	剥片	154
⑤	▲14号礫群1(H-18/Ⅹ Ⅶ)	石核	155

第297図　第Ⅰ文化層接合資料No.45実測図

様石器目的剥片採取のための一連の作業かとみられるが，⑧の直前の剥離は粗さが目立つ。その後打面を移して剥離が行われ，そのうち⑨と⑩は打点から２分割されている。⑪と⑫は破断した可能性もある。

接合資料No.37(第289図)　[SH1A]

打面再生を行った石核の接合資料である。節理を打面にして①以降の連続剥離を行っているが良好な剥片は得られなかったとみられる。そこで(②+③)が脱落したあとの節理面を打面にして剥片剥離を行い，その剥離面を打面にして再度剥片剥離を行っている。また⑫を剥離後，石核の下面を打面にして⑬を剥離している。なお実測後に５点が接合している。

接合資料No.38(第290図)　[SH1A]

石核と基部加工ナイフ形石器の接合資料である。円礫を分割したと思われ，分割面を打面として，剥片剥離を開始し，打点位置を変えながら連続して剥離を行っている。上面からの剥片が縦長剥片を指向した傾向は窺えるのに対して，打面転移による側縁や下縁を打面とした剥離は横広の不定形剥片が取り出されている。①以降も縦長剥片の剥離や打面転移による剥片剥離作業が続けられている。

接合資料No.39(第291図)　[CC1A]

先行する剥片①と台形様石器②の接合資料である。２点共礫打面の石核から剥離された横広の不定形剥片である。

接合資料No.40(第292図)　[SH]

分割礫素材の石核②と打面形成の目的で剥ぎ出した剥片①の接合資料である。礫を分割した後，更に①を大きく剥ぎ取り，②の打面とする工程を経ている。②の剥離作業は，打面と正面作業で行われ，打面転移を適宜繰り返していたと思われる。

接合資料No.41(第293図)　[SH2B]

礫面を打面に分割された剥片の接合資料で，素材は角礫の下面を粗く分割して得た板状の石核である。剥片の背面には下方を打面にして剥離した痕跡もみられるが，残存する剥片は全て同一打面を利用している。

接合資料No.42(第294図)　[SH2B]

礫面を取り除きながら剥離作業を進めたと思われる接合資料である。平坦な礫面を打面にして①以降の連続剥離を行っているが，節理のために良好な剥片は得られていない。⑤と⑥は節理で分割されているが，⑥と⑦は右側縁からの加撃で剥離されている。

接合資料No.43(第295図)　[SH2A]

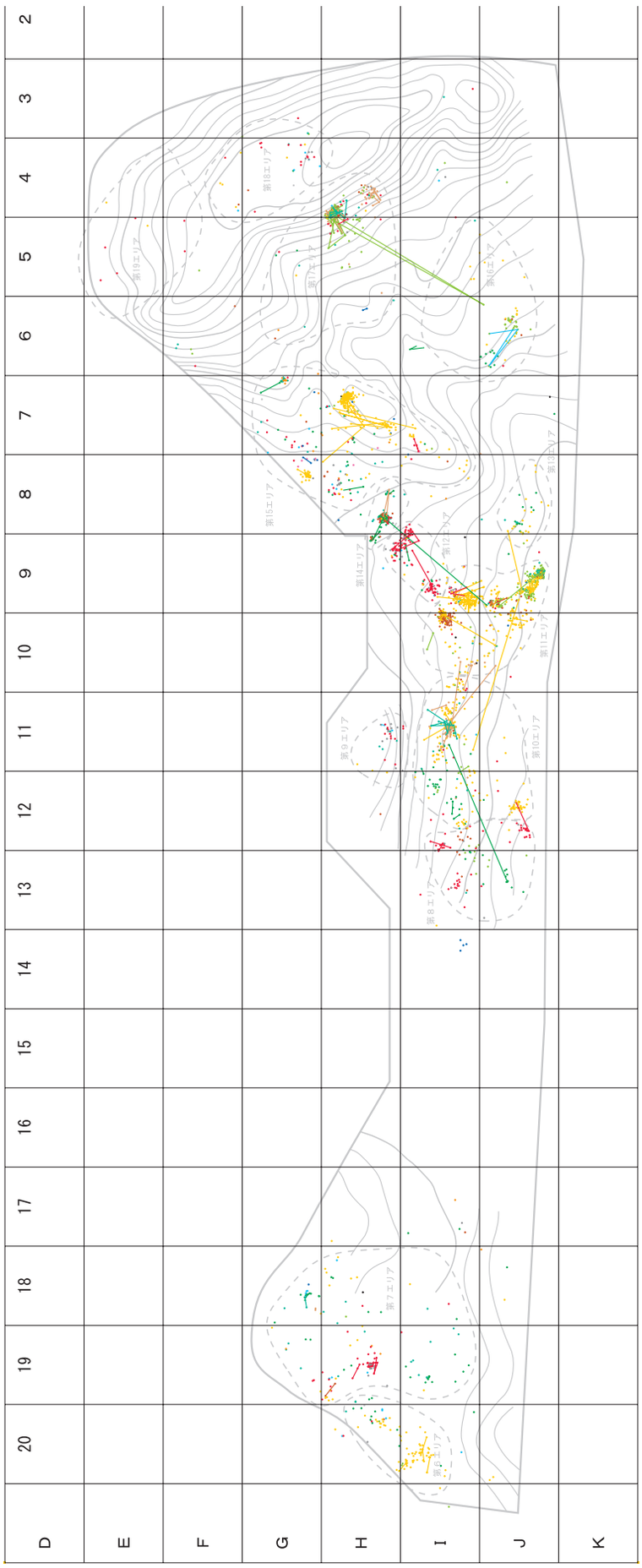
石核と剥片の接合資料である。②は剥離後に腹面からの圧力で折断されている。③は左側縁からの加撃で剥離されたと思われるが，節理が大部分を占めるため剥離方向は明確ではない。①は実測後に接合した。

接合資料No.44(第296図)　[SH1A]

台形様石器と整形剥片の接合資料である。①に対して(②+③)は打点をやや右に移して剥離されている。その後，②は③の左側縁の調整剥片として，打面からやや左にずらした方向からの加撃により，除去されている。

接合資料No.45(第297図)　[SH1]

剥片と石核の接合資料である。もともとは大型の石核であったと思われるが，打面転移を繰り返して利用した結果，上下に大きな剥離による平坦面を持ち，①・②は上面を③…④・⑤は下面を打面にして剥片剥離を行っていることが窺えるが，④獲得後に廃棄されたものと思われる。



第298図　第Ⅰ文化層非実測接合遺物接合状況図

第Ⅴ章　ナイフ形石器第Ⅱ文化層の調査

第１節　概要

ナイフ形石器文化期第Ⅱ文化層は，桐木耳取遺跡のⅩⅢ層に該当する。ⅩⅢ層は黄色軽石混ざりの褐色土で，特に耳取遺跡で安定した層堆積を成している。ⅩⅢ層中の黄色軽石は，科学分析の結果，燃島に由来するテフラに同定される(付編参照)。

この文化層からは，３基の礫群と大量の石器等が検出された。礫群は桐木遺跡で１基，耳取遺跡で２基検出したのみで遺物量に対して非常に少ない。耳取遺跡では，第Ⅰ文化層と同じ場所を利用しているが，桐木遺跡では南側の谷に面して礫群を成し，第Ⅰ文化層とは異なる場所を利用している。

第２節　遺構(礫群)

１　桐木遺跡

１号礫群

１号礫群は，さ-38区で検出された。長軸105cm×短軸70cmの範囲の中に約30個の小礫で構成されている。礫はほとんど破砕しており，２個に被熱した痕跡が見受けられる。炭化物については確認できていないが，同色の褐色土のため検出できなかった可能性もある。

２　耳取遺跡

２号礫群

２号礫群はH・I-19区(第３節２，第５エリア)で検出された。長軸46cm×短軸43cmで，礫７個で構成されている。礫は拳大の大きさで，全て輝石安山岩を利用している。礫群に伴う掘り込み遺構は無く，炭化物は確認できなかった。また，礫も被熱した痕跡は認められなかった。

礫の大きさを揃え，並べて置いたという印象の礫群である。この位置は，台形石器の製作に関連すると考えられる環状ブロックの中に相当する。環状ブロックの東半分は調査区外の私有地に伸びていると推測され，礫群の存在も予想される。礫群分類では，ⅢA類とした。

３号礫群

３号礫群はH-5区で検出された。長軸175cm×短軸75cmで，礫31個で構成されている。約７割が輝石安山岩で，約２割が砂岩，１割が粘板岩である。その内，約16パーセントが被熱していた。礫群に伴う掘り込み遺構は無く，炭化物は中心部と思われる付近に２mm程度のものが微量に確認できたが，その出土状況を図示するには至らなかった。礫群分類ではⅢA類とした。

第３節　遺物

１　石器群の概要

ナイフ形石器第Ⅱ文化層は，第ⅩⅢ層を遺物包含層とする石器群で，耳取遺跡を中心に検出され，大きく３ユニットで把握することができる。

特に，耳取遺跡のH～J-17～21区の間では，遺物が環状に検出され，第３エリアから第７エリアに区分して把握することとした。第３エリアは環状分布の南端に相当し，I・J-20・21区に分布する。第４エリアはI-19・20区，第５エリアが環状分布の頂部に相当し，H・I-18～20区に分布する。第７エリアは環状の北端に相当し，I・J-18・19区，第６エリアは第５エリアと第７エリアに挟まれたI-18区に分布する。

この環状を構成するエリアからは，台形石器や石核・素材剥片等が大量に出土し，台形石器の製作址と認定できる。

次に，H・I-７・８区に15～16mの距離に連なる第11エリア，そのやや北方向に位置する第12エリア，さらに，I・J-４・５区に第13・14エリアが分布する。

第11エリアでは，頁岩を主体とした台形石器の製作が確認され，第12エリアでは大量の小型ナイフ形石器が集中的に出土している。また，第13エリアからはナイフ形石器，第14エリアからはナイフ形石器や台形石器が出土しているが，具体的にエリアの性格を特徴付けるだけの資料に乏しい。

なお，エリア認定や石材の分類基準については，第Ⅰ文化層に準じた。

２　石器

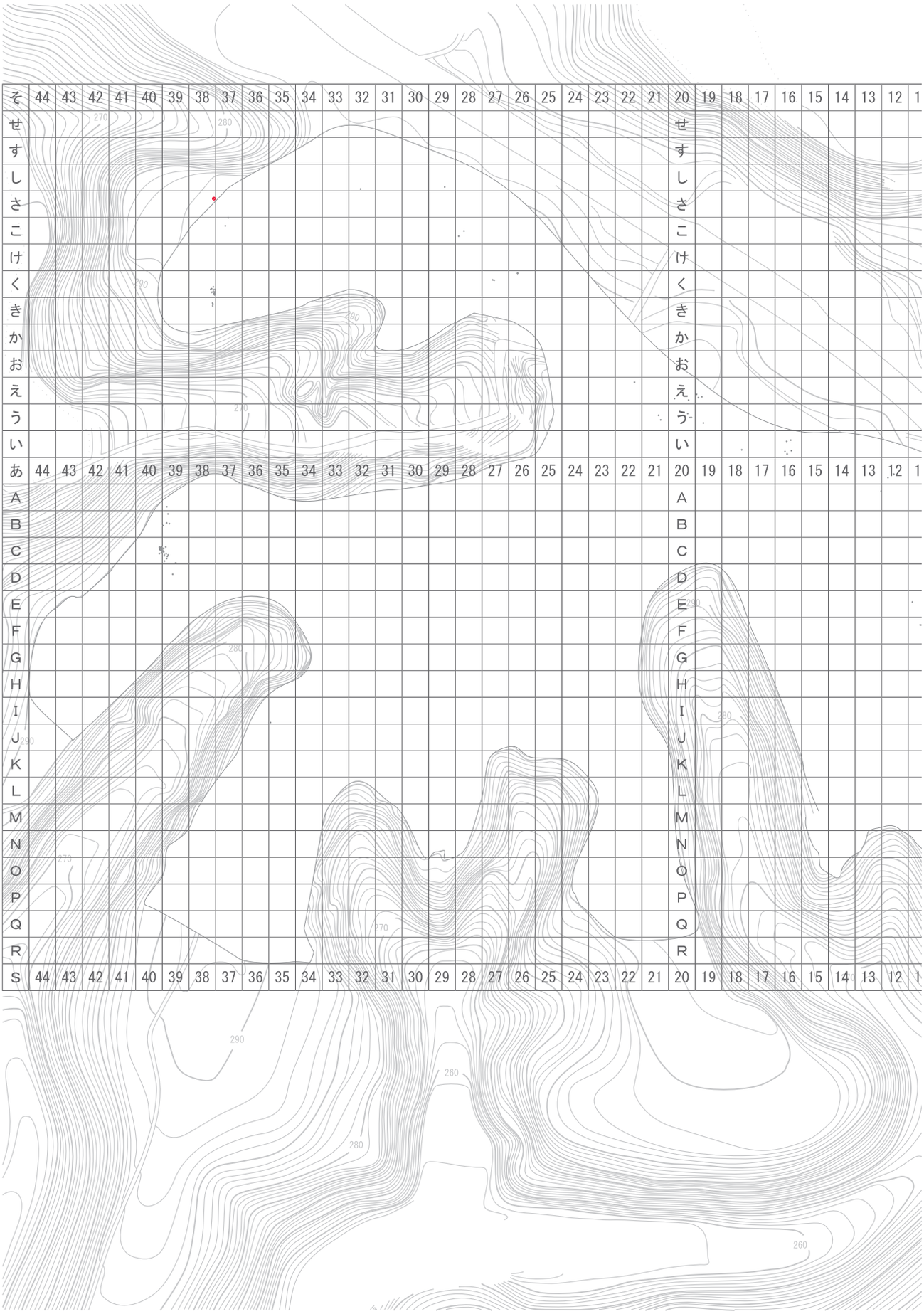
第３エリア

環状ブロックの南端に相当するエリアで，第３～第７ブロックの計５ブロックで構成され，黒曜石Ⅲ類が石材の主体を占める。第３ブロックは黒曜石Ⅲ類のみ，第４ブロックは黒曜石Ⅲ類に黒曜石Ⅱ類，第５ブロックからは黒曜石Ⅱ類に加えチャートが加わる。

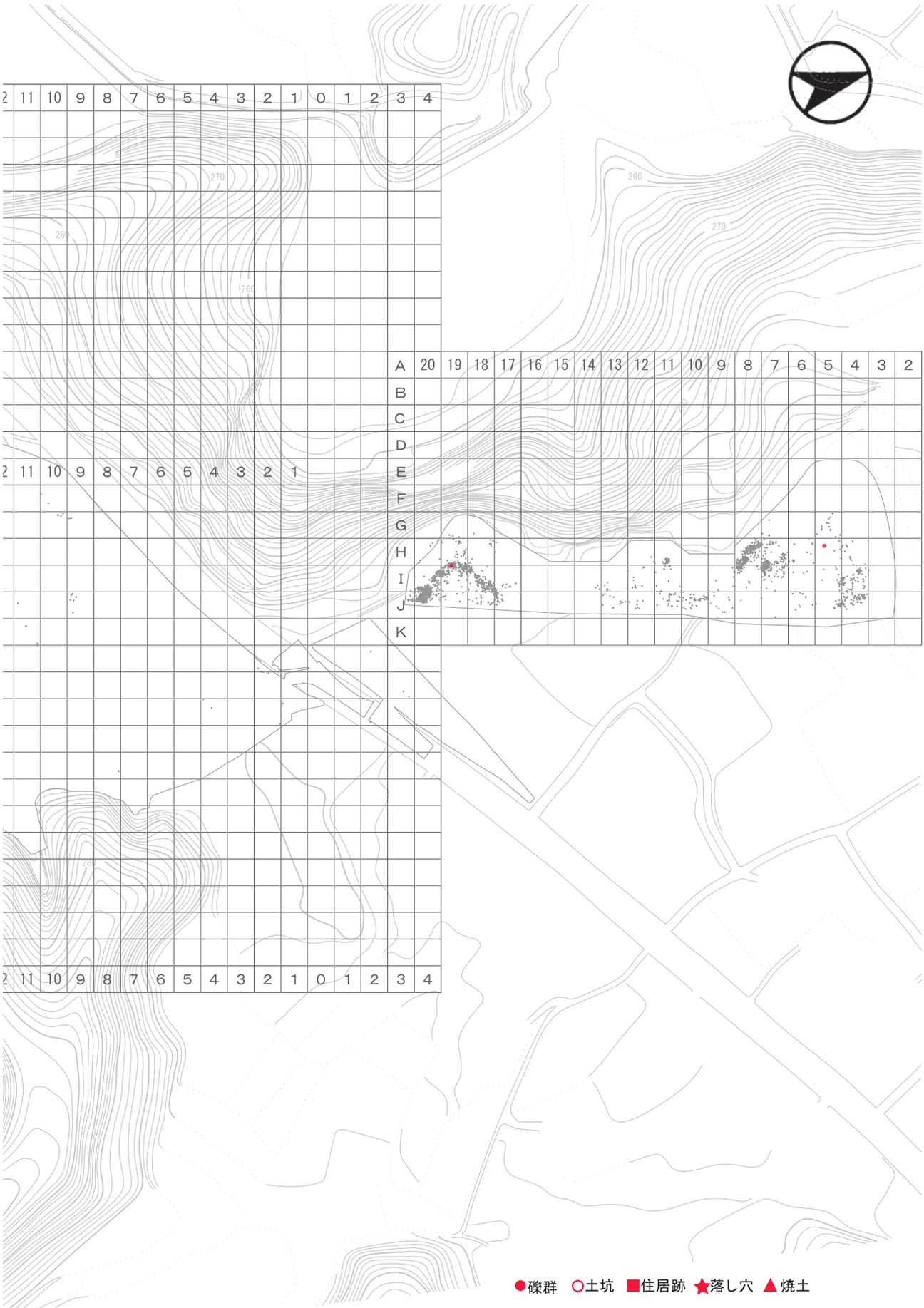
このエリアでは台形石器の製作が確認され，第３ブロックで４点，第５ブロックで11点，第６ブロックで４点，第７ブロックで28点，ブロック外で７点の計54点が確認できる。また，多数の石核，素材剥片さらに２点のハンマーも抽出できる。その他，台形石器以外では，21の小型ナイフ形石器１点と若干の二次加工剥片がみられる。

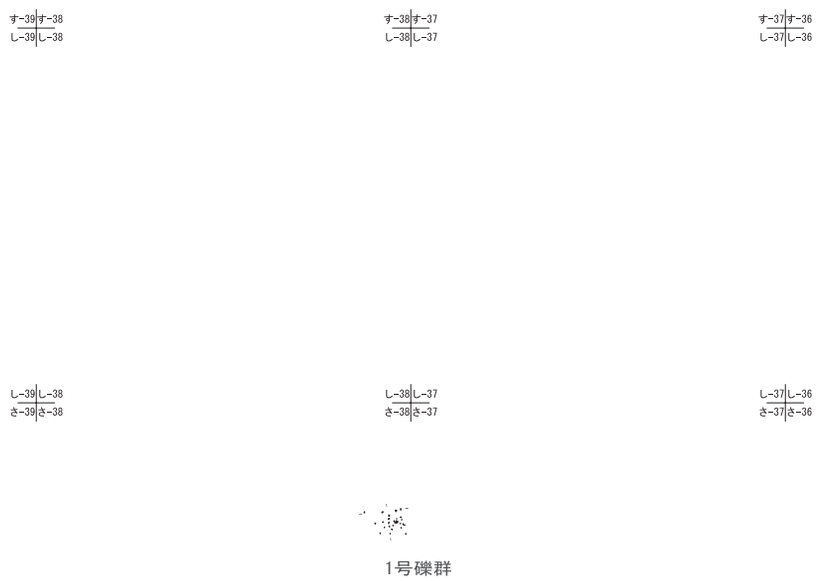
台形石器は不定形の小型剥片を素材に，剥片を横位に用い，打面が石器の一側縁部に設定されている。１や２・26等の刃部は丸刃を，25や28等では直線状の刃部を，３や91は弯曲した刃部を持つが，素材剥片の形状に左右された結果とみられ，素材の形状をそのまま活かした石器製作技術と評価できる。なお，252のような斜刃は少ないようである。また，素材の形状をそのまま活かしているものに，24・28・31・93・104・116・133等が見出せる。

１は両側縁と基部(底面)の３面に刃潰し加工を施している

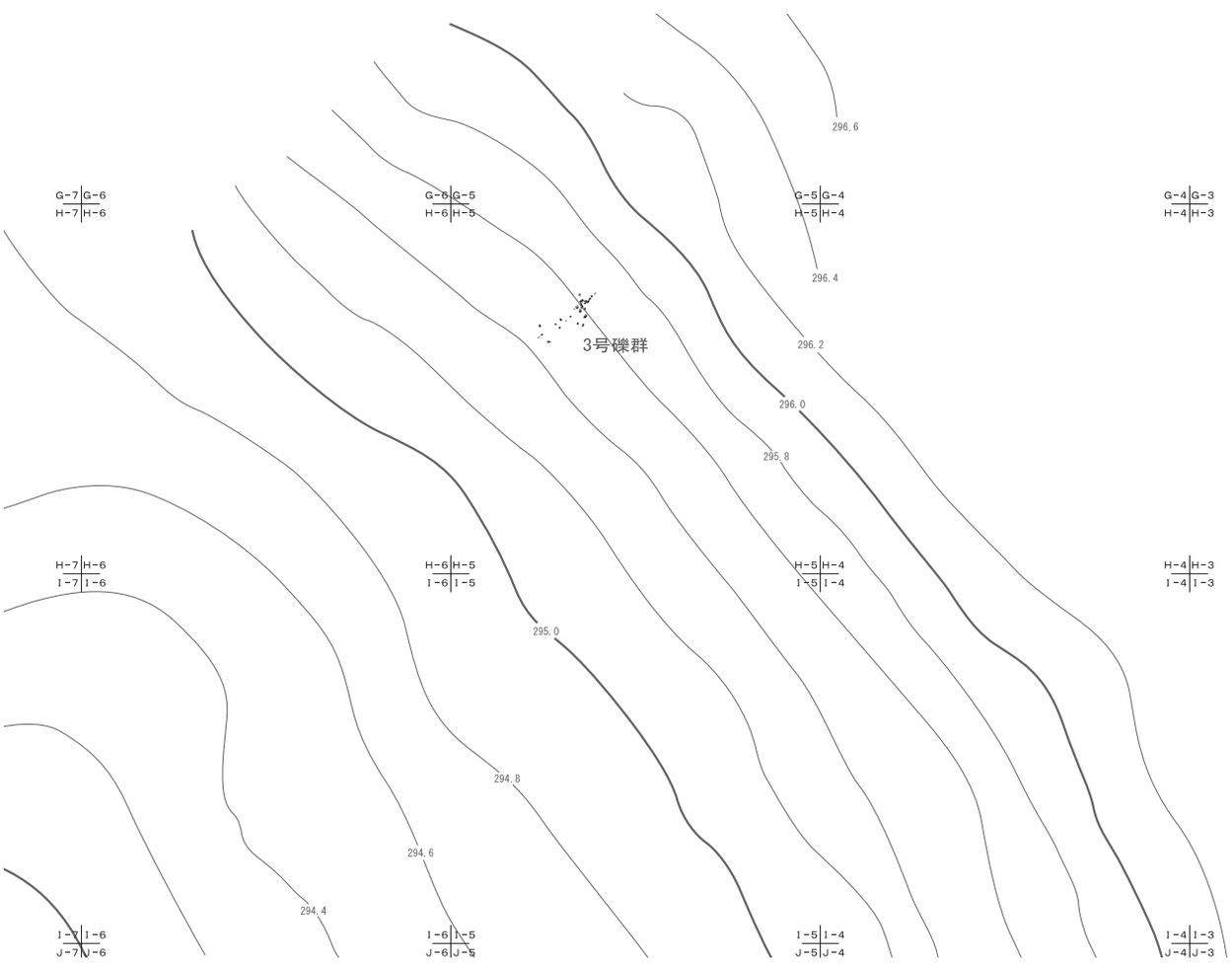


第299図　第Ⅱ文化層全体図（1/2000）

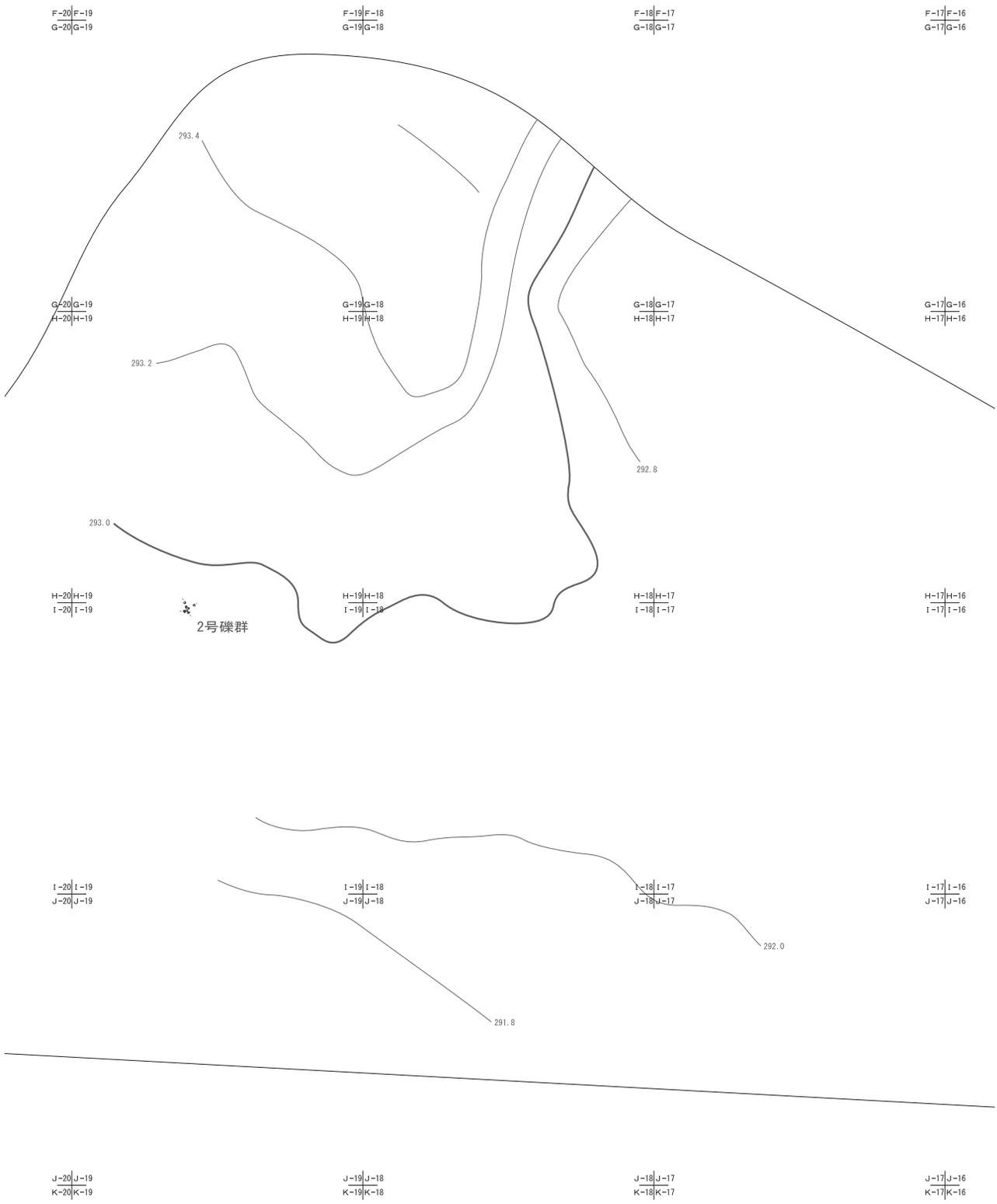

●礫群 ○土坑 ■住居跡 ★落し穴 ▲焼土



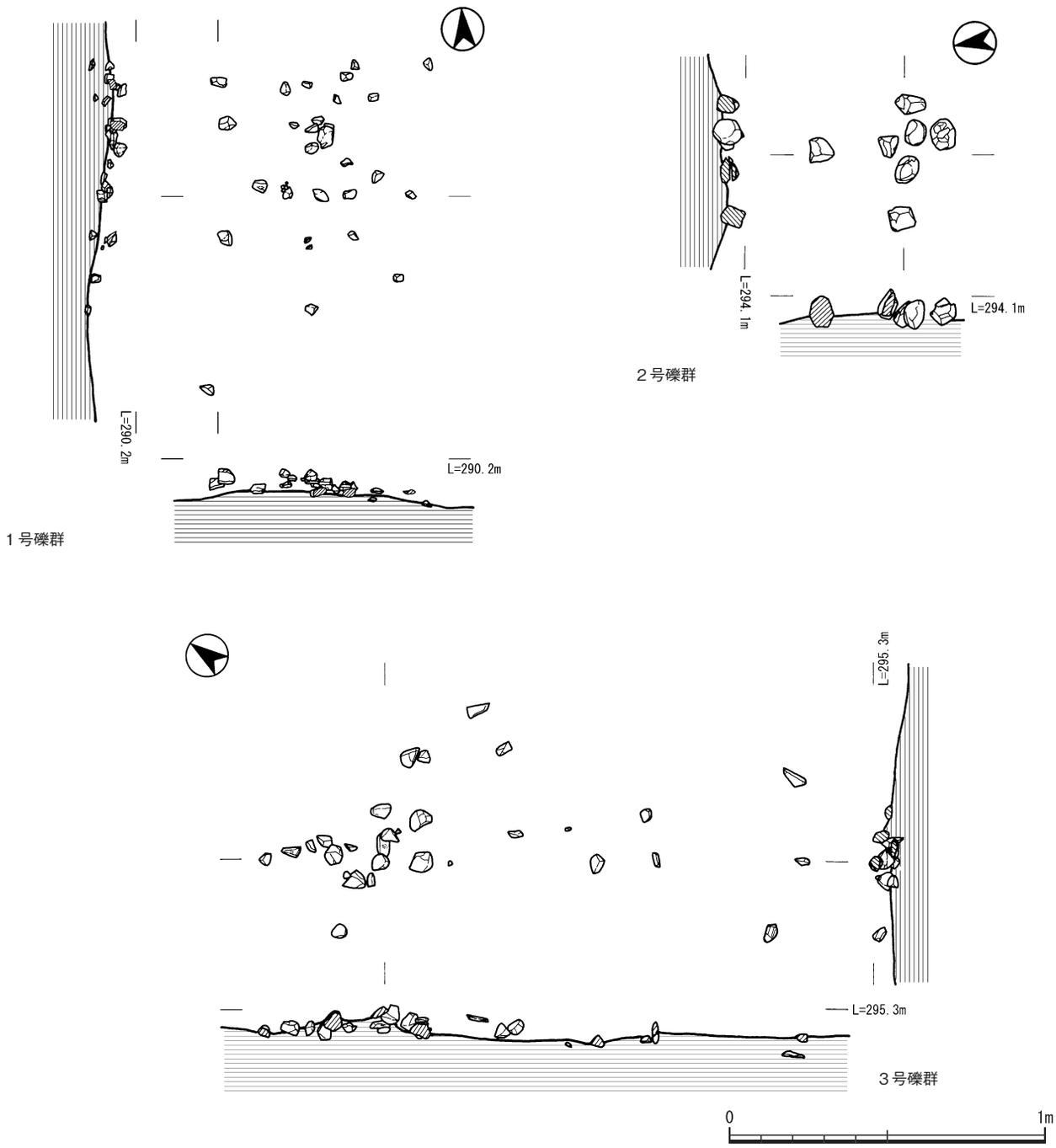
第300図　第Ⅱ文化層遺構配置図１（1/200）



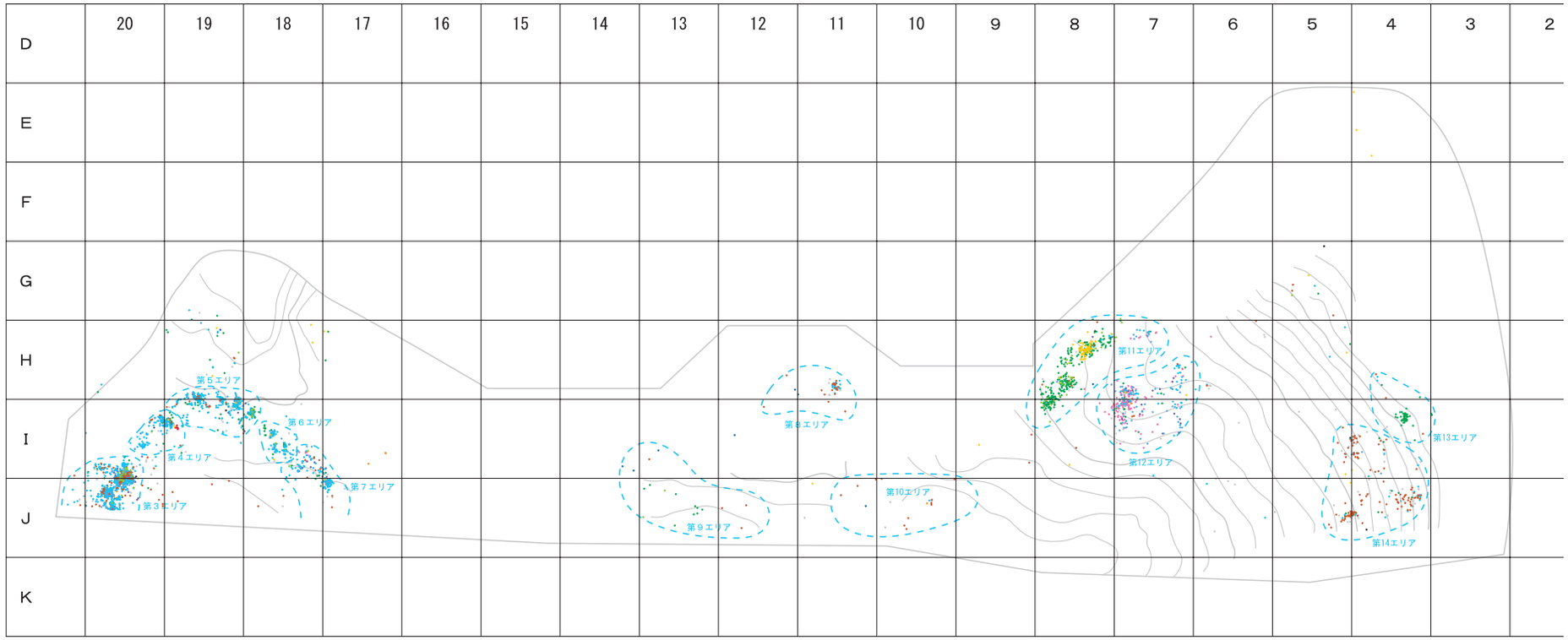
第301図　第Ⅱ文化層遺構配置図２（1/200）



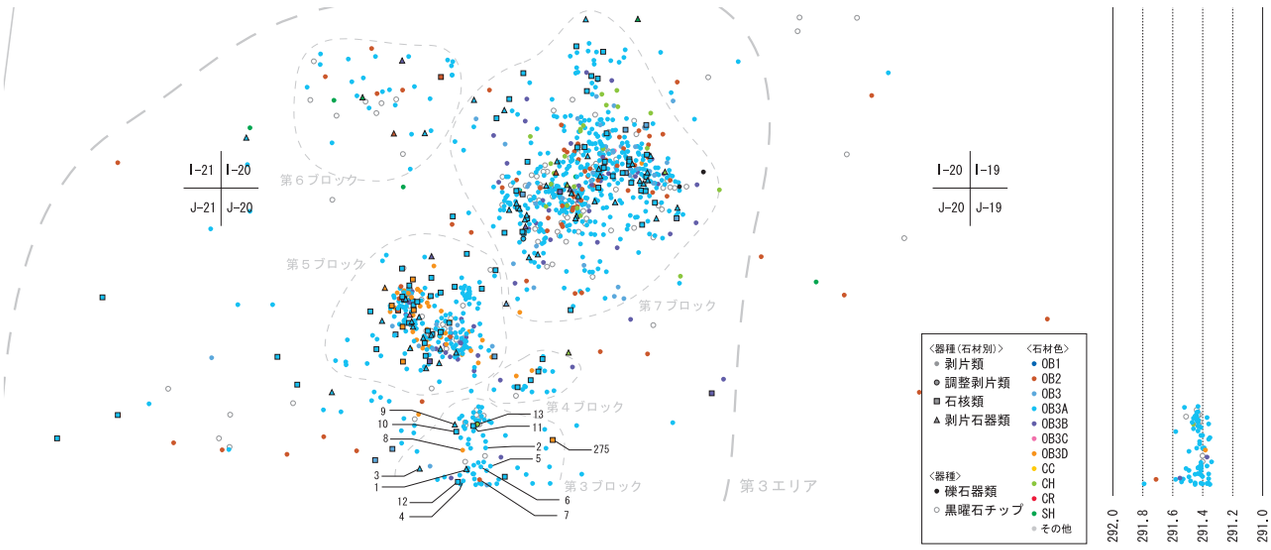
第302図　第Ⅱ文化層遺構配置図３（1/200）



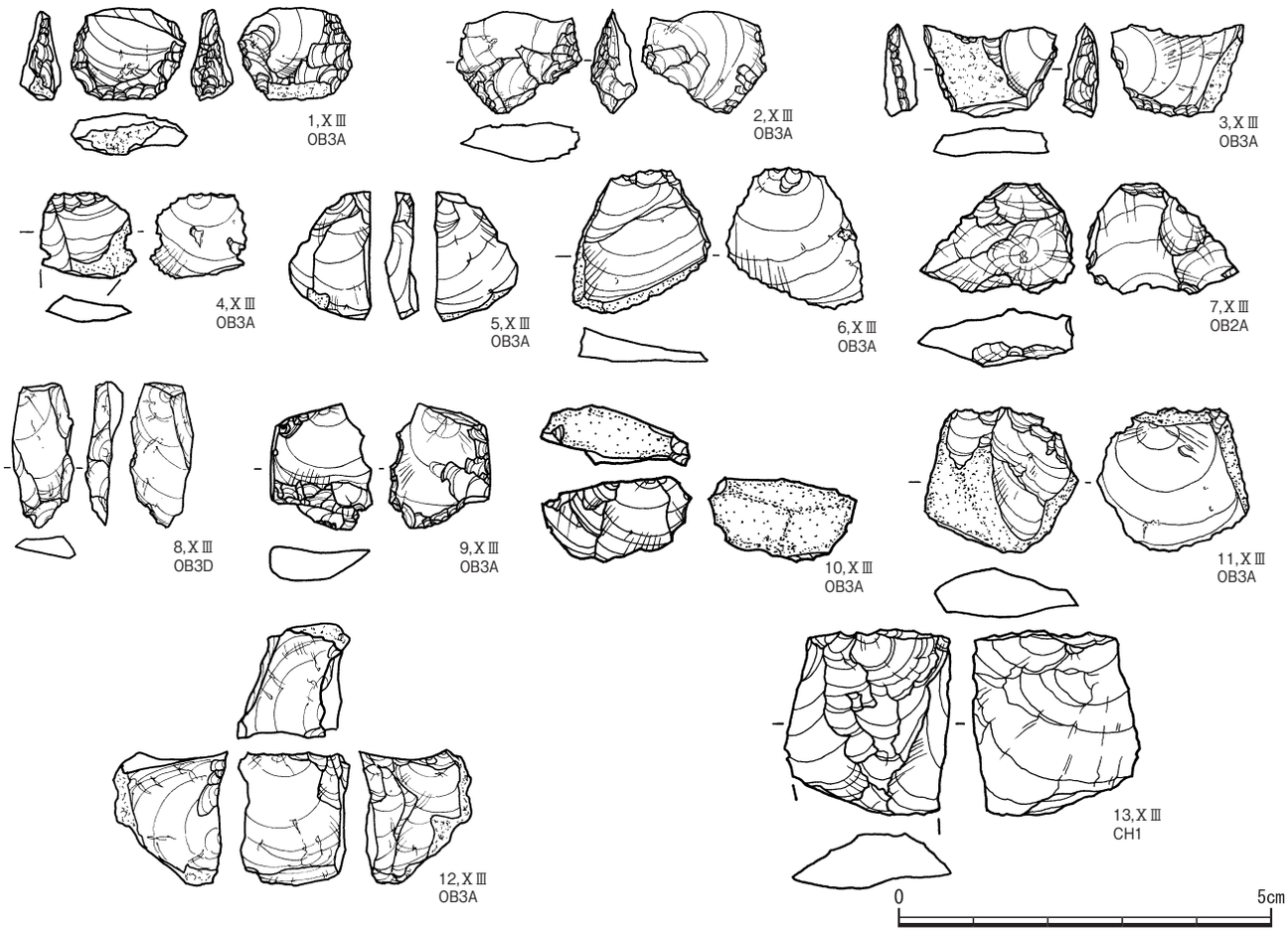
第303図　第Ⅱ文化層遺構実測図（1/20）



第304図　第Ⅱ文化層第３～第14エリア配置図



第305図　第Ⅱ文化層第３エリア第３ブロック石器出土状況図

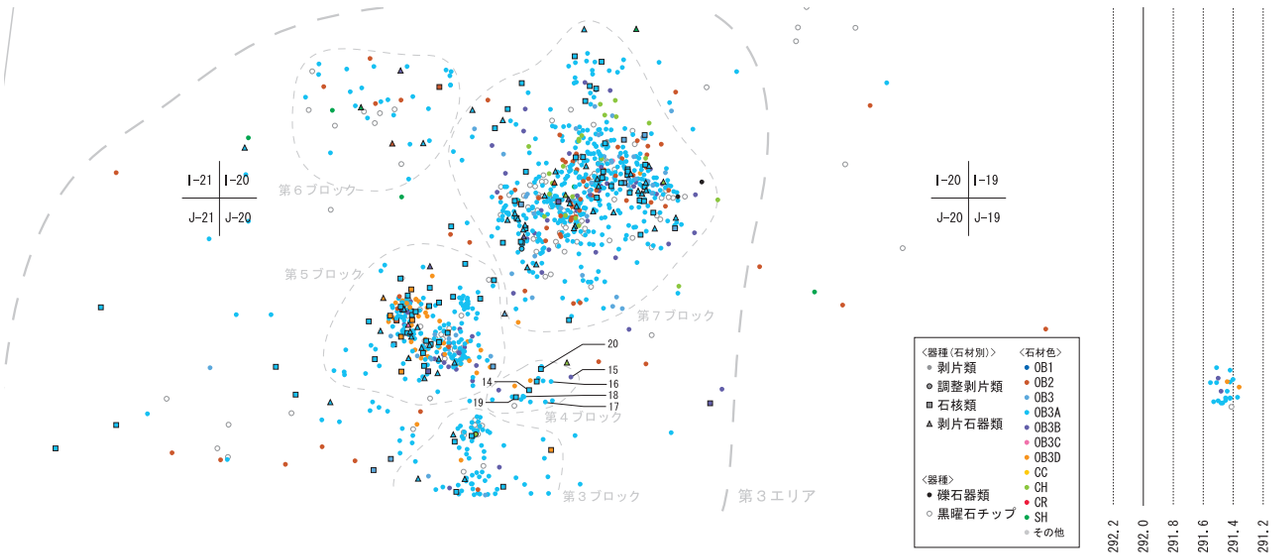


第306図　第Ⅱ文化層第３エリア第３ブロック出土石器実測図

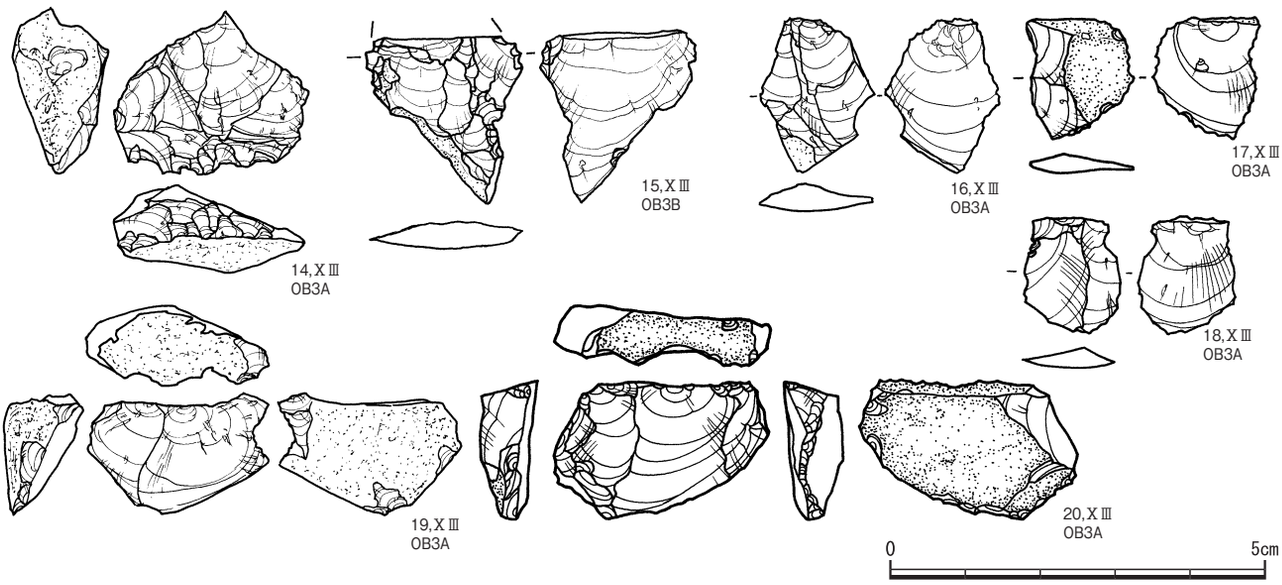
が，このように３面を加工する比率が高く，３・25～31・92・110・113・117・119・253～256等で確認できる。特に，基部の刃潰し加工は，厚みを減じる意図が感じ取れ，１・116・256等では背面，28・31・253等では腹面，26・27・30・110・113・119・254・255等では背面・腹面の両面に施している。また，２・３・25の３点は，横位に用いた素材剥片の直線部を充分に活かして横長の刃部を造り出している。１・３・28・92・99・112等の様に礫面を残す事例が27点と，総数の半数を占めている。

台形石器以外の器種は極めて少なく，21の小型ナイフ形石器のみである。

石核は，分割あるいは先行した剥離面を打面とするものと，角礫素材の平坦な礫面を打面とするものとに大きく二分される。前者は12・72・74・80・86・98・221・225・230～233・241・247で，他は後者が75％以上を占めている。なお，両石核からの剥片剥離は非調整剥離で，寸詰まりの不定



第307図　第Ⅱ文化層第３エリア第４ブロック石器出土状況図



第308図　第Ⅱ文化層第３エリア第４ブロック出土石器実測図

形剥片が取り出されている。

12の打面は打面形成による分割面かあるいは先行した剥離面なのか明らかでないが，３面で剥離作業が行われ，先行した左側面では打面転移が認められる。247の打面は先行した剥離面で，激しく打面転移を繰り返している。86では稜上からの交互剥離が観察される。石核の主体を成す角礫素材の事例では，著しい打面転移は認められず，同一方向からの剥離作業が繰り返されている。なお，この石核に多用される素材は扁平で且つ小型の角礫が一般的と言える。この石核から生産された剥片は，軸の短い不定形剥片が主体で，台形石器の素材剥片としての規格は充分備えている。台形石器の製作にこの小型の礫面を持つ石核が用いられたことは，先に記した台形石器の一部に礫面が残ることとも合致する。

249と250の棒状ハンマーには，使用の痕跡が色濃く残されている。

第４エリア

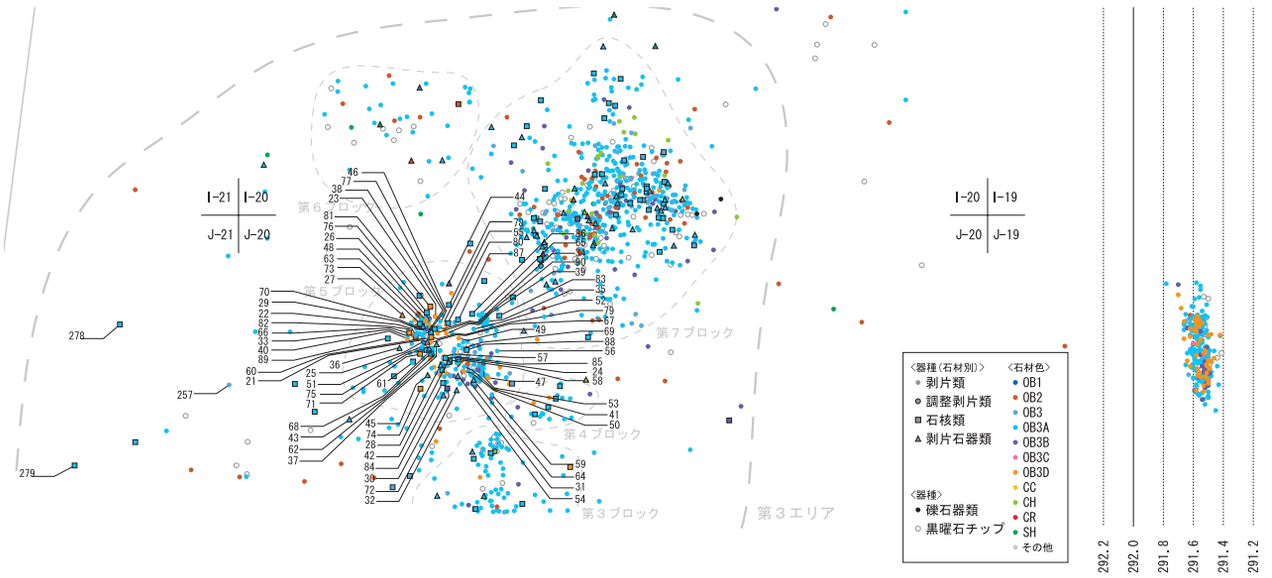
第８と第９ブロックで構成し，黒曜石Ⅲ類を主体に少量の黒曜石Ⅱ類・頁岩・玉髄が含まれる。

第58表　第Ⅱ文化層第３エリア出土石器観察表（１）

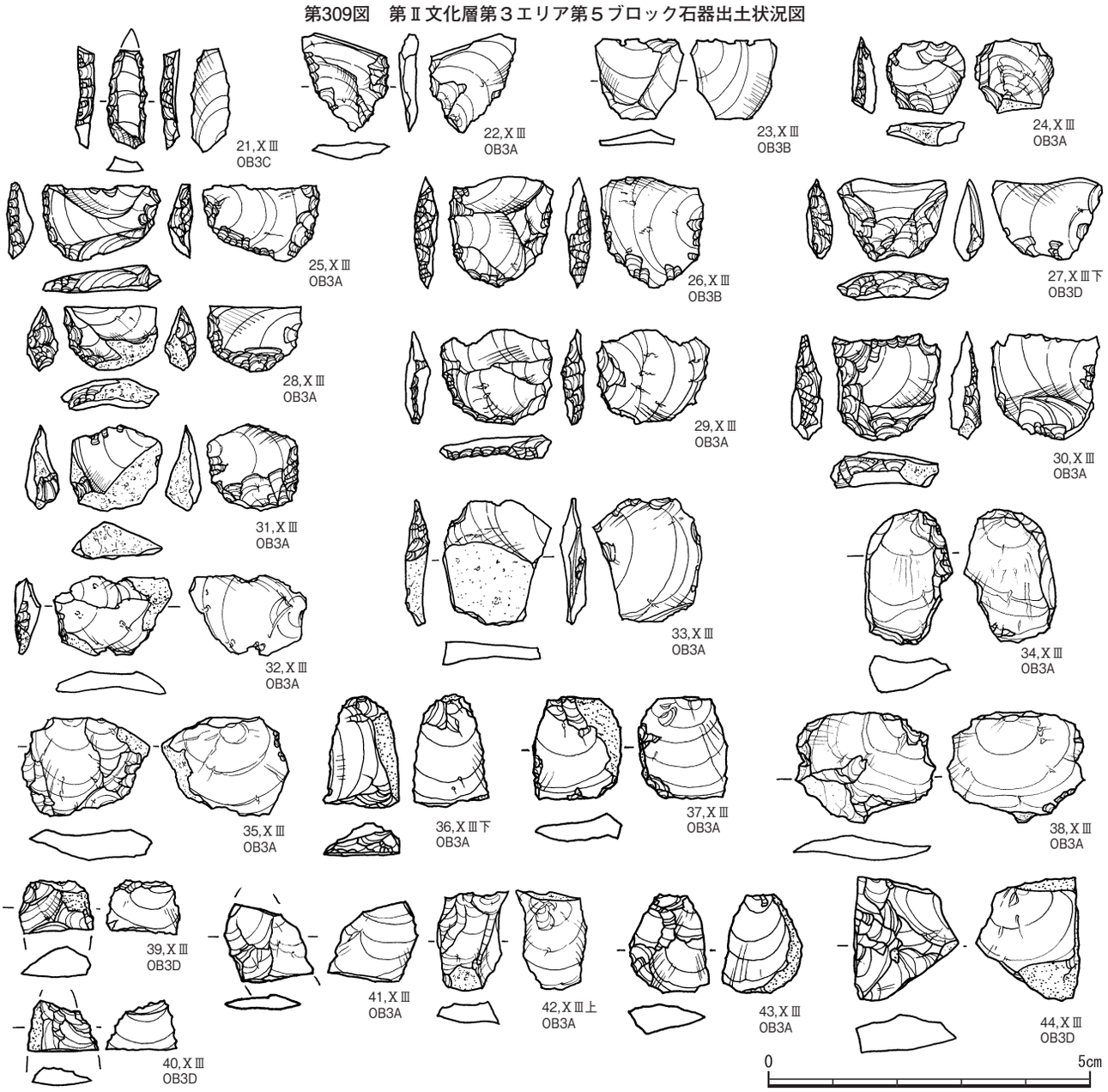
挿図No	図No	エリア	ブロック	分類L2	石材	最大長	最大幅	最大厚	重量	取上No(グリッド/層位)	接合No
306	1	A03	B03	台形石器	OB3A	12.6	15.5	5.7	1.0	▲14940(J-20/XⅢ)	-
306	2	A03	B03	台形石器	OB3A	13.9	16.8	6.3	0.9	▲14983(J-20/XⅢ)	-
306	3	A03	B03	台形石器	OB3A	12.5	18.0	4.8	0.8	▲14968(J-20/XⅢ)	-
306	4	A03	B03	剥片	OB3A	11.7	13.1	2.8	0.4	▲15023(J-20/XⅢ)	-
306	5	A03	B03	剥片	OB3A	17.4	11.4	4.5	1.5	▲15009(J-20/XⅢ)	No.01
306	6	A03	B03	剥片	OB3A	19.2	18.5	8.5	0.9	▲14975(J-20/XⅢ)	-
306	7	A03	B03	剥片	OB2A	15.1	20.6	8.0	1.6	▲15024(J-20/XⅢ)	-
306	8	A03	B03	剥片	OB3D	19.6	8.7	5.2	0.5	▲14985(J-20/XⅢ)	-
306	9	A03	B03	台形石器	OB3A	17.0	13.8	0.0	1.0	▲14987(J-20/XⅢ)	-
306	10	A03	B03	石核	OB3A	11.5	20.0	8.4	1.0	▲14941(J-20/XⅢ)	No.15

第59表　第Ⅱ文化層第３エリア出土石器観察表（２）

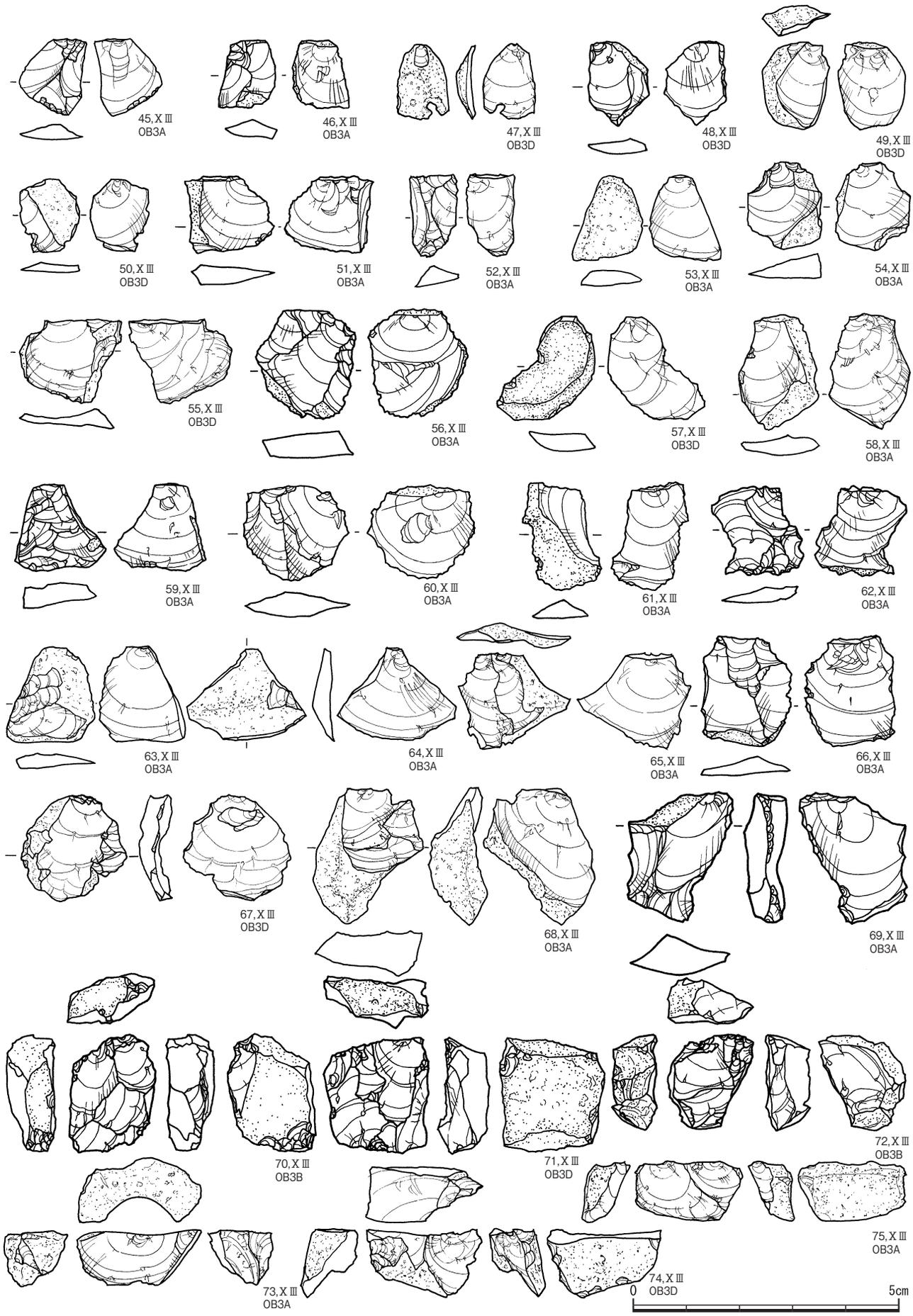
挿図No	図No	エリア	ブロック	分類L2	石材	最大長	最大幅	最大厚	重量	取上No(グリッド/層位)	接合No
306	11	A03	B03	剥片	OB3A	19.5	20.6	10.4	2.5	▲14991(J-20/XⅢ)	-
306	12	A03	B03	石核	OB3A	18.2	15.1	15.3	3.9	▲15022(J-20/XⅢ)	No.01
306	13	A03	B03	剥片	CH1	25.1	22.7	10.8	4.5	▲14945(J-20/XⅢ)	-
308	14	A03	B04	石核	OB3A	21.8	26.2	13.0	4.2	▲14478(J-20/XⅢ)	No.02
308	15	A03	B04	剥片	OB3B	23.2	21.0	3.6	1.4	▲11872(J-20/XⅢ)	-
308	16	A03	B04	剥片	OB3A	20.7	15.6	3.6	0.9	▲11869(J-20/XⅢ)	-
308	17	A03	B04	剥片	OB3A	16.5	14.6	2.9	0.5	▲14480(J-20/XⅢ)	-
308	18	A03	B04	剥片	OB3A	16.0	13.3	3.5	0.5	▲14476(J-20/XⅢ)	-
308	19	A03	B04	石核	OB3A	16.4	24.6	10.9	3.2	▲14613(J-20/XⅢ)	-
308	20	A03	B04	石核	OB3A	18.9	29.4	8.1	3.2	▲14481(J-20/XⅢ)	-



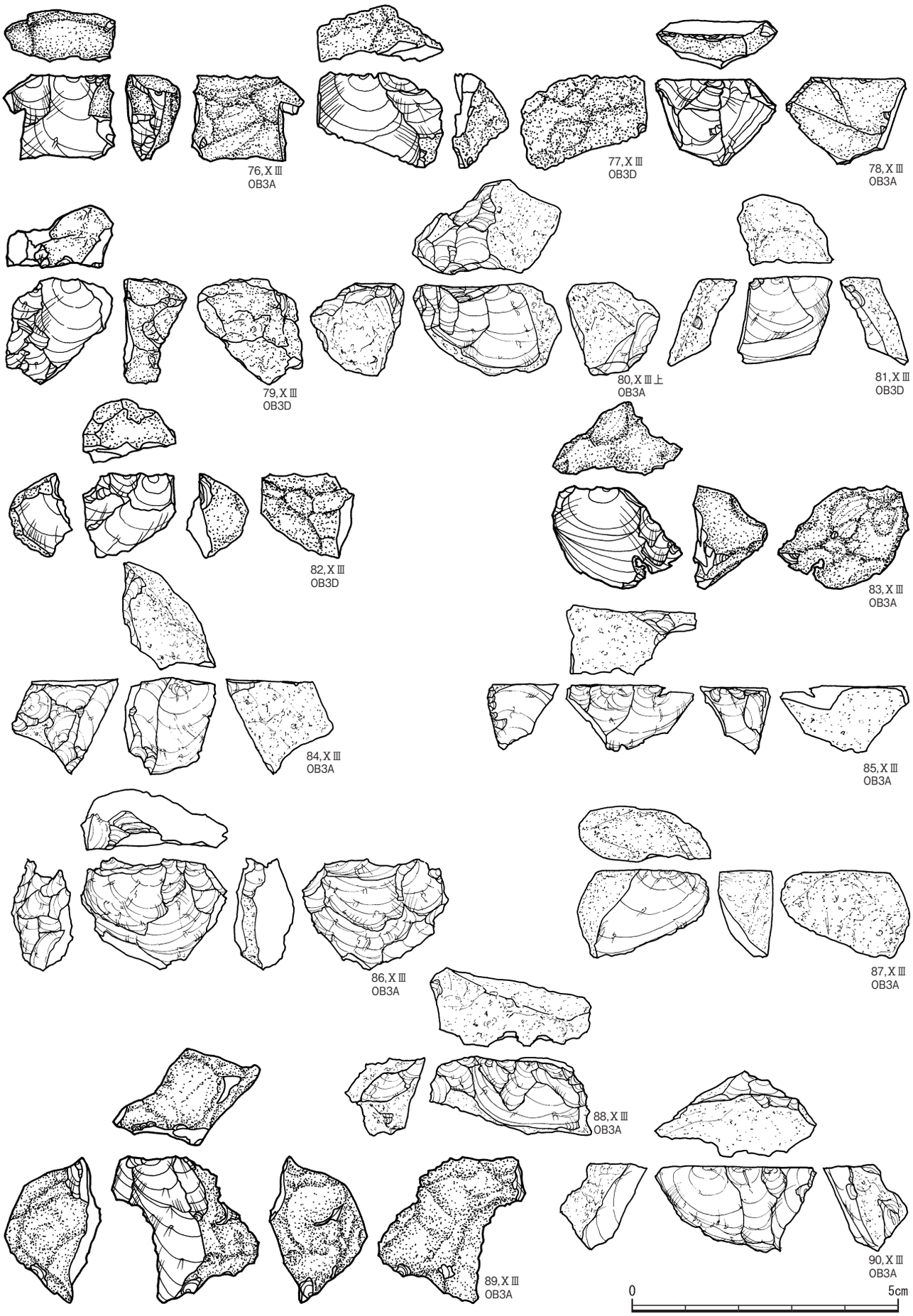
第309図　第Ⅱ文化層第３エリア第５ブロック石器出土状況図



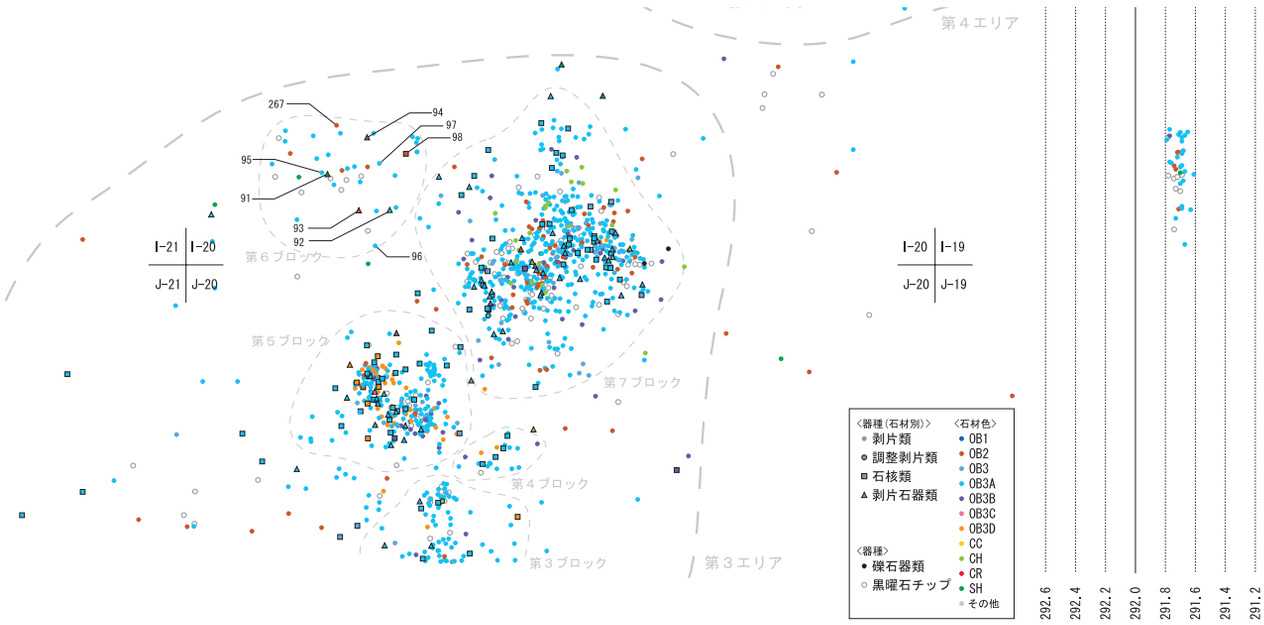
第310図　第Ⅱ文化層第３エリア第５ブロック出土石器実測図（１）



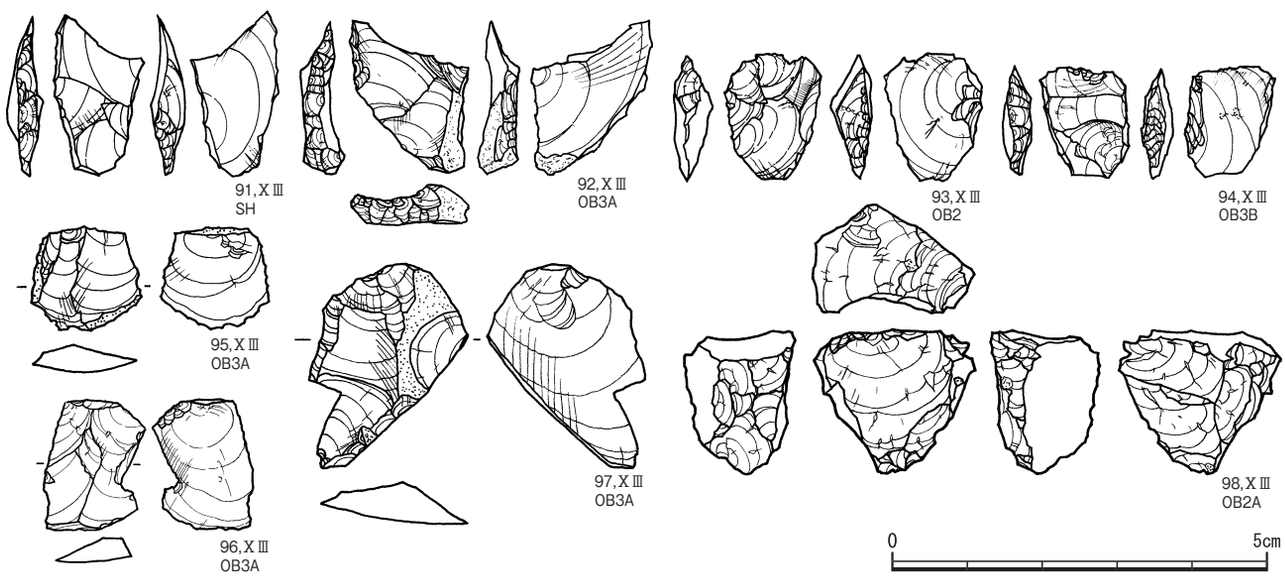
第311図　第Ⅱ文化層第３エリア第５ブロック出土石器実測図（２）



第312図　第Ⅱ文化層第３エリア第５ブロック出土石器実測図（３）



第313図　第Ⅱ文化層第３エリア第６ブロック石器出土状況図



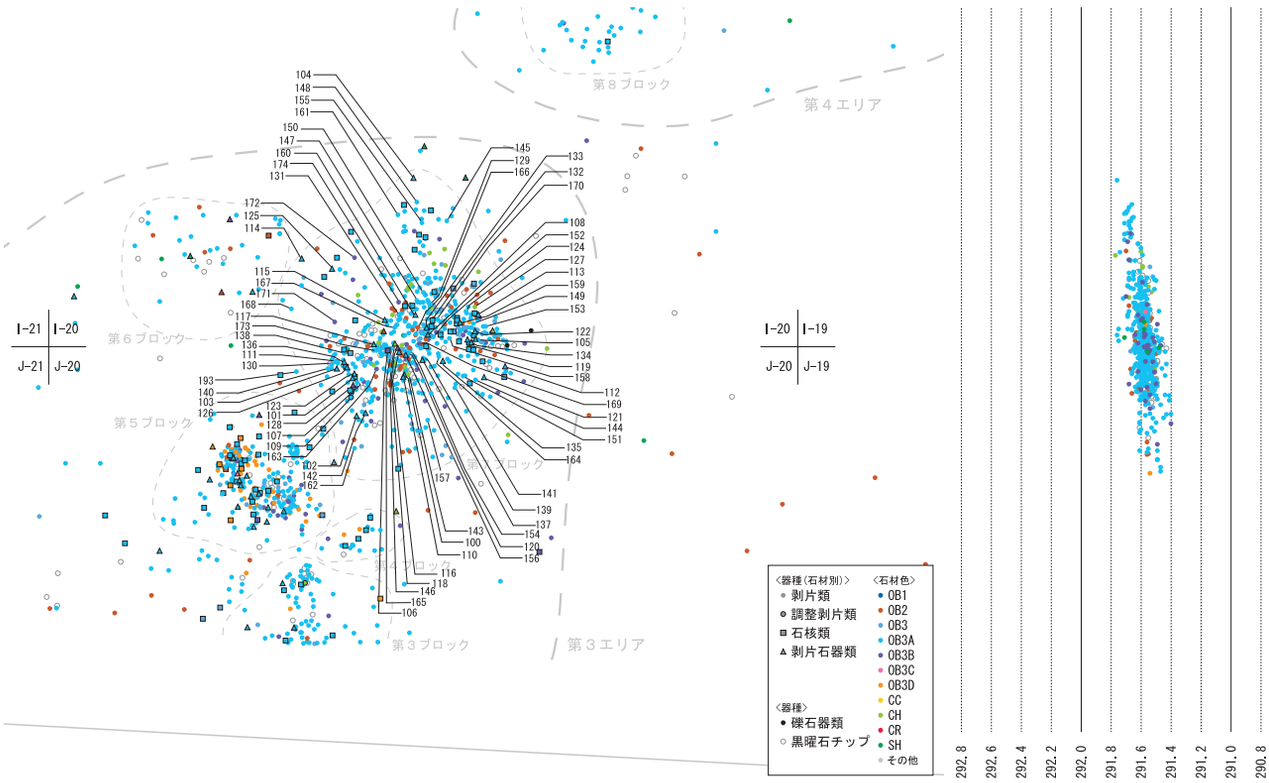
第314図　第Ⅱ文化層第３エリア第６ブロック出土石器実測図

第60表　第Ⅱ文化層第３エリア出土石器観察表（３）

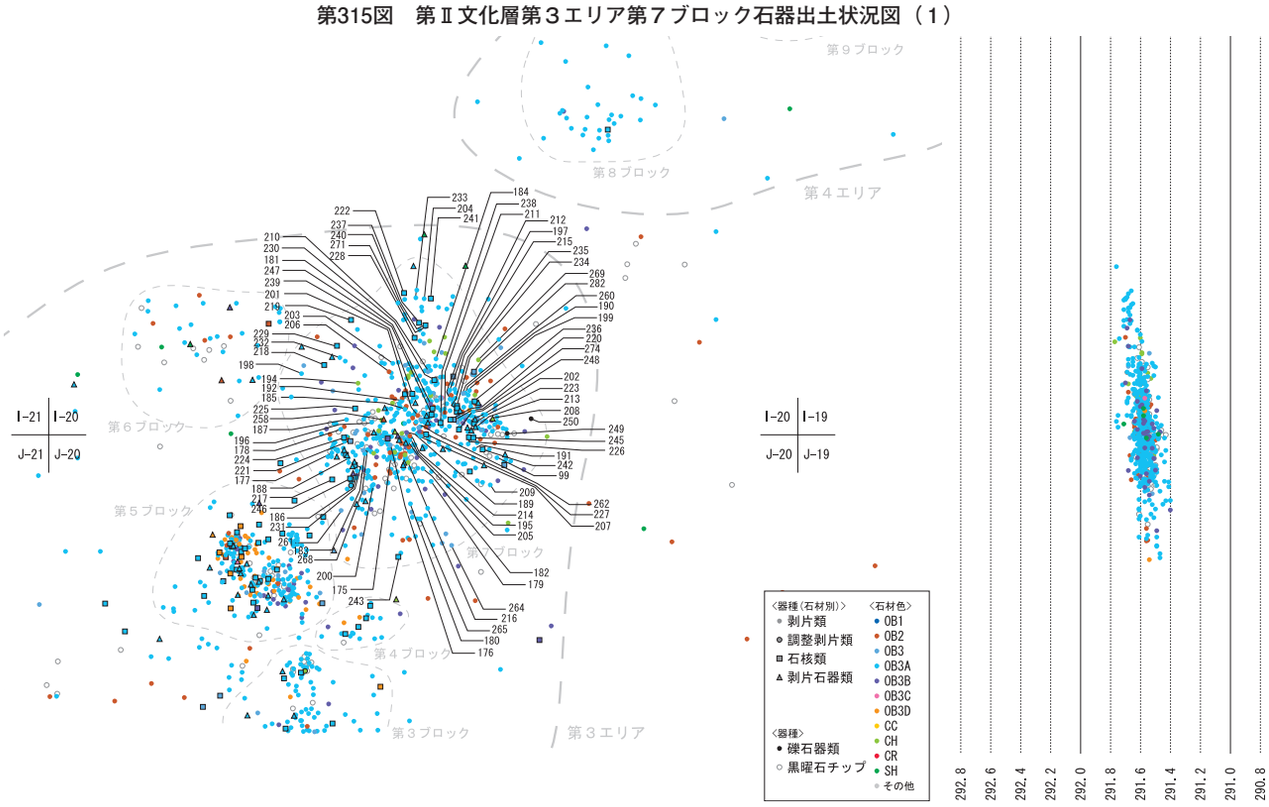
挿図No	図No	エリア	ブロック	分類L2	石材	最大長	最大幅	最大厚	重量	取上No(グリッド/層位)	接合No
310	21	A03	B05	ナイフ形石器	OB3C	16.3	6.3	3.3	0.4	▲14425(J-20/XⅢ)	-
310	22	A03	B05	台形石器	OB3A	15.6	13.7	3.2	0.1	▲12203(J-20/XⅢ)	-
310	23	A03	B05	剥片	OB3B	12.6	13.6	2.9	0.3	▲14709(J-20/XⅢ)	No.18
310	24	A03	B05	台形石器	OB3A	11.7	12.4	4.1	0.6	▲14435(J-20/XⅢ)	-
310	25	A03	B05	台形石器	OB3A	12.2	18.4	4.3	0.7	▲14426(J-20/XⅢ)	-
310	26	A03	B05	台形石器	OB3B	17.4	16.2	3.9	1.1	▲11779(J-20/XⅢ)	-
310	27	A03	B05	台形石器	OB3D	12.9	17.4	4.2	0.9	▲11755(J-20/XⅢ下)	-
310	28	A03	B05	台形石器	OB3A	10.4	14.8	5.0	0.7	▲14601(J-20/XⅢ)	-
310	29	A03	B05	台形石器	OB3A	14.8	17.7	4.1	0.9	▲14416(J-20/XⅢ)	-
310	30	A03	B05	台形石器	OB3A	16.6	17.0	5.1	1.2	▲14442(J-20/XⅢ)	-
310	31	A03	B05	台形石器	OB3A	13.7	14.4	5.5	0.9	▲12239(J-20/XⅢ)	No.11
310	32	A03	B05	台形石器	OB3A	12.7	18.4	4.3	-	▲11796(J-20/XⅢ)	No.10
310	33	A03	B05	台形石器	OB3A	19.4	17.2	4.0	0.8	▲14420(J-20/XⅢ)	-
310	34	A03	B05	剥片	OB3A	20.9	14.5	3.7	1.5	▲12268(J-20/XⅢ)	-
310	35	A03	B05	二次加工痕剥片	OB3A	15.6	20.0	3.8	1.2	▲11840(J-20/XⅢ)	-

第61表　第Ⅱ文化層第３エリア出土石器観察表（４）

挿図No	図No	エリア	ブロック	分類L2	石材	最大長	最大幅	最大厚	重量	取上No(グリッド/層位)	接合No
310	36	A03	B05	微細剥離痕剥片	OB3A	17.7	12.1	4.2	0.8	▲11757(J-20/XⅢ下)	-
310	37	A03	B05	剥片	OB3A	16.1	14.2	-	0.9	▲12228(J-20/XⅢ)	-
310	38	A03	B05	剥片	OB3A	17.5	21.5	3.9	1.3	▲12275(J-20/XⅢ)	-
310	39	A03	B05	剥片	OB3D	8.7	11.6	4.9	0.4	▲14592(J-20/XⅢ)	-
310	40	A03	B05	剥片	OB3D	7.9	11.3	2.7	0.2	▲12205(J-20/XⅢ)	-
310	41	A03	B05	剥片	OB3A	12.6	14.2	2.9	0.3	▲14453(J-20/XⅢ)	-
310	42	A03	B05	剥片	OB3A	15.6	11.2	3.5	0.6	▲11790(J-20/XⅢ上)	-
310	43	A03	B05	剥片	OB3A	15.6	12.6	4.4	0.7	▲14429(J-20/XⅢ)	-
310	44	A03	B05	剥片	OB3D	19.4	16.4	9.1	1.8	▲14642(J-20/XⅢ)	No.17
311	45	A03	B05	微細剥離痕剥片	OB3A	14.7	13.0	-	0.5	▲11792(J-20/XⅢ)	-
311	46	A03	B05	剥片	OB3A	13.2	10.9	3.4	0.5	▲14403(J-20/XⅢ)	-
311	47	A03	B05	剥片	OB3D	14.3	10.1	3.9	0.4	▲11819(J-20/XⅢ)	-
311	48	A03	B05	剥片	OB3D	16.0	12.0	5.0	0.6	▲14639(J-20/XⅢ)	No.07
311	49	A03	B05	剥片	OB3D	16.8	12.9	6.0	0.9	▲14434(J-20/XⅢ)	-
311	50	A03	B05	剥片	OB3D	13.8	11.3	2.5	0.3	▲11800(J-20/XⅢ)	-



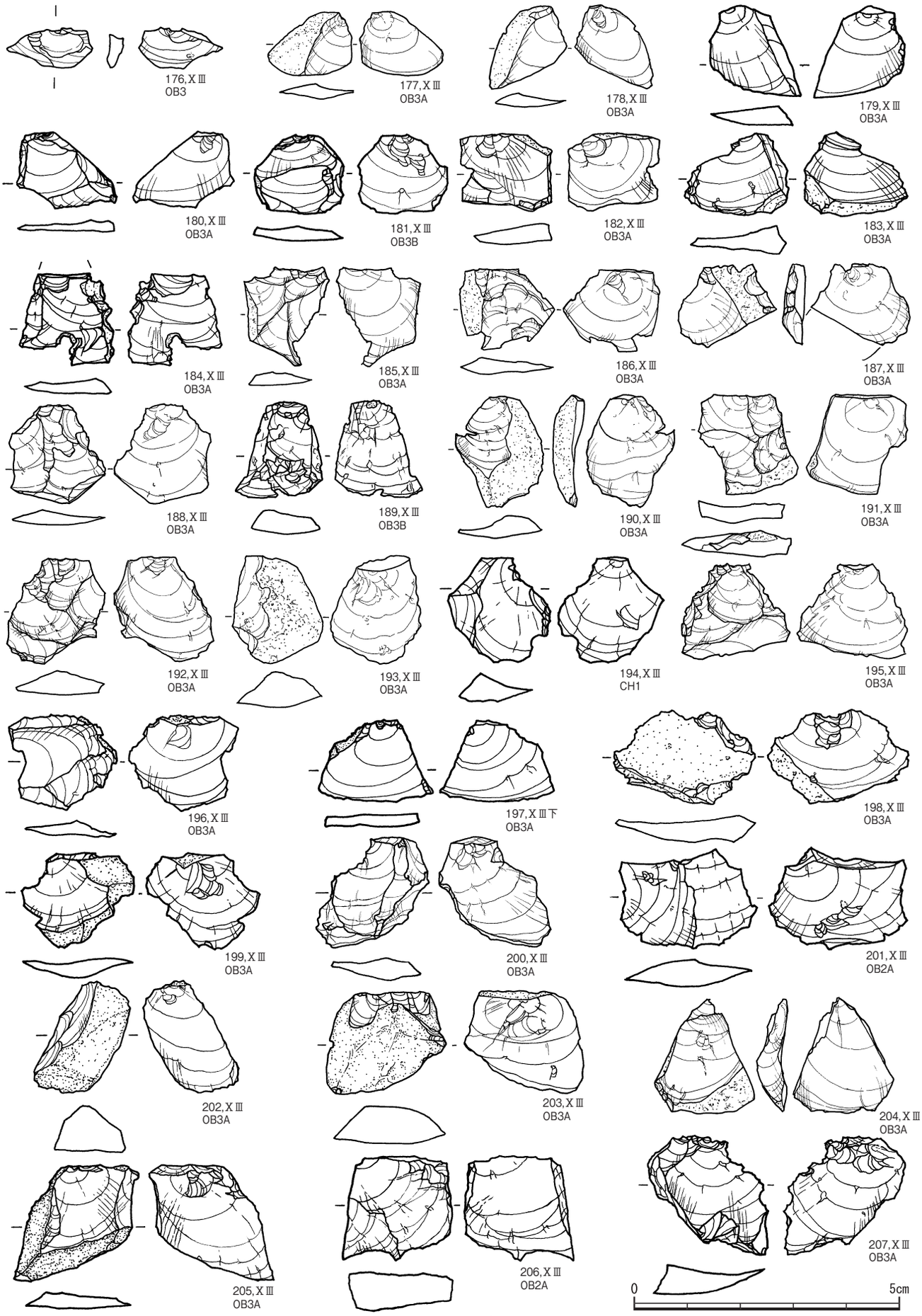
第315図　第Ⅱ文化層第３エリア第７ブロック石器出土状況図（１）



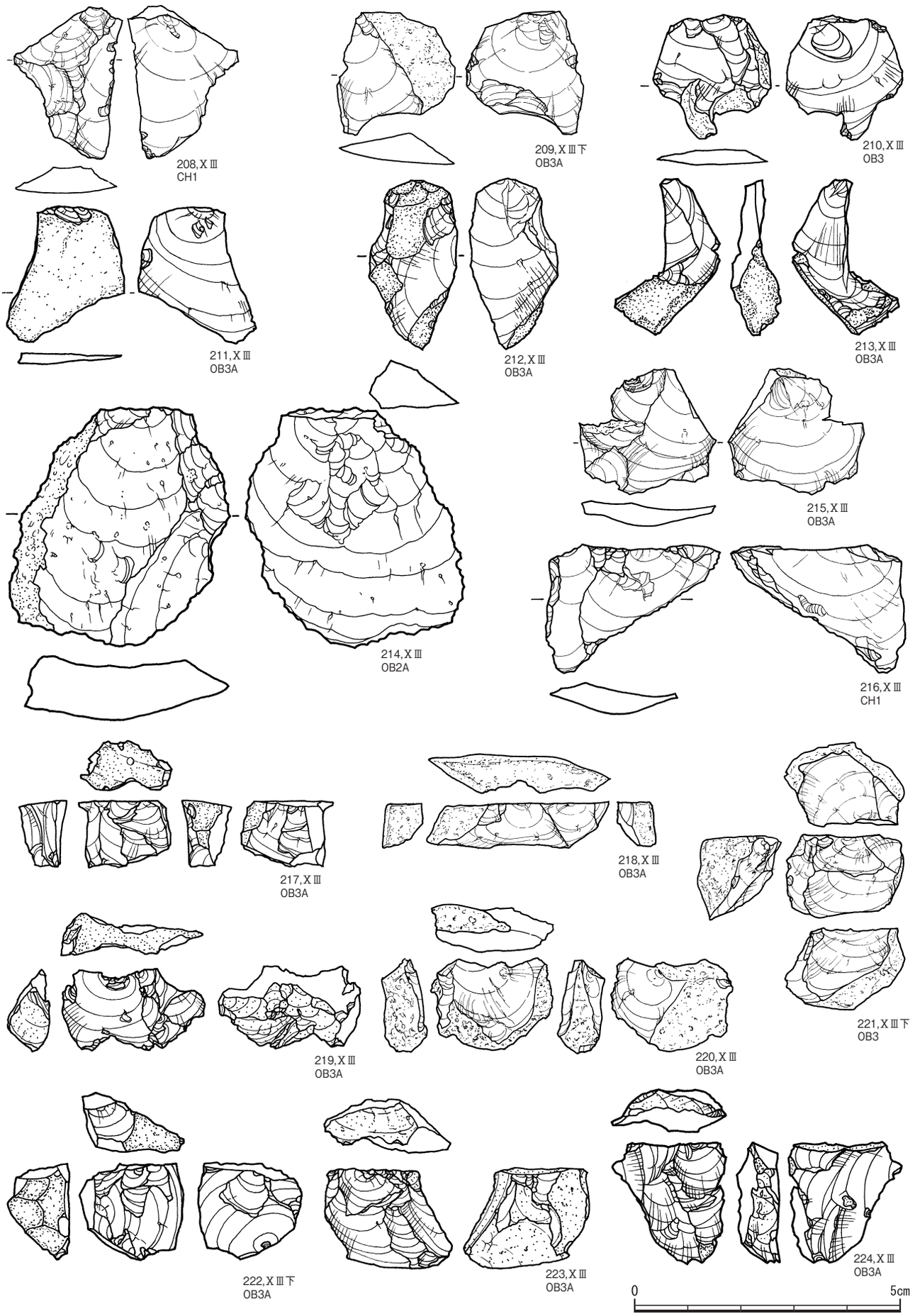
第316図　第Ⅱ文化層第３エリア第７ブロック石器出土状況図（２）

第317図　第Ⅱ文化層第３エリア第７ブロック出土石器実測図（１）

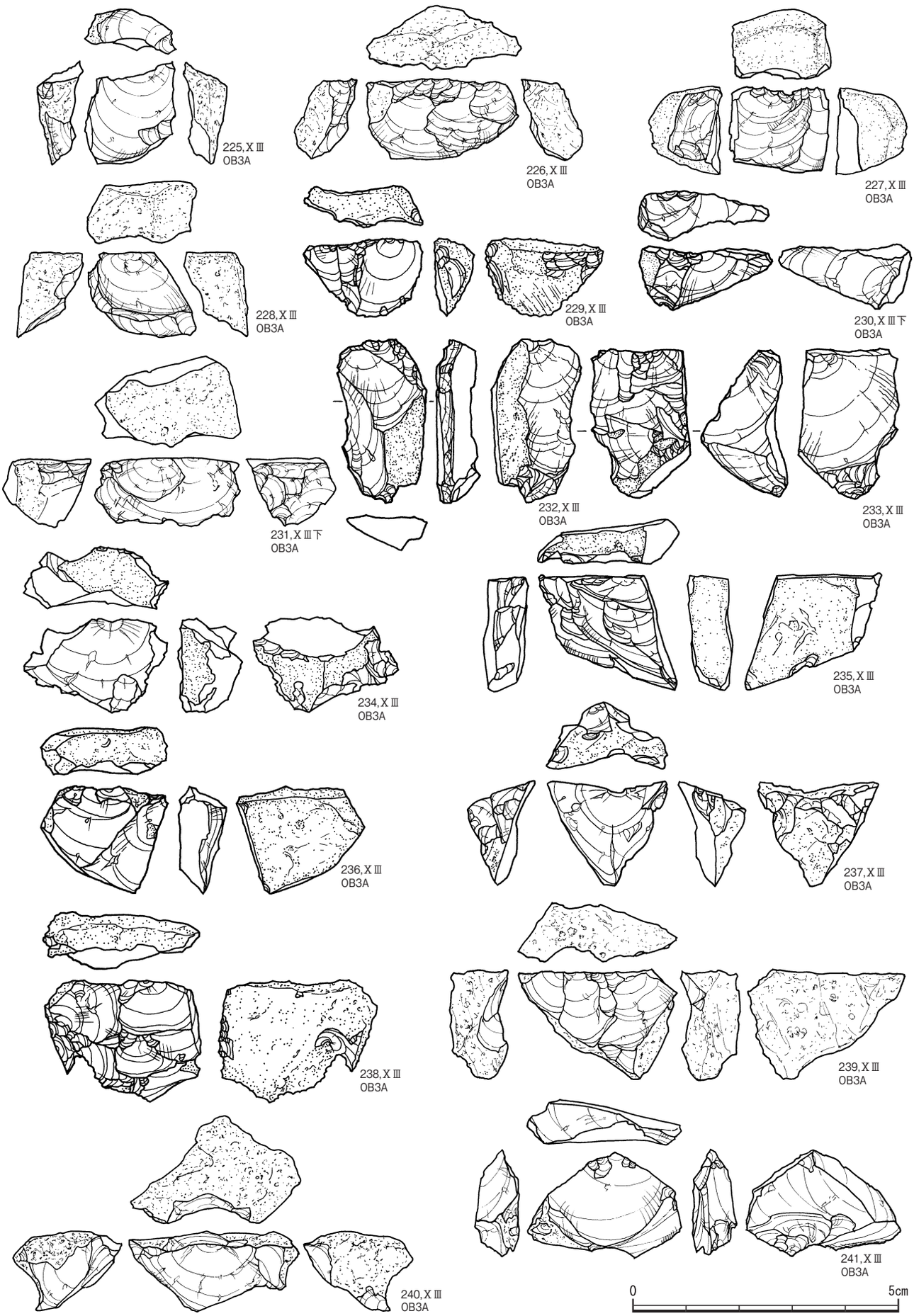
第318図　第Ⅱ文化層第３エリア第７ブロック出土石器実測図（２）



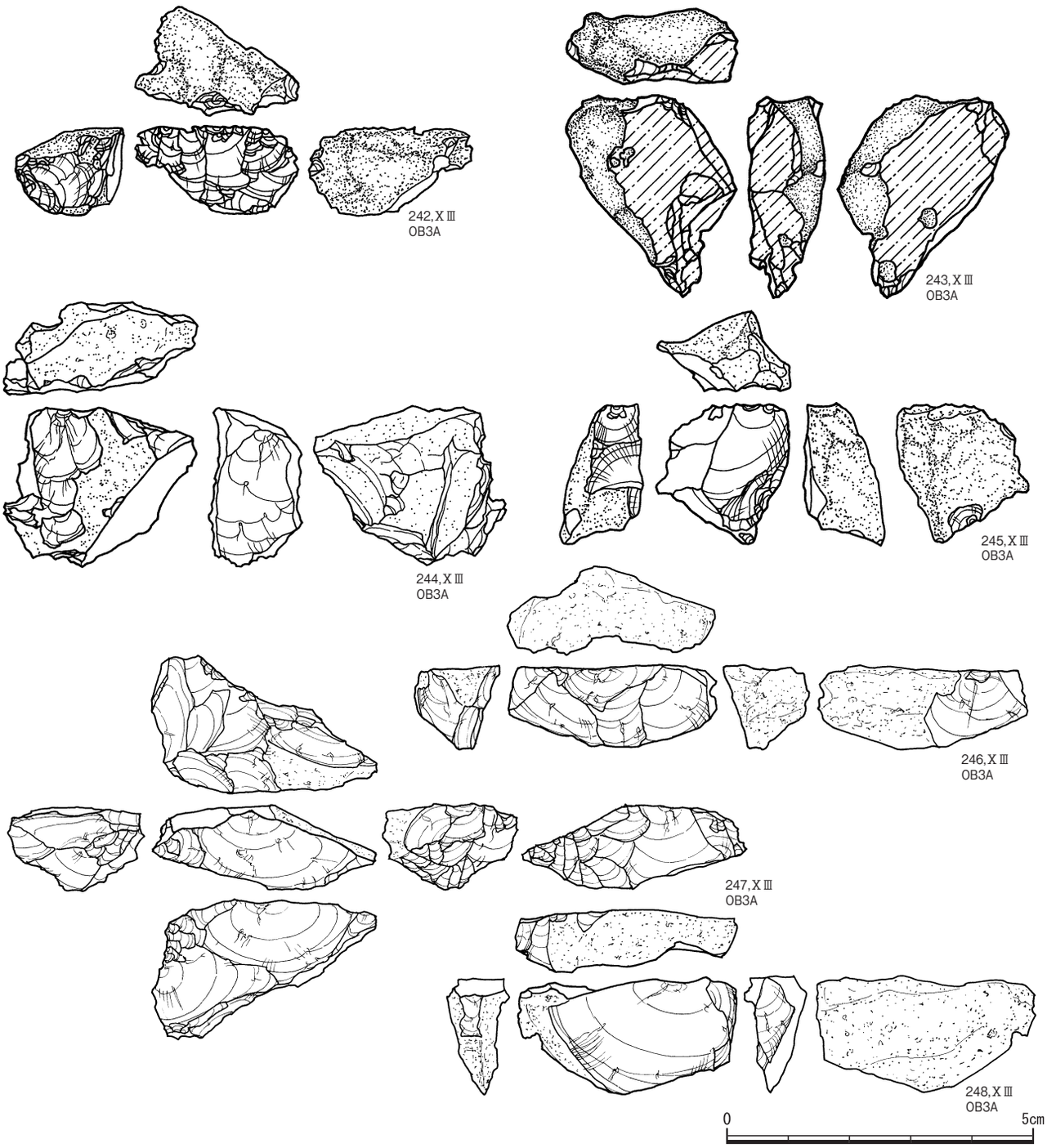
第319図　第Ⅱ文化層第３エリア第７ブロック出土石器実測図（３）



第320図　第Ⅱ文化層第３エリア第７ブロック出土石器実測図（４）



第321図　第Ⅱ文化層第３エリア第７ブロック出土石器実測図（５）



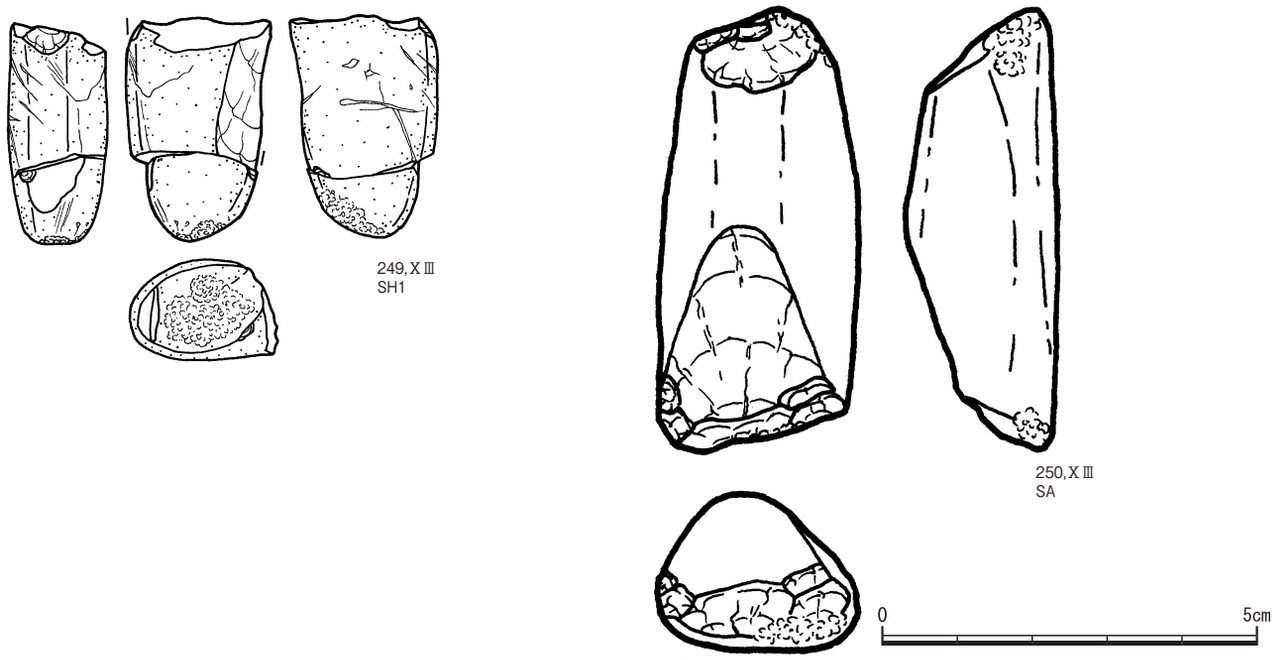
第322図　第Ⅱ文化層第３エリア第７ブロック出土石器実測図（６）

第62表　第Ⅱ文化層第３エリア出土石器観察表（５）

挿図No	図No	エリア	ブロック	分類L2	石材	最大長	最大幅	最大厚	重量	取上No(グリッド/層位)	接合No
311	51	A03	B05	剥片	OB3A	14.7	16.9	4.1	0.9	▲12222(J-20/XⅢ)	-
311	52	A03	B05	剥片	OB3A	15.8	9.4	3.9	0.5	▲12292(J-20/XⅢ)	-
311	53	A03	B05	剥片	OB3A	16.3	13.7	4.0	0.7	▲12251(J-20/XⅢ)	-
311	54	A03	B05	二次加工痕剥片	OB3A	16.8	14.3	4.5	1.1	▲11801(J-20/XⅢ)	-
311	55	A03	B05	剥片	OB3D	16.1	19.6	4.2	1.2	▲12267(J-20/XⅢ)	-
311	56	A03	B05	剥片	OB3A	20.6	19.1	4.0	1.9	▲11827(J-20/XⅢ)	No.09
311	57	A03	B05	剥片	OB3D	19.6	18.5	5.0	1.3	▲14644(J-20/XⅢ)	No.12
311	58	A03	B05	剥片	OB3A	21.9	15.5	6.0	1.4	▲11803(J-20/XⅢ)	-
311	59	A03	B05	剥片	OB3A	16.7	17.4	4.6	1.2	▲14470(J-20/XⅢ)	-
311	60	A03	B05	剥片	OB3A	17.9	20.5	6.5	1.5	▲14594(J-20/XⅢ)	-
311	61	A03	B05	剥片	OB3A	20.5	14.7	4.2	0.7	▲12207(J-20/XⅢ)	-
311	62	A03	B05	剥片	OB3A	17.2	17.5	4.3	0.1	▲14427(J-20/XⅢ)	-
311	63	A03	B05	剥片	OB3A	18.2	16.4	5.0	0.9	▲12280(J-20/XⅢ)	No.05
311	64	A03	B05	剥片	OB3A	17.6	22.6	4.3	0.9	▲12257(J-20/XⅢ)	-
311	65	A03	B05	剥片	OB3A	18.1	21.6	5.0	0.8	▲12284(J-20/XⅢ)	-

第63表　第Ⅱ文化層第３エリア出土石器観察表（６）

挿図No	図No	エリア	ブロック	分類L2	石材	最大長	最大幅	最大厚	重量	取上No(グリッド/層位)	接合No
311	66	A03	B05	剥片	OB3A	21.2	17.3	5.1	1.3	▲12204(J-20/XⅢ)	-
311	67	A03	B05	剥片	OB3D	20.0	20.4	6.5	1.3	▲14595(J-20/XⅢ)	-
311	68	A03	B05	剥片	OB3A	25.9	21.2	11.3	3.3	▲12225(J-20/XⅢ)	-
311	69	A03	B05	微細剥離痕剥片	OB3A	24.9	20.5	8.5	2.3	▲14447(J-20/XⅢ)	-
311	70	A03	B05	石核	OB3B	22.4	16.9	9.6	2.9	▲12279(J-20/XⅢ)	No.18
311	71	A03	B05	石核	OB3D	21.7	20.0	10.0	3.1	▲11770(J-20/XⅢ)	No.04
311	72	A03	B05	石核	OB3B	18.2	16.6	8.8	2.1	▲11794(J-20/XⅢ)	-
311	73	A03	B05	石核	OB3A	10.7	23.7	12.4	2.3	▲14414(J-20/XⅢ)	-
311	74	A03	B05	石核	OB3D	13.0	21.6	11.0	2.0	▲11793(J-20/XⅢ)	No.04
311	75	A03	B05	石核	OB3A	11.5	20.5	9.3	1.7	▲12224(J-20/XⅢ)	-
312	76	A03	B05	石核	OB3A	16.5	21.4	10.6	3.0	▲11776(J-20/XⅢ)	No.34
312	77	A03	B05	石核	OB3D	18.0	24.0	10.8	-	▲11782(J-20/XⅢ)	No.17
312	78	A03	B05	石核	OB3A	16.5	22.8	9.4	2.9	▲11781(J-20/XⅢ)	No.05
312	79	A03	B05	石核	OB3D	20.2	20.0	12.1	3.3	▲11785(J-20/XⅢ)	No.07
312	80	A03	B05	石核	OB3A	17.6	28.1	17.7	7.1	▲11789(J-20/XⅢ上)	-



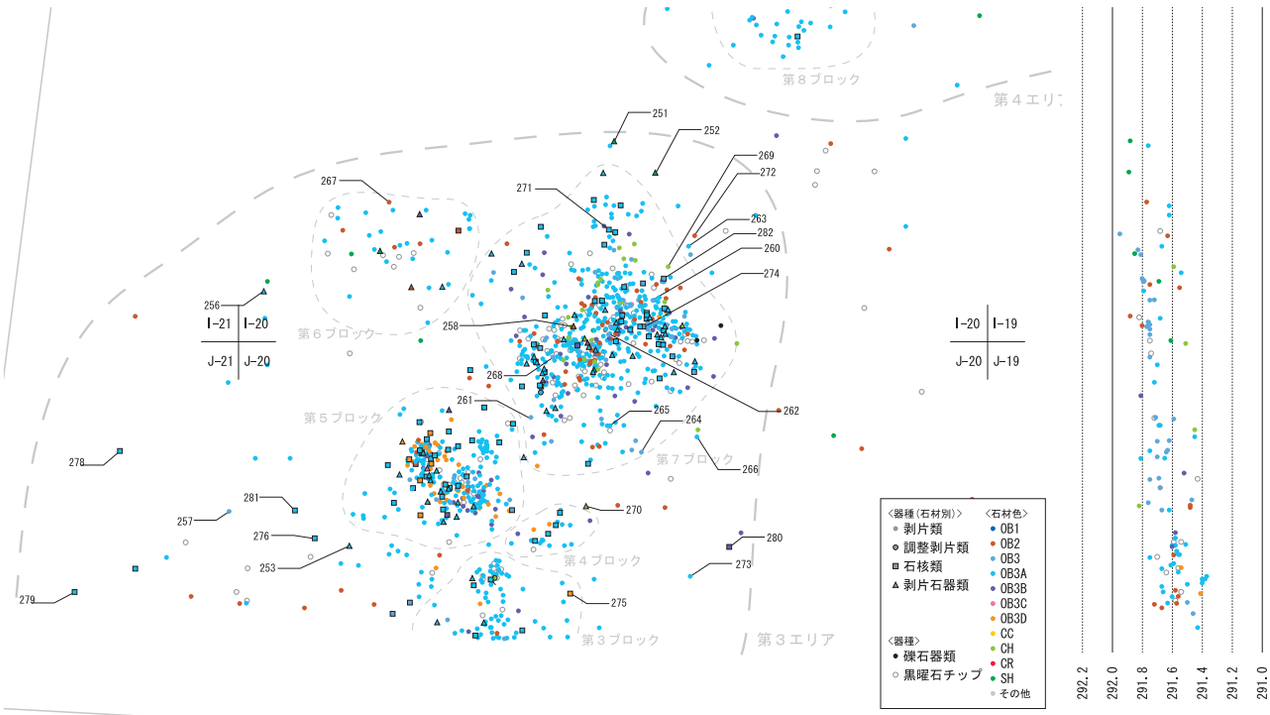
第323図　第Ⅱ文化層第３エリア第７ブロック出土石器実測図（７）

第64表　第Ⅱ文化層第３エリア出土石器観察表（７）

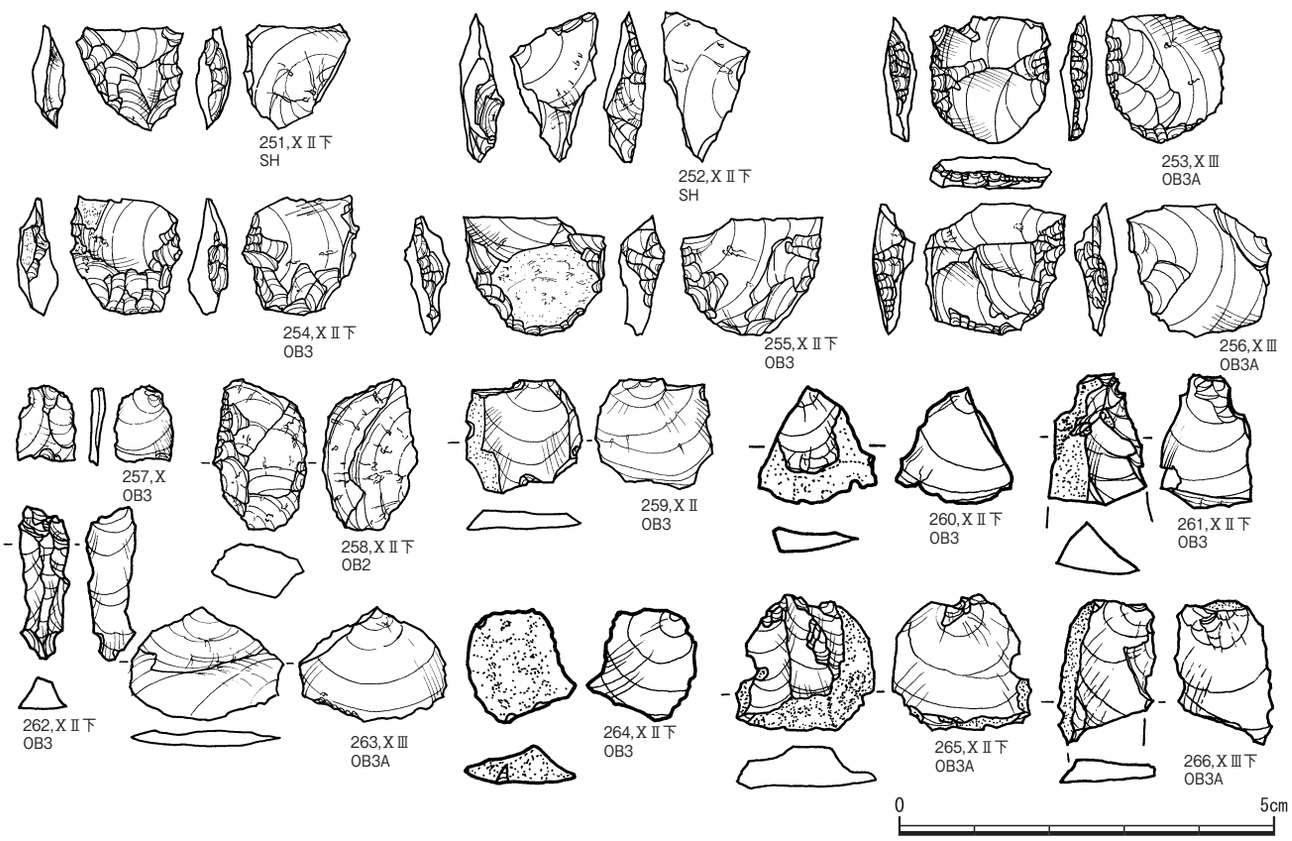
挿図No	図No	エリア	ブロック	分類L2	石材	最大長	最大幅	最大厚	重量	取上No(グリッド/層位)	接合No
312	81	A03	B05	石核	OB3D	16.6	18.0	13.1	2.8	▲11777(J-20/XⅢ)	No.14
312	82	A03	B05	石核	OB3D	16.2	17.8	12.1	2.1	▲14597(J-20/XⅢ)	-
312	83	A03	B05	石核	OB3A	19.6	24.9	14.3	3.2	▲11844(J-20/XⅢ)	No.09
312	84	A03	B05	石核	OB3A	18.5	17.4	20.4	4.2	▲14441(J-20/XⅢ)	No.08
312	85	A03	B05	石核	OB3A	12.8	24.3	13.6	2.5	▲12234(J-20/XⅢ)	No.16
312	86	A03	B05	石核	OB3A	21.2	27.7	11.8	5.6	▲11837(J-20/XⅢ)	-
312	87	A03	B05	石核	OB3A	16.7	24.4	10.5	4.0	▲11836(J-20/XⅢ)	-
312	88	A03	B05	石核	OB3A	15.1	30.6	15.2	4.3	▲11806(J-20/XⅢ)	-
312	89	A03	B05	石核	OB3A	27.7	28.0	18.4	5.9	▲14421(J-20/XⅢ)	-
312	90	A03	B05	石核	OB3A	16.4	30.5	16.1	4.7	▲11783(J-20/XⅢ)	-
314	91	A03	B06	台形石器	SH	22.2	12.0	5.0	1.0	▲12170(I-20/XⅢ)	-
314	92	A03	B06	台形石器	OB3A	20.9	16.3	6.1	1.1	▲12005(I-20/XⅢ)	-
314	93	A03	B06	台形石器	OB2	17.2	13.3	5.4	1.0	▲12000(I-20/XⅢ)	-
314	94	A03	B06	台形石器	OB3B	15.0	12.3	4.1	0.7	▲11989(I-20/XⅢ)	-
314	95	A03	B06	剥片	OB3A	13.8	14.8	3.7	0.5	▲12401(I-20/XⅢ)	-
314	96	A03	B06	微細剥離痕剥片	OB3A	17.6	13.6	3.4	0.7	▲12002(I-20/XⅢ)	-
314	97	A03	B06	剥片	OB3A	27.4	21.4	8.0	2.5	▲11990(I-20/XⅢ)	No.28
314	98	A03	B06	石核	OB2A	19.4	21.9	15.2	4.4	▲12008(I-20/XⅢ)	-
317	99	A03	B07	台形石器	OB3A	14.7	10.4	4.6	0.4	▲11955(J-20/XⅢ)	-
317	100	A03	B07	台形石器	OB3A	14.0	9.6	3.5	0.3	▲11932(J-20/XⅢ下)	-
317	101	A03	B07	台形石器	OB3A	10.7	7.7	4.4	0.3	▲12598(J-20/XⅢ)	-
317	102	A03	B07	台形石器	OB3A	10.4	14.2	4.2	0.3	▲12423(J-20/XⅢ下)	-
317	103	A03	B07	台形石器	OB3A	10.2	9.6	6.3	0.4	▲12427(J-20/XⅢ下)	-
317	104	A03	B07	台形石器	OB3A	15.1	9.6	4.9	0.7	▲12101(I-20/XⅢ)	-
317	105	A03	B07	台形石器	OB3A	10.9	13.6	3.5	0.5	▲14742(I-20/XⅢ)	No.37
317	106	A03	B07	台形石器	OB3B	15.2	10.1	5.6	0.7	▲14705(J-20/XⅢ)	-
317	107	A03	B07	台形石器	OB3A	13.7	10.9	4.0	0.5	▲14579(J-20/XⅢ)	-
317	108	A03	B07	台形石器	OB3A	13.3	13.9	4.5	0.7	▲14551(I-20/XⅢ)	-
317	109	A03	B07	台形石器	OB3A	14.6	16.6	5.6	1.0	▲11911(J-20/XⅢ下)	-
317	110	A03	B07	台形石器	OB3A	14.4	15.8	5.1	1.0	▲12581(J-20/XⅢ)	-
317	111	A03	B07	台形石器	OB3A	16.8	16.4	4.2	0.7	▲14707(J-20/XⅢ)	No.33
317	112	A03	B07	台形石器	OB3A	15.9	15.5	4.5	0.8	▲11956(J-20/XⅢ)	-
317	113	A03	B07	台形石器	OB3A	14.4	16.4	6.7	1.2	▲12380(I-20/XⅢ)	-
317	114	A03	B07	台形石器	OB3A	14.4	15.7	5.7	1.0	▲12012(I-20/XⅢ)	-
317	115	A03	B07	台形石器	OB3A	17.3	15.3	3.8	0.7	▲12511(I-20/XⅢ)	-
317	116	A03	B07	台形石器	OB3A	13.8	17.7	6.1	1.0	▲12550(J-20/XⅢ)	No.33
317	117	A03	B07	台形石器	OB3A	16.0	18.2	4.9	1.1	▲12344(I-20/XⅢ下)	-
317	118	A03	B07	台形石器	OB3B	13.2	15.0	5.1	1.0	▲14546(J-20/XⅢ)	-
317	119	A03	B07	台形石器	OB3A	16.3	16.2	5.8	1.3	▲12525(I-20/XⅢ)	-
317	120	A03	B07	台形石器	OB3A	14.0	18.2	3.9	0.7	▲12546(J-20/XⅢ)	No.28
317	121	A03	B07	台形石器	OB3A	13.3	14.6	3.6	0.5	▲12306(J-20/XⅢ)	-
317	122	A03	B07	台形石器	OB3A	15.5	17.3	4.2	0.9	▲14517(I-20/XⅢ)	-
317	123	A03	B07	台形石器	OB3A	16.9	17.2	4.2	1.0	▲11912(J-20/XⅢ下)	-
317	124	A03	B07	二次加工痕剥片	OB3A	18.8	11.7	4.5	0.6	▲12064(I-20/XⅢ)	-
317	125	A03	B07	剥片	OB3A	15.4	12.6	4.9	0.9	▲12019(I-20/XⅢ下)	-
317	126	A03	B07	二次加工痕剥片	OB3A	19.0	14.2	5.8	0.7	▲12334(J-20/XⅢ下)	-
317	127	A03	B07	台形石器	CH1	16.5	16.2	4.8	1.2	▲12383(I-20/XⅢ)	-
317	128	A03	B07	二次加工痕剥片	OB3B	18.2	23.2	4.9	1.1	▲12597(J-20/XⅢ)	-

第65表　第Ⅱ文化層第３エリア出土石器観察表（８）

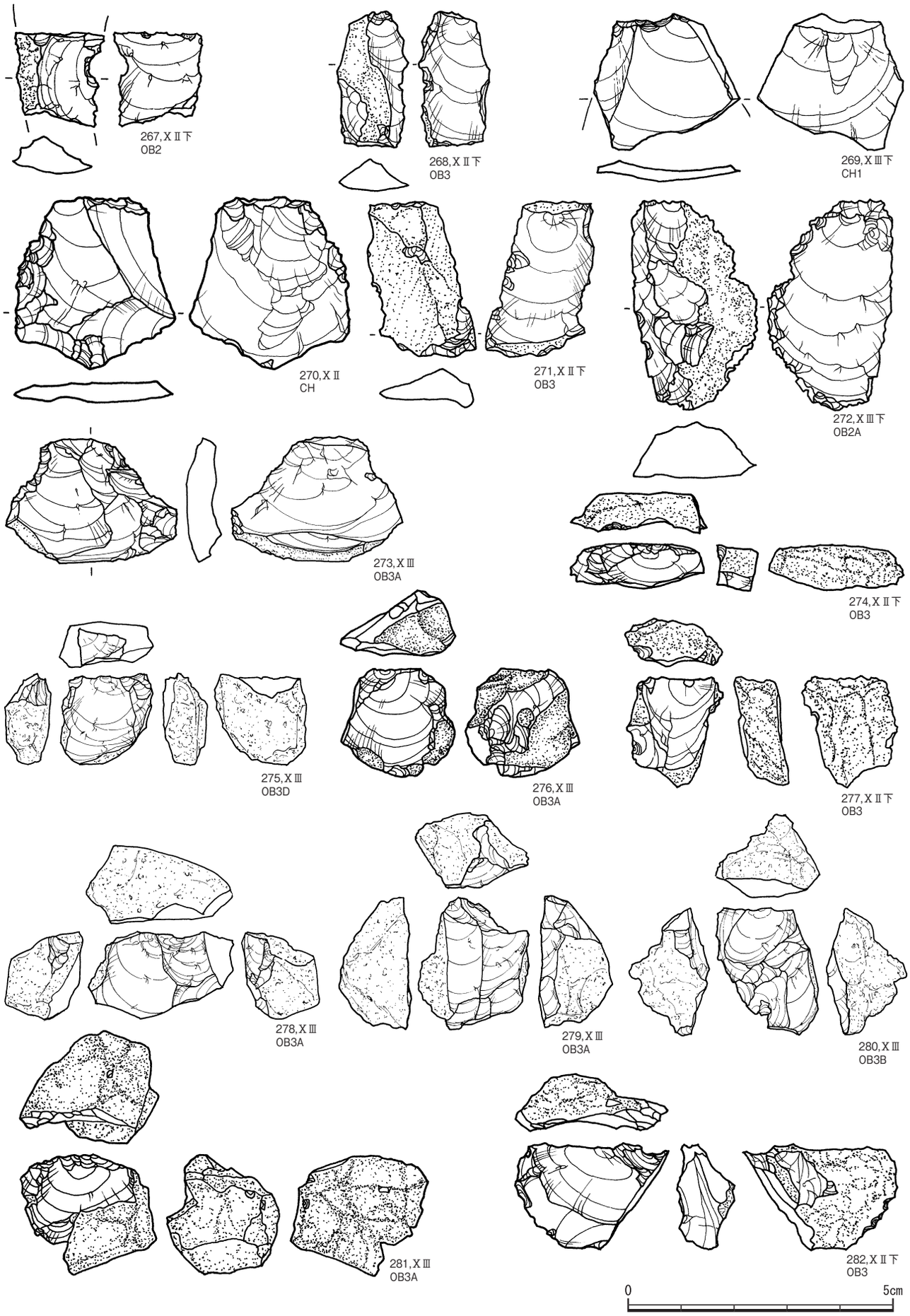
挿図No	図No	エリア	ブロック	分類L2	石材	最大長	最大幅	最大厚	重量	取上No(グリッド/層位)	接合No
317	129	A03	B07	剥片	OB3A	20.3	14.9	7.1	1.2	▲14497(I-20/XⅢ)	No.28
317	130	A03	B07	剥片	OB3A	14.4	21.7	6.3	1.2	▲14718(J-20/XⅢ)	No.36
317	131	A03	B07	剥片	OB3A	13.4	20.8	4.7	0.8	▲14677(I-20/XⅢ)	-
317	132	A03	B07	二次加工痕剥片	OB3A	22.8	17.9	9.7	2.9	▲12495(I-20/XⅢ)	No.26
317	133	A03	B07	台形石器	OB3A	22.0	17.1	6.2	1.6	▲12517(I-20/XⅢ)	-
317	134	A03	B07	二次加工痕剥片	OB3A	36.7	14.6	6.8	2.1	▲12527(I-20/XⅢ)	No.32
318	135	A03	B07	台形石器	OB3A	23.7	25.6	9.6	4.1	▲11939(J-20/XⅢ)	-
318	136	A03	B07	二次加工痕剥片	OB3A	18.0	11.3	5.1	0.9	▲12426(J-20/XⅢ下)	-
318	137	A03	B07	二次加工痕剥片	OB3A	16.2	12.0	5.0	0.6	▲12542(J-20/XⅢ)	-
318	138	A03	B07	剥片	OB3A	17.2	10.8	4.1	0.6	▲12428(J-20/XⅢ下)	-
318	139	A03	B07	剥片	OB3A	18.2	9.8	3.5	0.5	▲14728(J-20/XⅢ)	-
318	140	A03	B07	剥片	OB3A	16.3	12.0	2.7	0.3	▲11917(J-20/XⅢ)	-
318	141	A03	B07	剥片	OB3A	20.1	11.5	5.7	0.7	▲11943(J-20/XⅢ下)	-
318	142	A03	B07	二次加工痕剥片	OB3A	19.6	11.2	3.7	0.7	▲11901(J-20/XⅢ)	-
318	143	A03	B07	剥片	OB3A	11.3	12.6	-	1.5	▲14713(J-20/XⅢ)	-
318	144	A03	B07	二次加工痕剥片	OB3A	15.5	12.6	-	0.6	▲11948(J-20/XⅢ下)	No.37
318	145	A03	B07	剥片	OB3A	18.0	11.4	3.5	0.5	▲12103(I-20/XⅢ)	-
318	146	A03	B07	剥片	CH1	19.8	9.9	5.3	0.5	▲12551(I-20/XⅢ)	-
318	147	A03	B07	剥片	OB3A	15.3	13.3	3.9	0.6	▲14499(I-20/XⅢ)	-
318	148	A03	B07	剥片	OB3A	14.1	14.0	3.3	0.5	▲12404(I-20/XⅢ下)	-
318	149	A03	B07	剥片	OB3A	14.8	12.7	2.7	0.3	▲12476(I-20/XⅢ)	-
318	150	A03	B07	剥片	OB3A	18.3	10.5	4.0	0.5	▲14492(I-20/XⅢ)	-
318	151	A03	B07	剥片	OB3A	11.6	13.3	3.0	0.4	▲12532(J-20/XⅢ)	-
318	152	A03	B07	剥片	OB3A	17.1	9.7	2.5	0.3	▲14552(I-20/XⅢ)	-
318	153	A03	B07	剥片	OB3A	18.0	9.2	7.4	0.7	▲12052(I-20/XⅢ)	-
318	154	A03	B07	剥片	OB3A	16.9	11.6	4.2	0.4	▲14685(J-20/XⅢ)	-
318	155	A03	B07	剥片	OB3A	19.9	14.1	3.7	0.7	▲12107(I-20/XⅢ)	-
318	156	A03	B07	剥片	OB3A	15.4	16.7	2.7	0.4	▲14689(J-20/XⅢ)	-
318	157	A03	B07	剥片	OB3A	15.3	11.3	2.8	0.3	▲12420(J-20/XⅢ下)	-
318	158	A03	B07	剥片	OB3A	19.2	13.3	3.2	0.4	▲12523(I-20/XⅢ)	-
318	159	A03	B07	二次加工痕剥片	OB3A	18.4	13.6	6.0	1.0	▲12065(I-20/XⅢ)	No.31
318	160	A03	B07	二次加工痕剥片	OB3A	19.1	12.1	3.6	0.7	▲12414(I-20/XⅢ)	No.37
318	161	A03	B07	剥片	OB3A	19.7	12.9	4.0	0.8	▲12118(I-20/XⅢ)	-
318	162	A03	B07	剥片	OB3A	19.9	15.3	5.9	1.2	▲12294(J-20/XⅢ)	-
318	163	A03	B07	剥片	OB3B	13.9	15.0	5.5	1.0	▲11925(J-20/XⅢ)	-
318	164	A03	B07	剥片	OB3A	21.2	14.0	4.7	1.0	▲12536(J-20/XⅢ)	-
318	165	A03	B07	剥片	OB3A	24.4	12.3	2.8	0.8	▲14733(J-20/XⅢ)	-
318	166	A03	B07	剥片	OB3A	15.3	13.1	-	0.6	▲14535(I-20/XⅢ)	No.25
318	167	A03	B07	剥片	OB3A	15.2	15.9	-	1.0	▲12513(I-20/XⅢ)	No.25
318	168	A03	B07	剥片	OB3A	24.9	18.0	3.3	1.3	▲12016(I-20/XⅢ)	-
318	169	A03	B07	剥片	OB3B	15.8	17.4	3.9	0.7	▲14550(I-20/XⅢ)	-
318	170	A03	B07	剥片	OB3A	13.7	16.8	5.0	0.8	▲14532(I-20/XⅢ)	-
318	171	A03	B07	剥片	OB3B	19.8	15.9	7.0	1.6	▲14585(I-20/XⅢ)	-
318	172	A03	B07	剥片	OB3B	23.5	15.8	6.1	1.7	▲12024(I-20/XⅢ)	-
318	173	A03	B07	剥片	OB3A	25.9	15.2	7.2	1.2	▲12037(J-20/XⅢ)	-
318	174	A03	B07	剥片	OB3B	23.5	16.8	6.7	1.9	▲14502(I-20/XⅢ)	-
318	175	A03	B07	剥片	OB3A	20.2	19.2	6.7	1.9	▲12580(J-20/XⅢ)	-
319	176	A03	B07	剥片	OB3	8.0	16.0	3.6	0.2	▲14719(J-20/XⅢ)	-



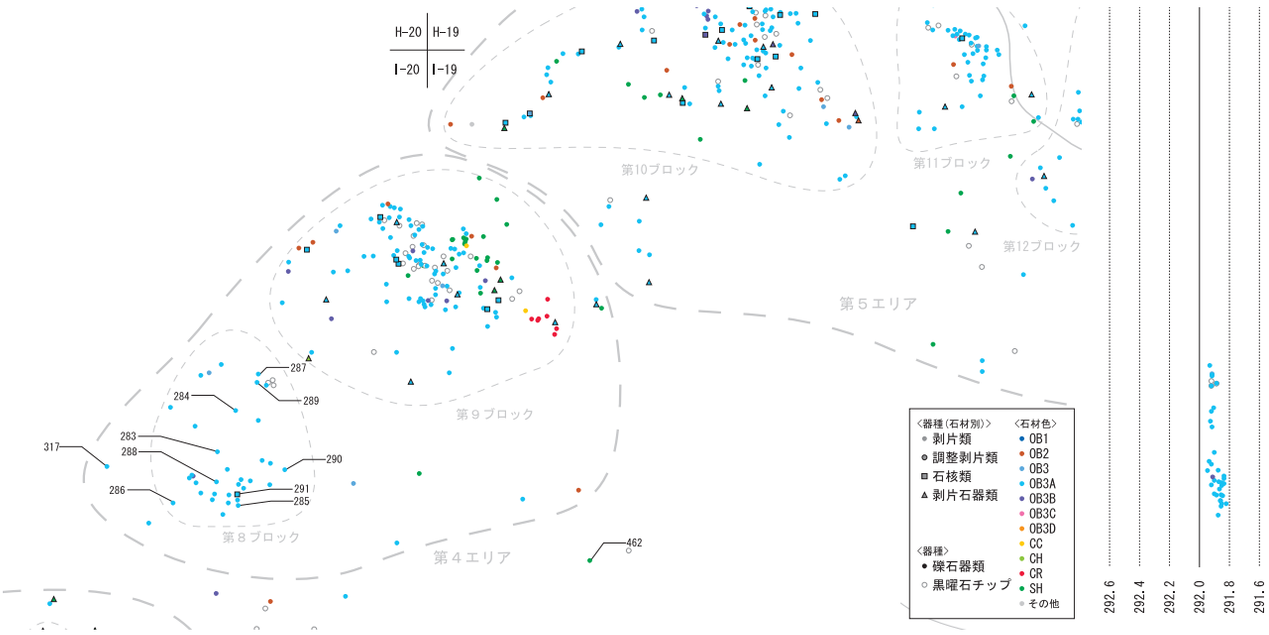
第324図　第Ⅱ文化層第３エリアブロック外石器出土状況図



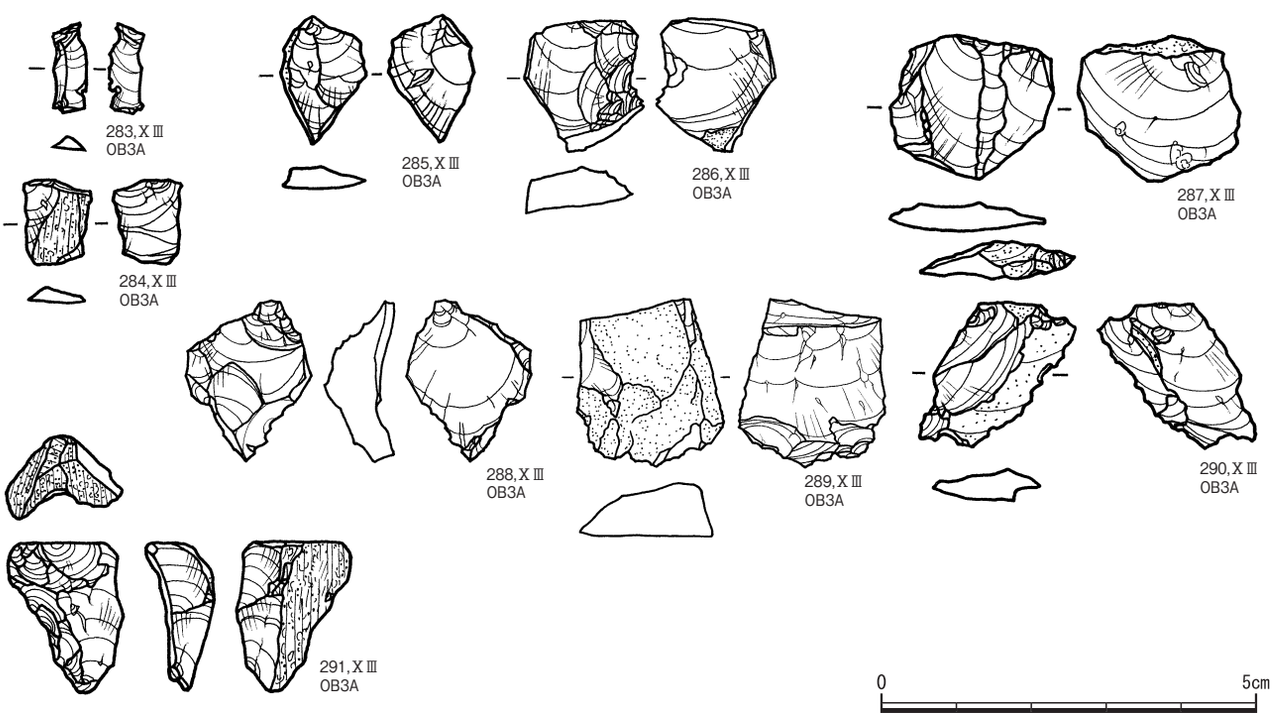
第325図　第Ⅱ文化層第３エリアブロック外出土石器実測図（１）



第326図　第Ⅱ文化層第３エリアブロック外出土石器実測図（２）



第327図　第Ⅱ文化層第４エリア第８ブロック石器出土状況図



第328図　第Ⅱ文化層第４エリア第８ブロック出土石器実測図

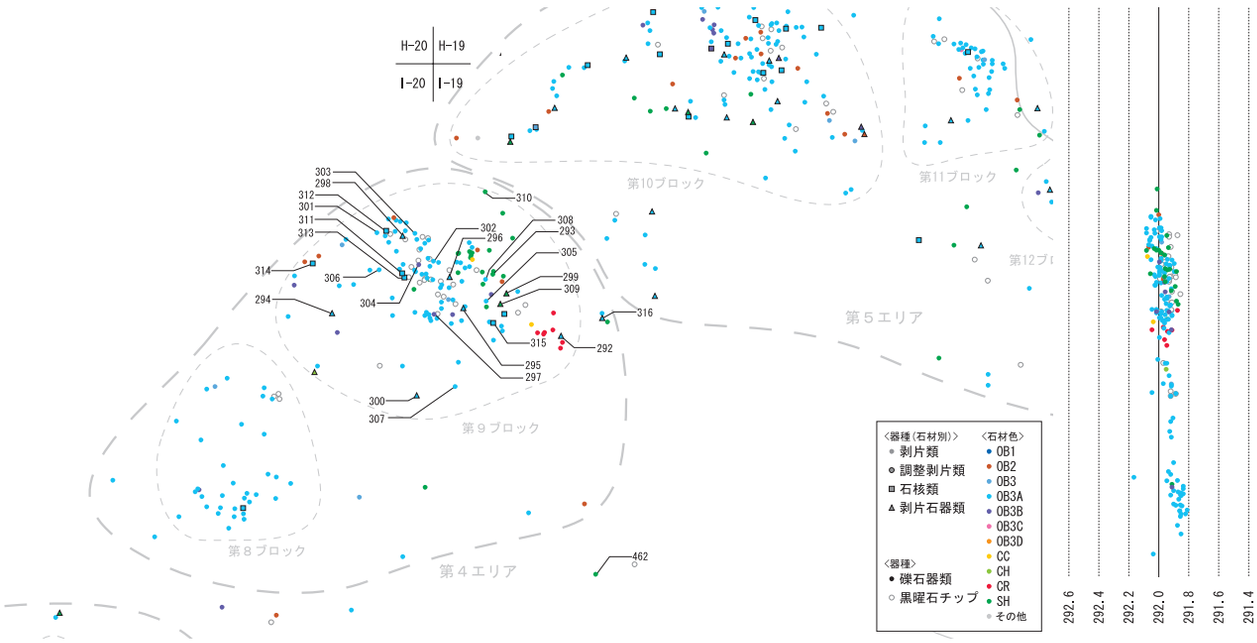
第８ブロックには製品は確認されず，素材剥片(287・288)と石核(291)が残されている。第９ブロックでは10点の台形石器と素材剥片，石核が認められる。ブロック外で台形石器１点(316)が加わる。

第９ブロックの台形石器は，先の第３エリアと同種のもの(294・297)と若干長軸を意識した形状のもの(298～300・309)が存在する。298・300では素材を縦方向に，299では横方向にして加工を加え，台形様石器的な形状をなしている。298はやや縦長の不定形剥片の形状を活かして右側縁に，299は横長剥片を縦位に用い打面除去を主に，309はレンズ状剥片を縦位にし両側縁に二次加工を加え仕上げている。292・293は基部の整形が進行し，逆三角形の形状を成している。293は打面転移の見られる素材を横位に用い，打面を大きく除去している。

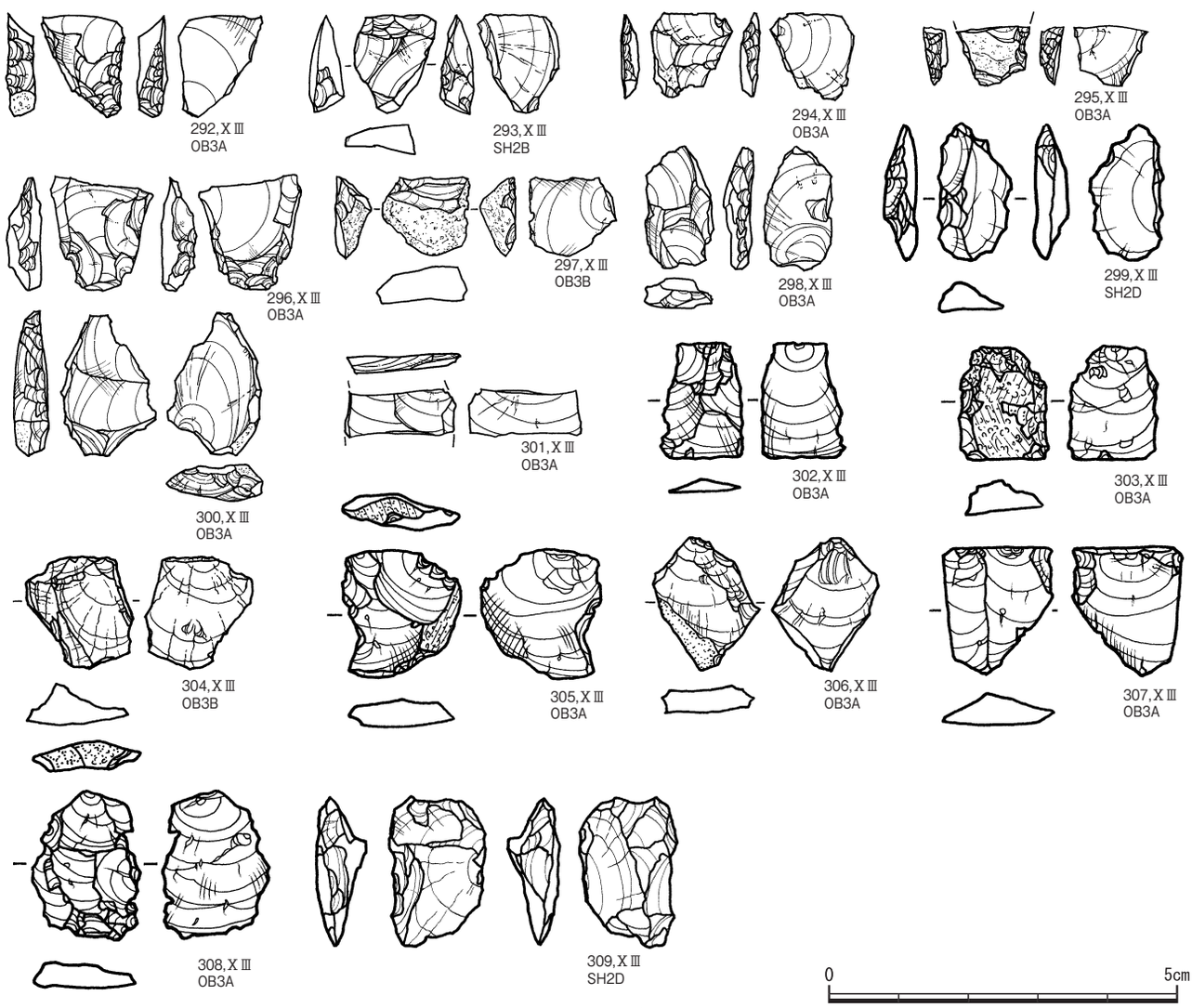
石核の素材は角礫で，第３エリアの特徴と同一で形状や剥離技術に変異は認められない。

第５エリア

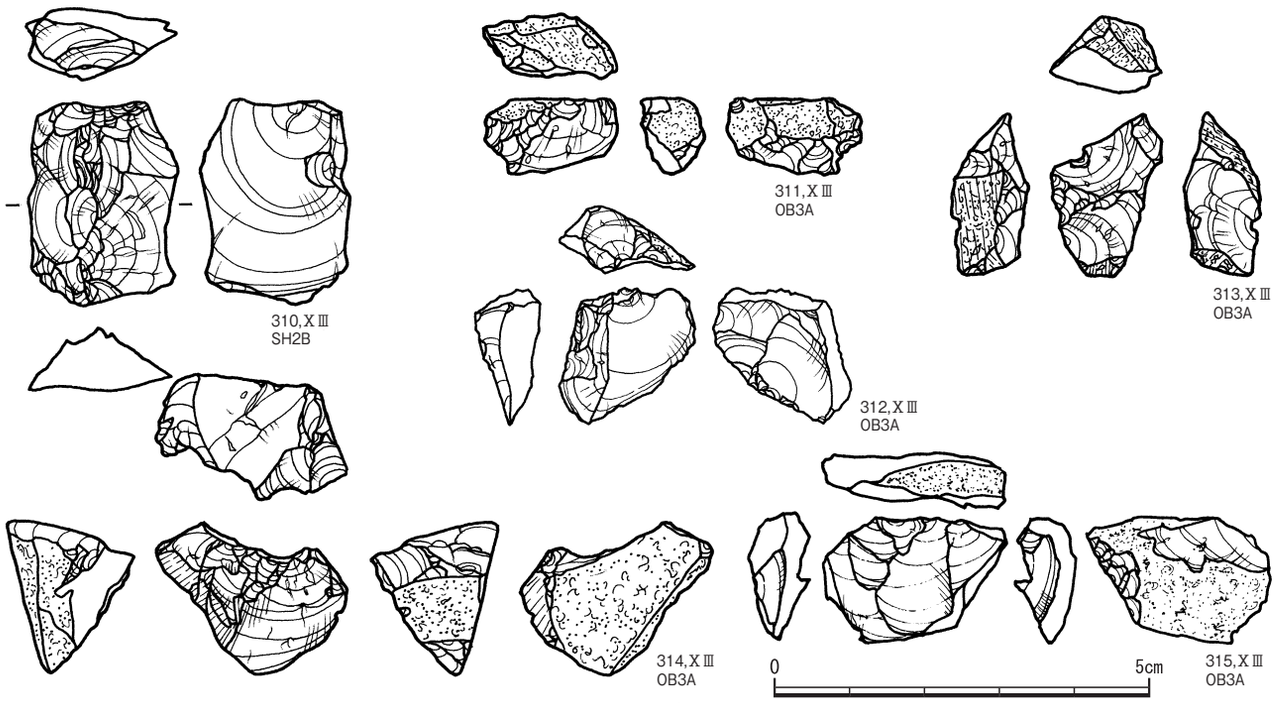
第10～第13の４ブロックで構成し，南側の第10ブロックから北側の第14ブロックが弧状に展開する状況を観察できる。石材は黒曜石Ⅲ類を主体に，第12ブロックは単独，第13ブロックでは頁岩が加わり，他では黒曜石Ⅱ類がわずかに含まれる。



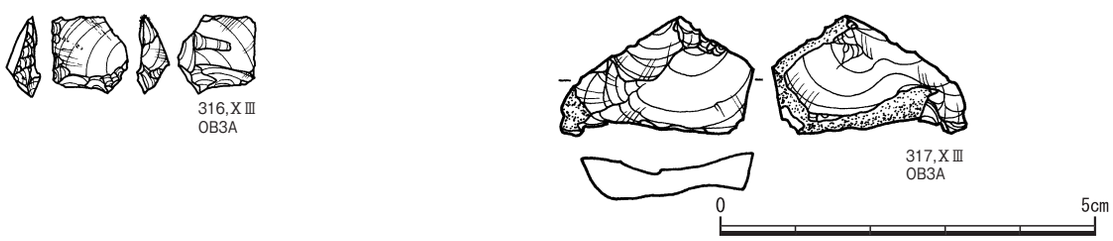
第329図　第Ⅱ文化層第４エリア第９ブロック石器出土状況図



第330図　第Ⅱ文化層第４エリア第９ブロック出土石器実測図（１）



第331図　第Ⅱ文化層第４エリア第９ブロック出土石器実測図（２）



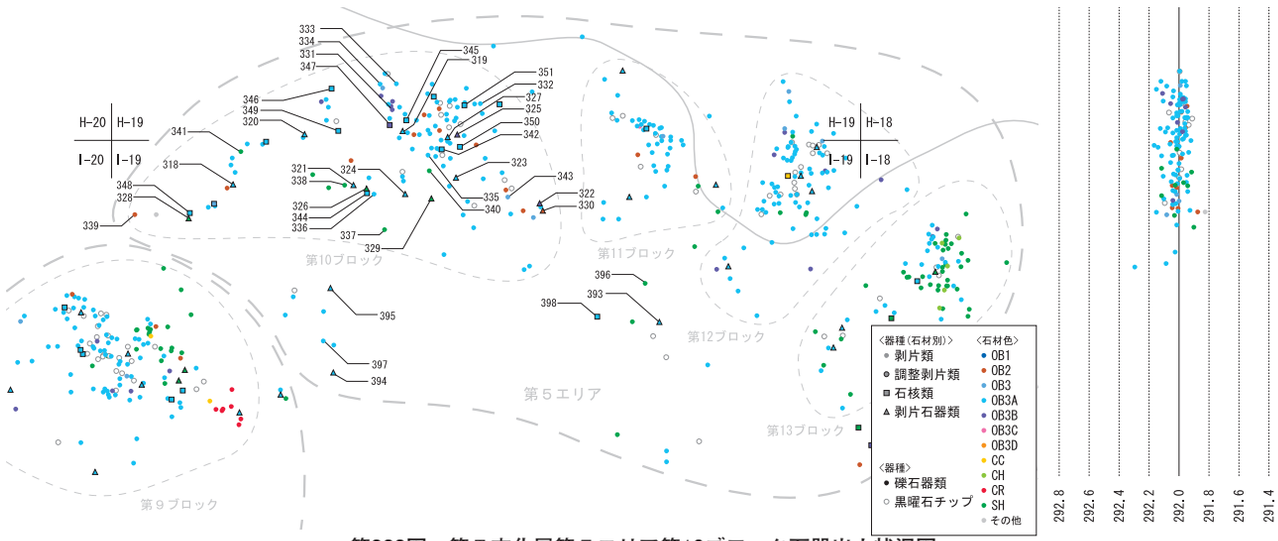
第332図　第Ⅱ文化層第４エリアブロック外出土石器実測図

第66表　第Ⅱ文化層第３エリア出土石器観察表（９）

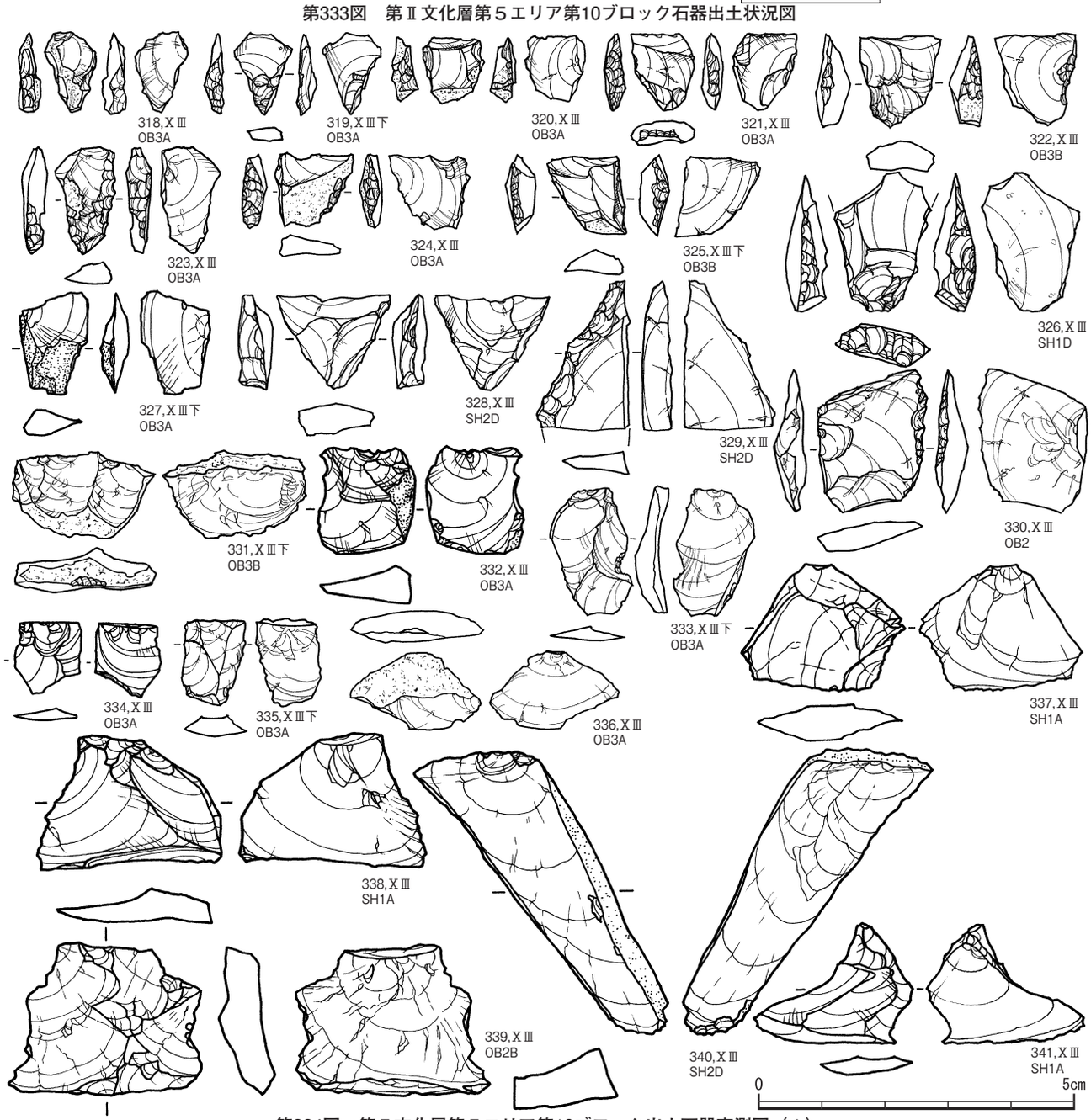
挿図No	図No	エリア	ブロック	分類L2	石材	最大長	最大幅	最大厚	重量	取上No(グリッド/層位)	接合No
319	177	A03	B07	剥片	OB3A	12.3	16.0	3.5	0.5	▲12567(J-20/XⅢ)	-
319	178	A03	B07	剥片	OB3A	15.9	14.9	3.0	0.4	▲12563(I-20/XⅢ)	-
319	179	A03	B07	剥片	OB3A	17.5	17.4	4.2	1.0	▲12583(J-20/XⅢ)	-
319	180	A03	B07	剥片	OB3A	14.6	19.3	2.7	0.5	▲12584(J-20/XⅢ)	-
319	181	A03	B07	剥片	OB3B	15.3	17.2	3.1	0.7	▲14507(I-20/XⅢ)	-
319	182	A03	B07	剥片	OB3A	14.9	17.5	4.0	1.0	▲14687(J-20/XⅢ)	-
319	183	A03	B07	剥片	OB3A	16.1	19.8	5.7	1.5	▲14580(J-20/XⅢ)	-
319	184	A03	B07	剥片	OB3A	17.5	17.9	4.0	0.9	▲12123(I-20/XⅢ)	-
319	185	A03	B07	剥片	OB3A	18.8	16.1	2.4	0.6	▲12509(I-20/XⅢ)	-
319	186	A03	B07	剥片	OB3A	15.7	18.3	3.6	0.7	▲12596(J-20/XⅢ)	-
319	187	A03	B07	剥片	OB3A	15.8	18.7	4.6	0.8	▲12161(I-20/XⅢ)	No.36
319	188	A03	B07	剥片	OB3A	18.9	18.5	3.1	1.0	▲11913(J-20/XⅢ)	-
319	189	A03	B07	剥片	OB3B	18.4	16.7	4.4	1.0	▲14548(I-20/XⅢ)	-
319	190	A03	B07	剥片	OB3A	21.5	16.8	6.2	1.3	▲12472(I-20/XⅢ)	No.31
319	191	A03	B07	剥片	OB3A	19.1	19.2	4.7	1.4	▲12308(J-20/XⅢ)	-
319	192	A03	B07	剥片	OB3A	19.9	19.0	5.0	1.5	▲12508(I-20/XⅢ)	-
319	193	A03	B07	剥片	OB3A	20.6	17.2	8.0	1.9	▲11849(J-20/XⅢ)	No.27
319	194	A03	B07	剥片	CH1	20.1	20.2	4.9	1.1	▲12165(I-20/XⅢ)	-
319	195	A03	B07	剥片	OB3A	18.1	21.0	5.2	1.1	▲12041(J-20/XⅢ)	-
319	196	A03	B07	剥片	OB3A	18.3	20.9	3.9	0.9	▲12153(I-20/XⅢ)	-
319	197	A03	B07	剥片	OB3A	15.6	21.8	3.4	0.8	▲12393(I-20/XⅢ下)	-
319	198	A03	B07	剥片	OB3A	18.0	26.9	5.7	1.9	▲12014(I-20/XⅢ)	-
319	199	A03	B07	剥片	OB3A	18.5	21.7	4.0	0.8	▲12384(I-20/XⅢ)	-
319	200	A03	B07	剥片	OB3A	20.9	21.3	5.0	1.5	▲11904(J-20/XⅢ)	No.24
319	201	A03	B07	剥片	OB2A	19.4	26.4	-	1.9	▲14534(I-20/XⅢ)	-
319	202	A03	B07	剥片	OB3A	21.2	18.3	10.0	2.8	▲12415(I-20/XⅢ)	-
319	203	A03	B07	剥片	OB3A	19.4	22.7	9.5	2.8	▲14500(I-20/XⅢ)	-
319	204	A03	B07	剥片	OB3A	21.9	19.1	6.1	-	▲12108(I-20/XⅢ)	No.29
319	205	A03	B07	剥片	OB3A	22.0	23.8	-	1.7	▲14692(J-20/XⅢ)	-
319	206	A03	B07	剥片	OB2A	20.0	20.9	11.2	3.1	▲12145(I-20/XⅢ)	-
319	207	A03	B07	剥片	OB3A	22.4	23.3	9.9	2.3	▲14684(J-20/XⅢ)	-
320	208	A03	B07	微細剥離痕剥片	CH1	28.9	21.0	9.5	2.4	▲12376(I-20/XⅢ)	-
320	209	A03	B07	剥片	OB3A	23.3	22.4	7.0	2.4	▲12304(J-20/XⅢ下)	-
320	210	A03	B07	剥片	OB3	23.7	22.1	3.7	1.2	▲12467(I-20/XⅢ)	-

第67表　第Ⅱ文化層第３エリア出土石器観察表（10）

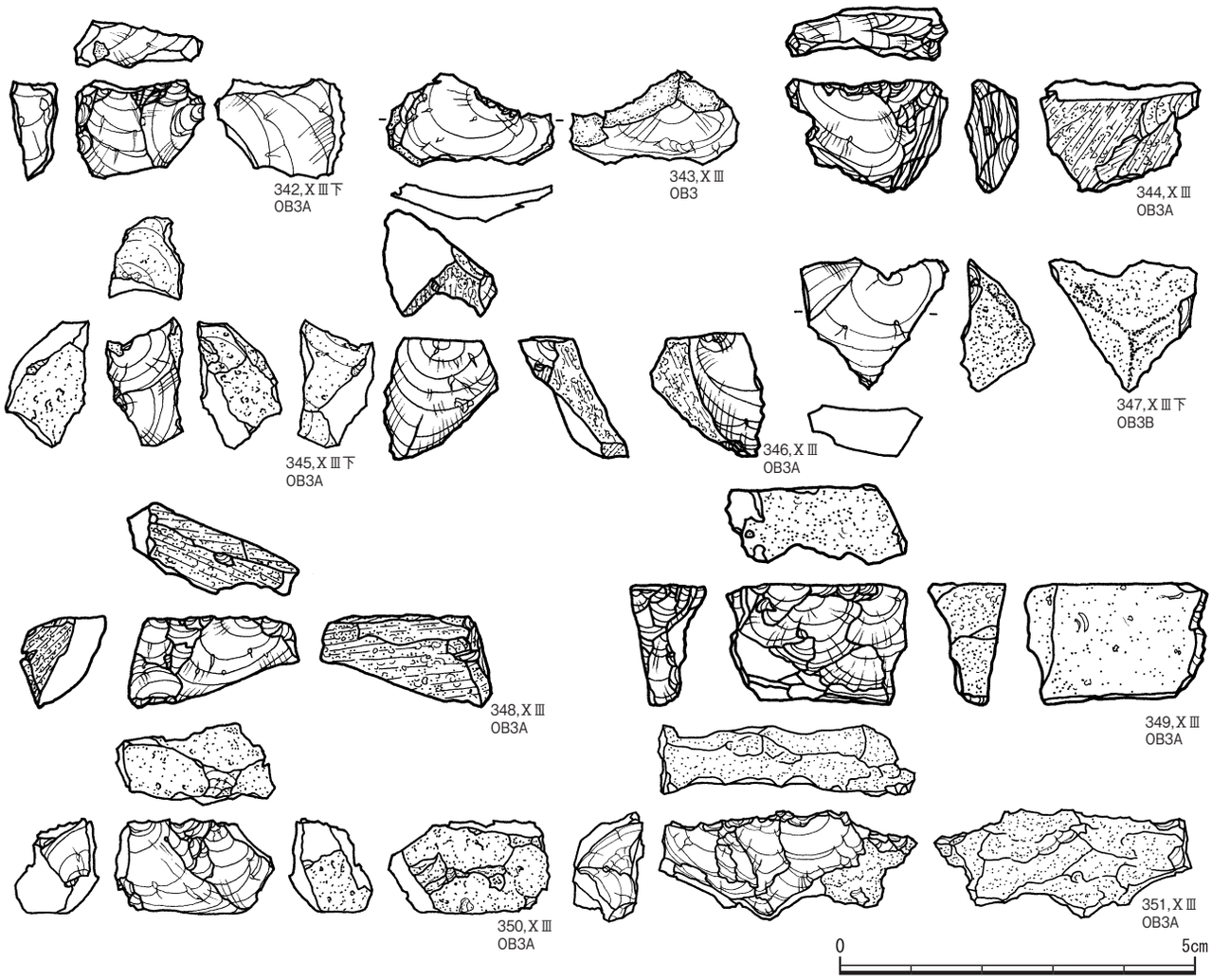
挿図No	図No	エリア	ブロック	分類L2	石材	最大長	最大幅	最大厚	重量	取上No(グリッド/層位)	接合No
320	211	A03	B07	剥片	OB3A	25.8	22.4	2.7	0.9	▲14531(I-20/XⅢ)	-
320	212	A03	B07	剥片	OB3A	32.4	16.9	6.6	3.4	▲14512(I-20/XⅢ)	-
320	213	A03	B07	剥片	OB3A	29.5	20.4	9.7	2.0	▲14520(I-20/XⅢ)	No.19
320	214	A03	B07	剥片	OB2A	45.5	41.5	10.5	19.2	▲14558(J-20/XⅢ)	-
320	215	A03	B07	剥片	OB3A	24.0	25.9	8.4	2.0	▲12471(I-20/XⅢ)	-
320	216	A03	B07	剥片	CH1	24.4	33.1	7.6	3.8	▲11933(J-20/XⅢ)	-
320	217	A03	B07	石核	OB3A	12.7	17.6	9.2	1.2	▲12599(J-20/XⅢ)	No.35
320	218	A03	B07	石核	OB3A	9.0	34.5	7.6	2.0	▲12018(I-20/XⅢ)	-
320	219	A03	B07	石核	OB3A	15.7	27.0	8.3	2.3	▲12026(I-20/XⅢ)	-
320	220	A03	B07	石核	OB3A	17.6	23.1	8.8	2.9	▲14528(I-20/XⅢ)	-
320	221	A03	B07	石核	OB3	15.9	22.3	16.0	5.1	▲12338(J-20/XⅢ下)	-
320	222	A03	B07	石核	OB3A	18.5	19.9	12.0	2.9	▲12111(I-20/XⅢ下)	-
320	223	A03	B07	石核	OB3A	19.2	23.9	10.4	3.5	▲12487(I-20/XⅢ)	-
320	224	A03	B07	石核	OB3A	23.0	21.6	8.5	2.9	▲12337(J-20/XⅢ)	-
321	225	A03	B07	石核	OB3A	19.2	17.3	8.5	2.3	▲12160(I-20/XⅢ)	-
321	226	A03	B07	石核	OB3A	15.4	28.9	12.0	4.4	▲12044(J-20/XⅢ)	-
321	227	A03	B07	石核	OB3A	16.4	19.0	13.5	4.6	▲14683(I-20/XⅢ)	No.37
321	228	A03	B07	石核	OB3A	16.3	20.5	12.7	3.6	▲12119(I-20/XⅢ)	No.33
321	229	A03	B07	石核	OB3A	15.0	22.5	7.8	1.7	▲12167(I-20/XⅢ)	-
321	230	A03	B07	石核	OB3A	12.5	25.2	9.7	1.8	▲12389(I-20/XⅢ下)	No.28
321	231	A03	B07	石核	OB3A	13.2	27.6	17.1	5.2	▲11910(J-20/XⅢ下)	-
321	232	A03	B07	石核	OB3A	31.0	17.3	8.6	3.0	▲12020(I-20/XⅢ)	No.20
321	233	A03	B07	剥片	OB3A	28.7	19.3	16.6	4.6	▲12109(I-20/XⅢ)	No.22
321	234	A03	B07	石核	OB3A	18.2	27.7	12.4	3.9	▲14514(I-20/XⅢ)	-
321	235	A03	B07	石核	OB3A	22.3	26.0	8.8	3.8	▲12490(I-20/XⅢ)	No.26
321	236	A03	B07	石核	OB3A	20.5	24.4	9.3	4.0	▲12475(I-20/XⅢ)	No.30
321	237	A03	B07	石核	OB3A	19.9	23.0	13.0	2.3	▲12461(I-20/XⅢ)	-
321	238	A03	B07	石核	OB3A	23.3	30.1	11.1	5.2	▲12521(I-20/XⅢ)	No.19
321	239	A03	B07	石核	OB3A	20.9	29.8	11.3	4.4	▲14505(I-20/XⅢ)	-
321	240	A03	B07	石核	OB3A	15.4	32.2	20.7	5.9	▲12399(I-20/XⅢ)	-
321	241	A03	B07	石核	OB3A	20.2	29.3	8.6	3.3	▲12106(I-20/XⅢ)	No.22
322	242	A03	B07	石核	OB3A	14.8	27.0	18.0	5.1	▲12307(J-20/XⅢ)	-
322	243	A03	B07	石核	OB3A	33.3	28.3	13.0	8.6	▲11898(J-20/XⅢ)	-
322	244	A03	B07	石核	OB3A	26.2	31.7	15.6	10.0	▲11848(J-20/XⅢ)	-



第333図　第Ⅱ文化層第５エリア第10ブロック石器出土状況図



第334図　第Ⅱ文化層第５エリア第10ブロック出土石器実測図（１）



第335図　第Ⅱ文化層第５エリア第10ブロック出土石器実測図（２）

台形石器の製作は同様で，25点が抽出できる。

318・319は丸刃で，前者は両側縁の調整がそのまま基部まで行われ，後者は右側縁を折断面で活かし左側縁に加工が集中し，結果，基部が尖る形状を呈している。２点とも小型の素材を選択し，319の基部は両面に調整を施している。他の台形石器は全て素材を横位に用い，323・326・395は基部まで調整加工が及び，尖り気味となる。特に，326では，腹面から整然とした調整剥離が観察される。同様の調整を395でも観察でき，調整剥離は背面の奥まで進行している。また，323・326・367の３点は主軸を長く設定している。318～320・352・393等は特に，素材剥片の選択段階から小型化の傾向を見て取れる。352の素材剥片は，折断剥片の先端部を選択した可能性が高い。327・330は素材剥片の打面はそのまま一側縁に活かしている。366の右側縁は折断面が活かされる。

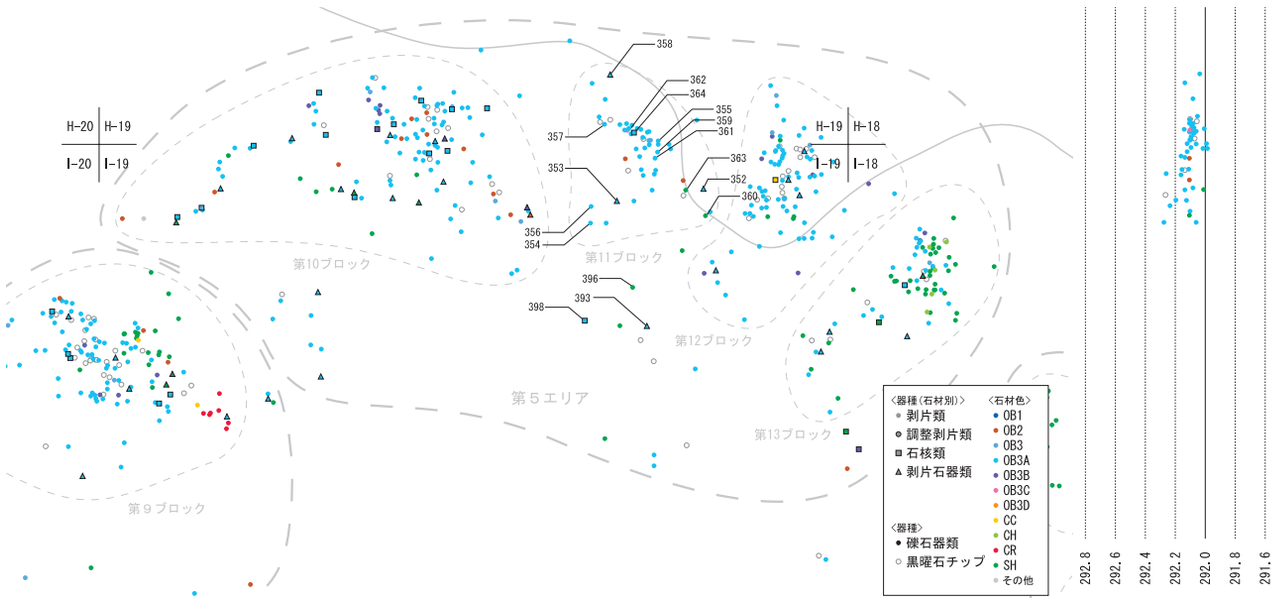
329・371は削器の可能性が高い。

第68表　第Ⅱ文化層第３エリア出土石器観察表（11）

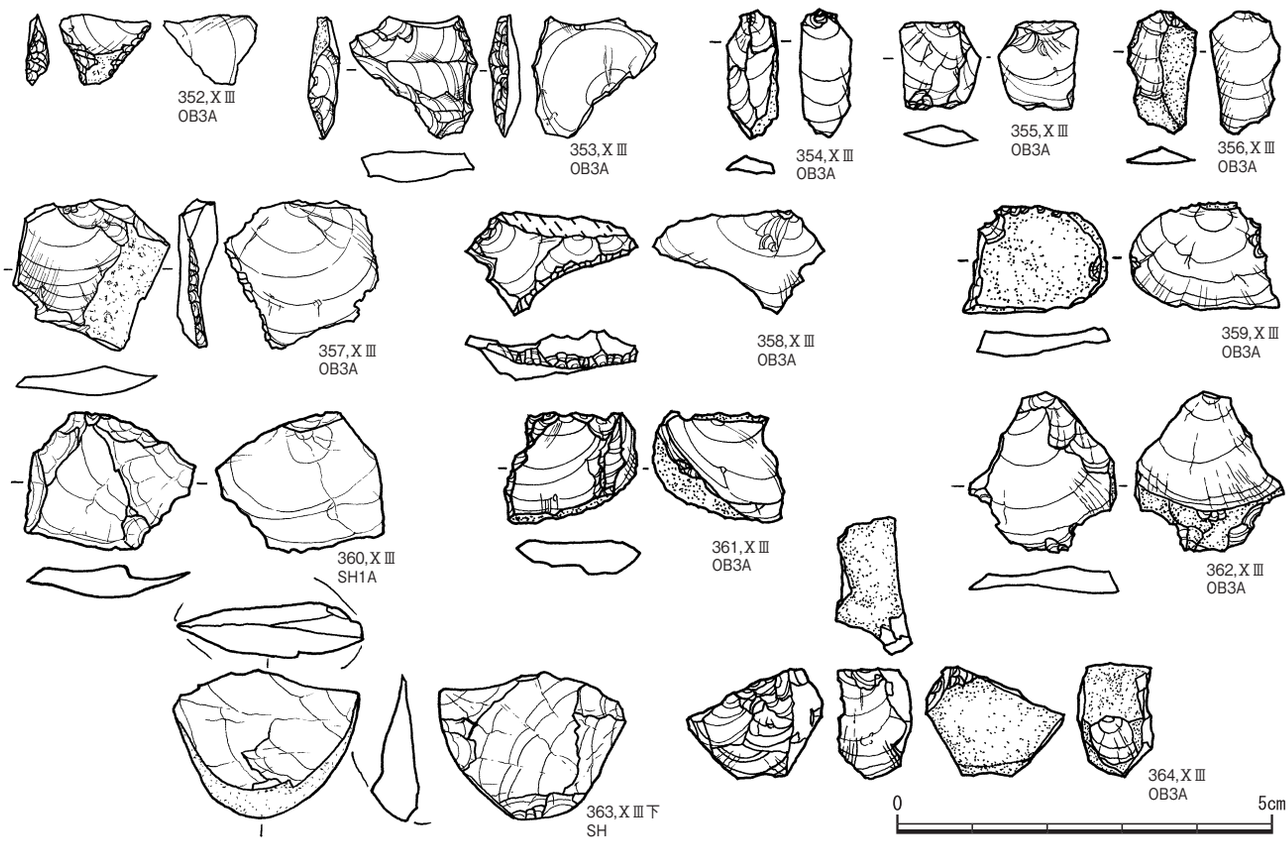
挿図No	図No	エリア	ブロック	分類L2	石材	最大長	最大幅	最大厚	重量	取上No(グリッド/層位)	接合No
322	245	A03	B07	石核	OB3A	23.0	21.9	13.9	4.6	▲12528(J-20/XⅢ)	-
322	246	A03	B07	石核	OB3A	14.0	34.5	14.2	5.2	▲12424(J-20/XⅢ)	-
322	247	A03	B07	石核	OB3A	14.0	36.9	22.4	6.8	▲12072(I-20/XⅢ)	-
322	248	A03	B07	石核	OB3A	19.2	35.9	10.4	5.7	▲12045(I-20/XⅢ)	No.29
323	249	A03	B07	ハンマー	SH1	29.9	20.1	13.6	9.0	▲12484(I-20/XⅢ)	-
323	250	A03	B07	ハンマー	SA	59.9	27.5	21.1	41.4	▲11728(I-20/XⅢ)	-
325	251	A03	B00	台形石器	SH	14.1	14.3	4.8	0.9	▲12099(I-20/XⅡ下)	-
325	252	A03	B00	台形石器	SH	20.2	11.9	5.9	1.0	▲12095(I-20/XⅡ下)	-
325	253	A03	B00	台形石器	OB3A	17.3	16.0	4.6	1.2	▲14920(J-20/XⅢ)	-
325	254	A03	B00	台形石器	OB3	16.2	15.8	5.7	1.0	▲11788(J-20/XⅡ下)	-
325	255	A03	B00	台形石器	OB3	15.8	19.1	6.3	1.3	▲11864(J-20/XⅡ下)	-
325	256	A03	B00	台形石器	OB3A	17.8	19.5	5.8	1.7	▲11968(I-20/XⅢ)	-
325	257	A03	B00	剥片	OB3	10.3	8.2	2.0	0.1	▲11513(J-20/X)	-
325	258	A03	B00	台形石器	OB2	20.3	12.9	-	1.3	▲12150(I-20/XⅡ下)	-
325	259	A03	B00	剥片	OB3	15.0	15.9	2.5	0.6	▲11795(J-20/XⅡ)	-
325	260	A03	B00	剥片	OB3	15.8	15.8	3.0	0.5	▲12074(I-20/XⅡ下)	-
325	261	A03	B00	剥片	OB3	18.0	12.4	8.2	1.3	▲11856(J-20/XⅡ下)	-
325	262	A03	B00	剥片	OB3	20.7	7.1	5.2	0.4	▲12131(I-20/XⅡ下)	-
325	263	A03	B00	剥片	OB3A	15.6	19.8	5.3	0.7	▲12087(I-20/XⅢ)	-

第69表　第Ⅱ文化層第３エリア出土石器観察表（12）

挿図No	図No	エリア	ブロック	分類L2	石材	最大長	最大幅	最大厚	重量	取上No(グリッド/層位)	接合No
325	264	A03	B00	剥片	OB3	15.2	14.9	5.4	0.7	▲11882(J-20/XⅡ下)	-
325	265	A03	B00	剥片	OB3A	18.4	18.8	7.6	2.0	▲11890(J-20/XⅡ下)	No.27
325	266	A03	B00	剥片	OB3A	19.4	13.4	-	-	▲11878(J-20/XⅢ下)	No.25
326	267	A03	B00	剥片	OB2	18.1	17.0	8.0	2.2	▲11987(I-20/XⅡ下)	-
326	268	A03	B00	剥片	OB3	25.7	13.7	7.5	2.0	▲11922(J-20/XⅡ下)	-
326	269	A03	B00	剥片	CH1	26.0	27.8	7.8	3.0	▲12083(I-20/XⅢ下)	-
326	270	A03	B00	微細剥離痕剥片	CH	32.7	30.6	7.2	5.8	▲11873(J-20/XⅡ)	-
326	271	A03	B00	剥片	OB3	29.6	20.7	7.5	3.0	▲12120(I-20/XⅡ下)	-
326	272	A03	B00	剥片	OB2A	40.1	23.9	11.0	10.0	▲12088(I-20/XⅢ下)	-
326	273	A03	B00	剥片	OB3A	23.9	32.6	6.9	4.2	▲14958(J-20/XⅢ)	-
326	274	A03	B00	石核	OB3	8.9	25.7	8.1	1.8	▲12055(I-20/XⅡ下)	-
326	275	A03	B00	石核	OB3D	17.3	17.6	9.0	2.9	▲14952(J-20/XⅢ)	-
326	276	A03	B00	石核	OB3A	20.8	21.8	12.6	3.7	▲14919(J-20/XⅢ)	No.03
326	277	A03	B00	石核	OB3	21.3	18.3	10.6	3.0	▲11823(J-20/XⅡ下)	-
326	278	A03	B00	石核	OB3A	16.7	27.6	14.9	5.1	▲11743(J-20/XⅢ)	-
326	279	A03	B00	石核	OB3A	25.2	21.1	14.2	5.7	▲14906(J-20/XⅢ)	-
326	280	A03	B00	石核	OB3B	24.2	19.5	15.4	-	▲11724(J-20/XⅢ)	No.21
326	281	A03	B00	石核	OB3A	23.0	26.2	21.5	9.4	▲11748(J-20/XⅢ)	-
326	282	A03	B00	石核	OB3	20.3	29.2	11.2	4.0	▲12076(I-20/XⅡ下)	-



第336図　第Ⅱ文化層第５エリア第11ブロック石器出土状況図



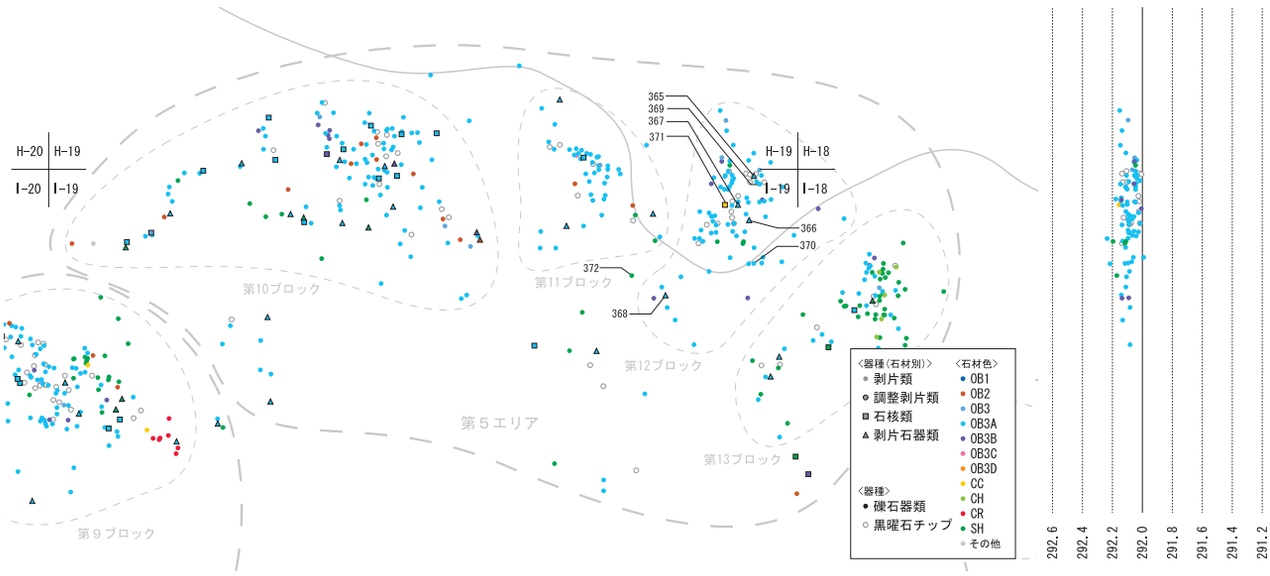
第337図　第Ⅱ文化層第５エリア第11ブロック出土石器実測図

第70表　第Ⅱ文化層第４エリア出土石器観察表（1）

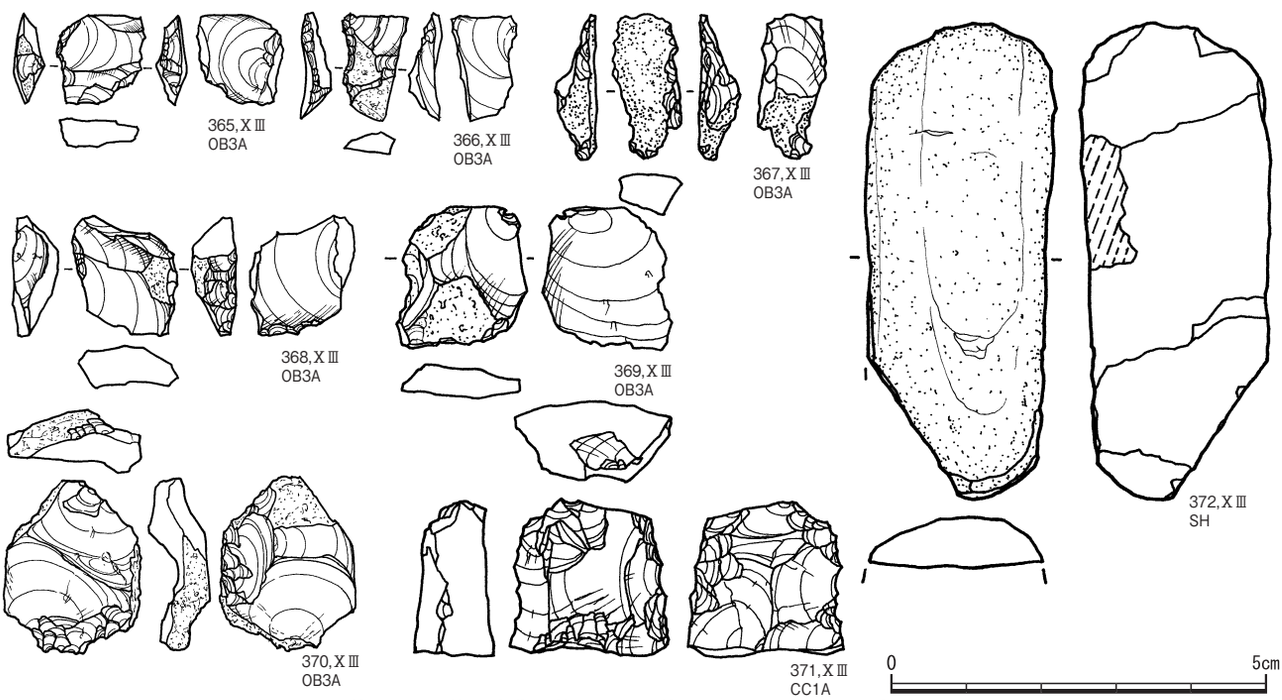
挿図No	図No	エリア	ブロック	分類L2	石材	最大長	最大幅	最大厚	重量	取上No(グリッド/層位)	接合No
328	283	A04	B08	剥片	OB3A	12.2	5.1	2.0	0.1	▲3464(I-20/XⅢ)	-
328	284	A04	B08	剥片	OB3A	11.7	9.6	2.9	0.2	▲3755(I-20/XⅢ)	-
328	285	A04	B08	剥片	OB3A	17.3	11.8	3.2	0.5	▲3456(I-20/XⅢ)	-
328	286	A04	B08	剥片	OB3A	18.0	16.2	9.0	1.6	▲3467(I-20/XⅢ)	-
328	287	A04	B08	剥片	OB3A	19.7	22.0	5.5	1.8	▲3757(I-20/XⅢ)	-
328	288	A04	B08	剥片	OB3A	21.7	17.0	9.6	1.4	▲3462(I-20/XⅢ)	-
328	289	A04	B08	剥片	OB3A	22.7	19.8	7.2	2.9	▲3758(I-20/XⅢ)	-
328	290	A04	B08	剥片	OB3A	19.8	21.4	5.0	1.1	▲3446(I-20/XⅢ)	-
328	291	A04	B08	石核	OB3A	20.4	15.7	9.6	1.5	▲3454(I-20/XⅢ)	-
330	292	A04	B09	台形石器	OB3A	14.8	12.3	4.6	0.6	▲3821(I-19/XⅢ)	-
330	293	A04	B09	台形石器	SH2B	14.4	11.9	5.2	0.7	▲4077(I-19/XⅢ)	-
330	294	A04	B09	台形石器	OB3A	12.7	12.2	2.9	0.3	▲3745(I-20/XⅢ)	-

第71表　第Ⅱ文化層第４エリア出土石器観察表（2）

挿図No	図No	エリア	ブロック	分類L2	石材	最大長	最大幅	最大厚	重量	取上No(グリッド/層位)	接合No
330	295	A04	B09	台形石器	OB3A	8.8	10.8	3.7	0.3	▲3914(I-19/XⅢ)	-
330	296	A04	B09	台形石器	OB3A	16.7	14.9	5.3	0.9	▲3850(I-19/XⅢ)	No.40
330	297	A04	B09	台形石器	OB3B	11.5	12.7	5.5	0.6	▲3884(I-19/XⅢ)	-
330	298	A04	B09	台形石器	OB3A	18.0	10.0	4.6	0.7	▲3725(I-20/XⅢ)	-
330	299	A04	B09	台形石器	SH2D	19.7	11.0	5.2	0.7	▲3828(I-19/XⅢ)	-
330	300	A04	B09	台形石器	OB3A	20.8	13.7	5.3	1.2	▲3769(I-20/XⅢ)	-
330	301	A04	B09	剥片	OB3A	7.0	16.4	3.1	0.3	▲3731(I-20/XⅢ)	-
330	302	A04	B09	剥片	OB3A	17.0	12.4	2.6	0.3	▲3856(I-19/XⅢ)	-
330	303	A04	B09	剥片	OB3A	16.7	13.2	4.4	1.1	▲3864(I-20/XⅢ)	-
330	304	A04	B09	剥片	OB3B	16.5	15.7	6.3	1.0	▲3777(I-20/XⅢ)	-
330	305	A04	B09	剥片	OB3A	19.0	17.7	4.0	1.0	▲3794(I-19/XⅢ)	-
330	306	A04	B09	剥片	OB3A	19.4	15.6	5.5	1.2	▲3734(I-20/XⅢ)	-



第338図　第Ⅱ文化層第５エリア第12ブロック石器出土状況図



第339図　第Ⅱ文化層第５エリア第12ブロック出土石器実測図

石核は348・351・399等から，礫面を持つ角礫素材が多用され，非調整剥片剥離が基盤と判断される。なお，391・392の石核は頁岩である。

372のハンマーは損傷が激しく，縦方向に分割破損している。

第６エリア

第14～第16の３ブロックで構成し，黒曜石Ⅲ類に頁岩が追従する。

９点(400・408～411・420・422・424・426)の台形石器を抽出し，他は台形石器製作に関わる剥片と石核である。

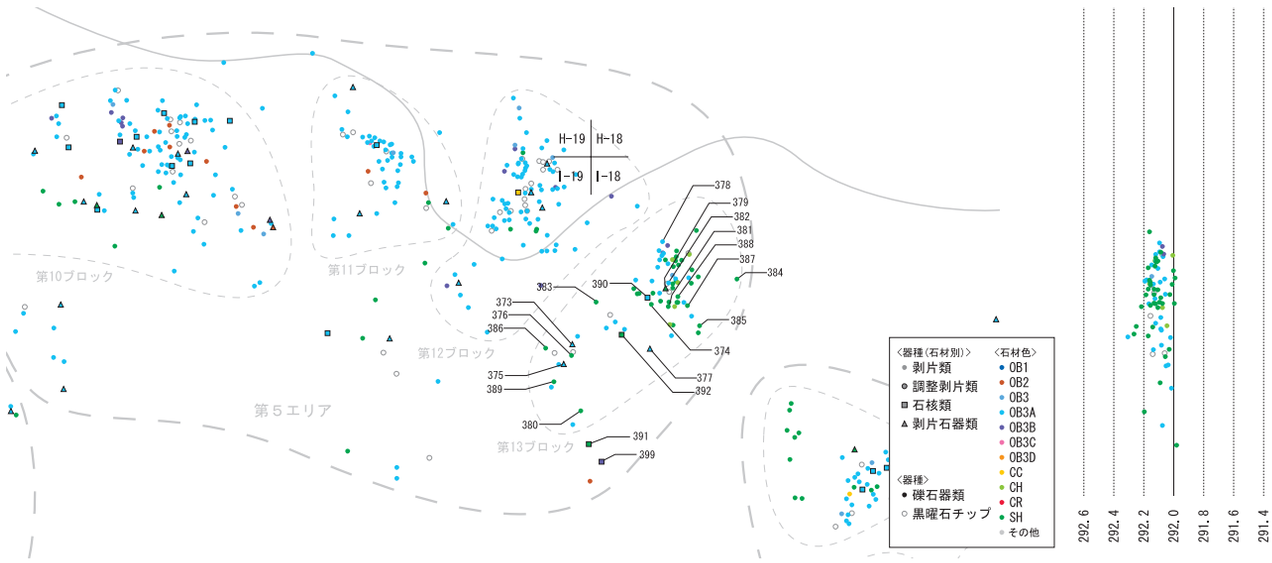
400は腹面が弯曲した剥片を縦方向に用い，腹面からの刃潰し加工で主軸を縦長に仕上げている。410は打面部分を折断した形状を大きく変えることなく，腹面から整然と刃潰し加工を行い，基部にも及んでいる。411は側縁に礫面部を活かし，調整を最小限に押さえている。420・422は，素材剥片の選択段階から小型化の傾向がみられる。424は礫面打面を活かし，背面を主に整形隔離を行っている。426は打面転移の見られる素材を用い，素材の形状を保っている。

石核素材はこれまでと同様，礫面を持つ角礫素材で正面を作業対象とし，背面への剥離作業を行わないものが主流をなしている。436は稜上から交互に剥片剥離を行った，数少ない事例の一つである。

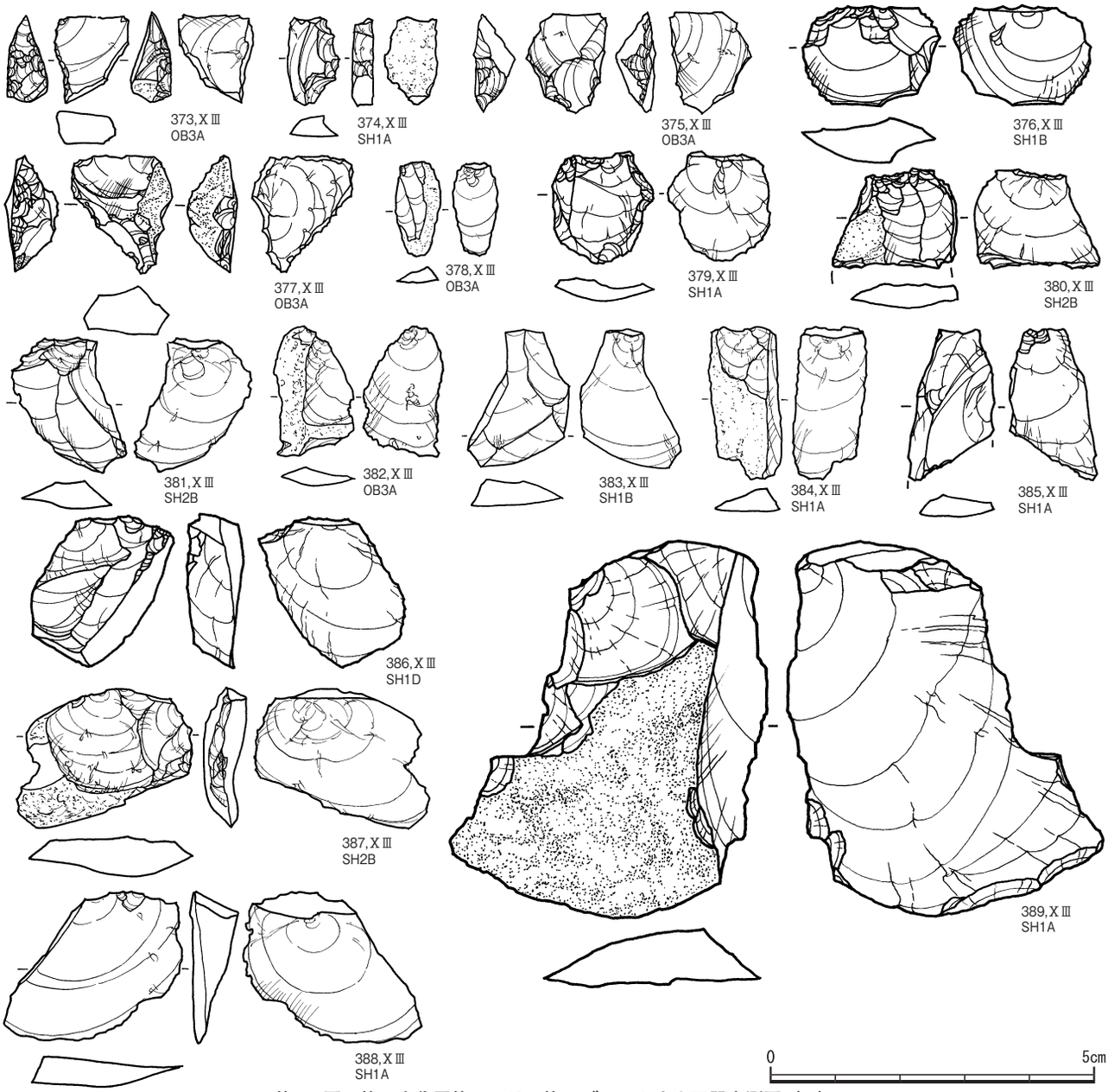
第７エリア

第17～第19の３ブロックで構成し，黒曜石Ⅲ類が主体であることは同じである。３ブロックは，台形石器(11点)の製作を濃厚に示す資料を含んでいるが，ブロック外からは縦長剥片関連の資料が認められる。

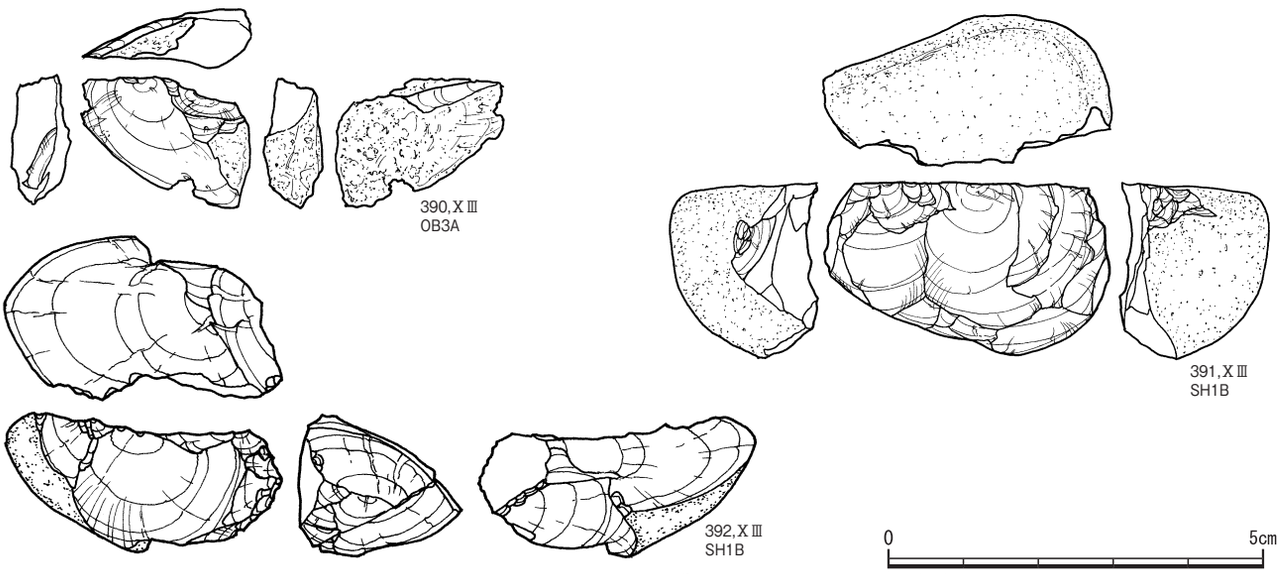
439は，小型剥片を折断した打面と端部に微細な調整剥離



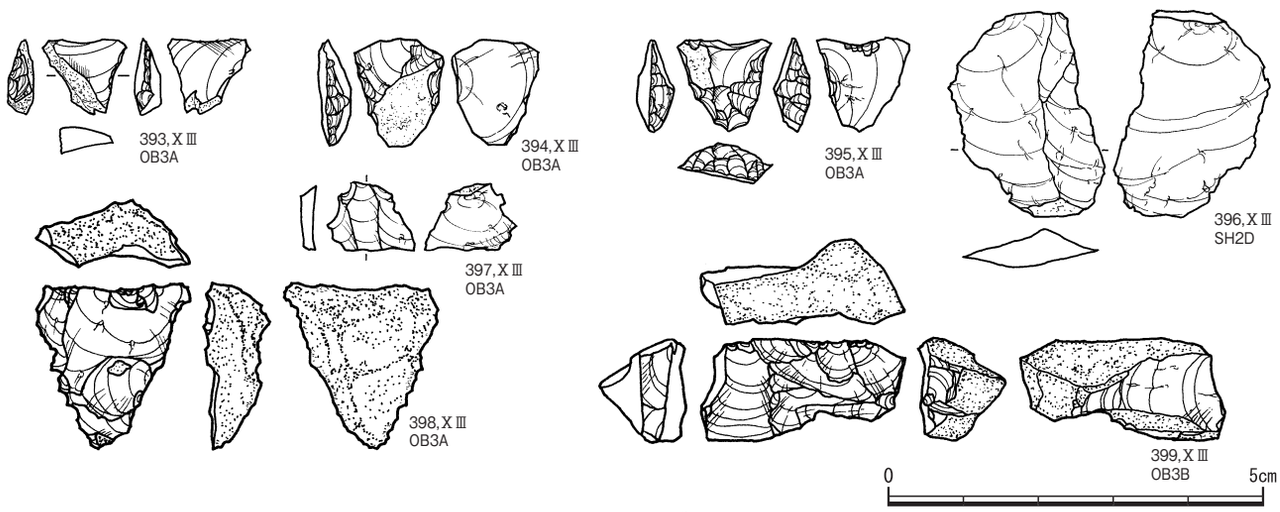
第340図　第Ⅱ文化層第５エリア第13ブロック石器出土状況図



第341図　第Ⅱ文化層第５エリア第13ブロック出土石器実測図（１）



第342図　第Ⅱ文化層第５エリア第13ブロック出土石器実測図（２）



第343図　第Ⅱ文化層第５エリアブロック外出土石器実測図

第72表　第Ⅱ文化層第４エリア出土石器観察表（３）

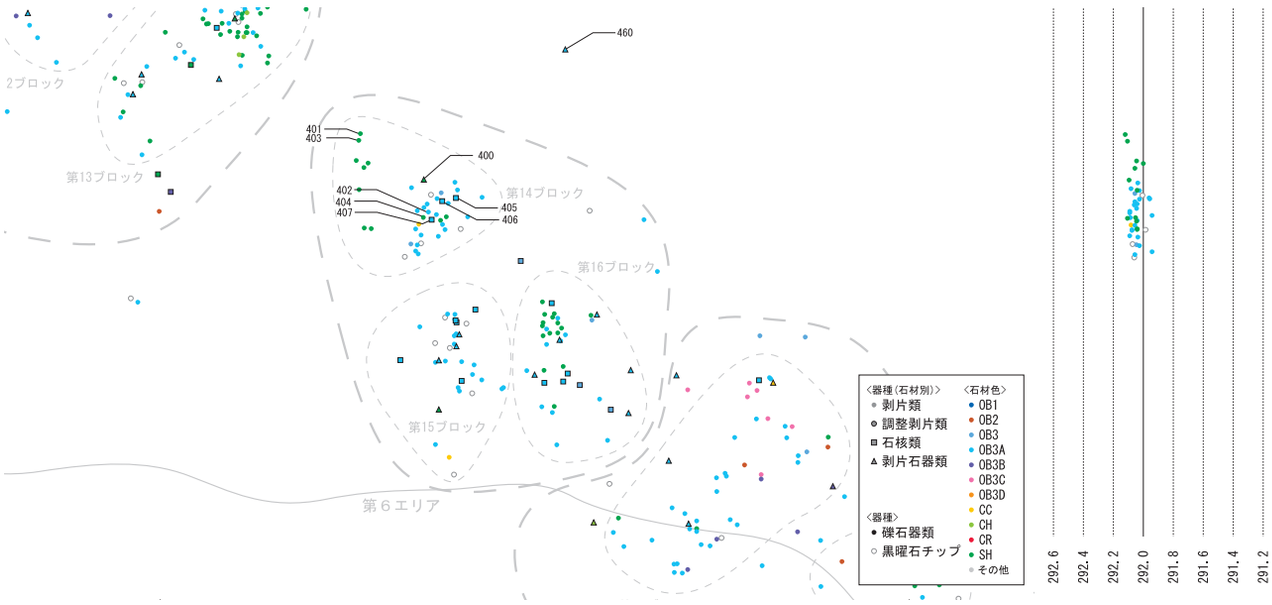
挿図No	図No	エリア	ブロック	分類L2	石材	最大長	最大幅	最大厚	重量	取上No(グリッド/層位)	接合No
330	307	A04	B09	剥片	OB3A	18.9	16.2	5.0	1.2	▲3789(I-19/XⅢ)	-
330	308	A04	B09	剥片	OB3A	21.5	15.7	4.0	1.1	▲3797(I-19/XⅢ)	-
330	309	A04	B09	台形石器	SH2D	21.8	14.4	7.9	1.8	▲4078(I-19/XⅢ)	-
331	310	A04	B09	剥片	SH2B	27.8	20.4	9.9	5.8	▲3712(I-19/XⅢ)	-
331	311	A04	B09	石核	OB3A	10.6	18.3	8.9	1.4	▲3773(I-20/XⅢ)	-
331	312	A04	B09	石核	OB3A	18.3	18.7	9.0	1.5	▲3901(I-20/XⅢ)	No.40
331	313	A04	B09	石核	OB3A	22.0	15.2	10.6	2.0	▲3726(I-20/XⅢ)	-
331	314	A04	B09	石核	OB3A	20.7	26.1	17.3	4.9	▲3739(I-20/XⅢ)	-
331	315	A04	B09	石核	OB3A	17.2	24.8	8.5	-	▲3793(I-19/XⅢ)	No.38
332	316	A04	B00	台形石器	OB3A	10.5	10.6	4.7	0.4	▲3806(I-19/XⅢ)	-
332	317	A04	B00	剥片	OB3A	16.1	26.2	6.2	1.8	▲3426(I-20/XⅢ)	-

第73表　第Ⅱ文化層第５エリア出土石器観察表（１）

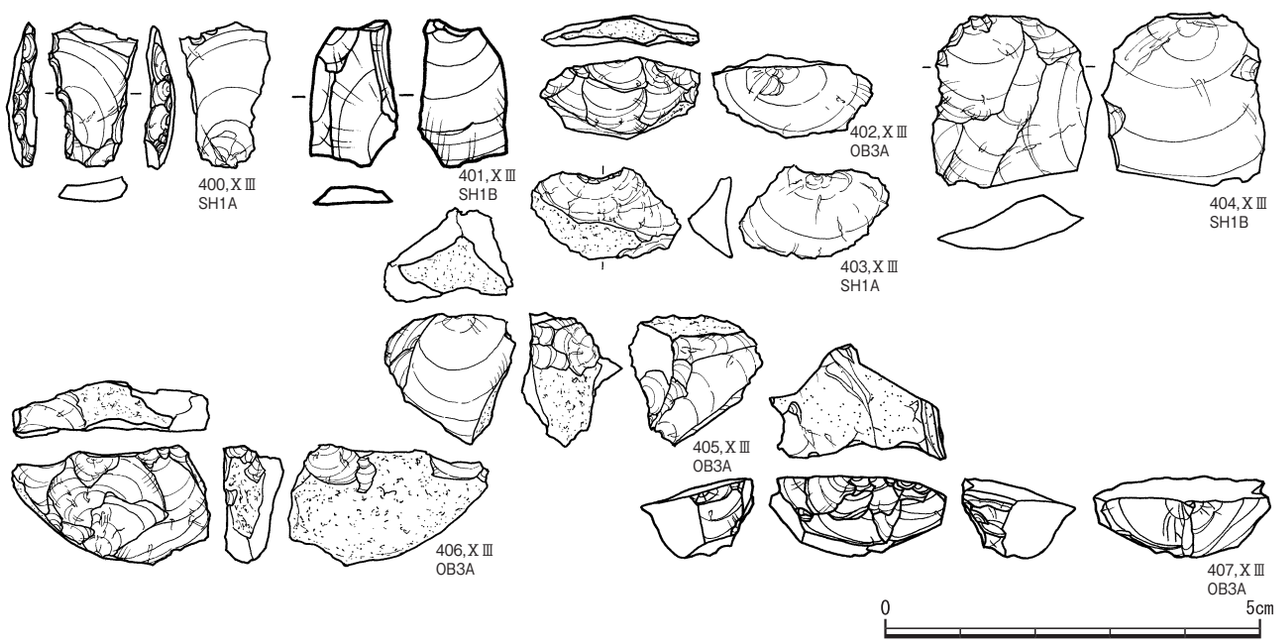
挿図No	図No	エリア	ブロック	分類L2	石材	最大長	最大幅	最大厚	重量	取上No(グリッド/層位)	接合No
334	318	A05	B10	台形石器	OB3A	12.9	8.6	3.8	0.2	▲3707(I-19/XⅢ)	-
334	319	A05	B10	台形石器	OB3A	13.1	9.5	3.4	0.2	▲6854(H-19/XⅢ下)	-
334	320	A05	B10	台形石器	OB3A	10.6	9.8	4.3	0.4	▲4057(H-19/XⅢ)	-
334	321	A05	B10	台形石器	OB3A	12.4	10.3	3.7	0.4	▲4062(I-19/XⅢ)	-
334	322	A05	B10	台形石器	OB3B	14.8	13.1	5.7	0.8	▲5893(I-19/XⅢ)	-
334	323	A05	B10	台形石器	OB3A	17.0	9.7	4.3	0.5	▲5879(I-19/XⅢ)	-
334	324	A05	B10	台形石器	OB3A	12.0	13.0	4.3	0.4	▲5876(I-19/XⅢ)	-
334	325	A05	B10	台形石器	OB3B	12.9	13.7	5.0	0.6	▲6459(H-19/XⅢ下)	-
334	326	A05	B10	台形石器	SH1D	22.3	15.7	6.8	1.8	▲3700(I-19/XⅢ)	-
334	327	A05	B10	台形石器	OB3A	16.6	11.3	4.0	0.5	▲6458(H-19/XⅢ下)	-
334	328	A05	B10	台形石器	SH2D	15.3	18.5	5.7	1.2	▲3711(I-19/XⅢ)	-
334	329	A05	B10	削器	SH2D	23.8	14.6	5.0	1.4	▲5877(I-19/XⅢ)	No.42
334	330	A05	B10	台形石器	OB2	23.1	17.5	5.4	1.4	▲5891(I-19/XⅢ)	-
334	331	A05	B10	剥片	OB3B	14.1	23.0	7.3	1.6	▲6875(H-19/XⅢ下)	-

第74表　第Ⅱ文化層第５エリア出土石器観察表（２）

挿図No	図No	エリア	ブロック	分類L2	石材	最大長	最大幅	最大厚	重量	取上No(グリッド/層位)	接合No
334	332	A05	B10	剥片	OB3A	17.4	15.9	4.2	1.4	▲5865(H-19/XⅢ)	-
334	333	A05	B10	剥片	OB3A	20.3	13.0	5.6	0.7	▲6471(H-19/XⅢ下)	-
334	334	A05	B10	剥片	OB3A	11.9	10.7	2.0	0.2	▲5855(H-19/XⅢ)	-
334	335	A05	B10	剥片	OB3A	14.2	10.5	3.3	0.4	▲6859(I-19/XⅢ下)	-
334	336	A05	B10	剥片	OB3A	12.6	20.7	5.2	0.8	▲4064(I-19/XⅢ)	-
334	337	A05	B10	剥片	SH1A	20.2	26.0	6.8	2.7	▲4065(I-19/XⅢ)	-
334	338	A05	B10	剥片	SH1A	21.5	29.9	6.0	3.7	▲4061(I-19/XⅢ)	No.39
334	339	A05	B10	剥片	OB2B	24.3	31.0	9.2	4.8	▲4076(I-19/XⅢ)	-
334	340	A05	B10	剥片	SH2D	45.8	39.8	13.0	10.4	▲5874(I-19/XⅢ)	No.42
334	341	A05	B10	剥片	SH1A	19.2	25.3	5.0	1.2	▲3704(I-19/XⅢ)	No.39
335	342	A05	B10	石核	OB3A	14.2	18.5	6.9	1.5	▲6450(I-19/XⅢ下)	-
335	343	A05	B10	剥片	OB3	13.5	24.0	5.5	0.9	▲5895(I-19/XⅢ)	-
335	344	A05	B10	石核	OB3A	16.1	22.8	7.7	2.0	▲4063(I-19/XⅢ)	-
335	345	A05	B10	石核	OB3A	18.2	11.0	12.1	1.5	▲6853(H-19/XⅢ下)	-
335	346	A05	B10	石核	OB3A	17.7	16.4	15.7	1.3	▲4051(H-19/XⅢ)	-
335	347	A05	B10	石核	OB3B	18.9	21.1	10.6	2.4	▲6467(H-19/XⅢ下)	-
335	348	A05	B10	石核	OB3A	13.3	24.5	12.4	2.0	▲4074(I-19/XⅢ)	-
335	349	A05	B10	石核	OB3A	17.5	26.1	11.0	4.2	▲4081(H-19/XⅢ)	-
335	350	A05	B10	石核	OB3A	13.4	23.0	12.1	3.3	▲5870(I-19/XⅢ)	-
335	351	A05	B10	石核	OB3A	15.5	36.5	10.3	4.0	▲5864(H-19/XⅢ)	-
337	352	A05	B11	台形石器	OB3A	9.4	12.6	3.3	0.2	▲5913(I-19/XⅢ)	-
337	353	A05	B11	台形石器	OB3A	16.3	16.9	4.4	0.9	▲5971(I-19/XⅢ)	-
337	354	A05	B11	剥片	OB3A	17.3	7.2	2.6	0.2	▲5982(I-19/XⅢ)	-
337	355	A05	B11	剥片	OB3A	12.1	10.9	3.0	0.4	▲6803(H-19/XⅢ)	-
337	356	A05	B11	剥片	OB3A	16.5	9.6	3.0	0.3	▲5972(I-19/XⅢ)	-
337	357	A05	B11	二次加工痕剥片	OB3A	19.9	20.8	5.6	1.6	▲5906(H-19/XⅢ)	-
337	358	A05	B11	二次加工痕剥片	OB3A	14.1	23.1	7.0	0.8	▲5904(H-19/XⅢ)	-
337	359	A05	B11	剥片	OB3A	14.6	20.1	4.0	0.9	▲5911(I-19/XⅢ)	-



第344図　第Ⅱ文化層第６エリア第14ブロック石器出土状況図



第345図　第Ⅱ文化層第６エリア第14ブロック出土石器実測図

を加えている。449では素材剥片の形状をそのままに，腹面方向から３面に丁寧な刃潰しを施している。441・458は，基部方向を尖らし逆三角形状に仕上げている。448も基部を意識した剥離が見られる。451・459・460は扁平な素材の主軸を縦長に設け，一側縁を主に調整加工を施している。

452・455等の石核はこれまでと同様で，小型の角礫素材選択が読みとれる。

ブロック外の469は二側縁加工ナイフ形石器で，打点方向を先端部としている。ブロック外出土の475・478・479等からは，縦長剥片を剥離する指向がみられる。平坦打面の石核から剥片剥離が行われたことが読みとられ，頭部調整が行われたとみられる。

第８エリア

黒曜石Ⅱ類に黒曜石Ⅲ類が加わる。

石核２点(483・484)と剥片を採取しているが，石器が確認できていない。484は礫面打面で，全周が作業面対象となる。

第９エリア

頁岩が散在して構成する。

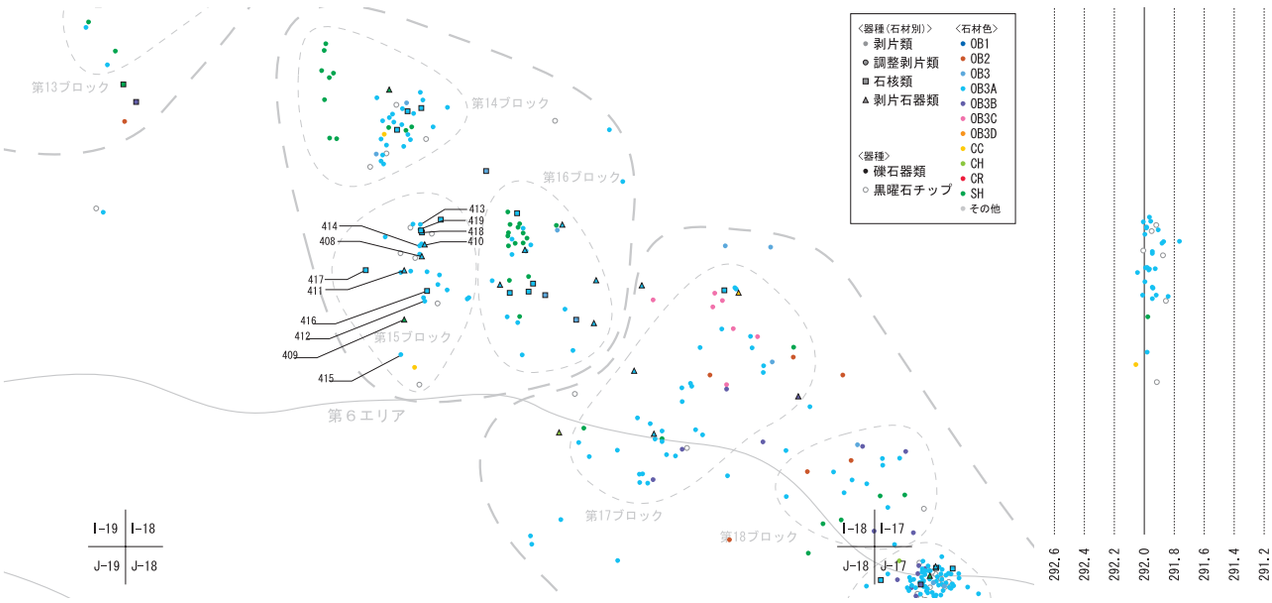
485は角錐状石器の基部と見られるが，他に明確な石器は出土していない。剥片488からは，打面転移が認められる。

第10エリア

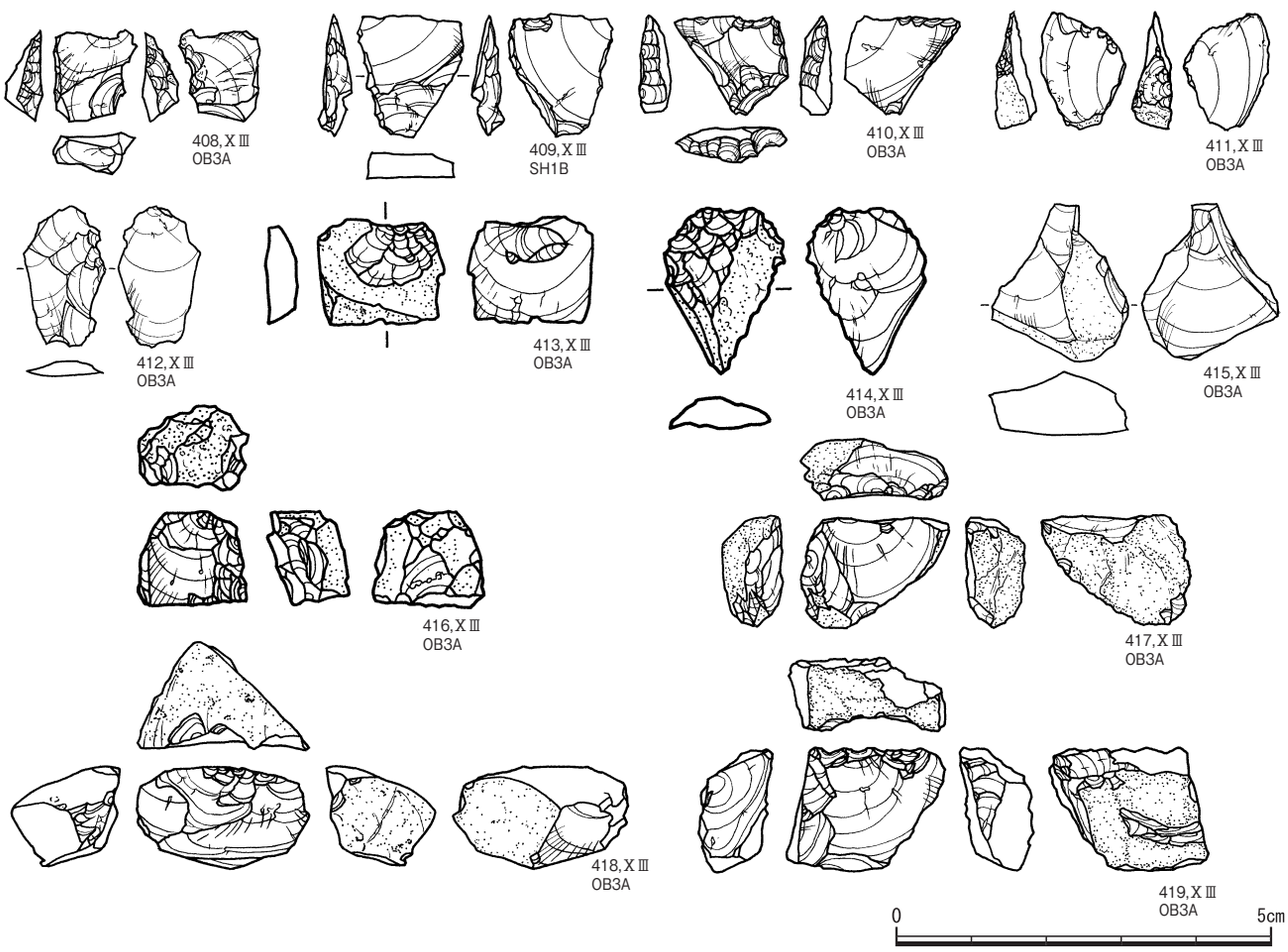
台形石器492が１点確認され，剥離方向の異なる小型の素材剥片を選択している。刃部は打面方向に設け，丁寧な調整剥離は３面に及び刃部の小剥離は刃部調整の可能性もある。

第11エリア

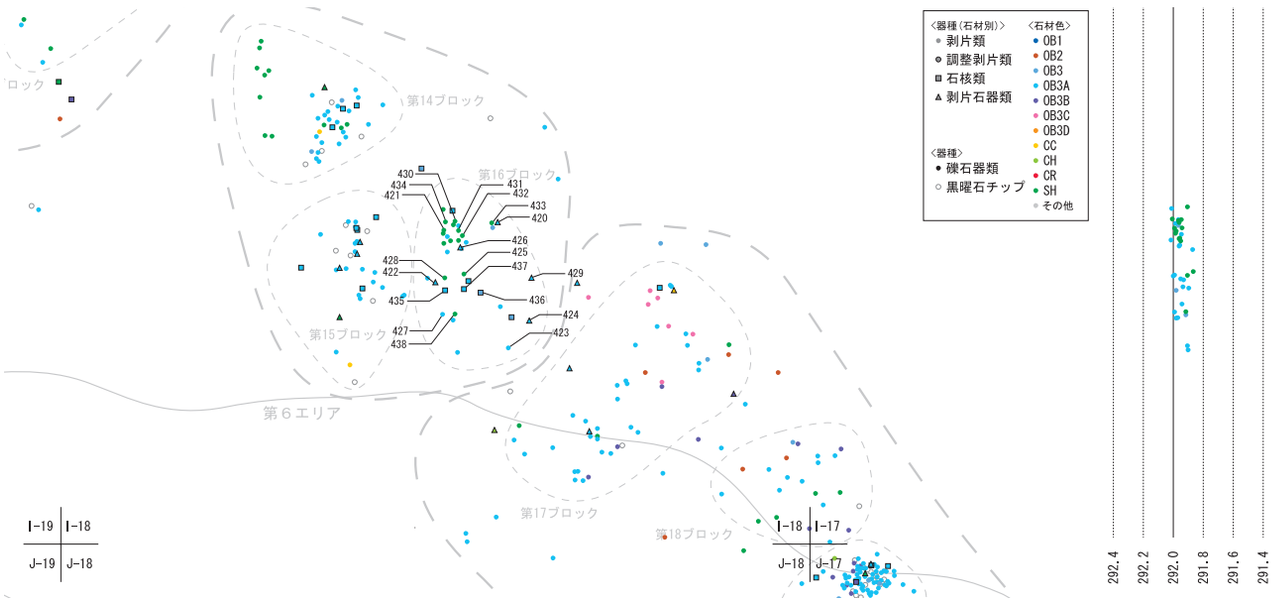
第21～第27の７ブロックで構成し，頁岩と玉髄が主要石材を占める。台形石器製作に関わるエリアで，環状ブロックエ



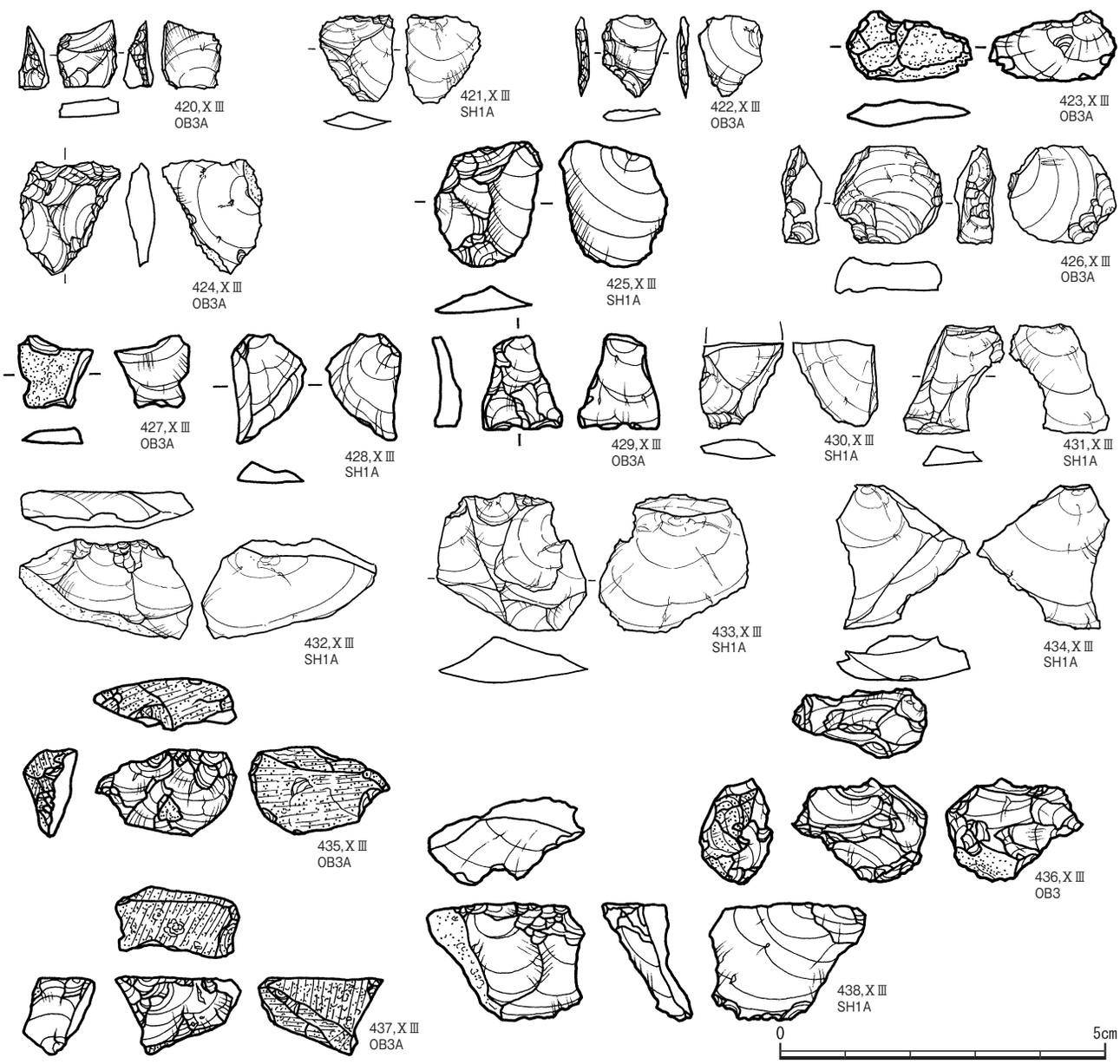
第346図　第Ⅱ文化層第６エリア第15ブロック石器出土状況図



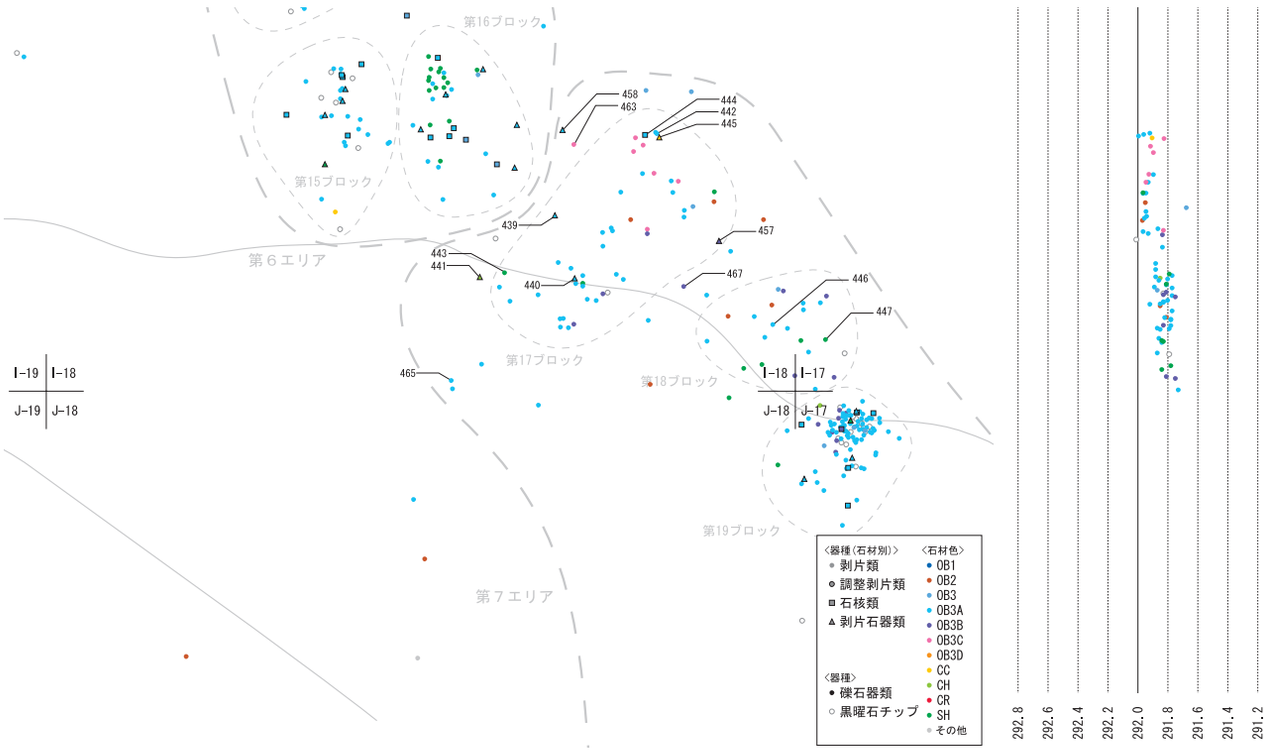
第347図　第Ⅱ文化層第６エリア第15ブロック出土石器実測図



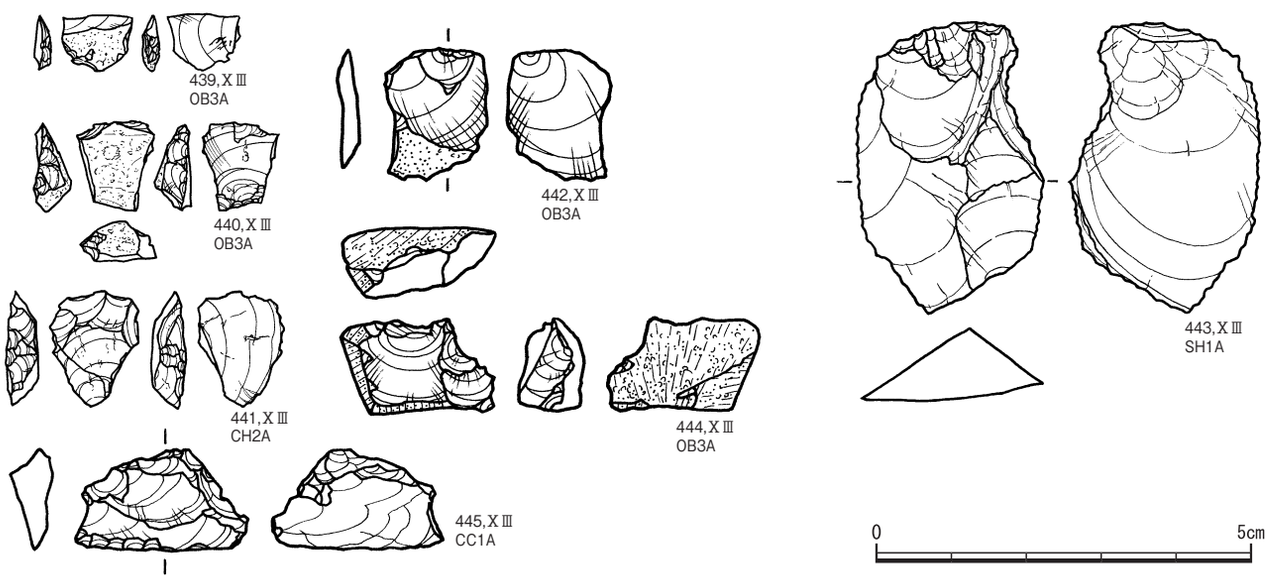
第348図　第Ⅱ文化層第６エリア第16ブロック石器出土状況図



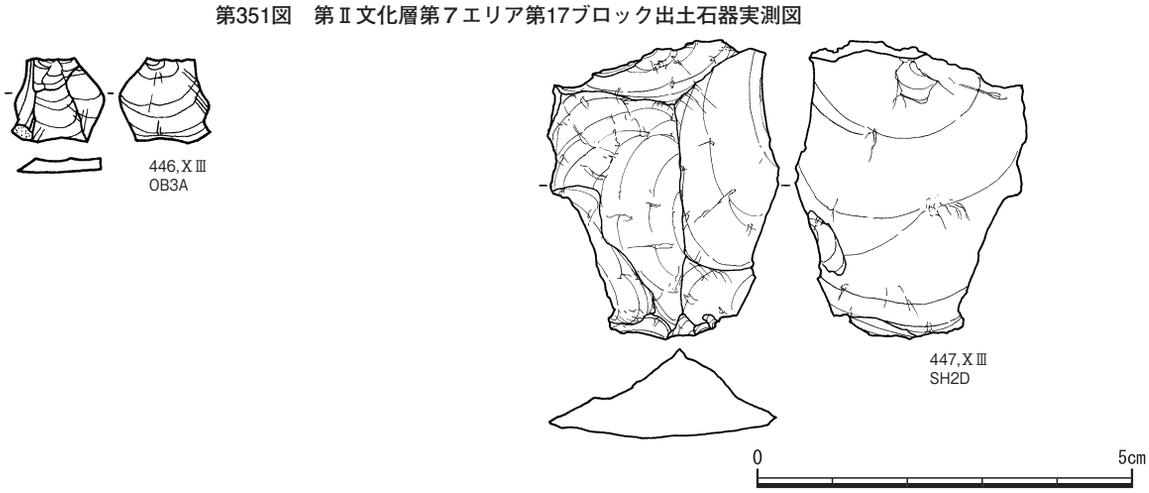
第349図　第Ⅱ文化層第６エリア第16ブロック出土石器実測図



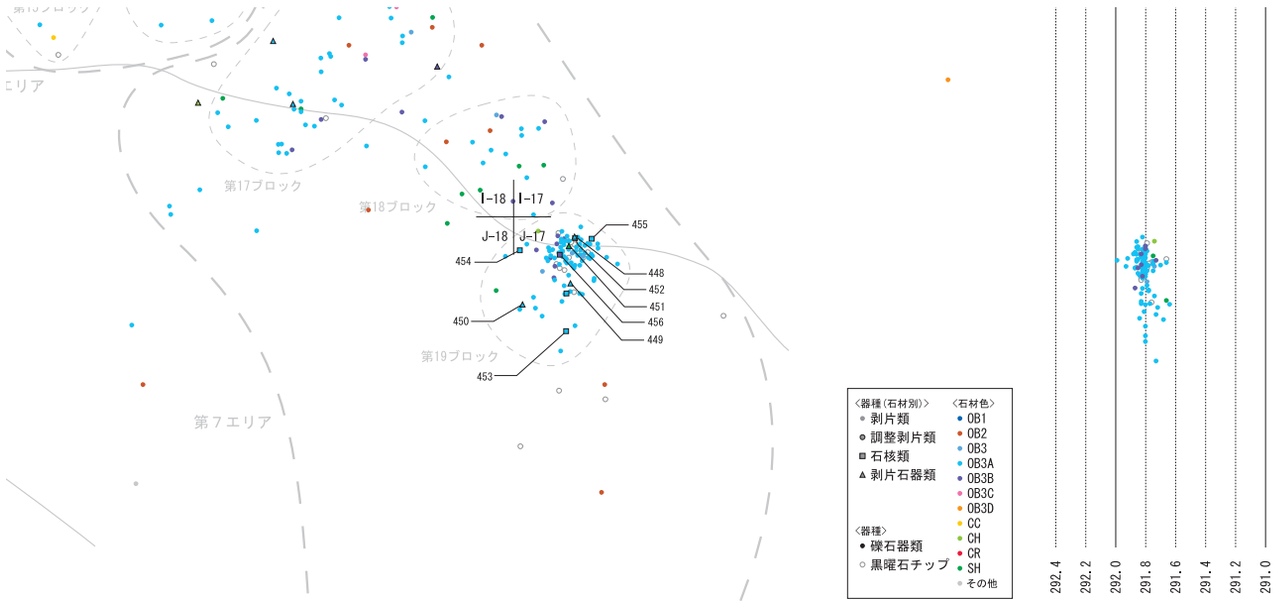
第350図　第Ⅱ文化層第７エリア第17・第18ブロック石器出土状況図



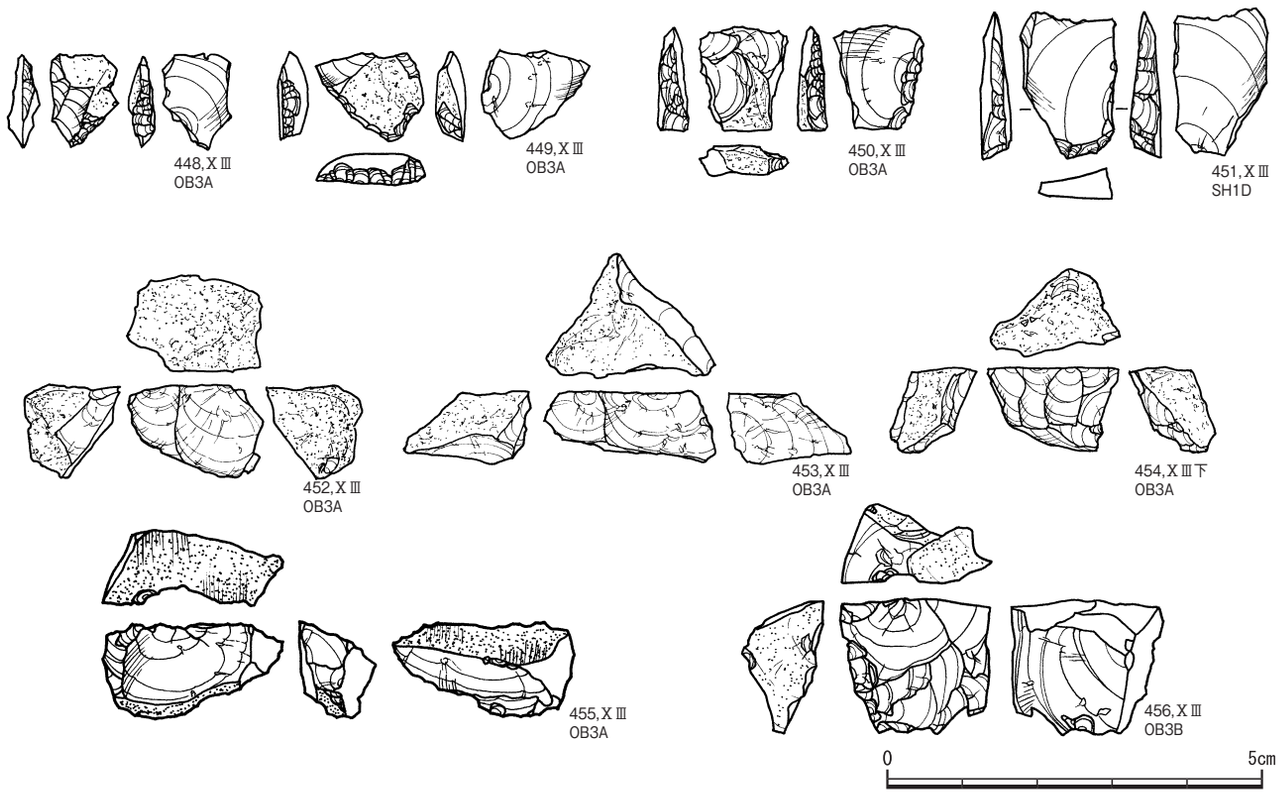
第351図　第Ⅱ文化層第７エリア第17ブロック出土石器実測図



第352図　第Ⅱ文化層第７エリア第18ブロック出土石器実測図



第353図　第Ⅱ文化層第７エリア第19ブロック石器出土状況図



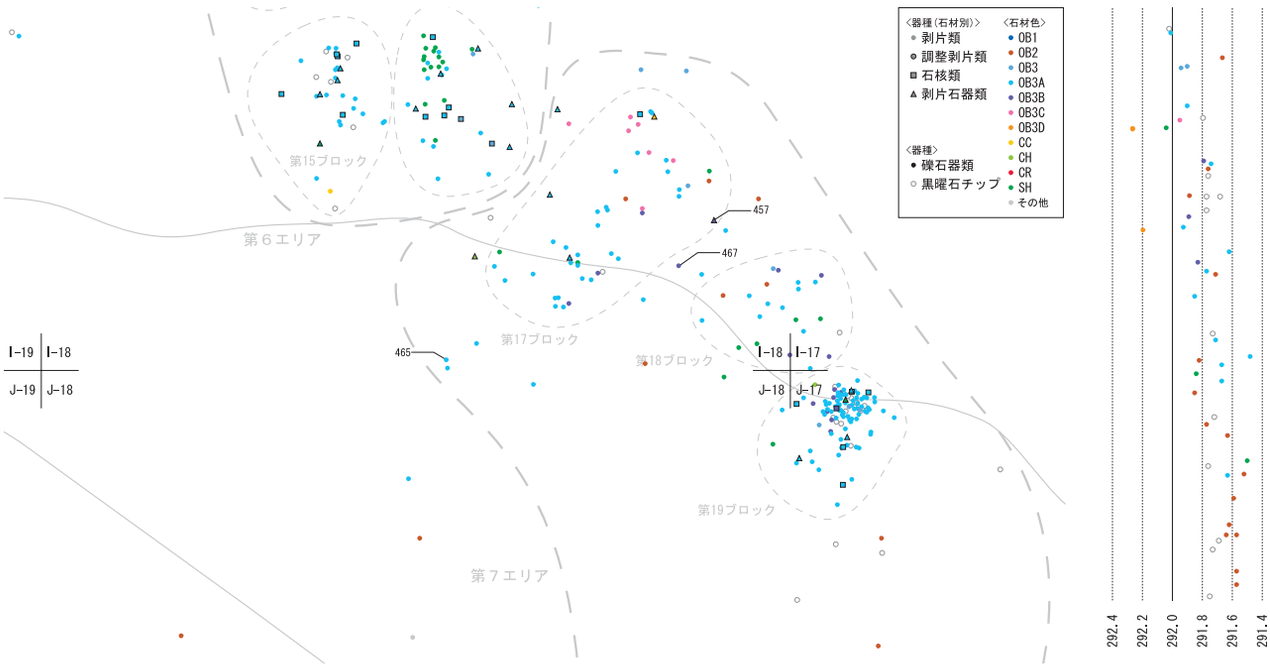
第354図　第Ⅱ文化層第７エリア第19ブロック出土石器実測図

リアと異なる点は，使用石材に帰結する。この第11エリアから第12エリアの配置は，一見弧状を想起させる。

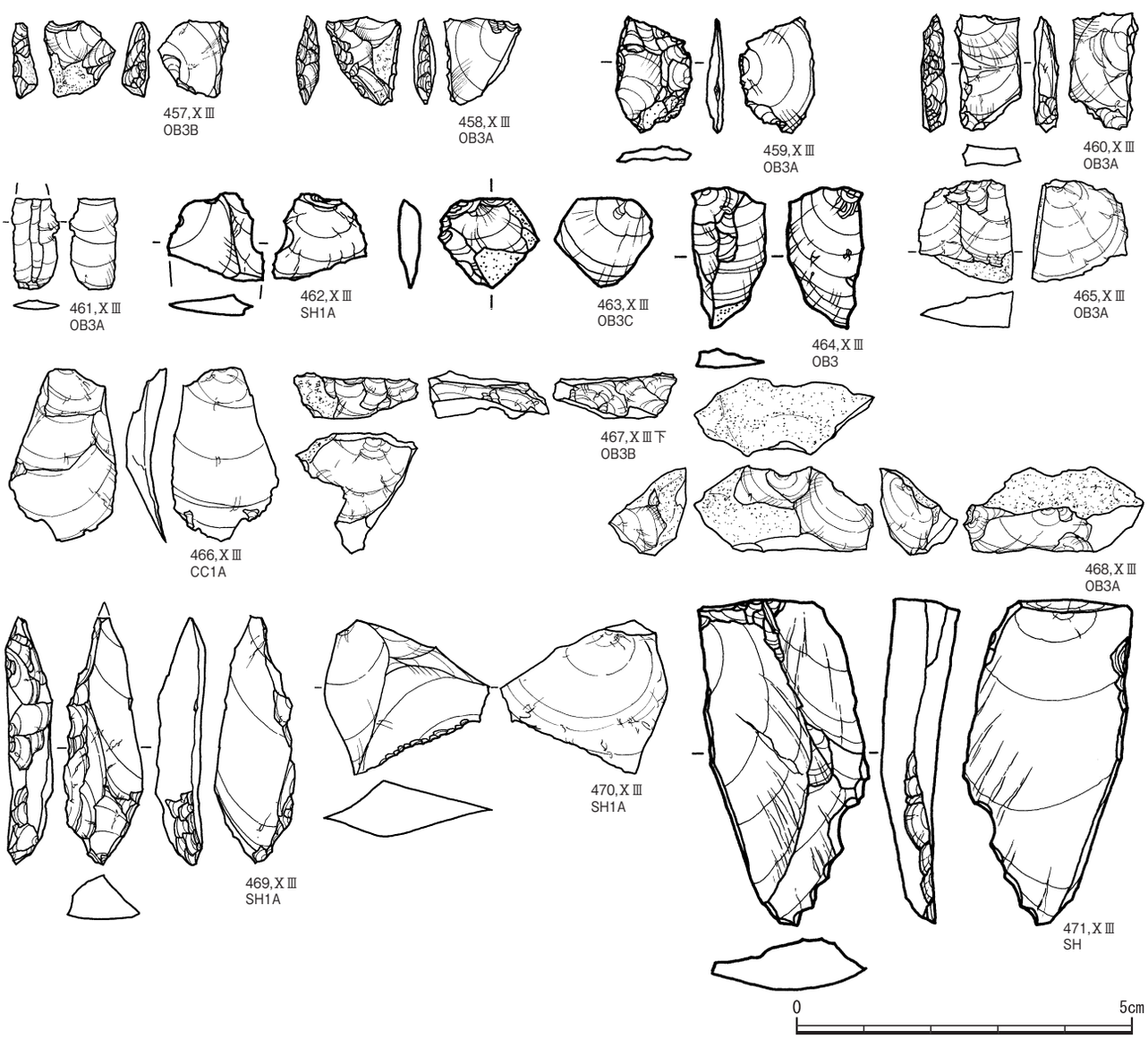
25点の台形石器が認められ，493・501・538・567～569・576・626等は打面転移を繰り返す剥片剥離による剥片を用いたもので，背面で先行する剥離面が交差するため体部中央部が肥厚する傾向がみられる。537・539・540・601等は同一方向から剥ぎ取られた剥片を横位に使用し，537・539・601は打面を活かし，540は大きく除去している。

494の側縁調整は基部まで及び，495は主軸を長く設け，右側縁は折断面を利用している。主軸を長く設けた事例に，504・535・537～539・569・601がある。502・503・534は調整剥離が基部まで及び，基部は鋭く尖る。536の右側縁部の内弯した剥離面は先行した剥離で，腹面の基部調整は奥まで及んでいる。569の打面は大きく除去され，弯曲する。568は素材の形状がそのまま活かされる。576の刃部は素材の形状により大きく内弯し，背面の調整は平坦剥離が見られる。602は両面に礫面を残すことから，碁石状の原礫が素材と思われる。

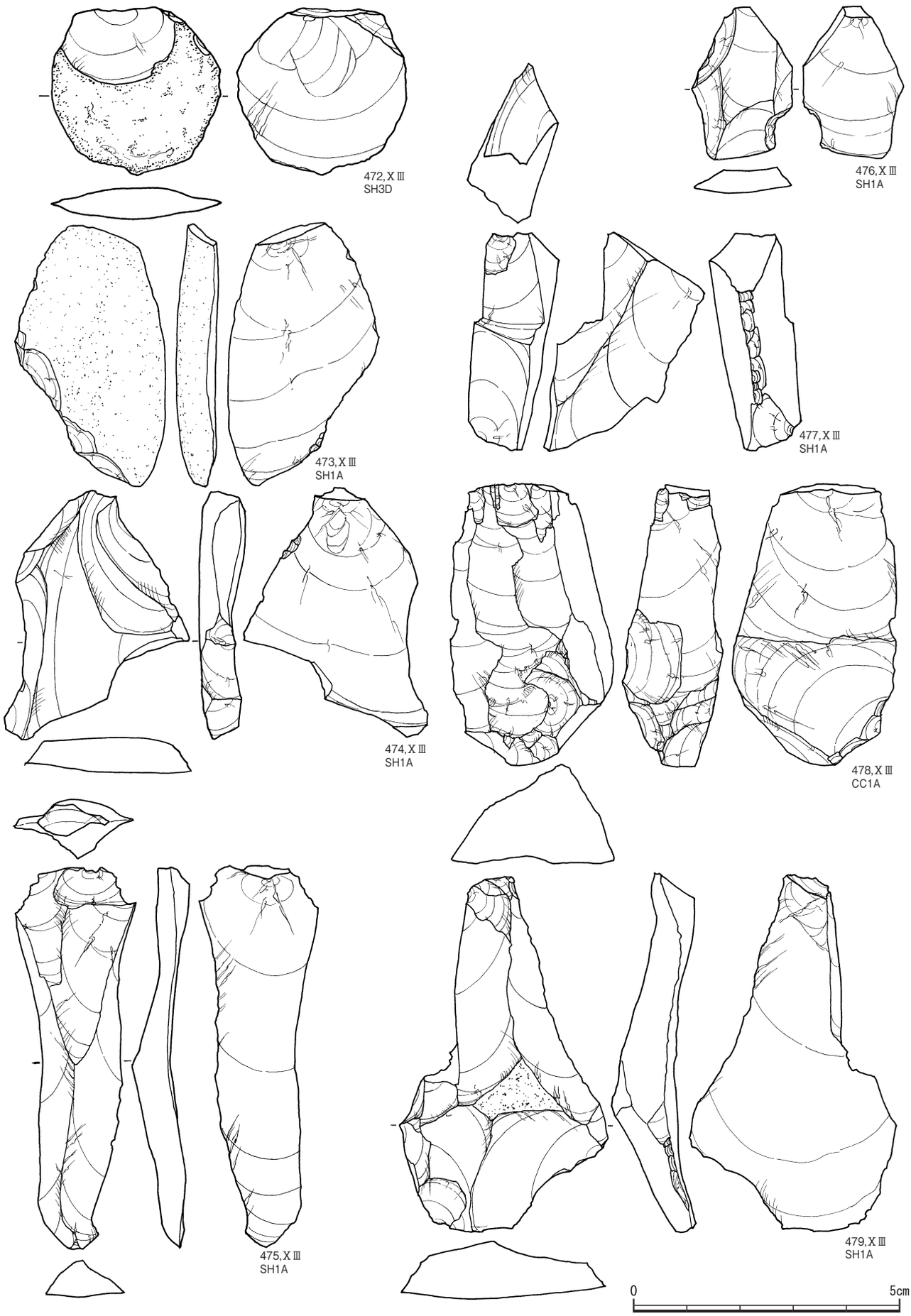
574・590は角錐状石器の形状を呈しているが，剥片ないしは調整剥片の可能性もあり判然としない。595は小型二側縁



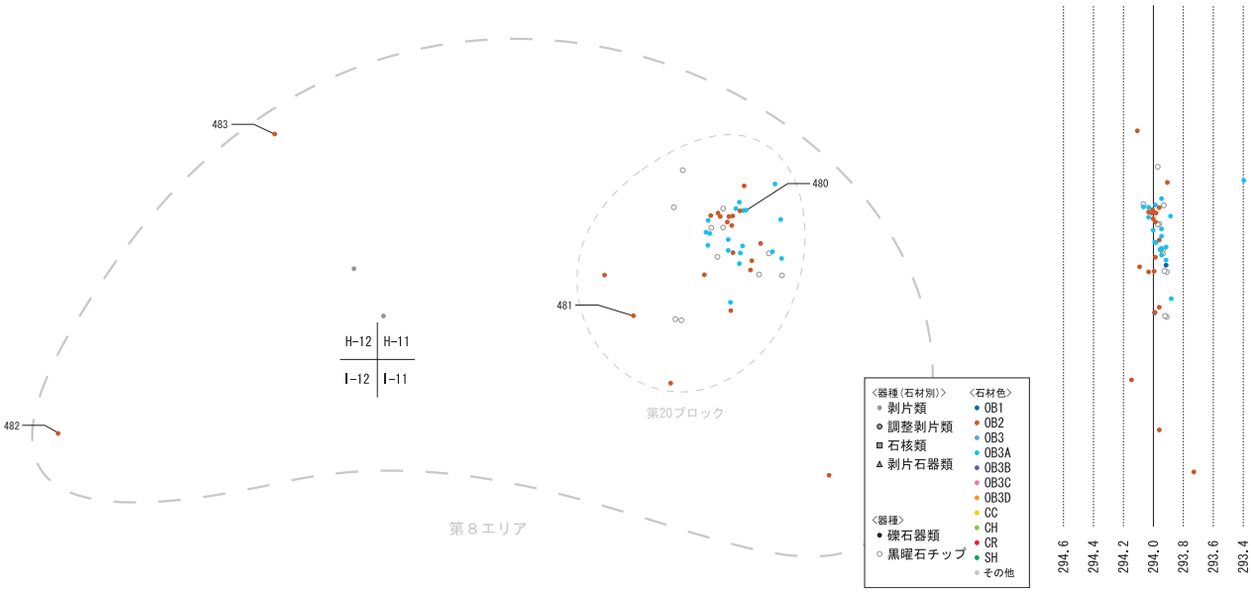
第355図　第Ⅱ文化層第７エリア石器出土状況図



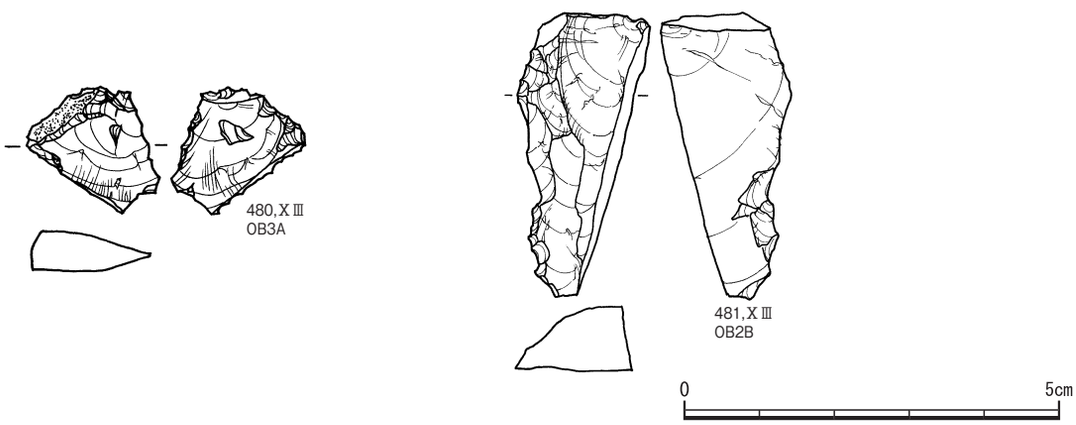
第356図　第Ⅱ文化層第７エリアブロック外出土石器実測図（１）



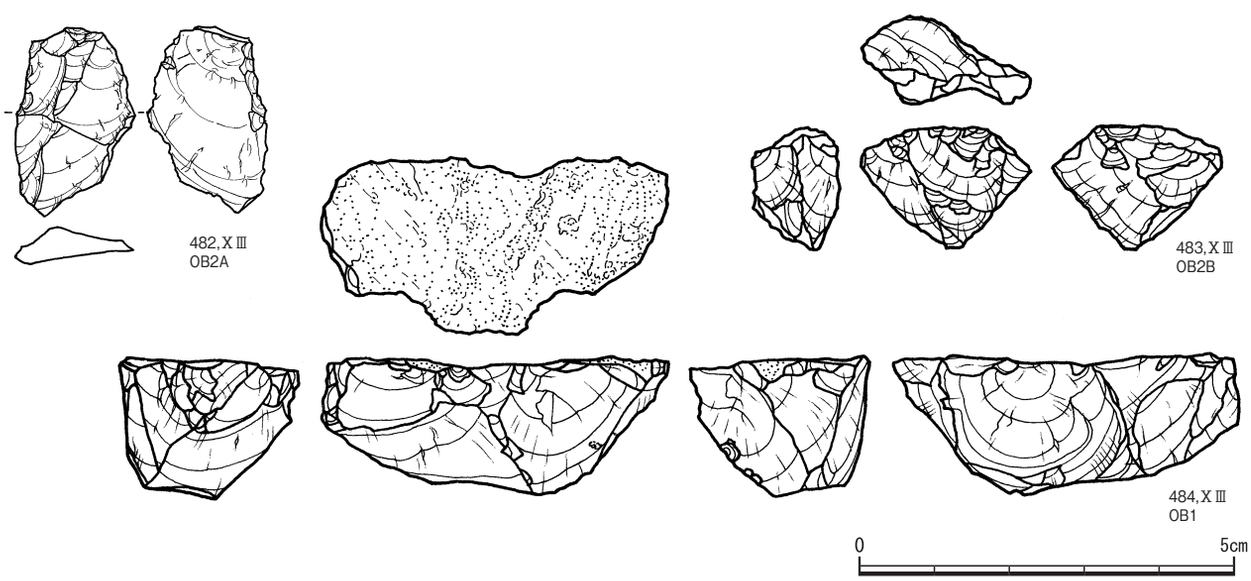
第357図　第Ⅱ文化層第７エリアブロック外出土石器実測図（２）



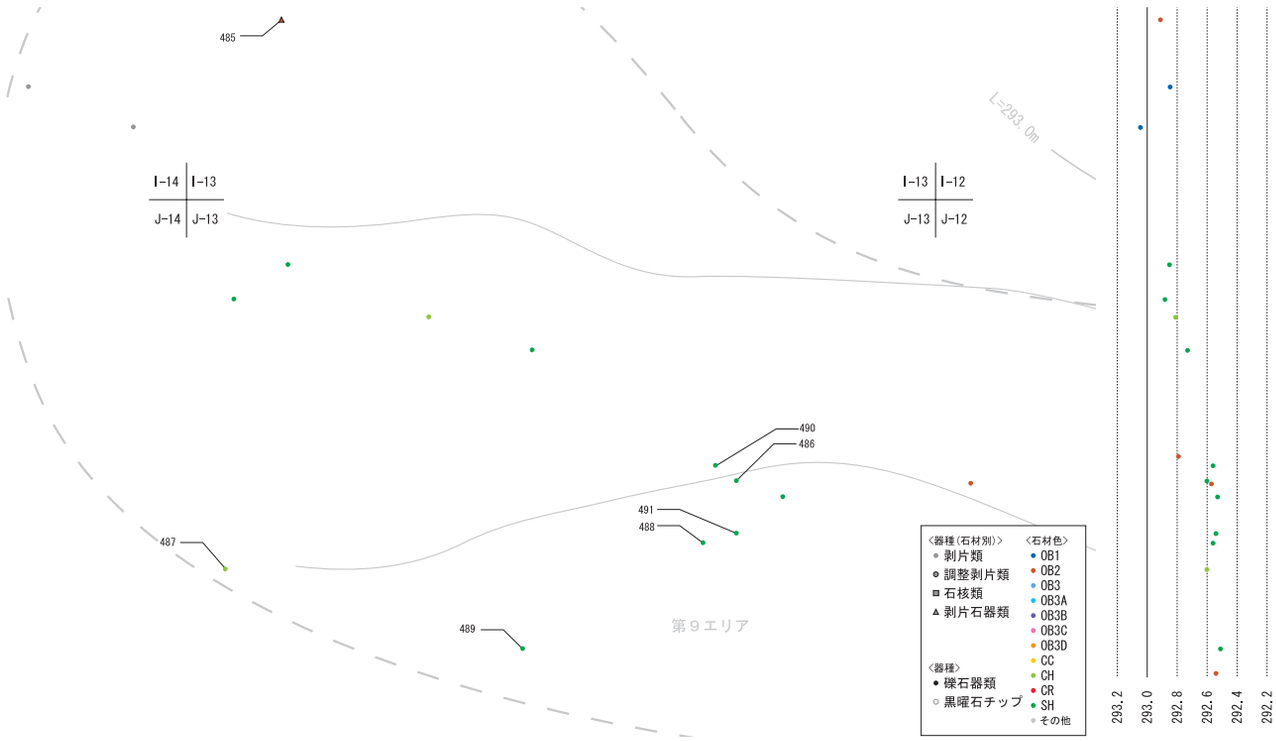
第358図　第Ⅱ文化層第８エリア第20ブロック石器出土状況図



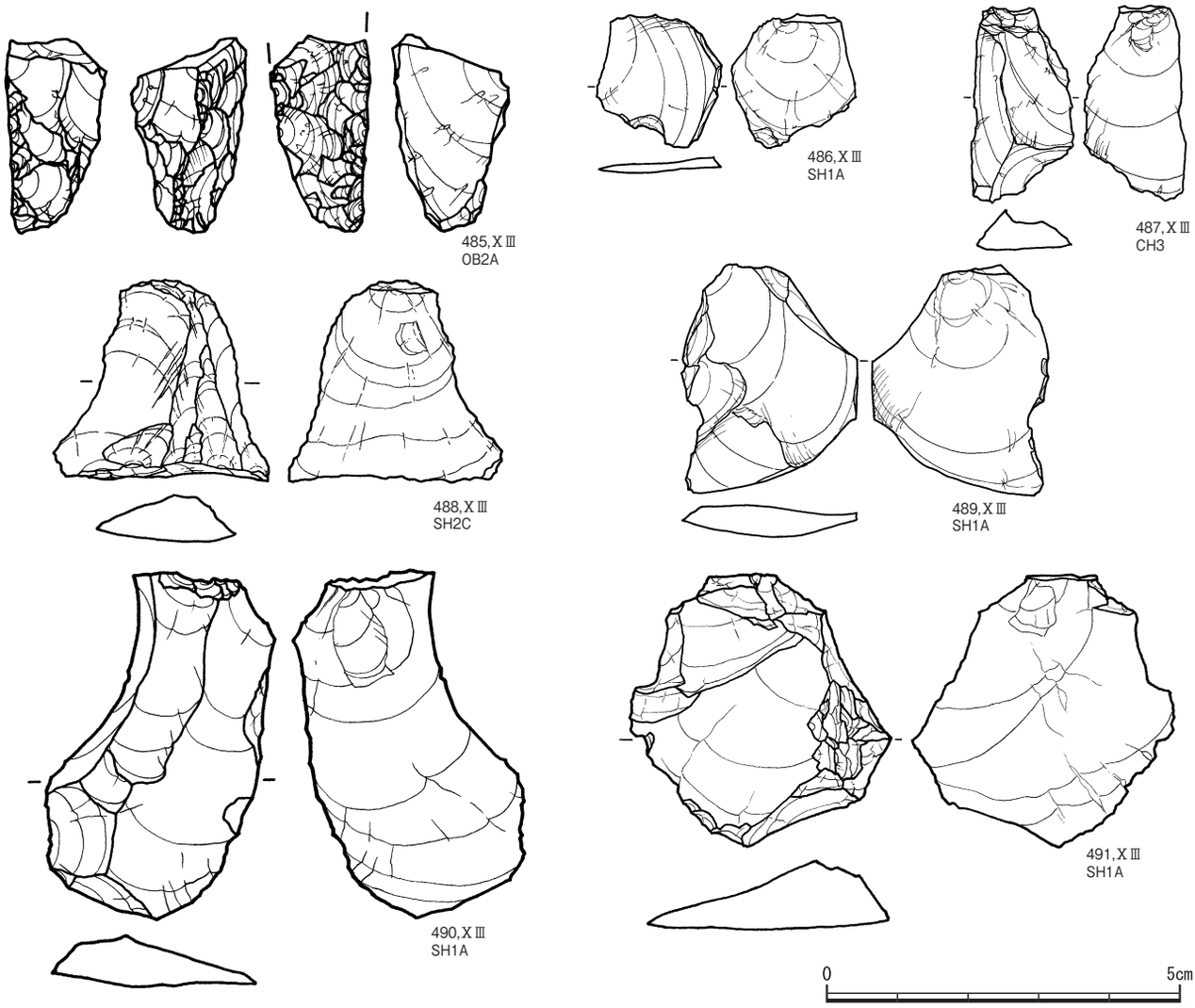
第359図　第Ⅱ文化層第８エリア第20ブロック出土石器実測図



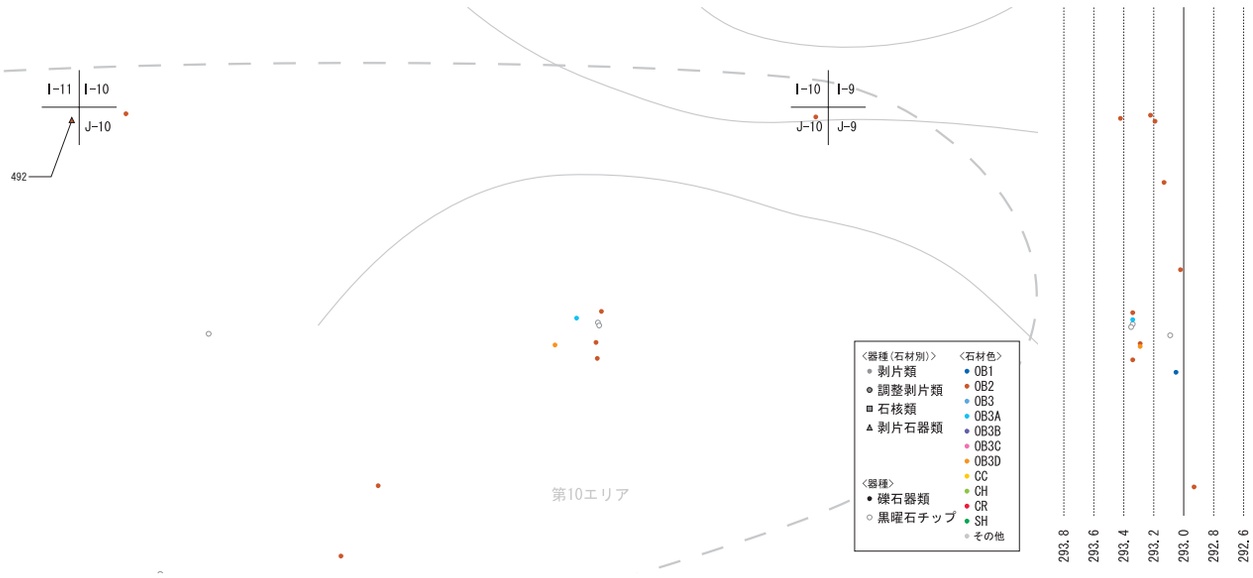
第360図　第Ⅱ文化層第８エリア出土石器実測図



第361図　第Ⅱ文化層第９エリア石器出土状況図



第362図　第Ⅱ文化層第９エリア出土石器実測図



第363図　第Ⅱ文化層第10エリア石器出土状況図

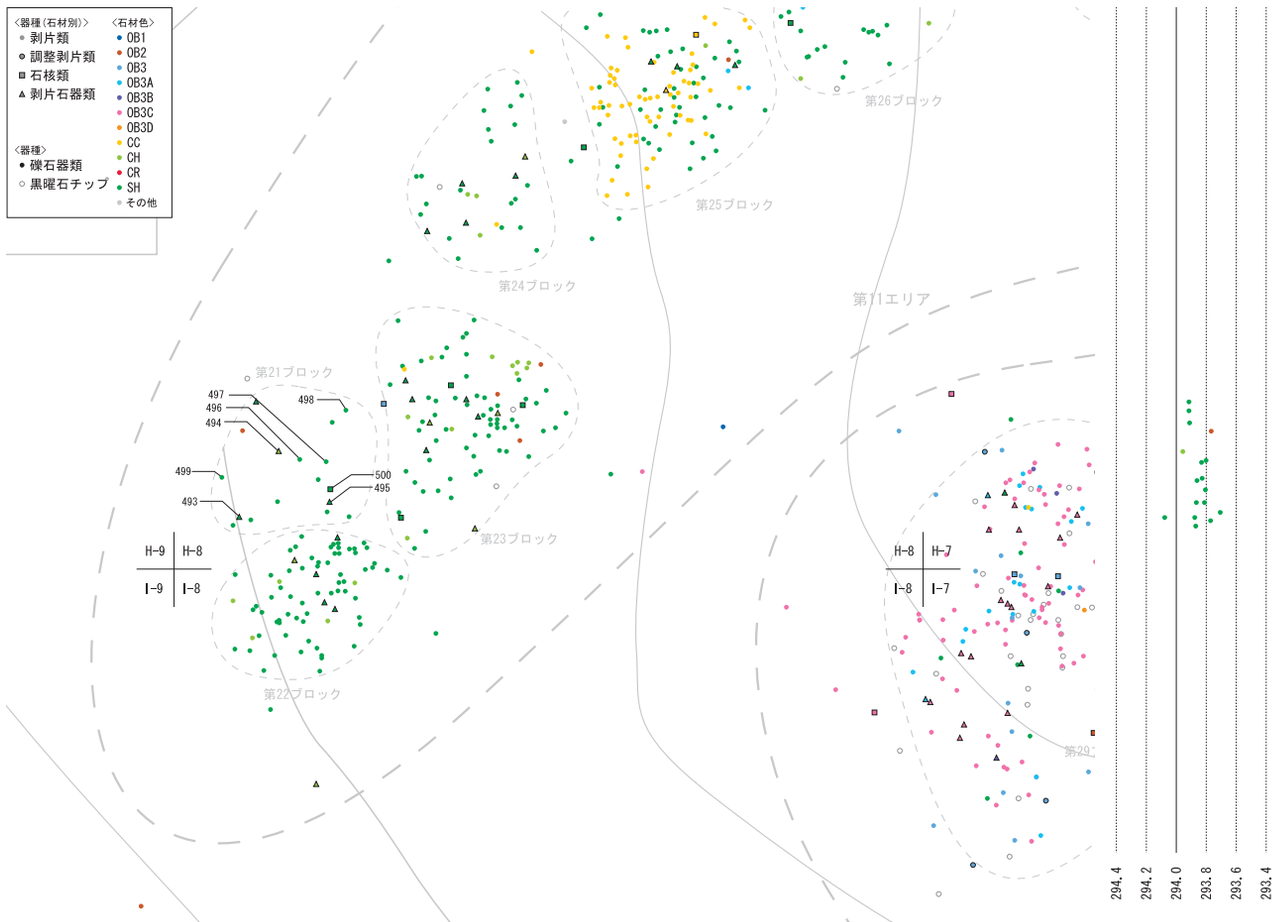
第364図　第Ⅱ文化層第10エリア出土石器実測図

第75表　第Ⅱ文化層第５エリア出土石器観察表（３）

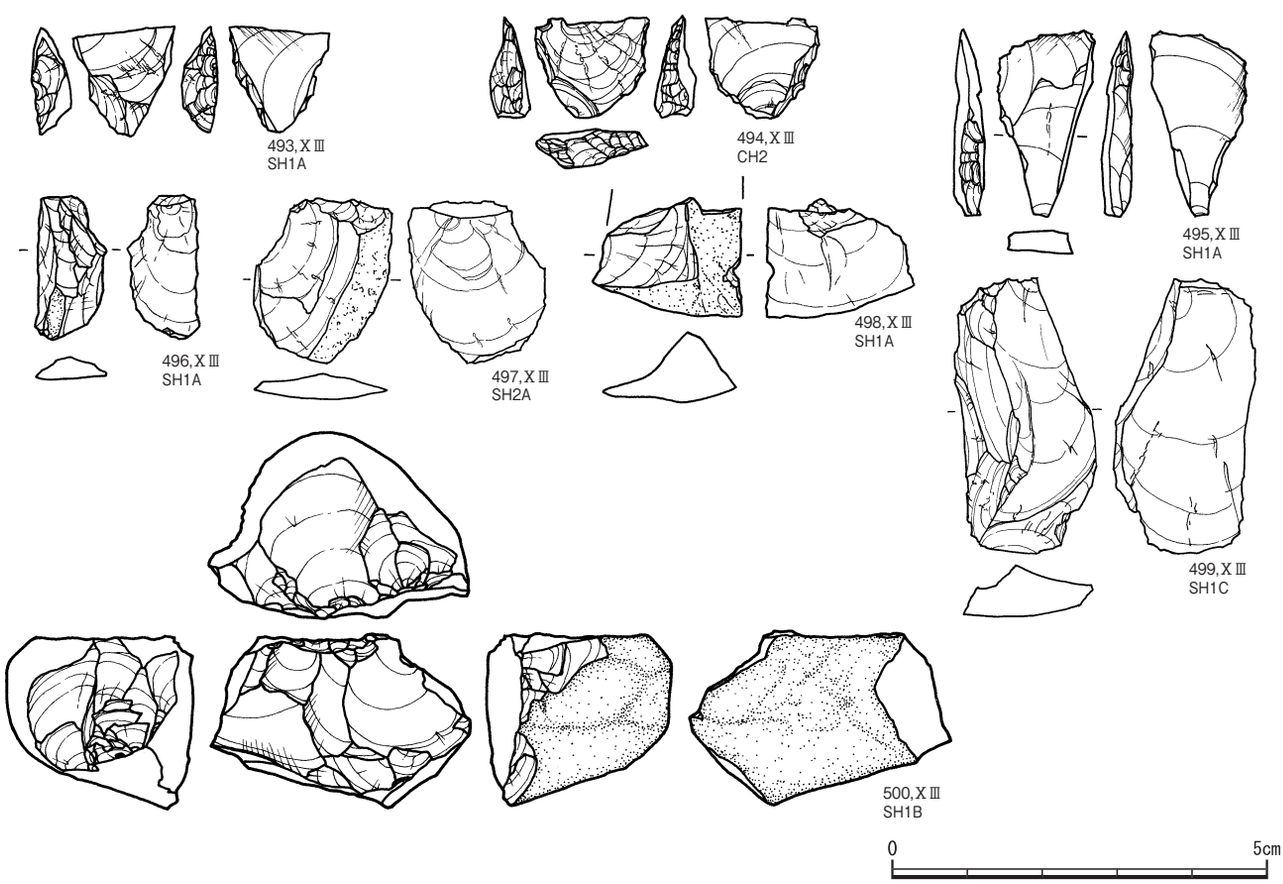
挿図No	図No	エリア	ブロック	分類L2	石材	最大長	最大幅	最大厚	重量	取上No(グリッド/層位)	接合No
337	360	A05	B11	剥片	SH1A	19.0	22.7	5.0	1.7	▲5985(I-19/XⅢ)	No.39
337	361	A05	B11	剥片	OB3A	15.1	17.8	7.5	1.3	▲5914(I-19/XⅢ)	-
337	362	A05	B11	剥片	OB3A	21.5	20.1	7.0	1.7	▲6491(H-19/XⅢ)	-
337	363	A05	B11	剥片	SH	19.9	25.2	6.7	2.9	▲6808(I-19/XⅢ下)	No.43
337	364	A05	B11	石核	OB3A	14.9	18.7	18.8	2.2	▲6490(H-19/XⅢ)	-
339	365	A05	B12	台形石器	OB3A	12.3	11.8	4.3	0.4	▲6429(I-19/XⅢ)	-
339	366	A05	B12	台形石器	OB3A	14.3	8.9	4.4	0.3	▲6421(I-19/XⅢ)	-
339	367	A05	B12	台形石器	OB3A	19.5	9.4	6.0	0.7	▲6420(I-19/XⅢ)	-
339	368	A05	B12	台形石器	OB3A	16.2	14.2	6.4	1.1	▲5944(I-19/XⅢ)	No.44
339	369	A05	B12	剥片	OB3A	19.4	17.6	4.5	1.2	▲6426(I-19/XⅢ)	-
339	370	A05	B12	二次加工痕剥片	OB3A	23.5	18.4	8.5	1.8	▲6407(I-19/XⅢ)	-
339	371	A05	B12	削器	CC1A	21.0	21.1	11.0	5.0	▲5935(I-19/XⅢ)	-
339	372	A05	B12	ハンマー	SH	64.0	25.8	8.2	17.3	▲5970(I-19/XⅢ)	No.43
341	373	A05	B13	台形石器	OB3A	13.8	11.7	6.5	0.8	▲5959(I-19/XⅢ)	No.47
341	374	A05	B13	ナイフ形石器	SH1A	13.7	8.4	3.5	0.4	▲6023(I-18/XⅢ)	-
341	375	A05	B13	台形石器	OB3A	15.7	12.8	6.7	0.9	▲5961(I-19/XⅢ)	-
341	376	A05	B13	剥片	SH1B	15.8	21.6	6.1	1.7	▲6003(I-19/XⅢ)	No.45
341	377	A05	B13	台形石器	OB3A	18.2	15.9	8.6	1.7	▲6015(I-18/XⅢ)	-
341	378	A05	B13	剥片	OB3A	14.6	7.2	3.3	0.3	▲6047(I-18/XⅢ)	-
341	379	A05	B13	二次加工痕剥片	SH1A	17.1	16.1	3.2	0.8	▲6029(I-18/XⅢ)	-
341	380	A05	B13	剥片	SH2B	15.6	19.7	3.7	1.3	▲5997(I-19/XⅢ)	-
341	381	A05	B13	剥片	SH2B	20.9	18.4	5.5	1.3	▲6021(I-18/XⅢ)	-
341	382	A05	B13	剥片	OB3A	20.4	12.5	3.0	0.5	▲6841(I-18/XⅢ)	-
341	383	A05	B13	剥片	SH1B	21.7	15.8	4.8	1.3	▲6007(I-18/XⅢ)	No.45
341	384	A05	B13	剥片	SH1A	23.8	11.7	3.6	1.0	▲6054(I-18/XⅢ)	-
341	385	A05	B13	剥片	SH1A	23.6	13.8	3.8	1.2	▲6011(I-18/XⅢ)	-
341	386	A05	B13	剥片	SH1D	23.4	23.0	9.2	3.6	▲5995(I-19/XⅢ)	-
341	387	A05	B13	剥片	SH2B	21.7	27.3	6.8	2.9	▲6017(I-18/XⅢ)	-
341	388	A05	B13	剥片	SH1A	23.5	27.9	7.8	2.9	▲6019(I-18/XⅢ)	-
341	389	A05	B13	剥片	SH1A	58.3	49.2	11.5	24.3	▲5996(I-19/XⅢ)	-
342	390	A05	B13	石核	OB3A	17.4	22.7	8.2	1.8	▲6024(I-18/XⅢ)	-
342	391	A05	B13	石核	SH1B	23.3	38.3	20.2	22.4	▲5999(I-19/XⅢ)	No.45
342	392	A05	B13	石核	SH1B	18.9	37.3	22.1	10.0	▲6002(I-18/XⅢ)	No.45
343	393	A05	B00	台形石器	OB3A	10.2	11.2	3.7	0.2	▲5977(I-19/XⅢ)	-
343	394	A05	B00	台形石器	OB3A	14.2	11.9	4.6	0.5	▲3811(I-19/XⅢ)	-
343	395	A05	B00	台形石器	OB3A	12.8	12.6	5.1	0.6	▲3818(I-19/XⅢ)	-
343	396	A05	B00	剥片	SH2D	27.8	21.1	6.2	2.5	▲5901(-/XⅢ)	-
343	397	A05	B00	剥片	OB3A	9.1	12.4	2.5	0.2	▲4070(I-19/XⅢ)	-
343	398	A05	B00	石核	OB3A	22.4	20.8	9.2	2.4	▲5974(I-19/XⅢ)	-
343	399	A05	B00	石核	OB3B	13.9	27.6	11.9	2.9	▲6001(I-18/XⅢ)	-

第76表　第Ⅱ文化層第６エリア出土石器観察表

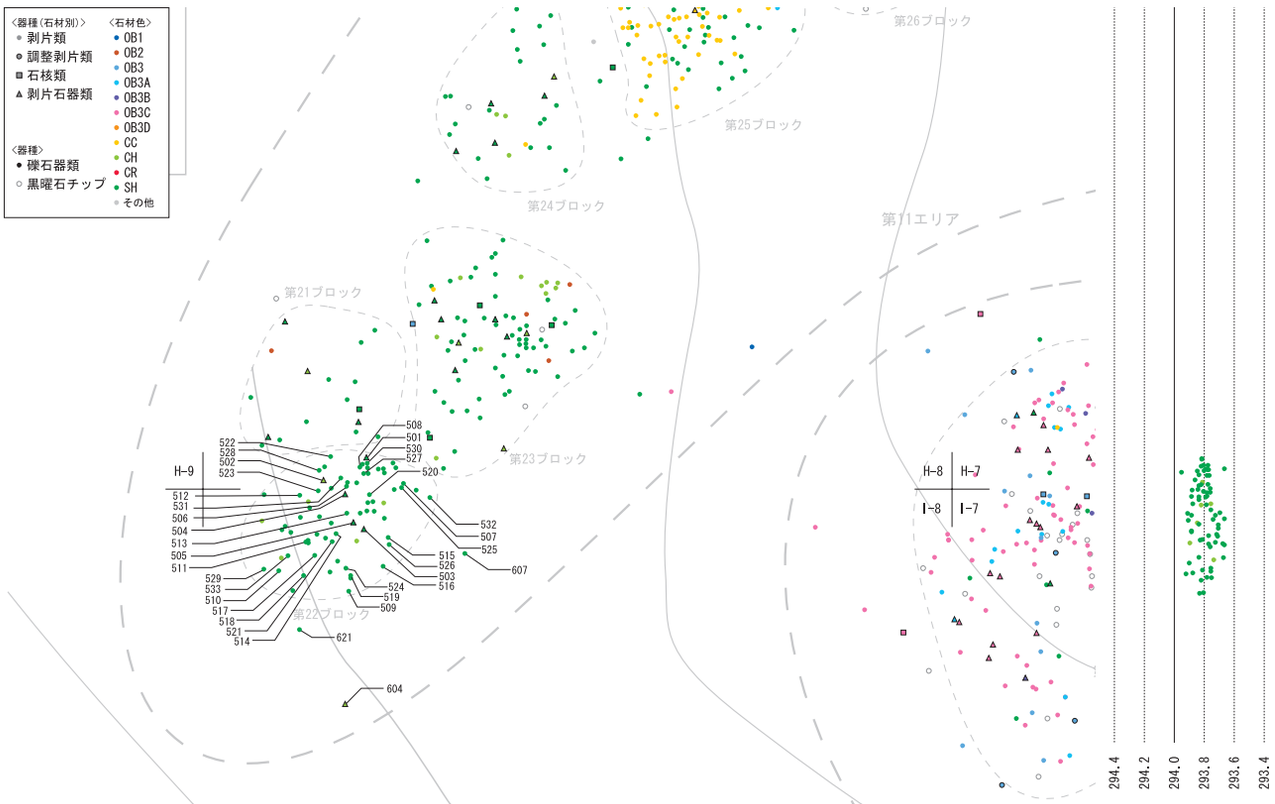
挿図No	図No	エリア	ブロック	分類L2	石材	最大長	最大幅	最大厚	重量	取上No(グリッド/層位)	接合No
345	400	A06	B14	台形石器	SH1A	19.6	12.2	4.3	0.9	▲6084(I-18/XⅢ)	-
345	401	A06	B14	剥片	SH1B	20.0	12.1	3.9	0.7	▲5066(I-18/XⅢ)	-
345	402	A06	B14	剥片	OB3A	11.3	21.5	4.3	0.7	▲6076(I-18/XⅢ)	-
345	403	A06	B14	剥片	SH1A	12.8	20.2	5.2	1.1	▲5065(I-18/XⅢ)	-
345	404	A06	B14	剥片	SH1B	23.3	22.0	6.1	3.0	▲6068(I-18/XⅢ)	-
345	405	A06	B14	石核	OB3A	17.5	18.0	13.6	2.3	▲6081(I-18/XⅢ)	No.46
345	406	A06	B14	石核	OB3A	16.4	26.9	8.2	2.4	▲6078(I-18/XⅢ)	-
345	407	A06	B14	石核	OB3A	11.1	23.8	15.3	2.2	▲6074(I-18/XⅢ)	-
347	408	A06	B15	台形石器	OB3A	12.4	11.0	5.1	0.5	▲4689(I-18/XⅢ)	-
347	409	A06	B15	台形石器	SH1B	16.6	14.1	4.7	0.8	▲4365(I-18/XⅢ)	-
347	410	A06	B15	台形石器	OB3A	13.2	15.6	4.5	0.7	▲4731(I-18/XⅢ)	-
347	411	A06	B15	台形石器	OB3A	15.7	11.6	5.6	0.7	▲4694(I-18/XⅢ)	No.48
347	412	A06	B15	剥片	OB3A	19.0	11.2	0.3	0.5	▲4364(I-18/XⅢ)	-
347	413	A06	B15	剥片	OB3A	14.5	17.0	5.6	1.2	▲5062(I-18/XⅢ)	-
347	414	A06	B15	剥片	OB3A	22.4	16.3	4.9	1.2	▲4729(I-18/XⅢ)	No.47
347	415	A06	B15	剥片	OB3A	21.0	18.6	9.0	2.7	▲4366(I-18/XⅢ)	No.47
347	416	A06	B15	石核	OB3A	13.3	15.2	11.3	1.9	▲4362(I-18/XⅢ)	-
347	417	A06	B15	石核	OB3A	14.8	20.2	8.4	1.9	▲4369(I-18/XⅢ)	-
347	418	A06	B15	石核	OB3A	13.9	23.6	14.8	2.7	▲6375(I-18/XⅢ)	-
347	419	A06	B15	石核	OB3A	16.7	21.5	10.2	2.9	▲6307(I-18/XⅢ)	-
349	420	A06	B16	台形石器	OB3A	10.6	9.4	4.8	0.4	▲6087(I-18/XⅢ)	-
349	421	A06	B16	剥片	SH1A	13.8	11.7	3.3	0.4	▲6372(I-18/XⅢ)	-
349	422	A06	B16	台形石器	OB3A	12.6	10.0	2.3	0.2	▲4352(I-18/XⅢ)	-
349	423	A06	B16	剥片	OB3A	11.2	19.9	4.0	0.8	▲4341(I-18/XⅢ)	-
349	424	A06	B16	台形石器	OB3A	17.8	15.6	4.6	1.0	▲4337(I-18/XⅢ)	-
349	425	A06	B16	剥片	SH1A	19.7	16.9	4.8	1.2	▲4684(I-18/XⅢ)	-
349	426	A06	B16	台形石器	OB3A	15.3	16.8	6.6	1.5	▲6843(I-18/XⅢ)	-
349	427	A06	B16	剥片	OB3A	11.4	11.8	2.7	0.3	▲4347(I-18/XⅢ)	-
349	428	A06	B16	剥片	SH1A	16.7	11.9	3.5	0.5	▲4353(I-18/XⅢ)	-
349	429	A06	B16	剥片	OB3A	14.9	12.8	4.0	0.5	▲4339(I-18/XⅢ)	-
349	430	A06	B16	剥片	SH1A	13.5	13.3	3.6	0.6	▲6096(I-18/XⅢ)	-
349	431	A06	B16	剥片	SH1A	17.0	15.5	4.0	0.6	▲6094(I-18/XⅢ)	-
349	432	A06	B16	剥片	SH1A	15.5	27.1	6.4	2.6	▲6093(I-18/XⅢ)	No.39
349	433	A06	B16	剥片	SH1A	21.4	23.2	7.5	3.1	▲6088(I-18/XⅢ)	No.39
349	434	A06	B16	剥片	SH1A	22.4	20.5	7.2	1.8	▲6097(I-18/XⅢ)	-
349	435	A06	B16	石核	OB3A	13.8	21.9	8.6	1.8	▲4351(I-18/XⅢ)	-
349	436	A06	B16	石核	OB3	16.2	21.3	11.5	2.8	▲4348(I-18/XⅢ)	-
349	437	A06	B16	石核	OB3A	12.2	19.4	11.3	1.9	▲4350(I-18/XⅢ)	-
349	438	A06	B16	剥片	SH1A	18.4	24.3	14.2	3.0	▲4346(I-18/XⅢ)	-



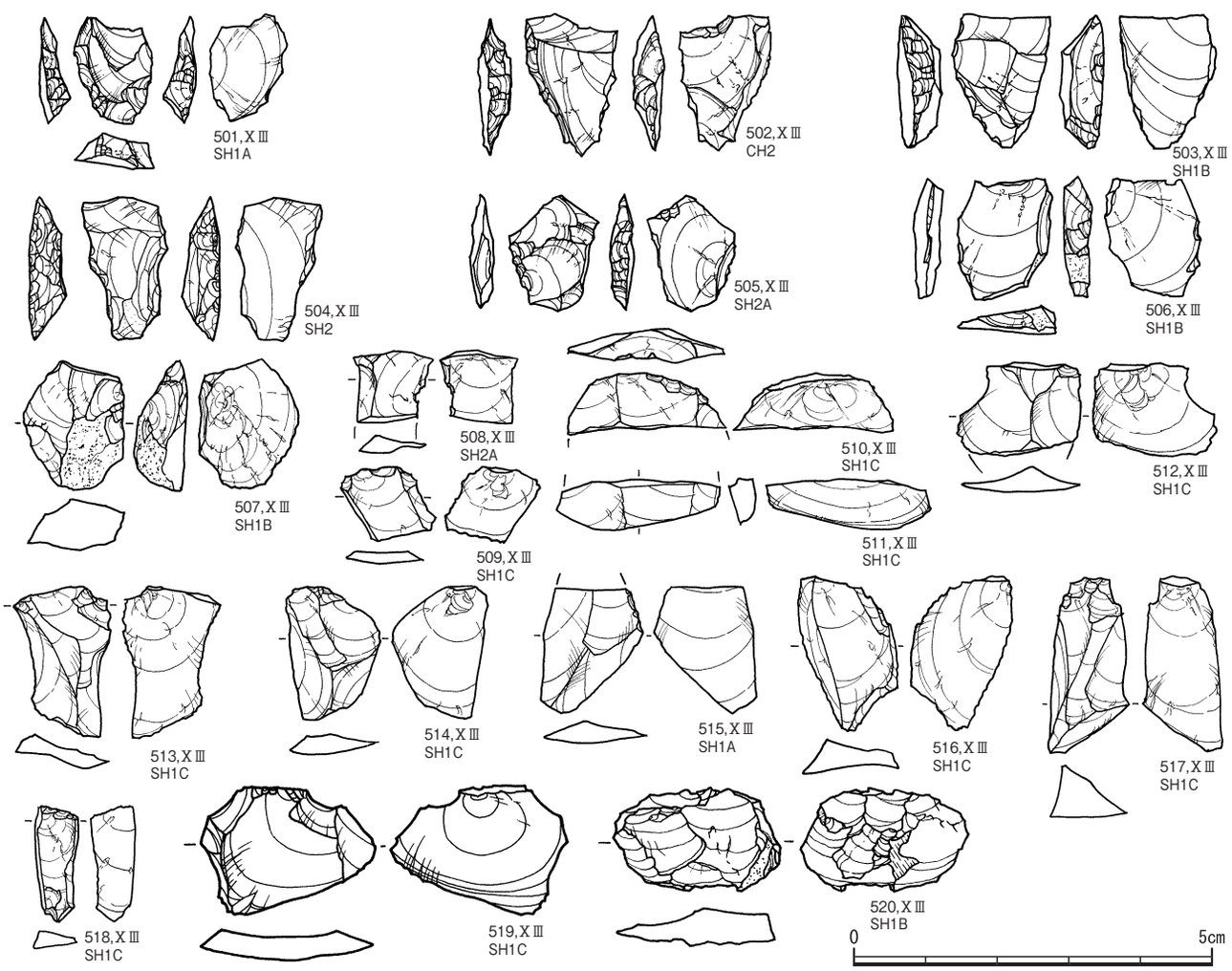
第365図　第Ⅱ文化層第11エリア第21ブロック石器出土状況図



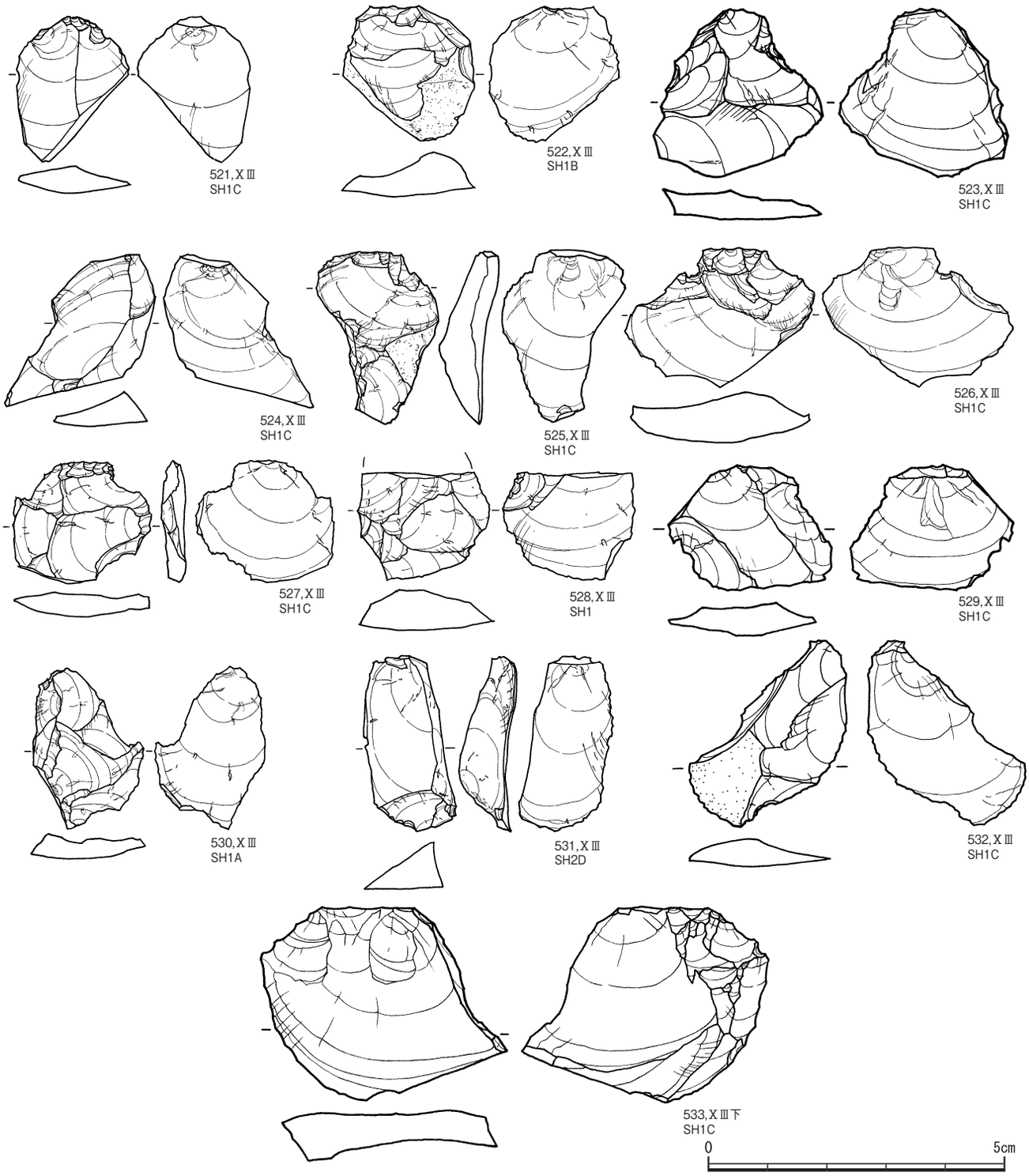
第366図　第Ⅱ文化層第11エリア第21ブロック出土石器実測図



第367図　第Ⅱ文化層第11エリア第22ブロック石器出土状況図



第368図　第Ⅱ文化層第11エリア第22ブロック出土石器実測図（1）



第369図　第Ⅱ文化層第11エリア第22ブロック出土石器実測図（２）

加工ナイフ形石器の基部，600は天地が判然としないが，ナイフ形石器である。

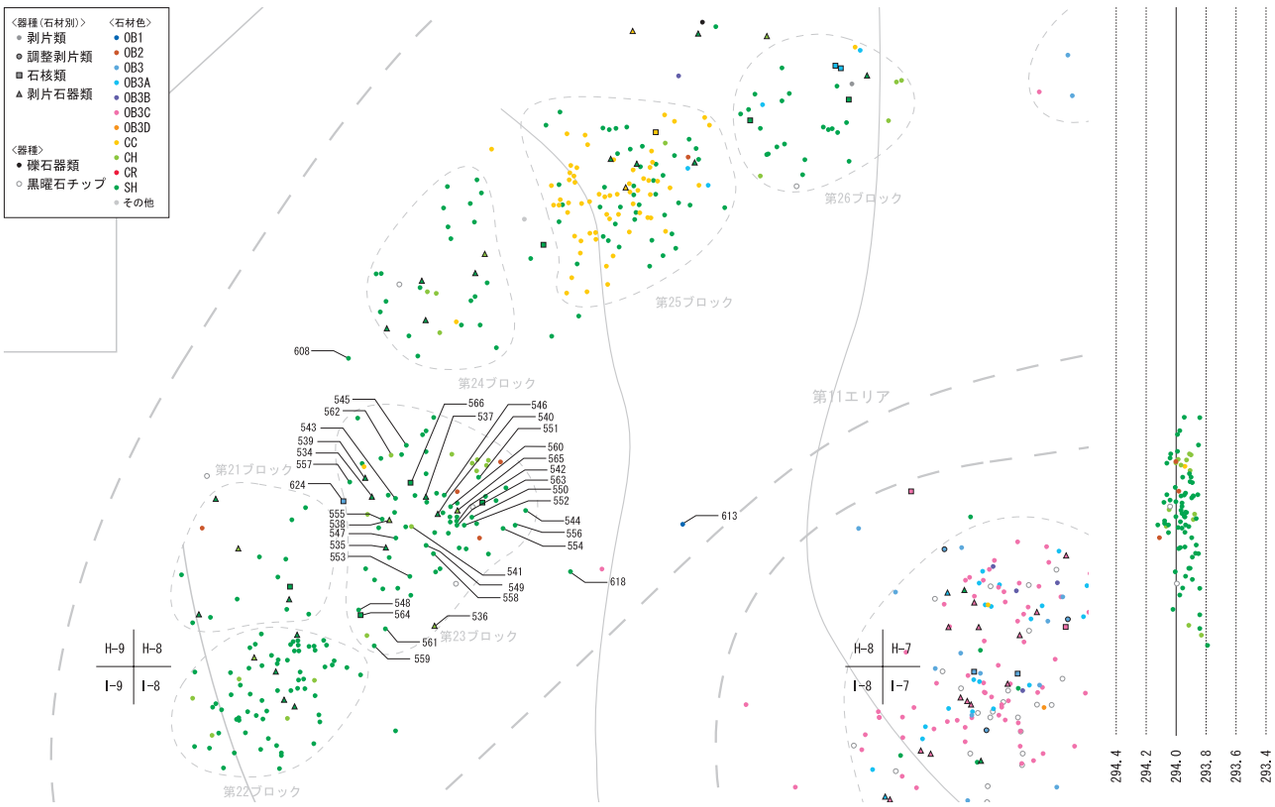
500の石核は円礫素材で，打面転移が認められ，先行する剥離面を打面とし丈の短い不定形剥片を取り出している。564・565・588は円礫素材で，打面は礫面が使用される。566・589では打面転移を繰り返している。残された石核の数は少ないが，521～523等の剥片は，台形石器の素材剥片の要因を満たしていると言える。また，625のハンマーの存在及びその損傷からも，石器製作が行われたと判断できる。

第12エリア

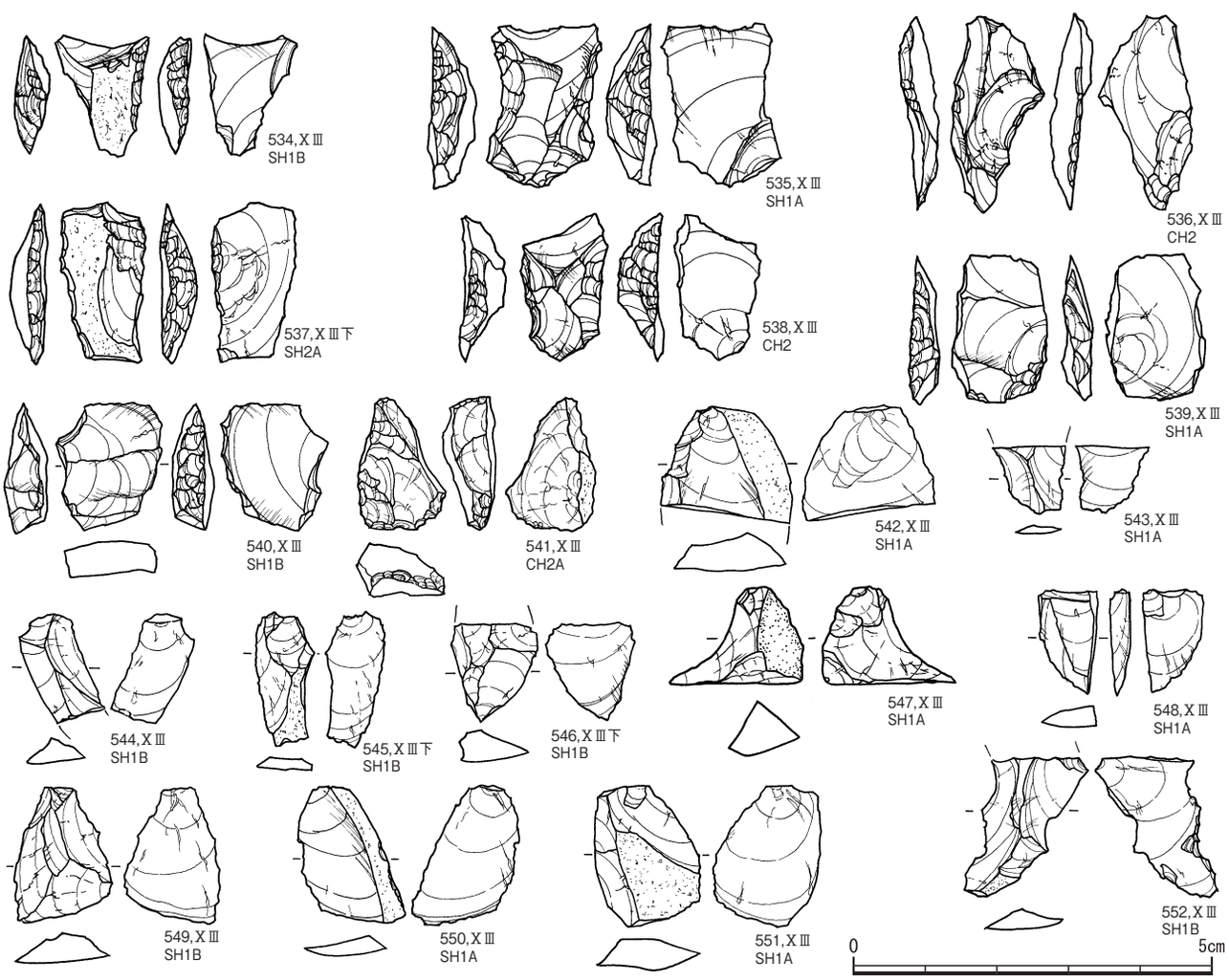
第28・第29の２ブロックで構成し，黒曜石ⅢC類，頁岩等の石材が見られ，中でも黒曜石ⅢC類の比率が高い。

最大の特徴は，33点の小型ナイフ形石器の存在である。第28ブロックに12点，第29ブロックに７点，ブロック外で14点が確認できる。

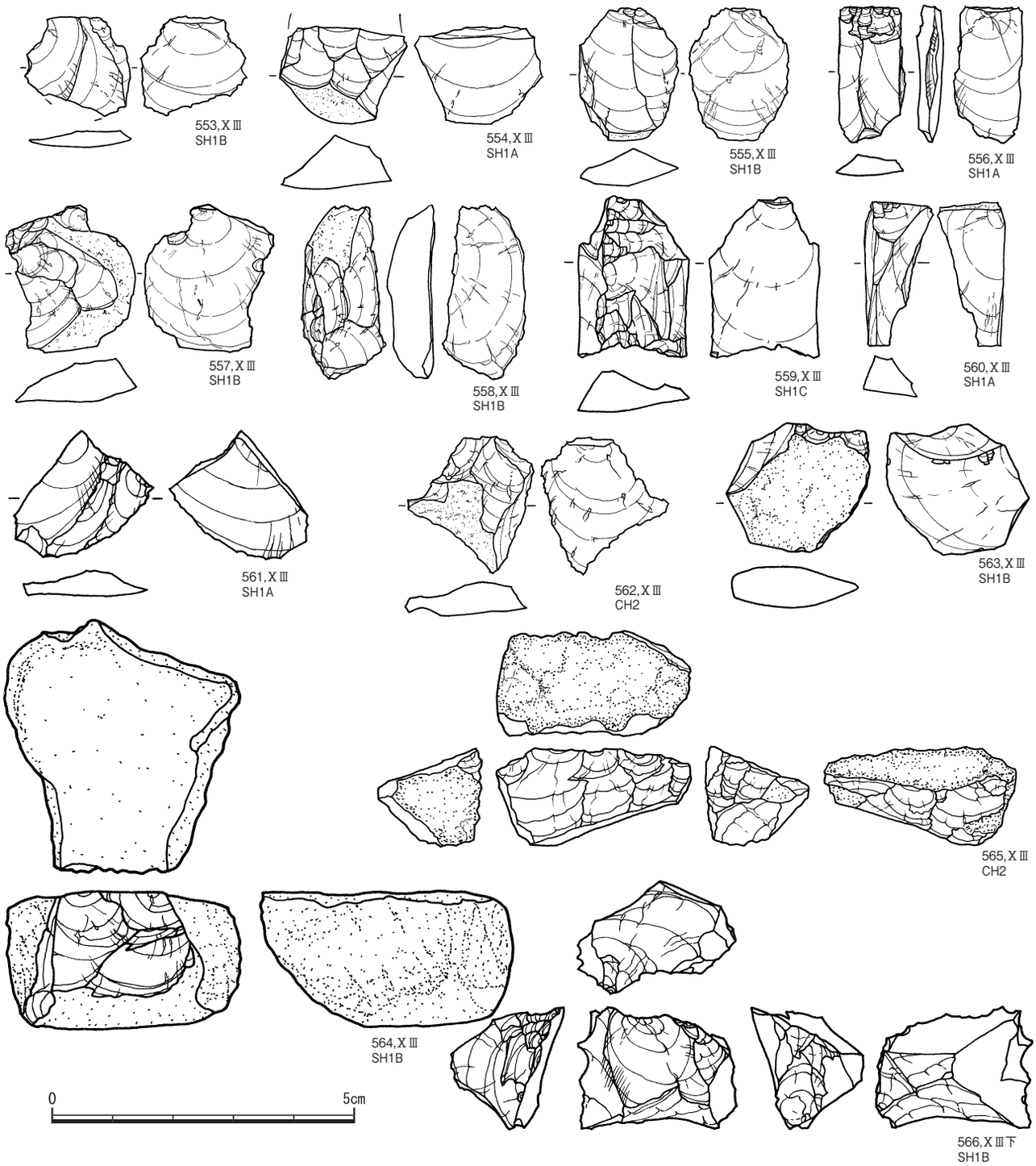
小型ナイフ形石器は最小で9～11mm，最大でも20mm程の範囲に集約できる。これらの小型ナイフ形石器の背面及び腹面に残る剥離面からは，縦方向の剥片剥離をベースに，連続



第370図　第Ⅱ文化層第11エリア第23ブロック石器出土状況図



第371図　第Ⅱ文化層第11エリア第23ブロック出土石器実測図（1）



第372図　第Ⅱ文化層第11エリア第23ブロック出土石器実測図（２）

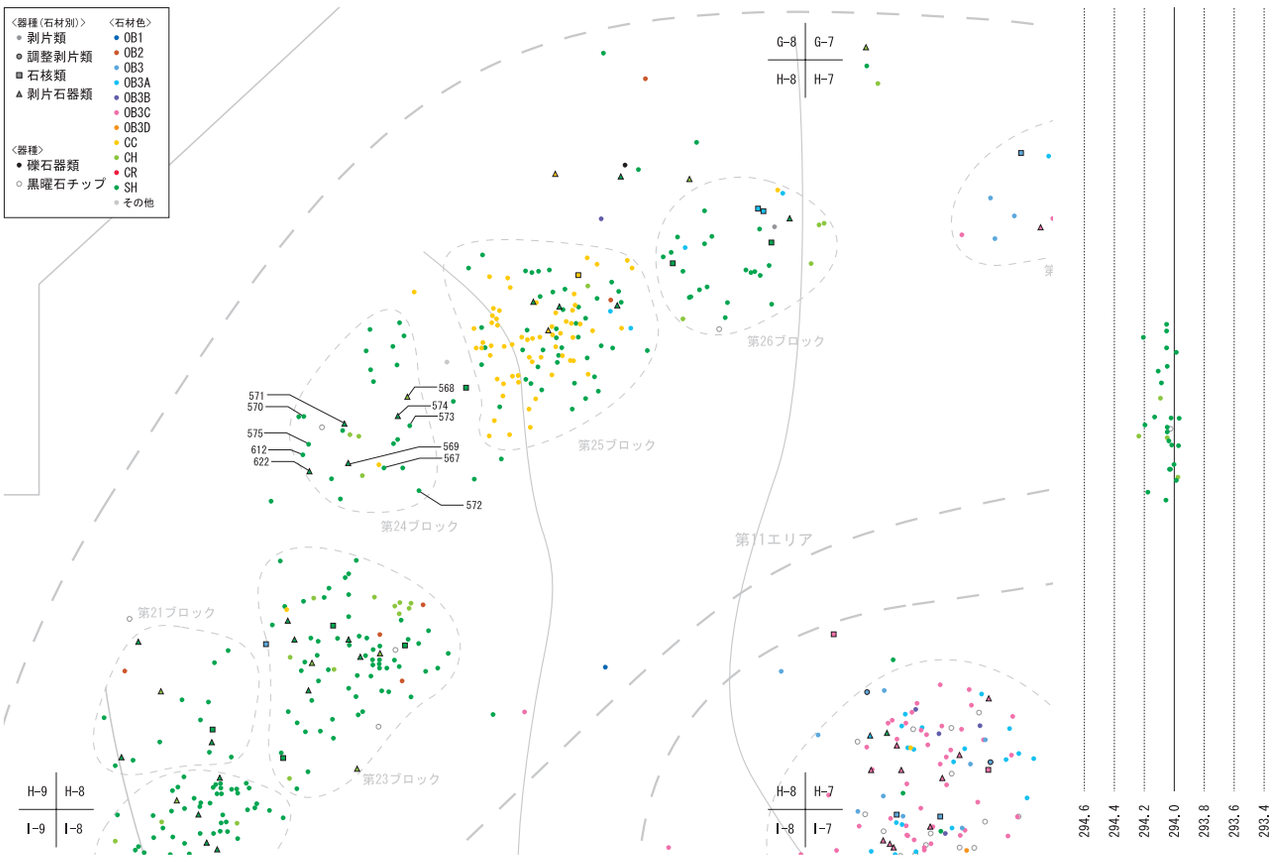
した剥離が行われたものとみられる。634は両側縁を丁寧に基部から先端部のほぼ全周に微細な調整剥離を行い，基部の腹面でも同様の加工が認められる。同じような調整剥離が全周で確認できるものに630・680・684がある。次に，基部加工が腹面まで及んでいるものに677・687・689・692があり，基部加工を意識したものに628・631・635・673・676～679・681～686・691・694がある。素材剥片剥離はおおむね同一方向に行われているが，678・682では打面転移が認められる。685は，横剥ぎ剥片を使用した数少ない事例である。

640・641の２点は台形石器で，素材剥片の形状を大きく変えることなく造り出している。

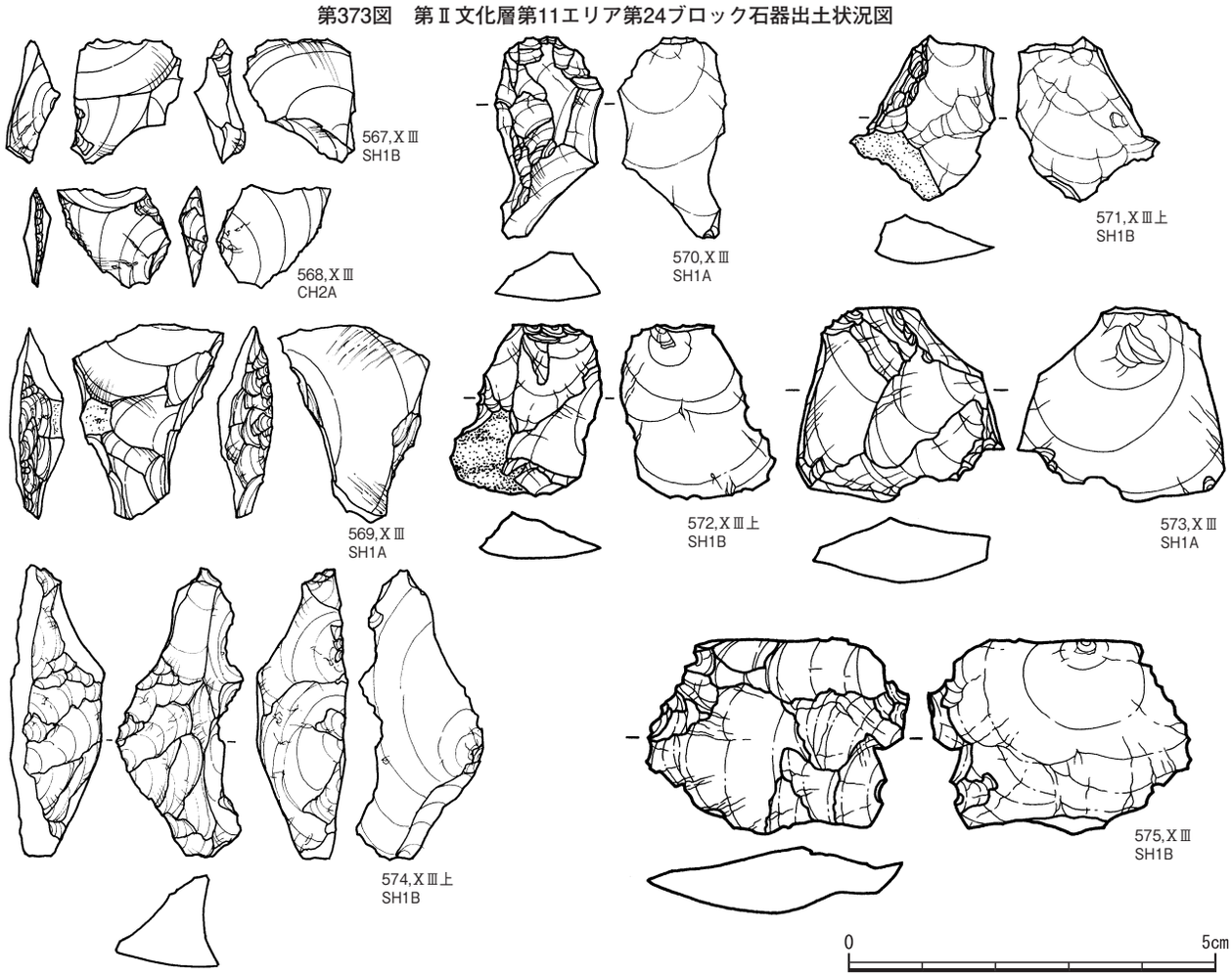
723・724・726の石核剥離面からは，幅広で不定型な剥片が取り出されており，711・714・716等の丈の短い幅広不定形剥片が対応すると思われ，これらは台形石器の製作に関する一連の資料とも考えられる。一方，654・660・703・706・708等の剥片がその形状から小型ナイフ形石器の素材剥片の対象と想定される。しかし，それらに対応する石核は，エリア内の資料からが認定することが難しい。

第13エリア

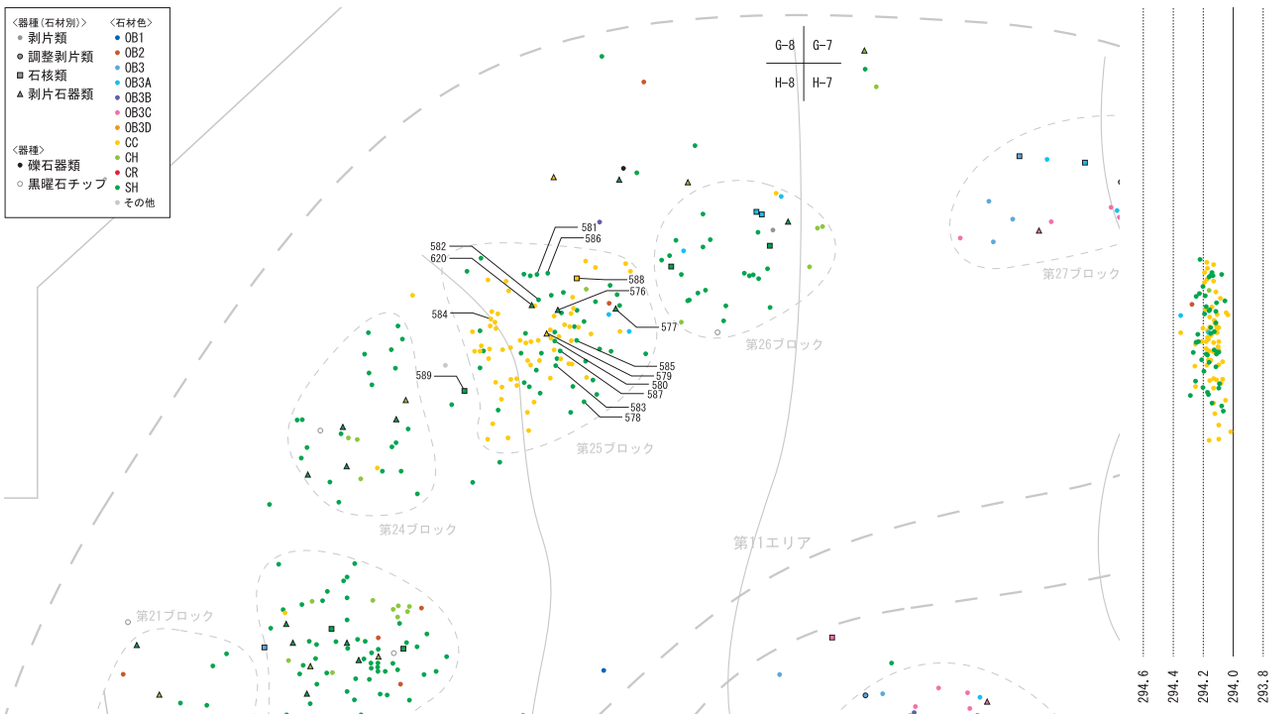
頁岩主体で構成される。ナイフ形石器２点(727・728)と二



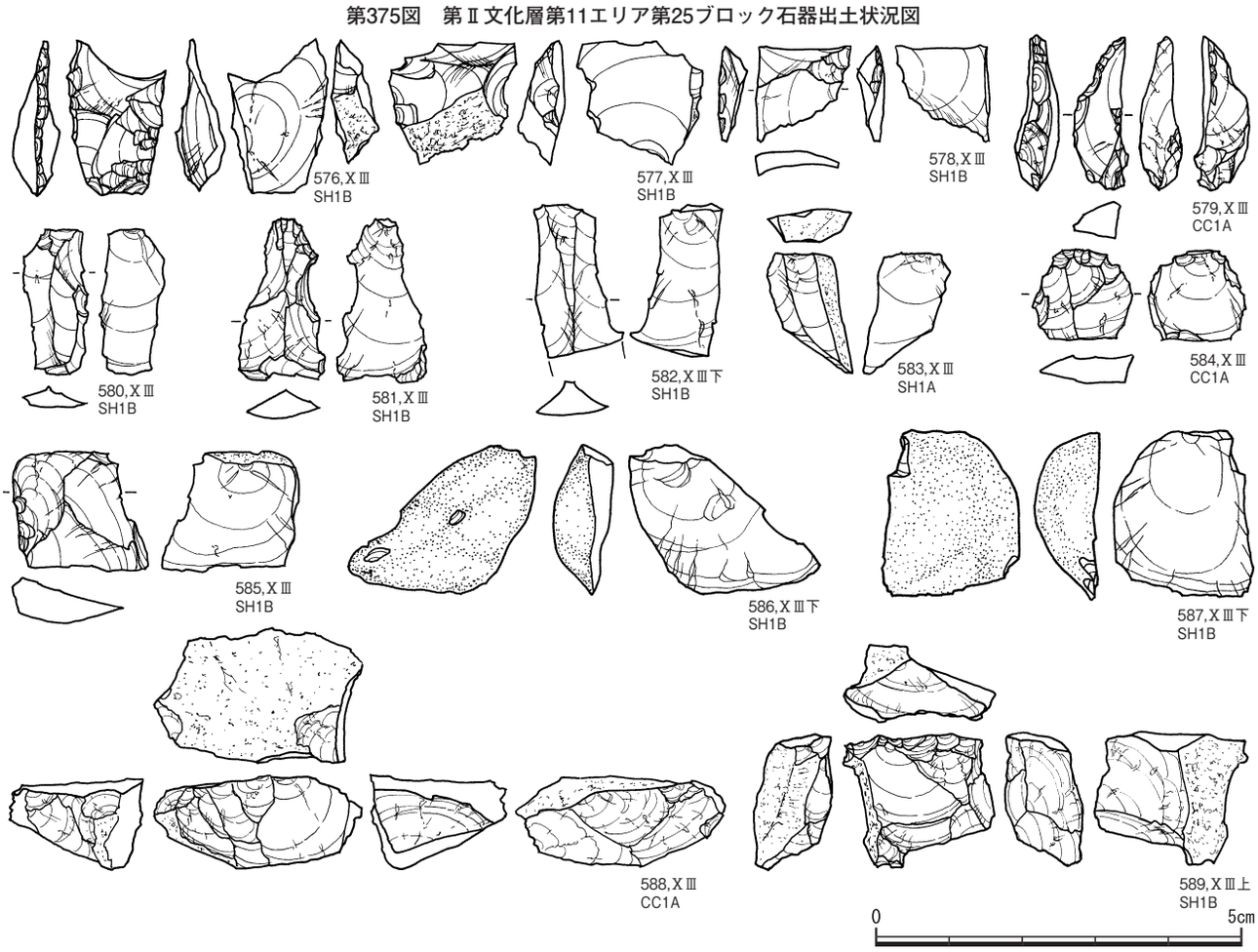
第373図　第Ⅱ文化層第11エリア第24ブロック石器出土状況図



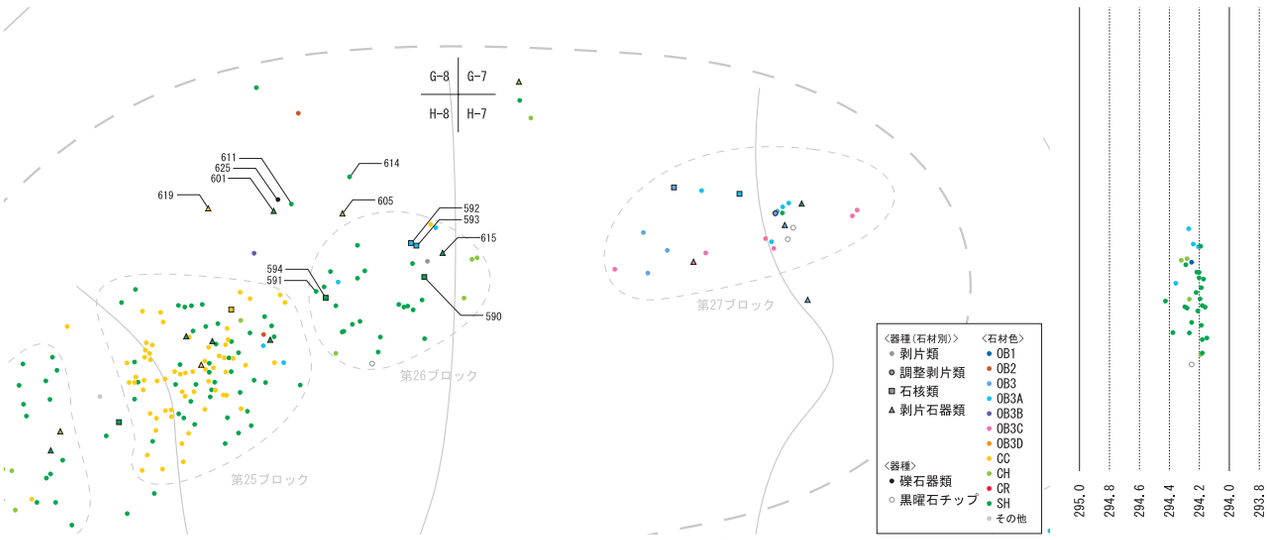
第374図　第Ⅱ文化層第11エリア第24ブロック出土石器実測図



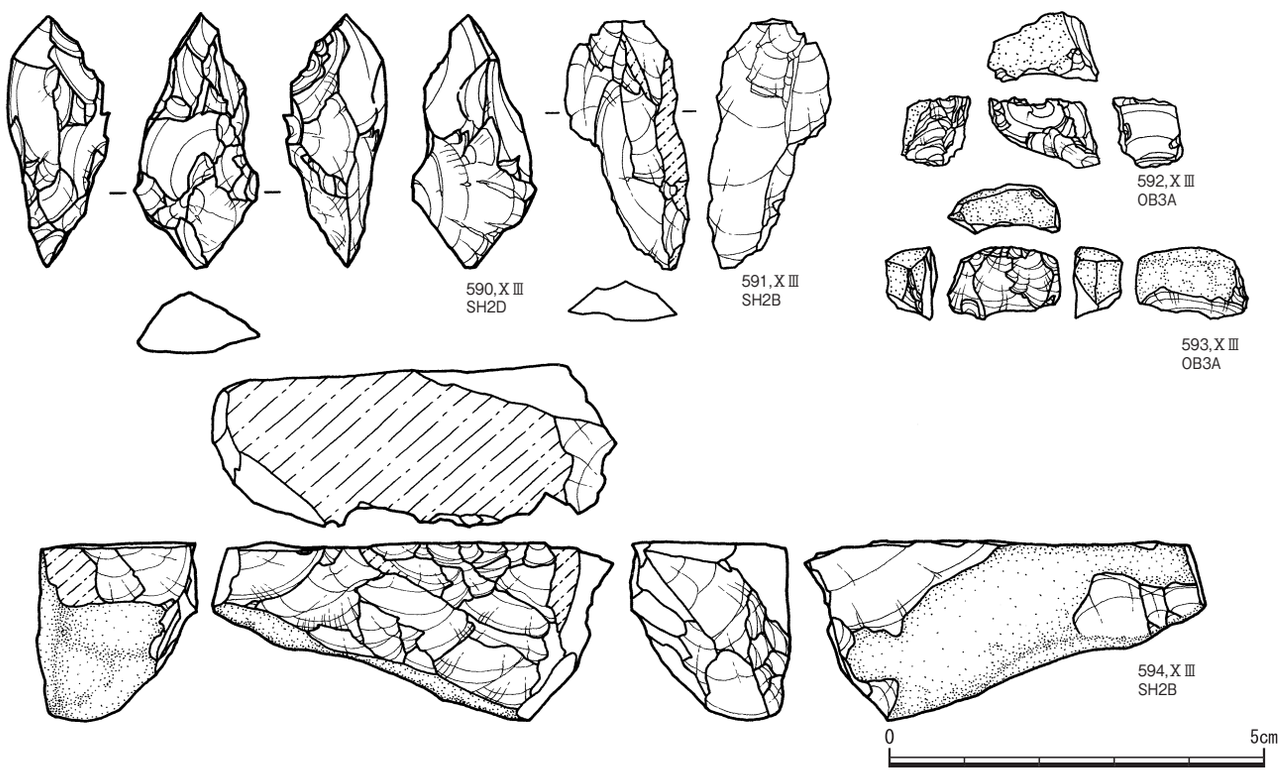
第375図　第Ⅱ文化層第11エリア第25ブロック石器出土状況図



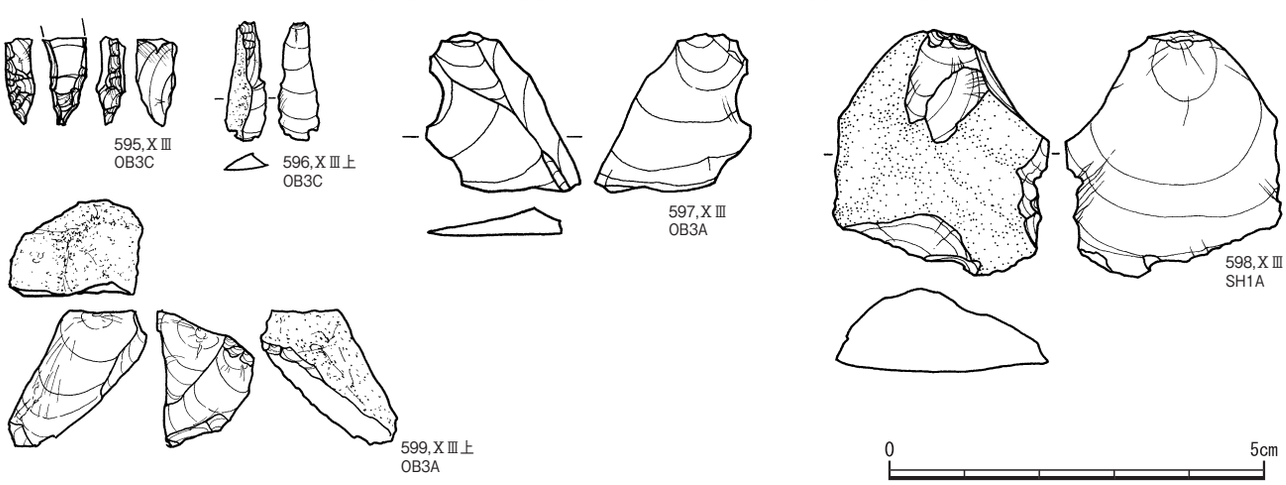
第376図　第Ⅱ文化層第11エリア第25ブロック出土石器実測図



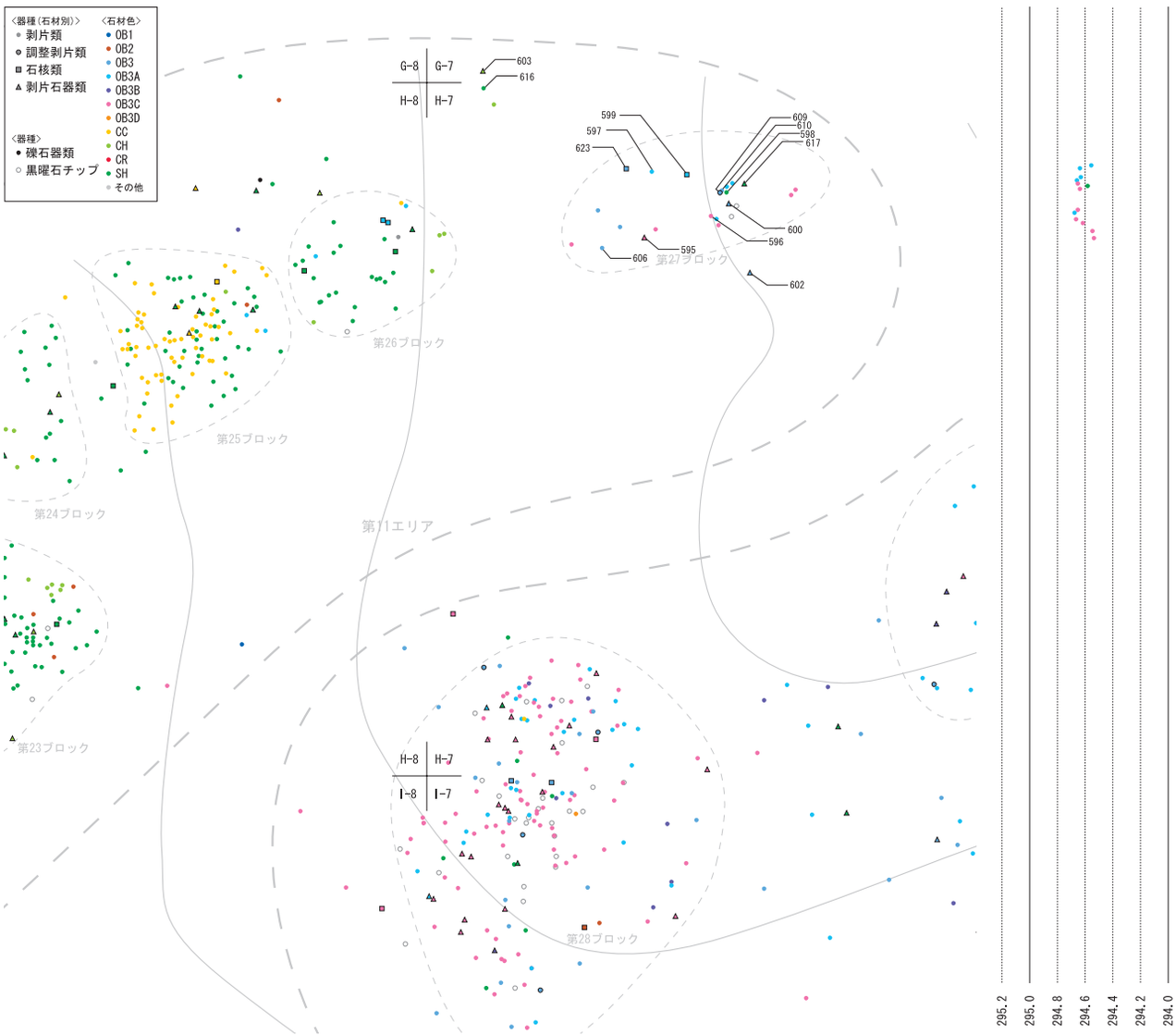
第377図　第Ⅱ文化層第11エリア第26ブロック石器出土状況図



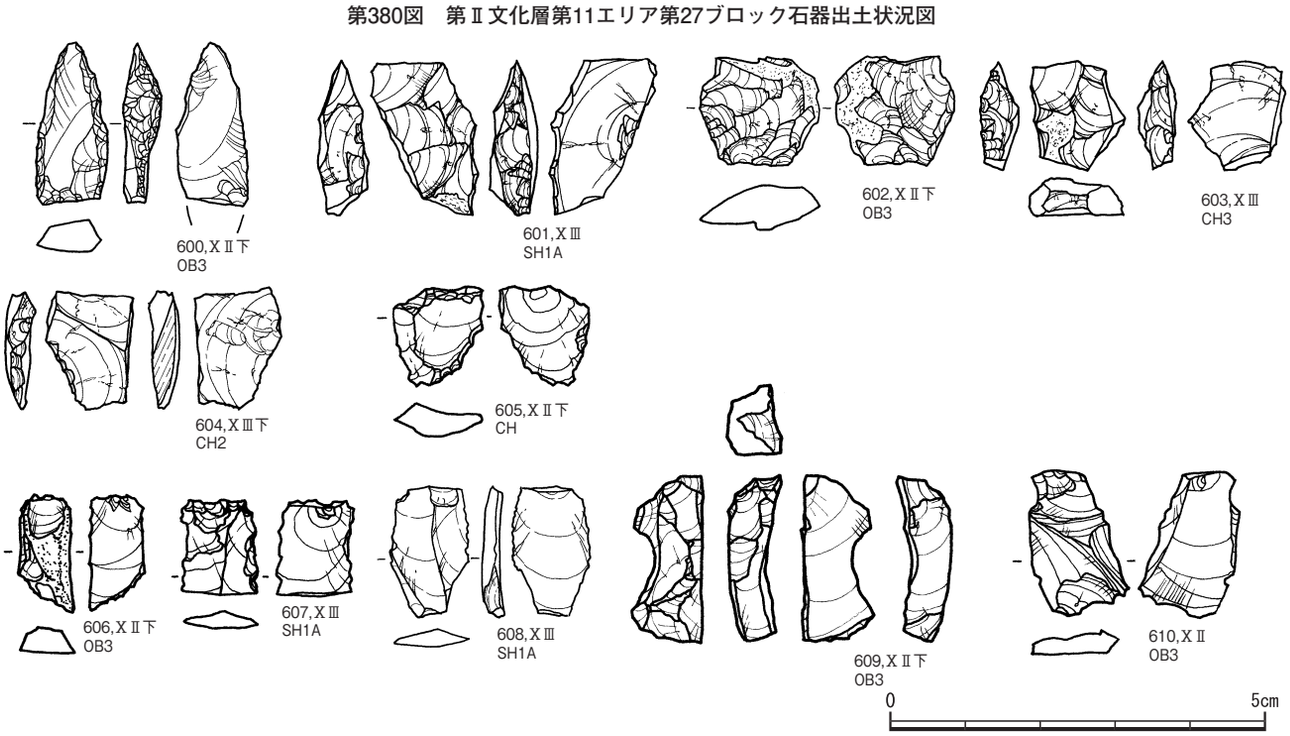
第378図　第Ⅱ文化層第11エリア第26ブロック出土石器実測図



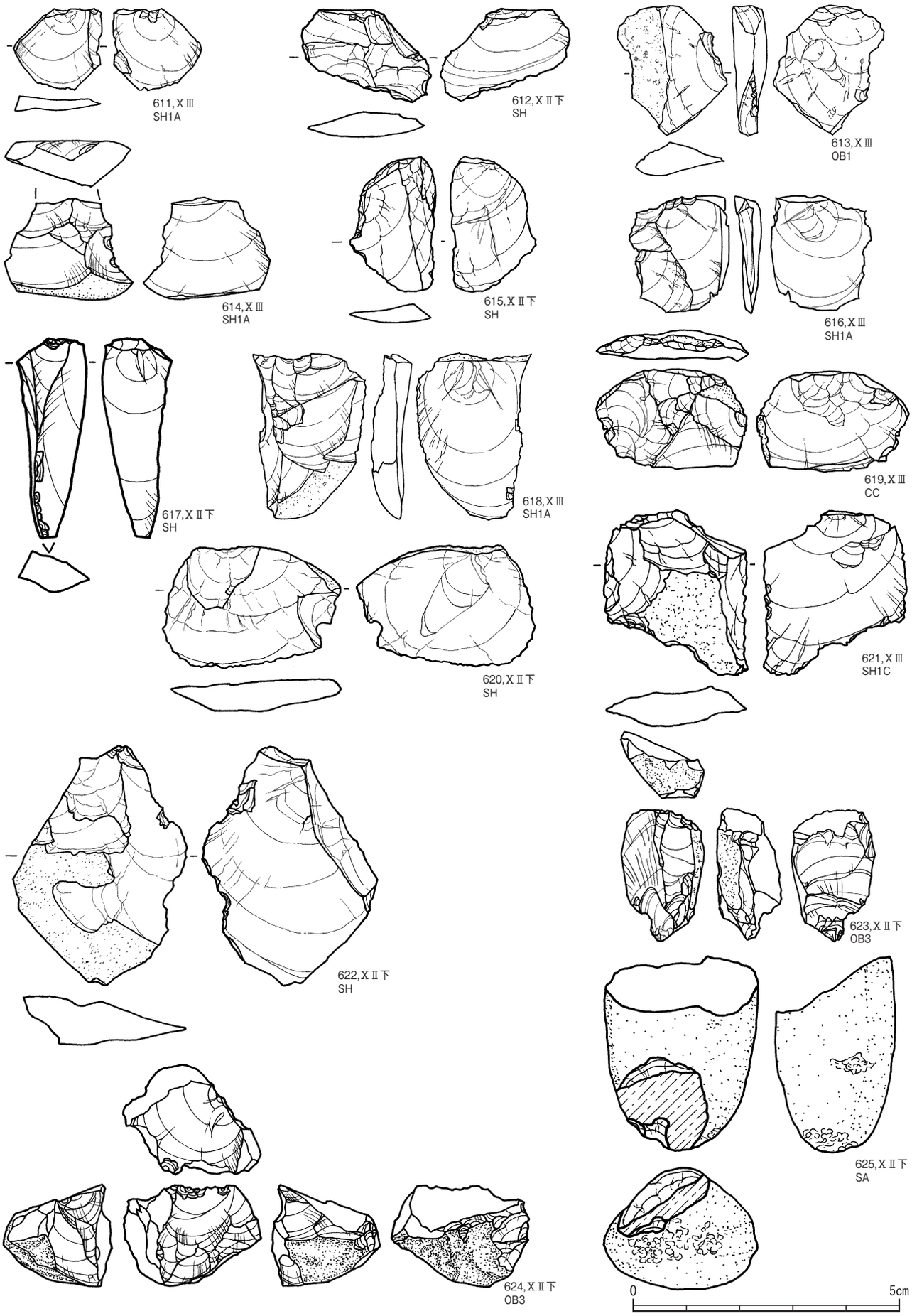
第379図　第Ⅱ文化層第11エリア第27ブロック出土石器実測図



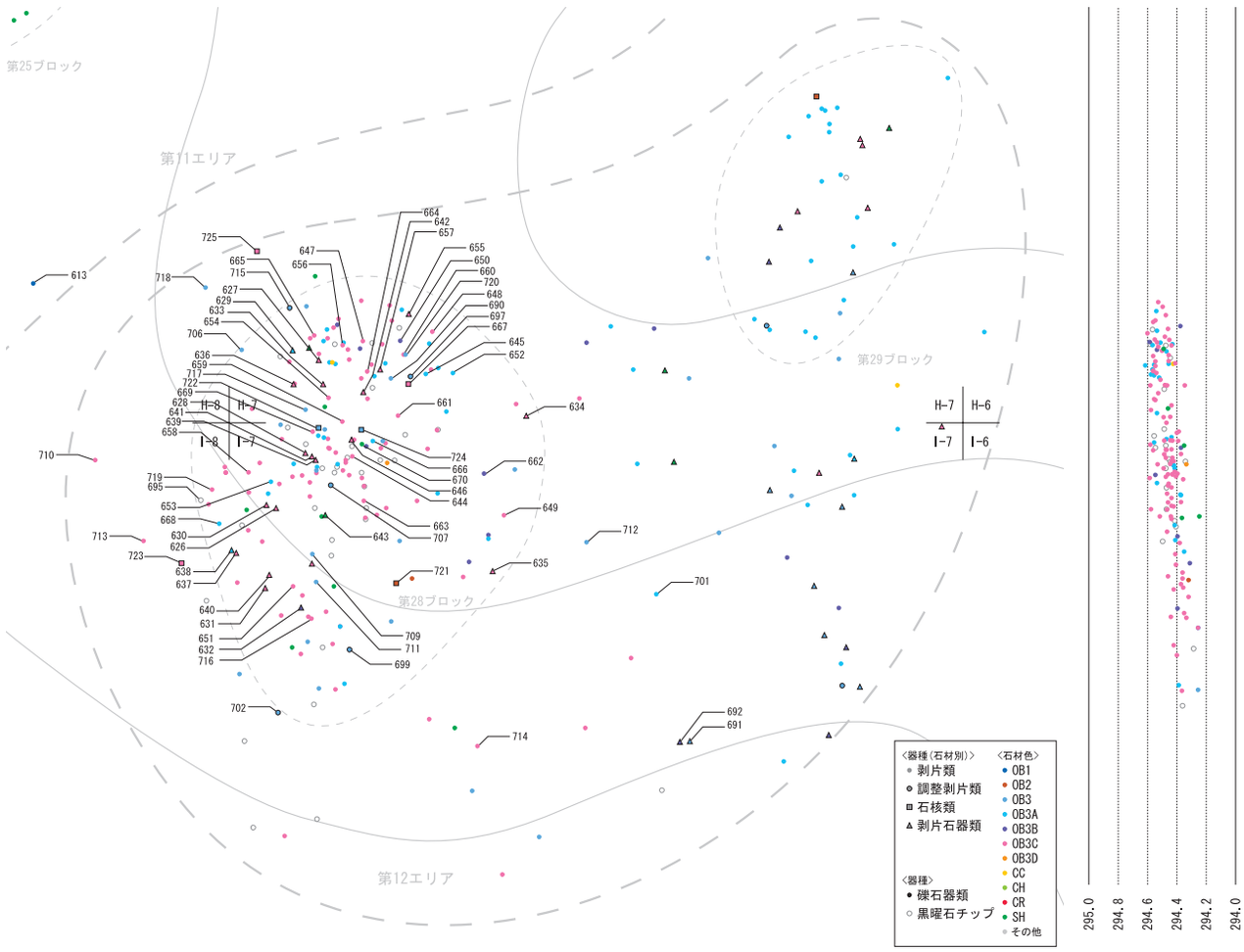
第380図　第Ⅱ文化層第11エリア第27ブロック石器出土状況図



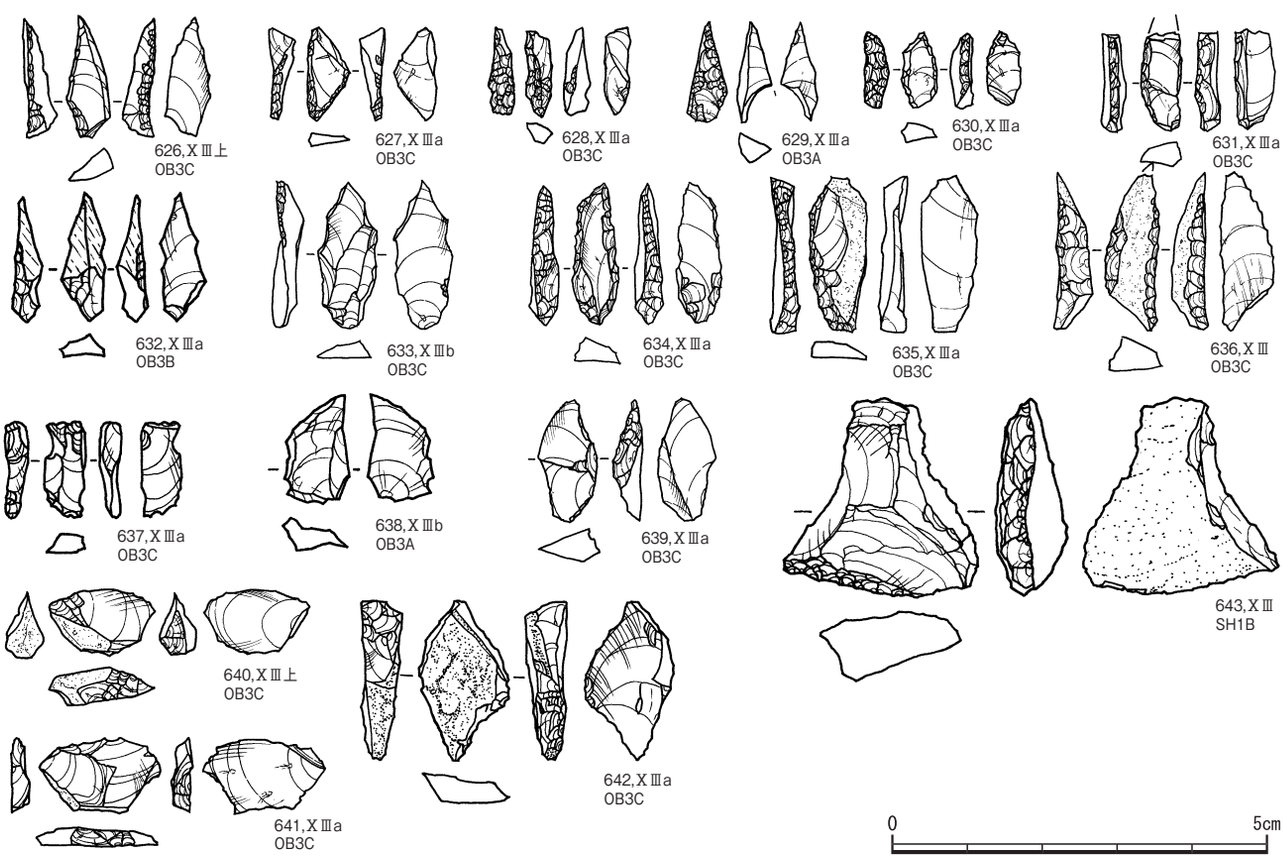
第381図　第Ⅱ文化層第11エリアブロック外出土石器実測図（1）



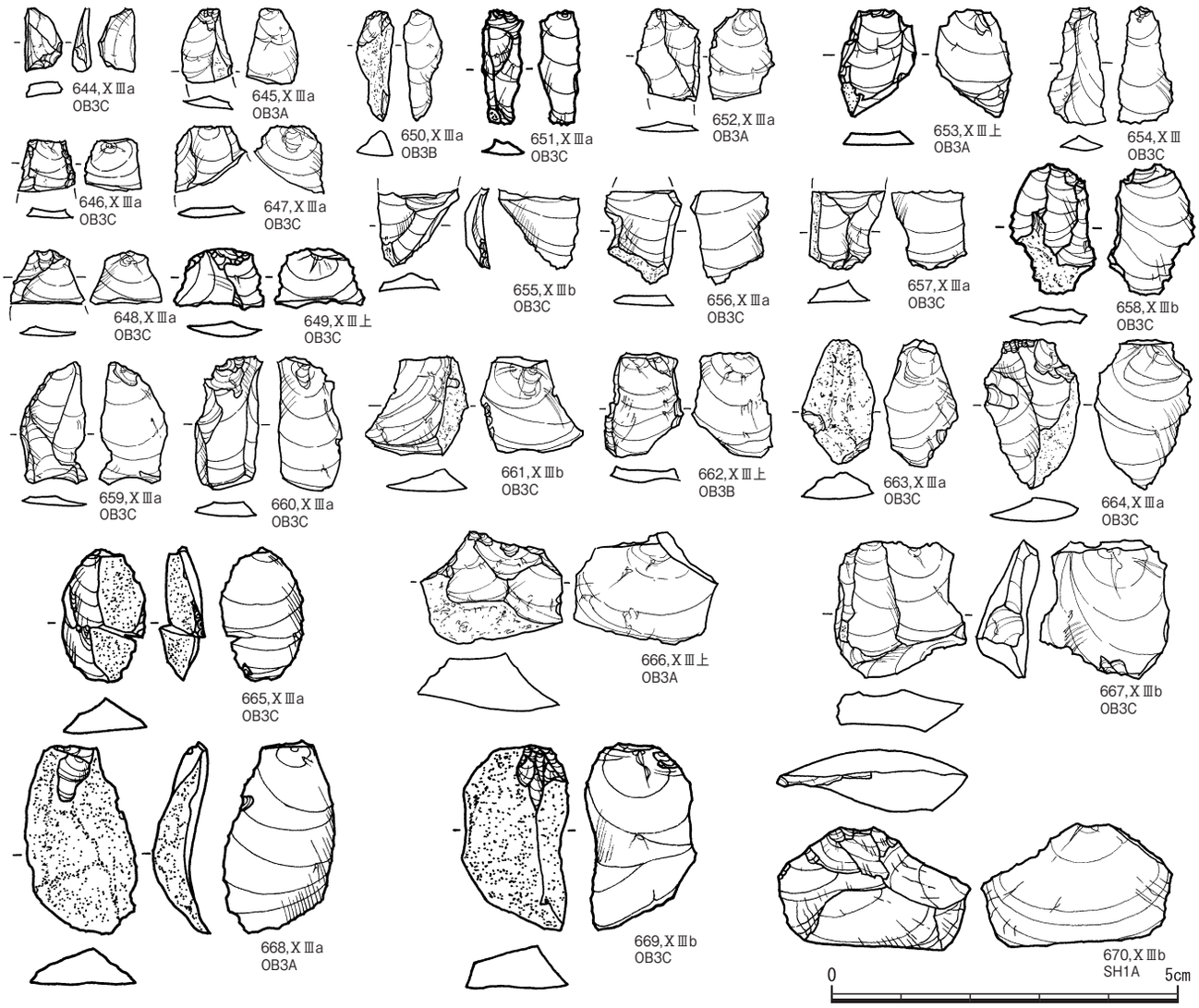
第382図　第Ⅱ文化層第11エリアブロック外出土石器実測図（2）



第383図　第Ⅱ文化層第12エリア第28ブロック石器出土状況図



第384図　第Ⅱ文化層第12エリア第28ブロック出土石器実測図（1）



第385図　第Ⅱ文化層第12エリア第28ブロック出土石器実測図（２）

第77表　第Ⅱ文化層第７エリア出土石器観察表（１）

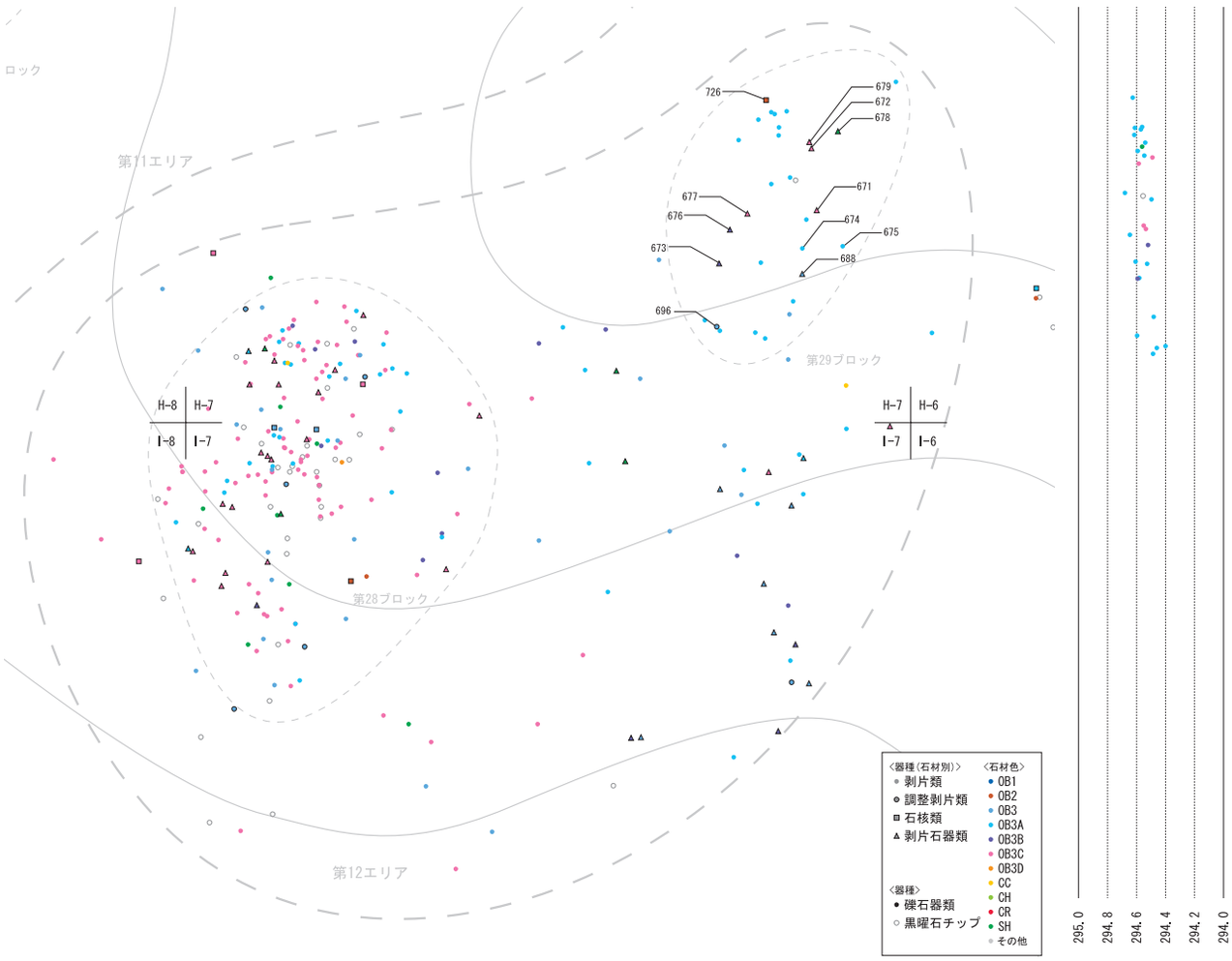
挿図No	図No	エリア	ブロック	分類L2	石材	最大長	最大幅	最大厚	重量	取上No(グリッド/層位)	接合No
351	439	A07	B17	台形石器	OB3A	7.8	9.9	2.5	0.2	▲4334(I-18/XⅢ)	-
351	440	A07	B17	台形石器	OB3A	11.9	10.4	5.2	0.5	▲11695(I-18/XⅢ)	-
351	441	A07	B17	台形石器	CH2A	15.5	11.7	4.6	0.9	▲11478(I-18/XⅢ)	-
351	442	A07	B17	剥片	OB3A	17.8	14.3	4.8	0.7	▲4330(I-18/XⅢ)	-
351	443	A07	B17	剥片	SH1A	38.9	25.8	9.9	7.0	▲11701(I-18/XⅢ)	-
351	444	A07	B17	石核	OB3A	12.8	20.6	9.2	2.2	▲4331(I-18/XⅢ)	-
351	445	A07	B17	二次加工痕剥片	CC1A	13.6	23.2	-	1.6	▲4329(I-18/XⅢ)	-
352	446	A07	B18	剥片	OB3A	11.6	12.4	1.9	0.2	▲11679(I-18/XⅢ)	-
352	447	A07	B18	剥片	SH2D	39.8	31.1	13.0	12.8	▲11666(I-17/XⅢ)	-
354	448	A07	B19	台形石器	OB3A	12.9	9.4	3.8	0.4	▲11645(J-17/XⅢ)	-
354	449	A07	B19	台形石器	OB3A	12.0	14.6	4.3	0.6	▲11633(J-17/XⅢ)	-
354	450	A07	B19	台形石器	OB3A	14.1	12.2	4.4	0.6	▲11626(J-17/XⅢ)	-
354	451	A07	B19	台形石器	SH1D	19.8	12.8	4.4	0.9	▲14635(J-17/XⅢ)	-
354	452	A07	B19	石核	OB3A	12.6	18.3	13.0	2.6	▲12454(J-17/XⅢ)	-
354	453	A07	B19	石核	OB3A	9.8	23.0	17.1	2.4	▲11621(J-17/XⅢ)	-
354	454	A07	B19	石核	OB3A	11.4	17.7	11.8	1.5	▲11494(J-17/XⅢ下)	-
354	455	A07	B19	石核	OB3A	12.9	24.5	10.5	2.4	▲11641(J-17/XⅢ)	-
354	456	A07	B19	石核	OB3B	18.3	20.6	11.2	-	▲11655(J-17/XⅢ)	No.49
356	457	A07	B00	台形石器	OB3B	11.7	10.7	4.3	0.4	▲4668(I-18/XⅢ)	-
356	458	A07	B00	台形石器	OB3A	13.1	11.7	3.6	0.5	▲4336(I-18/XⅢ)	-
356	459	A07	B00	台形石器	OB3A	17.5	11.5	2.9	0.4	▲6337(H-19/XⅢ)	-
356	460	A07	B00	台形石器	OB3A	17.6	10.5	4.1	0.8	▲6086(I-18/XⅢ)	-
356	461	A07	B00	剥片	OB3A	13.7	7.4	2.2	0.1	▲6334(H-19/XⅢ)	-
356	462	A07	B00	剥片	SH1A	13.2	14.4	2.9	0.5	▲3422(I-19/XⅢ)	-
356	463	A07	B00	剥片	OB3C	13.5	15.0	3.5	0.6	▲4335(I-18/XⅢ)	-
356	464	A07	B00	剥片	OB3	21.4	11.7	3.4	0.6	▲2608(I-20/XⅢ)	-
356	465	A07	B00	剥片	OB3A	15.4	14.4	5.4	1.2	▲11706(I-18/XⅢ)	-
356	466	A07	B00	剥片	CC1A	26.0	16.2	6.3	1.2	▲6324(H-19/XⅢ)	-
356	467	A07	B00	剥片	OB3B	7.1	18.6	18.2	1.3	▲11495(I-18/XⅢ下)	-

第78表　第Ⅱ文化層第７エリア出土石器観察表（２）

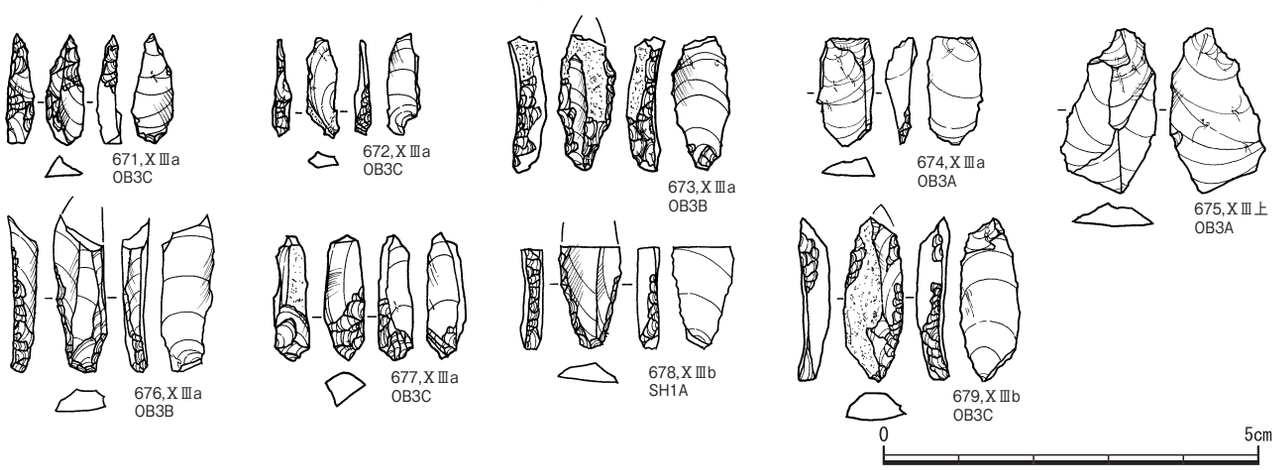
挿図No	図No	エリア	ブロック	分類L2	石材	最大長	最大幅	最大厚	重量	取上No(グリッド/層位)	接合No
356	468	A07	B00	石核	OB3A	13.0	27.0	11.7	2.4	▲2651(H-20/XⅢ)	-
356	469	A07	B00	ナイフ形石器	SH1A	36.9	12.2	7.4	2.5	▲6331(G-19/XⅢ)	-
356	470	A07	B00	剥片	SH1A	23.1	25.1	9.5	3.3	▲6335(H-19/XⅢ)	-
356	471	A07	B00	二次加工痕剥片	SH	48.9	25.5	12.1	10.2	▲6332(G-19/XⅢ)	-
357	472	A07	B00	剥片	SH3D	31.6	32.2	5.8	6.0	▲6885(H-19/XⅢ)	-
357	473	A07	B00	剥片	SH1A	49.5	28.5	8.2	11.4	▲6327(H-19/XⅢ)	-
357	474	A07	B00	剥片	SH1A	47.0	34.7	9.0	9.9	▲6365(H-17/XⅢ)	-
357	475	A07	B00	剥片	SH1A	71.9	22.6	11.1	8.5	▲2650(H-20/XⅢ)	-
357	476	A07	B00	剥片	SH1A	28.8	19.1	5.9	3.0	▲6328(H-19/XⅢ)	-
357	477	A07	B00	削器	SH1A	41.0	17.6	30.4	11.0	▲6340(H-19/XⅢ)	-
357	478	A07	B00	剥片	CC1A	53.2	31.1	19.1	25.6	▲6338(H-19/XⅢ)	-
357	479	A07	B00	剥片	SH1A	67.3	39.2	16.2	20.1	▲6319(H-19/XⅢ)	-

第79表　第Ⅱ文化層第８～第10エリア出土石器観察表

挿図No	図No	エリア	ブロック	分類L2	石材	最大長	最大幅	最大厚	重量	取上No(グリッド/層位)	接合No
359	480	A08	B20	剥片	OB3A	17.2	18.1	5.5	1.2	▲4740(H-11/XⅢ)	-
359	481	A08	B20	剥片	OB2B	38.4	17.7	9.0	5.1	▲4766(H-11/XⅢ)	-
360	482	A08	B00	剥片	OB2A	24.9	16.3	5.6	1.7	▲4840(I-12/XⅢ)	-
360	483	A08	B00	石核	OB2B	16.9	23.0	12.1	2.5	▲4774(H-12/XⅢ)	-
360	484	A08	B00	石核	OB1	19.3	46.6	24.4	16.6	▲4842(I-12/XⅢ)	-
362	485	A09	B00	角錐状石器	OB2A	28.2	16.8	14.6	5.5	▲8003(I-13/XⅢ)	-
362	486	A09	B00	剥片	SH1A	19.1	17.7	4.0	0.9	▲11581(J-13/XⅢ)	-
362	487	A09	B00	剥片	CH3	27.8	14.7	6.5	2.2	▲11577(J-13/XⅢ)	-
362	488	A09	B00	剥片	SH2C	28.8	30.5	8.6	5.8	▲11579(J-13/XⅢ)	-
362	489	A09	B00	剥片	SH1A	32.8	25.2	5.6	4.2	▲11578(J-13/XⅢ)	-
362	490	A09	B00	剥片	SH1A	49.5	33.2	8.5	8.6	▲11582(J-13/XⅢ)	-
362	491	A09	B00	剥片	SH1A	38.9	37.4	10.0	11.5	▲11580(J-13/XⅢ)	-
364	492	A10	B00	台形石器	OB2E	10.8	10.4	3.1	0.4	▲11534(J-11/XⅢ)	-



第386図　第Ⅱ文化層第12エリア第29ブロック石器出土状況図



第387図　第Ⅱ文化層第12エリア第29ブロック出土石器実測図

次加工剥片(729・732・733・742)と剥片，石核(749)が採取されている。

727は小型ナイフ形石器，728は未製品の可能性もある。732・742は台形石器及び未製品が考えられる。

石器製作に関わる資料はそろっているが，概して製品が少ない。

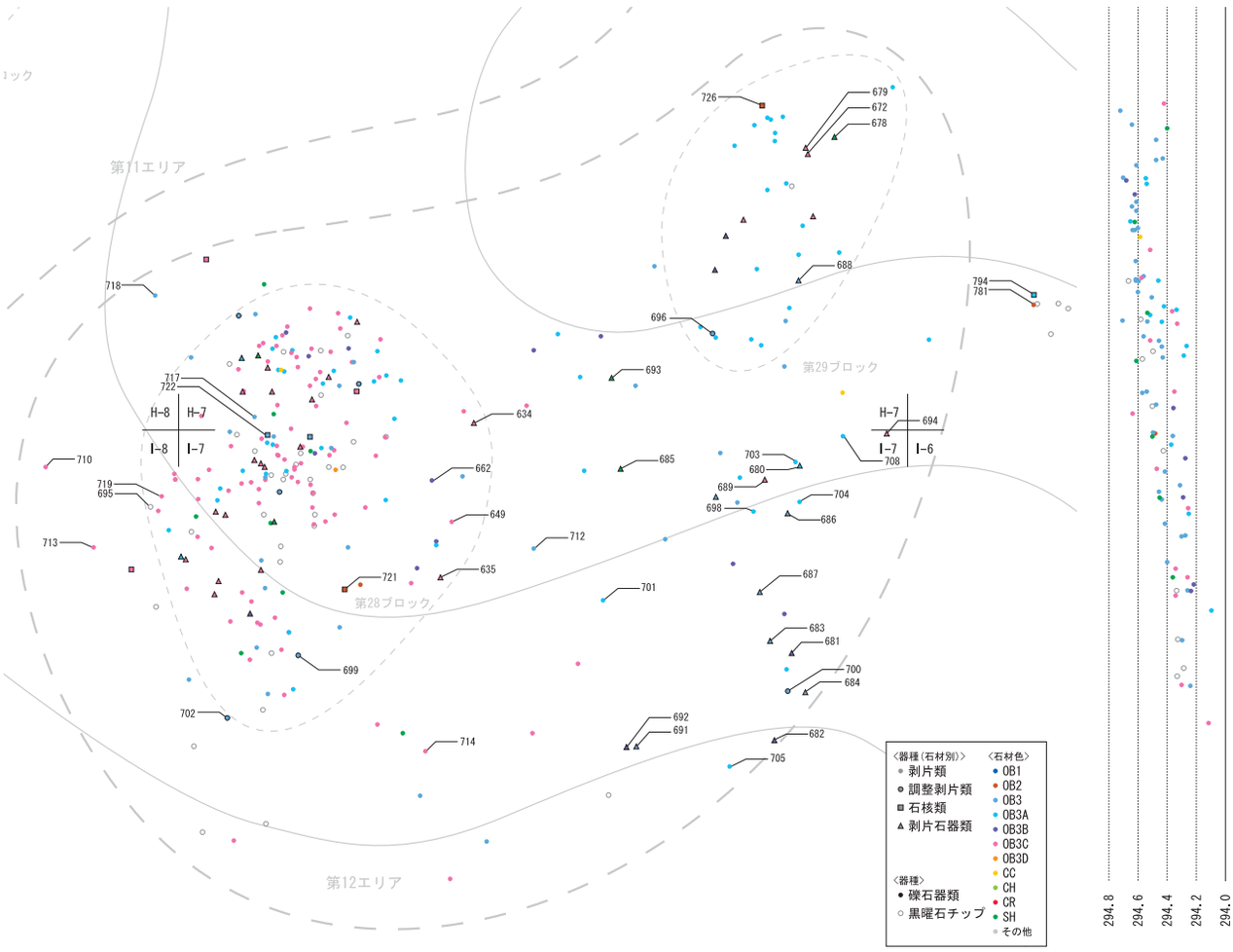
第14エリア

第31・第32ブロックで構成され，台形石器は剥片素材を縦方向に用いた２点(754・759)と素材剥片を横位に用いた(768)，二次加工剥片(755・756・761・764・767・773・774)，２点のハンマー(757・758)を確認できる。

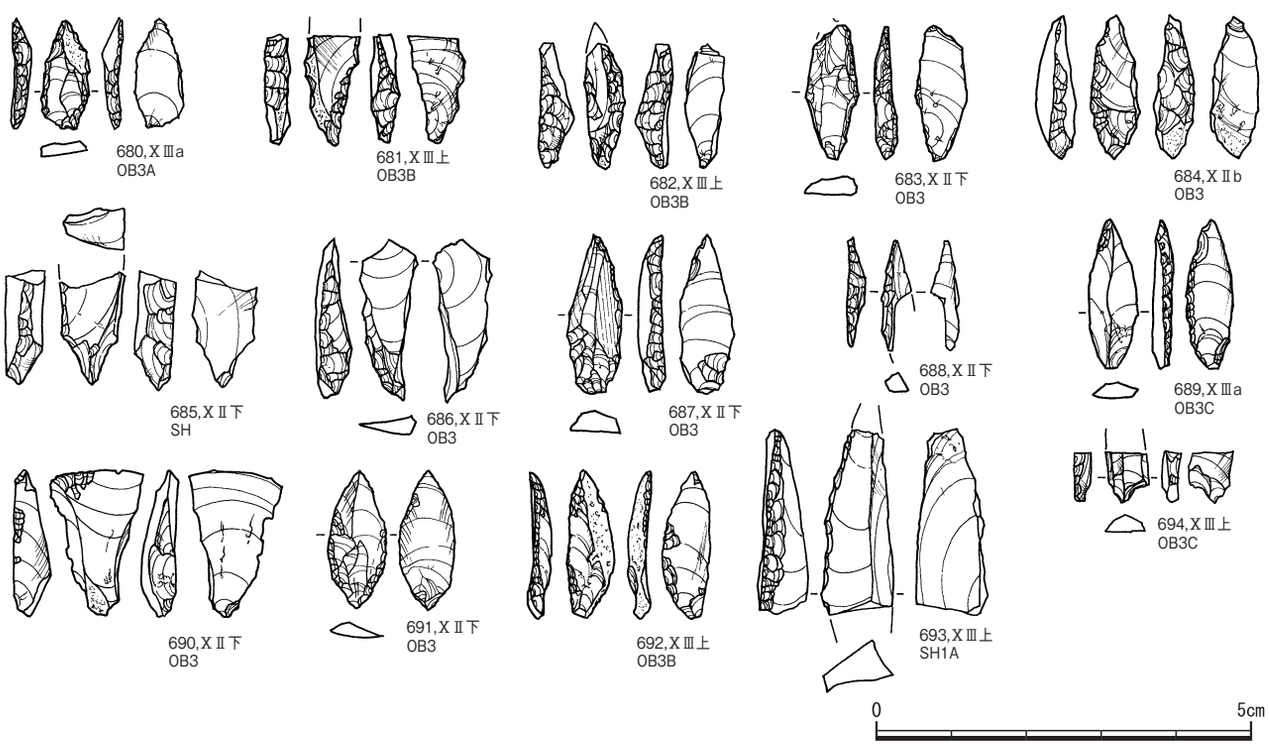
エリア外ブロック外

781の台形石器は素材剥片の形状をそのまま残し，782は打面の除去を入念に行い刃部は強く内弯する。785の打面部は折断した後調整を加え，対峙する側縁は腹面にも調整が及ぶ。

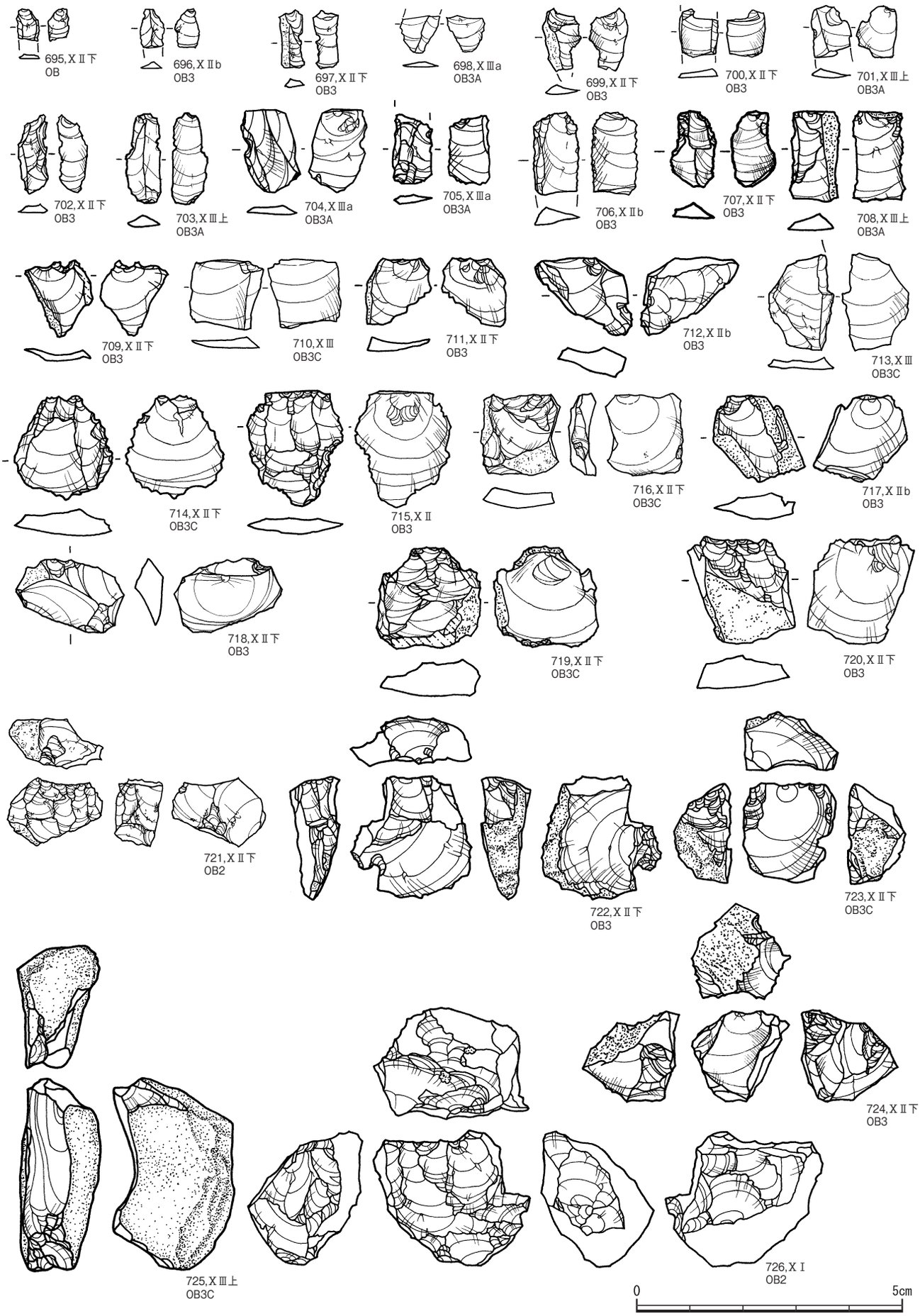
783のナイフ形石器は小型ナイフ形石器の製作と共通する。784は横長の剥片を用いた二側縁加工ナイフ形石器で，



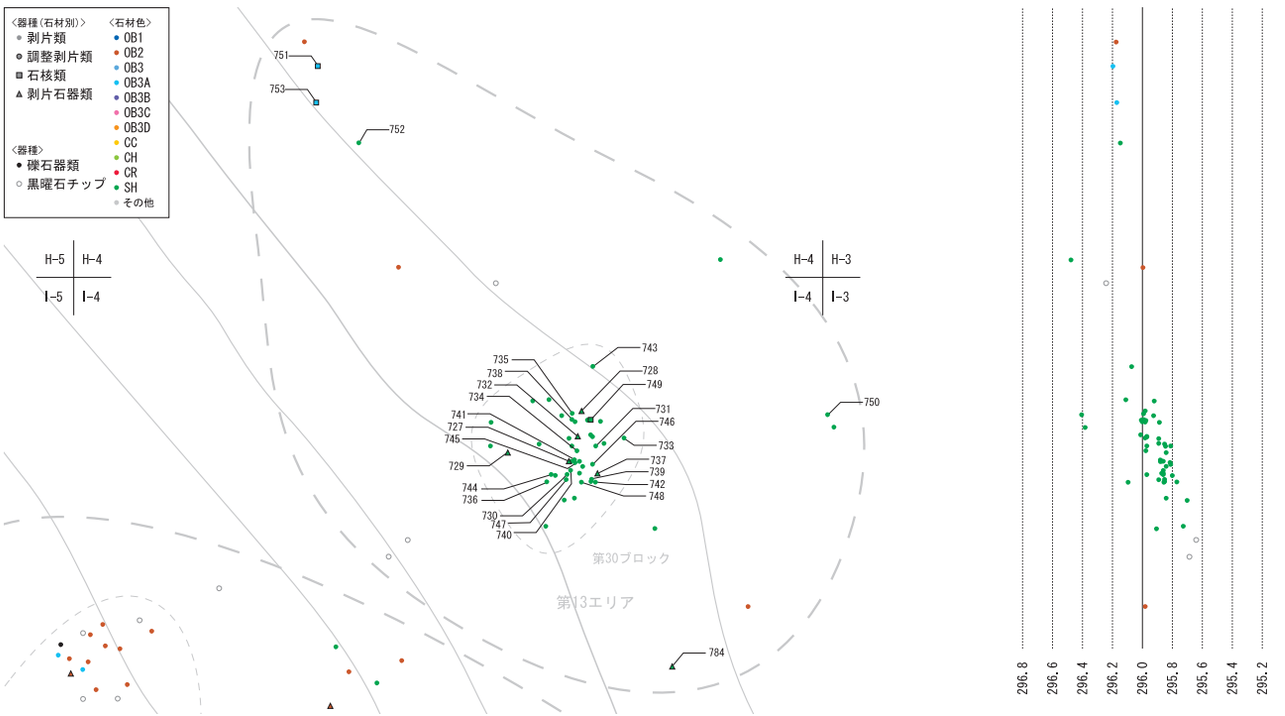
第388図　第Ⅱ文化層第12エリア石器出土状況図



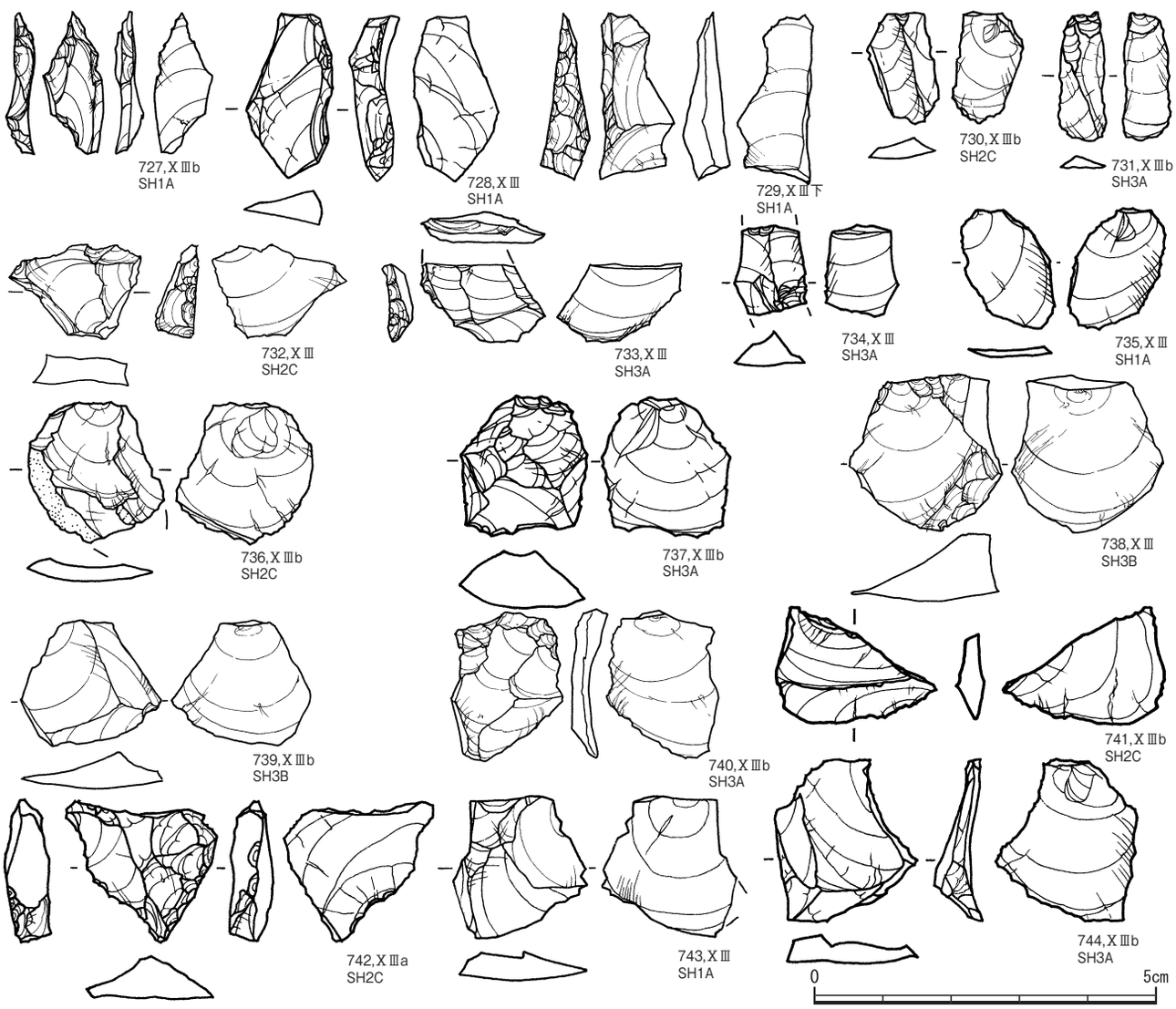
第389図　第Ⅱ文化層第12エリアブロック外出土石器実測図（1）



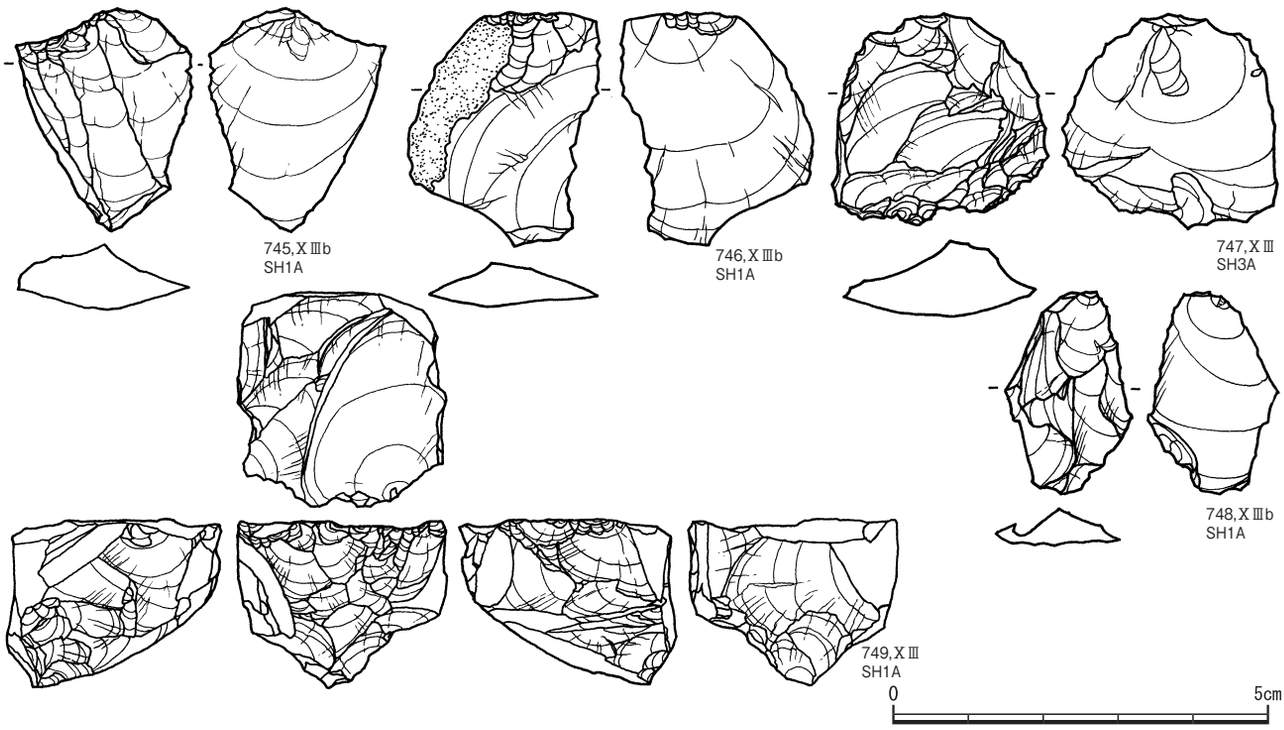
第390図　第Ⅱ文化層第12エリアブロック外出土石器実測図（2）



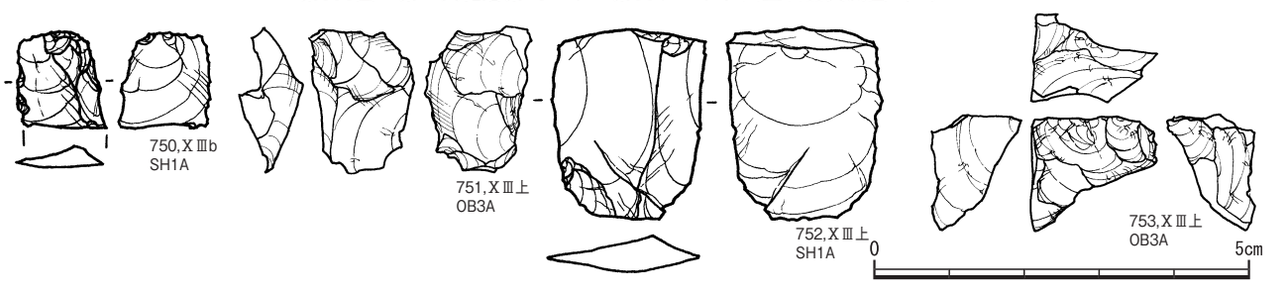
第391図　第Ⅱ文化層第13エリア第30ブロック石器出土状況図



第392図　第Ⅱ文化層第13エリア第30ブロック出土石器実測図（1）



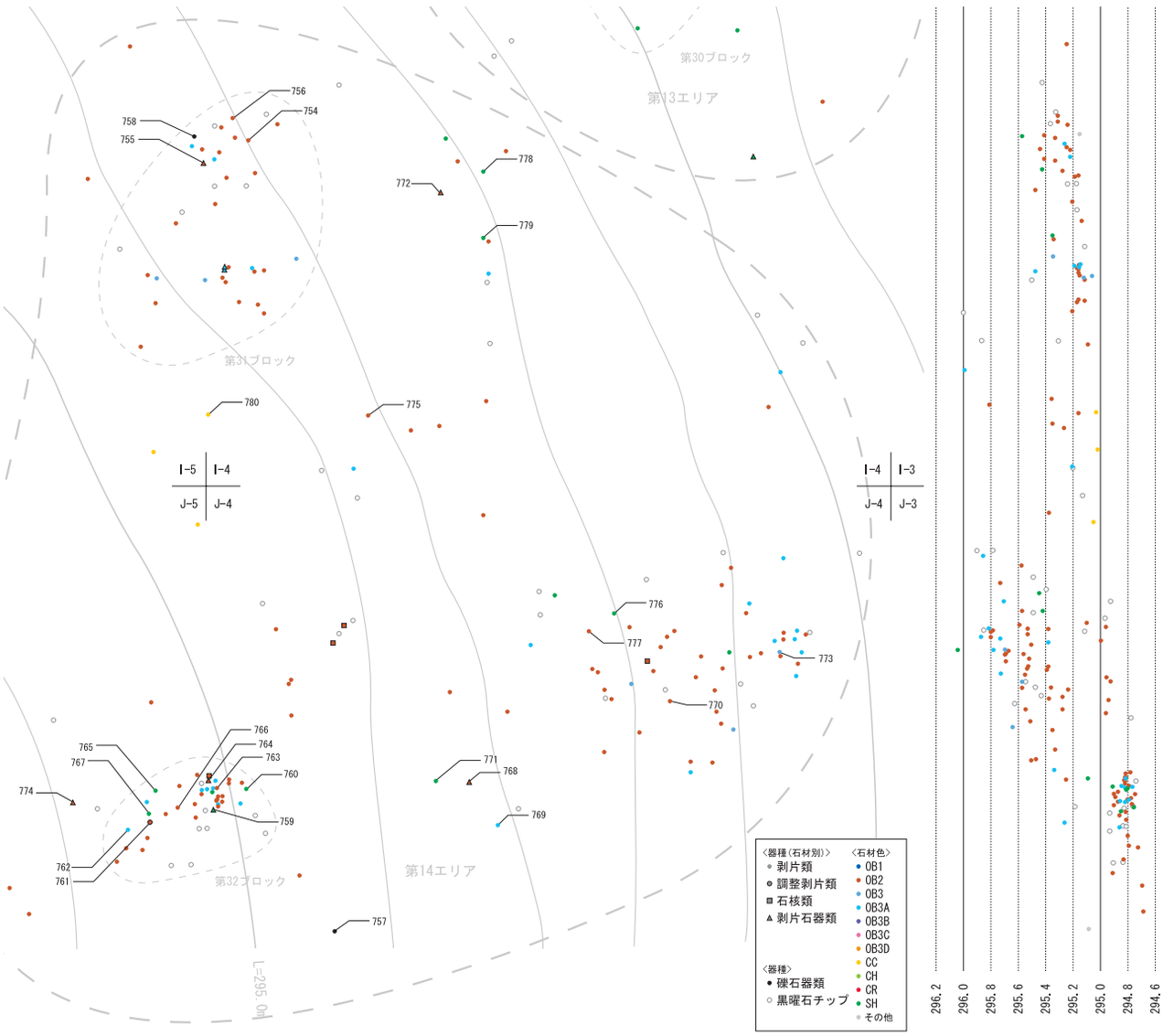
第393図　第Ⅱ文化層第13エリア第30ブロック出土石器実測図（２）



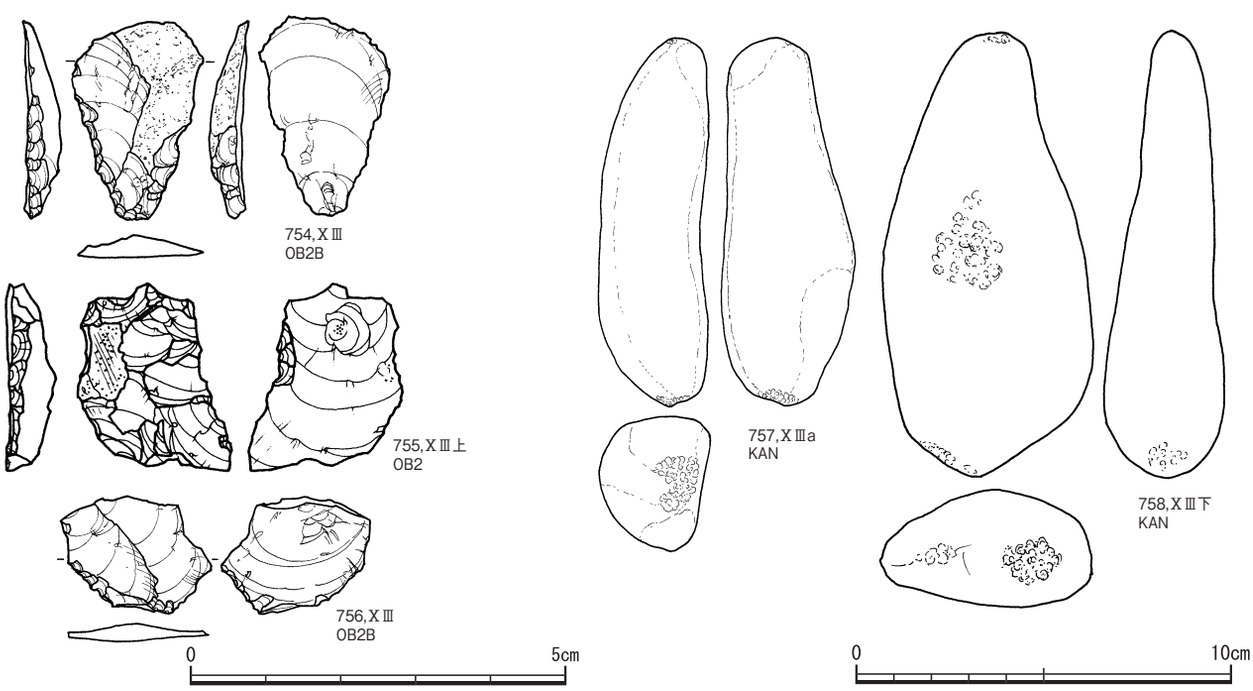
第394図　第Ⅱ文化層第13エリアブロック外出土石器実測図

791・792は角錐状石器で天地の判断が難しい。

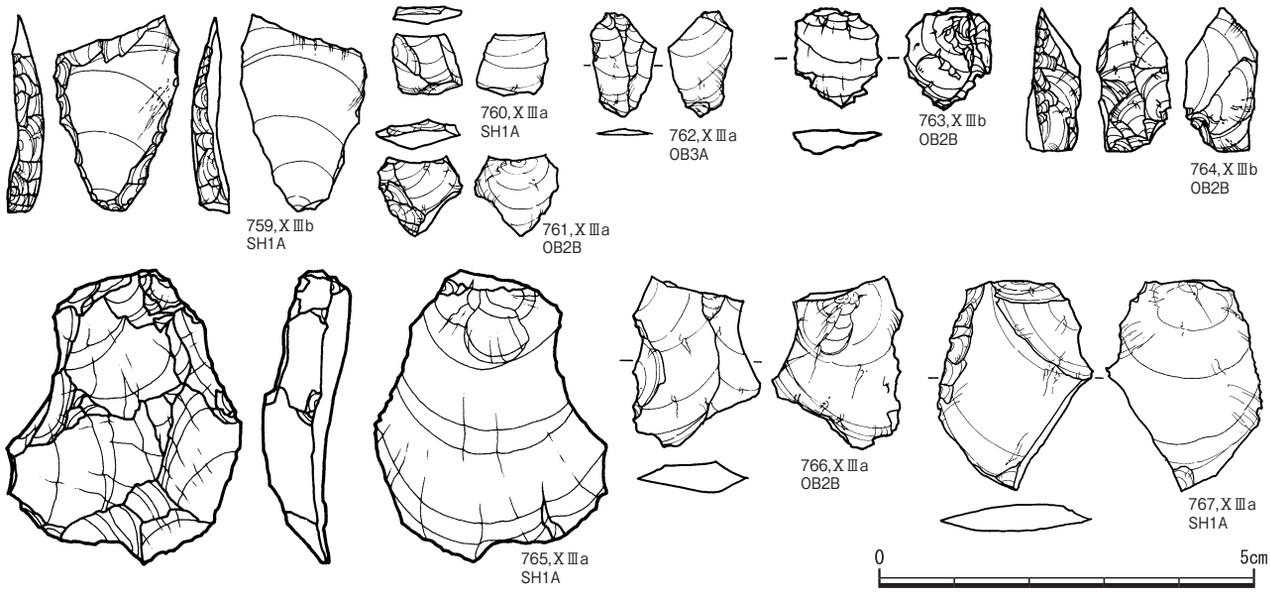
793の剥片尖頭器は，第Ⅰ文化層からの浮き上がりと判断される。



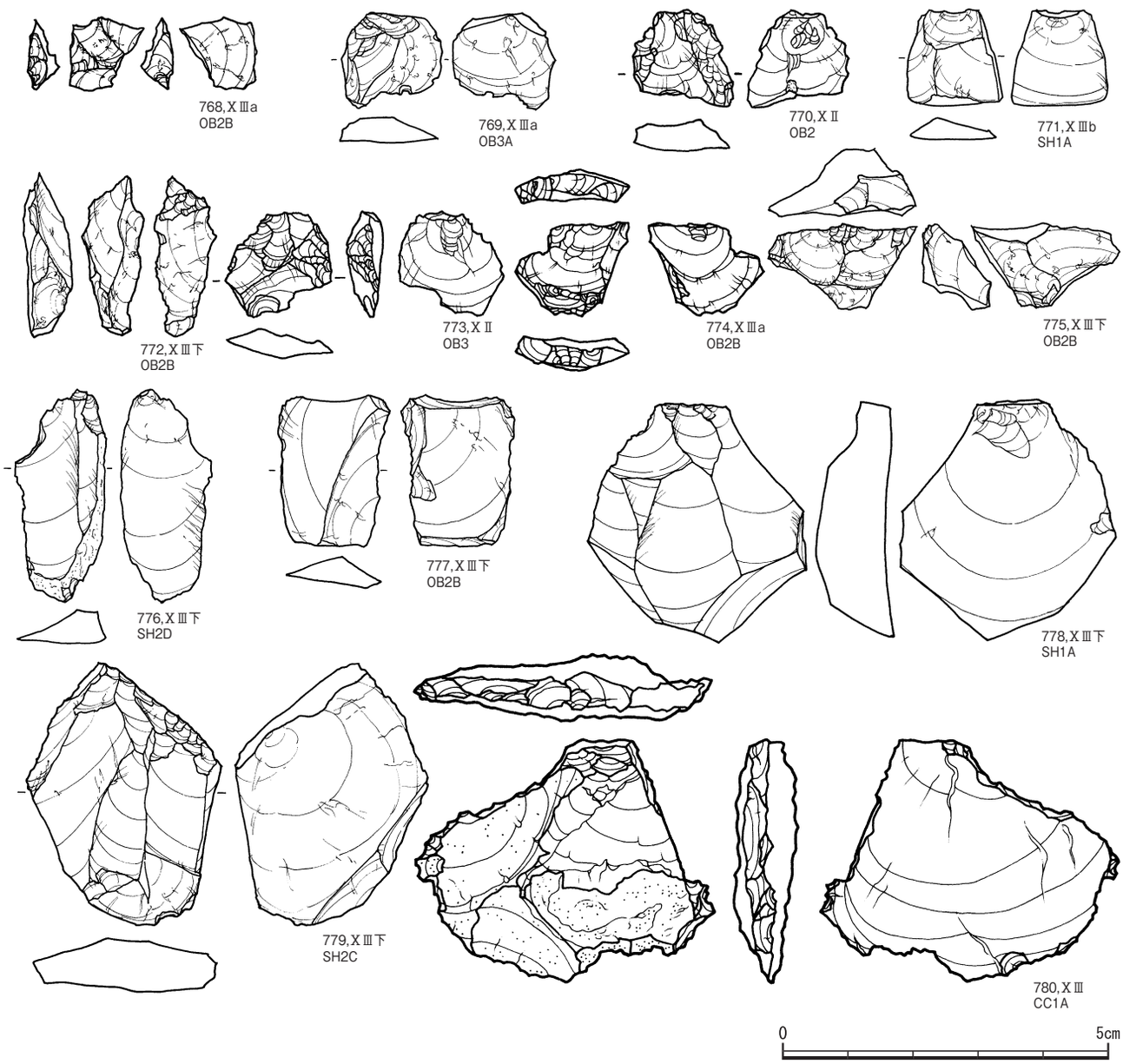
第395図　第Ⅱ文化層第14エリア石器出土状況図



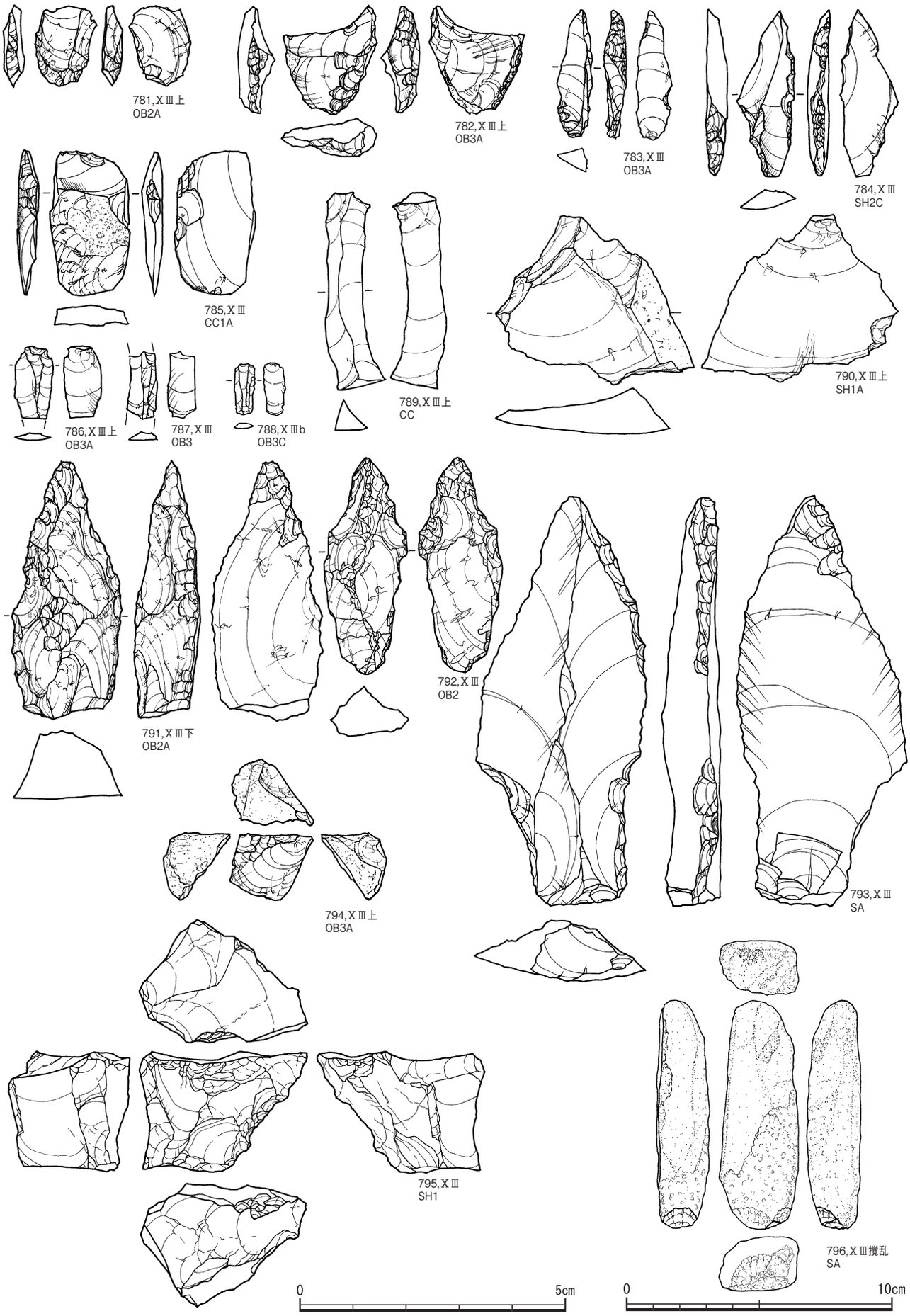
第396図　第Ⅱ文化層第14エリア第31ブロック出土石器実測図



第397図　第Ⅱ文化層第14エリア第32ブロック出土石器実測図



第398図　第Ⅱ文化層第14エリア出土石器実測図



第399図　第Ⅱ文化層エリア外ブロック外出土石器実測図

第80表　第Ⅱ文化層第11エリア出土石器観察表（1）

挿図No	図No	エリア	ブロック	分類L2	石材	最大長	最大幅	最大厚	重量	取上No(グリッド/層位)	接合No
366	493	A11	B21	台形石器	SH1A	14.3	13.6	5.6	0.9	▲13989(H-8/XⅢ)	-
366	494	A11	B21	台形石器	CH2	13.7	15.4	5.6	0.8	▲13987(H-8/XⅢ)	-
366	495	A11	B21	台形石器	SH1A	24.9	13.2	4.4	0.9	▲14056(H-8/XⅢ)	-
366	496	A11	B21	剥片	SH1A	19.5	9.8	3.2	0.5	▲14060(H-8/XⅢ)	-
366	497	A11	B21	剥片	SH2A	21.9	18.5	4.6	1.5	▲14053(H-8/XⅢ)	-
366	498	A11	B21	剥片	SH1A	16.1	20.0	9.0	2.1	▲14039(H-8/XⅢ)	-
366	499	A11	B21	剥片	SH1C	36.9	19.2	8.2	5.1	▲14058(H-8/XⅢ)	No.54
366	500	A11	B21	石核	SH1B	23.5	35.2	25.1	20.7	▲14055(H-8/XⅢ)	No.53
368	501	A11	B22	台形石器	SH1A	15.2	11.1	4.6	0.7	▲14074(H-8/XⅢ)	-
368	502	A11	B22	台形石器	CH2	19.1	13.0	5.0	1.2	▲14139(H-8/XⅢ)	-
368	503	A11	B22	台形石器	SH1B	19.0	13.7	6.5	1.3	▲14110(I-8/XⅢ)	-
368	504	A11	B22	台形石器	SH2	20.1	12.3	5.5	1.2	▲13993(I-8/XⅢ)	-
368	505	A11	B22	台形石器	SH2A	16.3	12.5	3.7	0.6	▲14112(I-8/XⅢ)	-
368	506	A11	B22	剥片	SH1B	16.7	13.6	4.2	0.9	▲14137(H-8/XⅢ)	-
368	507	A11	B22	剥片	SH1B	18.2	14.2	7.7	2.1	▲14070(H-8/XⅢ)	-
368	508	A11	B22	剥片	SH2A	10.4	11.0	3.1	0.3	▲14141(H-8/XⅢ)	-
368	509	A11	B22	剥片	SH1C	10.8	13.5	1.9	0.3	▲13999(I-8/XⅢ)	-
368	510	A11	B22	剥片	SH1C	8.5	22.5	5.0	0.8	▲14095(I-8/XⅢ)	No.54
368	511	A11	B22	剥片	SH1C	7.2	23.2	3.4	0.5	▲14115(I-8/XⅢ)	No.54
368	512	A11	B22	剥片	SH1C	13.2	17.5	4.2	0.8	▲14084(I-8/XⅢ)	No.51
368	513	A11	B22	剥片	SH1C	21.3	13.9	3.5	0.8	▲14134(I-8/XⅢ)	-
368	514	A11	B22	剥片	SH1C	18.7	13.5	3.3	0.7	▲14113(I-8/XⅢ)	No.52
368	515	A11	B22	剥片	SH1A	17.9	14.6	3.3	0.7	▲14108(I-8/XⅢ)	-
368	516	A11	B22	剥片	SH1C	21.7	14.4	5.3	1.2	▲13997(I-8/XⅢ)	No.54
368	517	A11	B22	剥片	SH1C	24.6	11.3	8.5	1.7	▲14099(I-8/XⅢ)	No.52
368	518	A11	B22	剥片	SH1C	16.3	6.5	2.6	0.2	▲14098(I-8/XⅢ)	-
368	519	A11	B22	剥片	SH1C	18.3	25.0	6.0	1.7	▲14127(I-8/XⅢ)	No.52
368	520	A11	B22	剥片	SH1B	14.7	23.7	6.2	2.0	▲13994(I-8/XⅢ)	-
369	521	A11	B22	剥片	SH1C	24.7	19.2	5.3	1.7	▲14131(I-8/XⅢ)	-
369	522	A11	B22	剥片	SH1B	23.1	22.2	7.8	3.5	▲14080(H-8/XⅢ)	No.53
369	523	A11	B22	剥片	SH1C	28.8	28.9	9.8	3.9	▲14086(I-8/XⅢ)	No.51
369	524	A11	B22	剥片	SH1C	26.1	25.5	7.5	2.8	▲14101(I-8/XⅢ)	No.52
369	525	A11	B22	剥片	SH1C	29.3	21.1	10.4	3.4	▲14071(H-8/XⅢ)	No.54
369	526	A11	B22	剥片	SH1C	23.7	32.3	7.9	4.7	▲14106(I-8/XⅢ)	No.51
369	527	A11	B22	剥片	SH1C	20.8	23.6	4.4	1.8	▲14076(H-8/XⅢ)	-
369	528	A11	B22	剥片	SH1	18.4	22.5	8.4	3.0	▲14079(H-8/XⅢ)	-
369	529	A11	B22	剥片	SH1C	21.4	27.9	6.2	3.3	▲14093(I-8/XⅢ)	-
369	530	A11	B22	剥片	SH1A	27.6	18.9	5.7	2.0	▲14142(H-8/XⅢ)	-
369	531	A11	B22	剥片	SH2D	29.7	16.1	10.0	2.9	▲14077(H-8/XⅢ)	-
369	532	A11	B22	剥片	SH1C	31.5	27.0	8.8	3.8	▲14068(I-8/XⅢ)	No.51
369	533	A11	B22	剥片	SH1C	33.3	41.9	9.2	11.3	▲14091(I-8/XⅢ下)	No.51
371	534	A11	B23	台形石器	SH1B	17.2	13.2	5.2	0.9	▲14040(H-8/XⅢ)	-
371	535	A11	B23	台形石器	SH1A	23.0	16.9	7.0	2.5	▲13978(H-8/XⅢ)	-
371	536	A11	B23	台形石器	CH2	27.2	13.3	5.8	1.2	▲14064(H-8/XⅢ)	-
371	537	A11	B23	台形石器	SH2A	22.4	12.0	5.5	1.4	▲14152(H-8/XⅢ下)	-
371	538	A11	B23	台形石器	CH2	20.5	12.3	6.7	1.5	▲14043(H-8/XⅢ)	-
371	539	A11	B23	台形石器	SH1A	20.6	14.2	4.6	1.5	▲14037(H-8/XⅢ)	-
371	540	A11	B23	台形石器	SH1B	17.9	15.2	6.3	1.5	▲14030(H-8/XⅢ)	-
371	541	A11	B23	台形石器	CH2A	18.9	12.7	7.6	1.4	▲13971(H-8/XⅢ)	-
371	542	A11	B23	剥片	SH1A	16.3	18.7	5.8	1.7	▲13969(H-8/XⅢ)	-
371	543	A11	B23	剥片	SH1A	9.5	10.4	1.7	0.1	▲14049(H-8/XⅢ)	-
371	544	A11	B23	剥片	SH1B	15.4	11.8	3.7	0.5	▲14003(H-8/XⅢ)	-
371	545	A11	B23	剥片	SH1B	19.1	8.5	2.9	0.3	▲14017(H-8/XⅢ下)	-
371	546	A11	B23	剥片	SH1B	13.9	12.6	4.6	0.7	▲14153(H-8/XⅢ下)	-
371	547	A11	B23	剥片	SH1A	13.9	18.8	8.0	1.2	▲14045(H-8/XⅢ)	-
371	548	A11	B23	剥片	SH1A	14.5	8.7	3.1	0.4	▲13976(H-8/XⅢ)	-
371	549	A11	B23	剥片	SH1B	19.3	13.6	4.6	0.9	▲14046(H-8/XⅢ)	-
371	550	A11	B23	剥片	SH1A	19.7	15.2	3.5	0.8	▲14159(H-8/XⅢ)	-
371	551	A11	B23	剥片	SH1A	19.9	15.4	4.7	1.3	▲14011(H-8/XⅢ)	-
371	552	A11	B23	剥片	SH1B	19.8	17.1	3.9	0.7	▲14158(H-8/XⅢ)	-
372	553	A11	B23	剥片	SH1B	16.6	17.7	4.0	0.9	▲14149(H-8/XⅢ)	-
372	554	A11	B23	剥片	SH1A	16.5	21.4	8.3	2.6	▲14004(H-8/XⅢ)	No.57
372	555	A11	B23	剥片	SH1B	22.1	16.6	6.4	2.3	▲14041(H-8/XⅢ)	-
372	556	A11	B23	剥片	SH1A	22.6	11.6	4.7	1.1	▲13965(H-8/XⅢ)	-
372	557	A11	B23	剥片	SH1B	24.7	21.6	8.4	3.8	▲14038(H-8/XⅢ)	No.56
372	558	A11	B23	剥片	SH1B	28.9	14.0	8.2	2.9	▲14047(H-8/XⅢ)	No.55
372	559	A11	B23	剥片	SH1C	26.8	18.5	7.9	2.8	▲14066(H-8/XⅢ)	-
372	560	A11	B23	剥片	SH1A	24.0	11.3	6.6	1.4	▲14028(H-8/XⅢ)	-
372	561	A11	B23	剥片	SH1A	21.5	23.2	6.4	1.8	▲14065(H-8/XⅢ)	-
372	562	A11	B23	剥片	CH2	22.9	21.3	6.0	2.1	▲14034(H-8/XⅢ)	-
372	563	A11	B23	剥片	SH1B	21.8	23.9	8.4	4.1	▲14026(H-8/XⅢ)	-
372	564	A11	B23	石核	SH1B	23.3	39.3	42.3	50.5	▲14062(H-8/XⅢ)	-
372	565	A11	B23	石核	CH2	16.4	32.0	17.5	8.1	▲13968(H-8/XⅢ)	-
372	566	A11	B23	石核	SH1B	20.4	26.2	19.0	8.4	▲14033(H-8/XⅢ下)	No.56
374	567	A11	B24	台形石器	SH1B	16.9	15.5	7.6	1.4	▲13412(H-8/XⅢ)	-
374	568	A11	B24	台形石器	CH2A	14.3	15.7	3.9	0.6	▲13417(H-8/XⅢ)	-
374	569	A11	B24	台形石器	SH1A	27.0	20.8	7.6	3.3	▲13409(H-8/XⅢ)	-
374	570	A11	B24	剥片	SH1A	27.5	15.1	9.8	2.6	▲13403(H-8/XⅢ)	-
374	571	A11	B24	剥片	SH1B	22.6	19.7	6.9	2.1	▲12950(H-8/XⅢ上)	-

第81表　第Ⅱ文化層第11エリア出土石器観察表（2）

挿図No	図No	エリア	ブロック	分類L2	石材	最大長	最大幅	最大厚	重量	取上No(グリッド/層位)	接合No
374	572	A11	B24	剥片	SH1B	24.0	21.5	7.4	2.7	▲12946(H-8/XⅢ上)	-
374	573	A11	B24	剥片	SH1A	26.8	28.4	10.2	5.3	▲13415(H-8/XⅢ)	-
374	574	A11	B24	角錐状石器	SH1B	39.8	17.5	13.1	5.8	▲12948(H-8/XⅢ上)	-
374	575	A11	B24	剥片	SH1B	26.9	36.2	9.4	7.3	▲13404(H-8/XⅢ)	-
376	576	A11	B25	台形石器	SH1B	21.4	13.9	6.6	1.5	▲13570(H-8/XⅢ)	-
376	577	A11	B25	台形石器	SH1B	17.0	17.5	6.7	1.9	▲13569(H-8/XⅢ)	-
376	578	A11	B25	台形石器	SH1B	13.4	13.0	4.2	0.4	▲13456(H-8/XⅢ)	-
376	579	A11	B25	二次加工痕剥片	CC1A	21.3	7.8	6.3	0.8	▲13492(H-8/XⅢ)	-
376	580	A11	B25	剥片	SH1B	20.1	9.1	3.4	0.5	▲13494(H-8/XⅢ)	-
376	581	A11	B25	剥片	SH1B	22.6	12.4	4.6	0.8	▲13572(H-8/XⅢ)	-
376	582	A11	B25	剥片	SH1B	21.2	12.8	5.5	1.1	▲13591(H-8/XⅢ下)	-
376	583	A11	B25	剥片	SH1A	16.8	12.1	4.7	0.8	▲13577(H-8/XⅢ)	-
376	584	A11	B25	剥片	CC1A	12.6	13.5	5.2	0.8	▲13593(H-8/XⅢ)	No.59
376	585	A11	B25	剥片	SH1B	16.8	19.0	5.0	1.2	▲13500(H-8/XⅢ)	No.58
376	586	A11	B25	剥片	SH1B	20.6	26.4	8.5	2.7	▲13571(H-8/XⅢ下)	-
376	587	A11	B25	剥片	SH1B	22.9	19.3	9.2	3.9	▲13496(H-8/XⅢ下)	-
376	588	A11	B25	石核	CC1A	12.5	28.9	18.5	6.3	▲13513(H-8/XⅢ)	No.59
376	589	A11	B25	石核	SH1B	18.4	21.2	11.0	3.2	▲12941(H-8/XⅢ上)	-
378	590	A11	B26	角錐状石器	SH2D	34.1	16.9	14.0	5.1	▲13532(H-8/XⅢ)	-
378	591	A11	B26	剥片	SH2B	33.5	16.7	5.8	2.4	▲13518(H-8/XⅢ)	-
378	592	A11	B26	石核	OB3A	9.6	15.0	9.6	0.9	▲13536(H-8/XⅢ)	-
378	593	A11	B26	石核	OB3A	9.8	15.2	6.8	0.9	▲13534(H-8/XⅢ)	-
378	594	A11	B26	石核	SH2B	24.2	53.8	21.8	29.6	▲13519(H-8/XⅢ)	-
379	595	A11	B27	ナイフ形石器	OB3C	11.8	5.7	4.2	0.3	▲13557(H-7/XⅢ)	-
379	596	A11	B27	剥片	OB3C	15.9	5.6	3.8	0.2	▲12911(H-7/XⅢ上)	-
379	597	A11	B27	剥片	OB3A	21.4	21.1	4.4	1.4	▲12915(H-7/XⅢ)	-
379	598	A11	B27	剥片	SH1A	33.1	29.0	11.8	9.5	▲13558(H-7/XⅢ)	-
379	599	A11	B27	石核	OB3A	18.2	18.4	13.2	2.5	▲12914(H-7/XⅢ上)	-
381	600	A11	B00	ナイフ形石器	OB3	22.1	9.9	5.4	0.9	▲12908(H-7/XⅡ下)	-
381	601	A11	B00	台形石器	SH1A	21.0	14.6	7.1	2.0	▲13543(H-8/XⅢ)	-
381	602	A11	B00	台形石器	OB3	14.7	16.2	6.3	1.5	▲12904(H-7/XⅡ下)	-
381	603	A11	B00	台形石器	CH3	14.7	13.2	5.4	1.3	▲13549(G-7/XⅢ)	-
381	604	A11	B00	台形石器	CH2	16.3	11.9	4.3	0.8	▲14121(I-8/XⅢ下)	-
381	605	A11	B00	微細剥離痕剥片	CH	13.5	12.3	3.5	0.4	▲12928(H-8/XⅡ下)	-
381	606	A11	B00	剥片	OB3	15.6	7.7	3.7	0.5	▲12920(H-7/XⅡ下)	-
381	607	A11	B00	剥片	SH1A	13.2	10.6	2.5	0.4	▲14107(I-8/XⅢ)	-
381	608	A11	B00	剥片	SH1A	17.4	10.6	3.2	0.4	▲14126(H-8/XⅢ)	-
381	609	A11	B00	作業面再生剥片	OB3	22.5	10.1	9.9	1.3	▲12907(H-7/XⅡ下)	-
381	610	A11	B00	剥片	OB3	19.6	13.7	4.5	0.9	▲12961(H-7/XⅡ)	-
382	611	A11	B00	剥片	SH1A	15.6	16.8	2.2	0.6	▲13544(H-8/XⅢ)	-
382	612	A11	B00	剥片	SH	17.7	24.6	5.0	1.8	▲12951(H-8/XⅡ下)	-
382	613	A11	B00	剥片	OB1	24.5	21.0	6.7	2.6	▲14001(H-8/XⅢ)	-
382	614	A11	B00	剥片	SH1A	19.4	24.1	9.0	2.9	▲13548(H-8/XⅢ)	No.57
382	615	A11	B00	微細剥離痕剥片	SH	25.6	16.3	5.4	1.7	▲12924(H-8/XⅡ下)	-
382	616	A11	B00	剥片	SH1A	21.7	19.1	5.2	1.7	▲13550(H-7/XⅢ)	-
382	617	A11	B00	剥片	SH	37.8	13.5	7.4	2.8	▲12906(H-7/XⅡ下)	-
382	618	A11	B00	剥片	SH1A	31.5	21.7	7.9	3.8	▲14002(H-8/XⅢ)	No.57
382	619	A11	B00	微細剥離痕剥片	CC	19.2	28.9	6.1	3.0	▲13545(H-8/XⅢ)	-
382	620	A11	B00	微細剥離痕剥片	SH	23.0	33.8	5.9	4.6	▲12931(H-8/XⅡ下)	-
382	621	A11	B00	剥片	SH1C	31.1	27.2	7.4	5.5	▲14097(I-8/XⅢ)	-
382	622	A11	B00	微細剥離痕剥片	SH	45.1	33.3	10.9	11.2	▲12952(H-8/XⅡ下)	-
382	623	A11	B00	石核	OB3	24.9	16.0	12.4	2.9	▲12916(H-7/XⅡ下)	-
382	624	A11	B00	石核	OB3	19.4	26.2	20.8	7.2	▲13984(H-8/XⅡ下)	-
382	625	A11	B00	ハンマー	SA	36.8	29.3	23.2	26.7	▲12929(H-8/XⅡ下)	-

第82表　第Ⅱ文化層第12～第14エリア出土石器観察表（1）

挿図No	図No	エリア	ブロック	分類L2	石材	最大長	最大幅	最大厚	重量	取上No(グリッド/層位)	接合No
384	626	A12	B28	ナイフ形石器	OB3C	16.0	6.3	4.8	0.3	▲16427(I-7/XⅢ上)	-
384	627	A12	B28	ナイフ形石器	OB3C	12.5	5.9	3.7	0.1	▲16560(H-7/XⅢa)	-
384	628	A12	B28	ナイフ形石器	OB3C	11.8	3.8	3.7	0.1	▲16534(I-7/XⅢa)	-
384	629	A12	B28	ナイフ形石器	OB3A	13.5	5.5	5.5	0.2	▲16561(H-7/XⅢa)	-
384	630	A12	B28	ナイフ形石器	OB3C	10.1	4.8	3.5	0.1	▲16608(I-7/XⅢa)	-
384	631	A12	B28	ナイフ形石器	OB3C	13.6	5.7	3.6	0.2	▲16430(I-7/XⅢa)	-
384	632	A12	B28	ナイフ形石器	OB3B	17.3	6.5	4.3	0.2	▲16432(I-7/XⅢa)	-
384	633	A12	B28	ナイフ形石器	OB3C	20.0	8.0	4.5	0.4	▲16760(H-7/XⅢb)	-
384	634	A12	B28	ナイフ形石器	OB3C	18.9	6.3	4.2	0.4	▲16719(H-7/XⅢa)	-
384	635	A12	B28	ナイフ形石器	OB3C	21.0	7.7	4.2	0.4	▲16697(I-7/XⅢa)	-
384	636	A12	B28	ナイフ形石器	OB3C	21.3	7.4	5.4	0.6	▲14377(H-7/XⅢ)	No.60
384	637	A12	B28	剥片	OB3C	12.9	5.7	3.5	0.2	▲16540(I-7/XⅢa)	-
384	638	A12	B28	剥片	OB3A	14.5	9.1	4.0	0.3	▲16706(I-7/XⅢb)	-
384	639	A12	B28	ナイフ形石器	OB3C	16.5	8.0	4.2	0.3	▲16594(I-7/XⅢa)	-
384	640	A12	B28	台形石器	OB3C	8.8	14.3	5.3	0.4	▲16429(I-7/XⅢ上)	-
384	641	A12	B28	台形石器	OB3C	10.1	16.5	2.8	0.4	▲16535(I-7/XⅢa)	-
384	642	A12	B28	台形石器	OB3C	21.4	12.1	5.8	1.1	▲16588(H-7/XⅢa)	No.60
384	643	A12	B28	二次加工痕剥片	SH1B	26.5	26.3	9.9	4.7	▲17080(I-7/XⅢ)	No.61
385	644	A12	B28	二次加工痕剥片	OB3C	9.3	5.5	2.9	0.1	▲16600(I-7/XⅢa)	-
385	645	A12	B28	剥片	OB3A	11.1	7.7	3.6	0.2	▲16581(H-7/XⅢa)	-
385	646	A12	B28	二次加工痕剥片	OB3C	7.7	8.4	2.2	0.1	▲16690(I-7/XⅢa)	-
385	647	A12	B28	剥片	OB3C	9.8	10.2	1.5	0.1	▲16670(H-7/XⅢa)	-

第83表　第Ⅱ文化層第12～第14エリア出土石器観察表（2）

挿図No	図No	エリア	ブロック	分類L2	石材	最大長	最大幅	最大厚	重量	取上No(グリッド/層位)	接合No
385	648	A12	B28	剥片	OB3C	7.9	10.5	2.2	0.2	▲16577(H-7/XⅢa)	-
385	649	A12	B28	剥片	OB3C	8.9	13.3	2.7	0.2	▲16447(I-7/XⅢ上)	-
385	650	A12	B28	剥片	OB3B	16.3	5.8	3.8	0.2	▲16575(H-7/XⅢa)	-
385	651	A12	B28	剥片	OB3C	16.8	6.3	2.2	0.2	▲16611(I-7/XⅢa)	-
385	652	A12	B28	剥片	OB3A	13.5	9.7	2.6	0.3	▲16417(H-7/XⅢa)	-
385	653	A12	B28	剥片	OB3A	15.8	11.2	2.8	0.3	▲16425(I-7/XⅢ上)	-
385	654	A12	B28	剥片	OB3C	17.1	8.1	2.3	0.2	▲14379(H-7/XⅢ)	No.62
385	655	A12	B28	剥片	OB3C	11.6	11.9	3.8	0.3	▲16739(H-7/XⅢb)	-
385	656	A12	B28	剥片	OB3C	13.8	11.4	2.2	0.3	▲16567(H-7/XⅢa)	-
385	657	A12	B28	剥片	OB3C	11.6	11.0	4.0	0.5	▲16669(H-7/XⅢa)	-
385	658	A12	B28	剥片	OB3C	19.1	12.8	2.8	0.5	▲16703(I-7/XⅢb)	-
385	659	A12	B28	剥片	OB3C	17.9	10.0	2.9	0.2	▲16589(H-7/XⅢa)	-
385	660	A12	B28	剥片	OB3C	19.5	9.5	3.1	0.5	▲16576(H-7/XⅢa)	-
385	661	A12	B28	剥片	OB3C	14.1	15.0	3.3	0.5	▲16667(H-7/XⅢb)	-
385	662	A12	B28	剥片	OB3B	15.4	11.9	3.0	0.4	▲16418(I-7/XⅢ上)	-
385	663	A12	B28	剥片	OB3C	18.6	10.8	5.4	0.7	▲16525(I-7/XⅢa)	-
385	664	A12	B28	剥片	OB3C	21.8	14.3	3.7	0.9	▲16585(H-7/XⅢa)	-
385	665	A12	B28	剥片	OB3C	19.5	12.2	6.9	1.1	▲16563(H-7/XⅢa)	-
385	666	A12	B28	剥片	OB3A	16.3	21.0	7.9	2.0	▲16422(I-7/XⅢ上)	-
385	667	A12	B28	剥片	OB3C	20.3	18.8	9.4	2.4	▲16666(H-7/XⅢb)	No.62
385	668	A12	B28	剥片	OB3A	28.1	16.4	8.6	2.4	▲16606(I-8/XⅢa)	-
385	669	A12	B28	剥片	OB3C	27.3	16.4	7.5	2.8	▲16746(I-7/XⅢb)	-
385	670	A12	B28	剥片	SH1A	18.0	27.8	9.2	3.5	▲16749(I-7/XⅢb)	-
387	671	A12	B29	ナイフ形石器	OB3C	14.8	5.8	4.0	0.2	▲16615(H-7/XⅢa)	-
387	672	A12	B29	ナイフ形石器	OB3C	13.8	4.7	2.5	0.1	▲16467(H-7/XⅢa)	-
387	673	A12	B29	ナイフ形石器	OB3B	17.9	8.0	5.4	0.6	▲16462(H-7/XⅢa)	-
387	674	A12	B29	剥片	OB3A	14.6	7.5	4.4	0.3	▲16465(H-7/XⅢa)	-
387	675	A12	B29	剥片	OB3A	22.2	13.0	4.5	0.7	▲16466(H-7/XⅢ上)	-
387	676	A12	B29	ナイフ形石器	OB3B	21.1	7.2	4.3	0.4	▲16717(H-7/XⅢa)	-
387	677	A12	B29	ナイフ形石器	OB3C	17.0	5.5	5.1	0.4	▲16519(H-7/XⅢa)	-
387	678	A12	B29	ナイフ形石器	SH1A	13.9	8.5	3.3	0.4	▲16728(H-7/XⅢb)	-
387	679	A12	B29	ナイフ形石器	OB3C	22.0	8.2	4.5	0.7	▲16729(H-7/XⅢb)	-
389	680	A12	B00	ナイフ形石器	OB3A	14.7	6.8	3.0	0.2	▲16619(I-7/XⅢa)	-
389	681	A12	B00	ナイフ形石器	OB3B	14.5	7.9	3.7	0.4	▲16455(I-7/XⅢ上)	-
389	682	A12	B00	ナイフ形石器	OB3B	16.7	5.5	5.0	0.4	▲16453(I-7/XⅢ上)	-
389	683	A12	B00	ナイフ形石器	OB3	18.3	7.2	3.4	0.3	▲16341(I-7/XⅡ下)	-
389	684	A12	B00	ナイフ形石器	OB3	19.1	6.7	5.6	0.5	▲16340(I-7/XⅡb)	-
389	685	A12	B00	ナイフ形石器	SH	15.7	8.8	5.6	0.6	▲16349(I-7/XⅡ下)	-
389	686	A12	B00	ナイフ形石器	OB3	22.0	8.2	5.1	0.6	▲16345(I-7/XⅡ下)	-
389	687	A12	B00	ナイフ形石器	OB3	21.4	7.5	3.9	0.5	▲16343(I-7/XⅡ下)	-
389	688	A12	B00	ナイフ形石器	OB3	14.8	4.0	2.8	0.1	▲14397(H-7/XⅡ下)	-
389	689	A12	B00	ナイフ形石器	OB3C	20.1	6.5	3.1	0.4	▲16459(I-7/XⅢa)	-
389	690	A12	B00	剥片	OB3	19.8	12.7	5.3	0.8	▲14384(H-7/XⅡ下)	-
389	691	A12	B00	ナイフ形石器	OB3	18.8	7.7	-	0.2	▲16337(I-7/XⅡ下)	-
389	692	A12	B00	ナイフ形石器	OB3B	19.8	6.6	3.5	0.3	▲16452(I-7/XⅢ上)	-
389	693	A12	B00	ナイフ形石器	SH1A	25.0	9.8	7.0	1.4	▲14389(H-7/XⅢ上)	-
389	694	A12	B00	ナイフ形石器	OB3C	7.1	6.2	2.6	0.1	▲16473(I-7/XⅢ上)	-
390	695	A12	B00	細石刃	OB	6.3	4.1	0.1	0.0	▲16314(I-8/XⅡ下)	-
390	696	A12	B00	細石刃	OB3	7.5	4.9	1.4	0.0	▲14393(H-7/XⅡb)	-
390	697	A12	B00	細石刃	OB3	11.2	5.0	2.2	0.1	▲14383(H-7/XⅡ下)	-
390	698	A12	B00	細石刃	OB3A	7.0	7.3	1.2	0.0	▲16613(I-7/XⅢa)	-
390	699	A12	B00	細石刃	OB3	12.1	7.5	1.7	0.1	▲16323(I-7/XⅡ下)	-
390	700	A12	B00	細石刃	OB3	9.0	7.5	1.2	0.1	▲16339(I-7/XⅡ下)	-
390	701	A12	B00	剥片	OB3A	9.8	7.8	1.9	0.1	▲16449(I-7/XⅢ上)	-
390	702	A12	B00	細石刃	OB3	14.8	5.9	2.2	0.2	▲16325(I-7/XⅡ下)	-
390	703	A12	B00	細石刃	OB3A	17.5	7.1	2.0	0.2	▲16460(I-7/XⅢ上)	-
390	704	A12	B00	剥片	OB3A	15.9	11.2	3.0	0.4	▲16620(I-7/XⅢa)	-
390	705	A12	B00	剥片	OB3A	13.2	8.0	2.0	0.2	▲16521(I-7/XⅢa)	-
390	706	A12	B00	剥片	OB3	15.7	9.0	4.0	0.4	▲14376(H-7/XⅡb)	-
390	707	A12	B00	剥片	OB3	14.6	8.7	2.8	0.2	▲16308(I-7/XⅡ下)	-
390	708	A12	B00	剥片	OB3A	17.3	10.2	9.0	0.7	▲16474(I-7/XⅢ上)	-
390	709	A12	B00	剥片	OB3	14.4	13.0	2.8	0.2	▲16316(I-7/XⅡ下)	-
390	710	A12	B00	剥片	OB3C	13.3	14.0	2.4	0.5	▲13963(I-8/XⅢ)	-
390	711	A12	B00	剥片	OB3	13.1	12.4	2.8	0.3	▲16318(I-7/XⅡ下)	-
390	712	A12	B00	剥片	OB3	15.0	18.7	8.2	1.4	▲16333(I-7/XⅡb)	-
390	713	A12	B00	剥片	OB3C	18.5	12.7	2.3	0.4	▲13961(I-8/XⅢ)	-
390	714	A12	B00	剥片	OB3C	19.6	18.8	-	-	▲16328(I-7/XⅡ下)	-
390	715	A12	B00	剥片	OB3	22.2	18.3	4.0	1.0	▲12897(H-7/XⅡ)	-
390	716	A12	B00	剥片	OB3C	15.7	14.8	5.4	0.9	▲16320(I-7/XⅡ下)	No.62
390	717	A12	B00	剥片	OB3	16.6	17.9	5.1	1.3	▲14378(H-7/XⅡb)	-
390	718	A12	B00	剥片	OB3	14.1	20.5	5.6	1.2	▲12953(H-8/XⅡ下)	-
390	719	A12	B00	剥片	OB3C	19.3	20.0	8.0	2.6	▲16313(I-8/XⅡ下)	No.62
390	720	A12	B00	剥片	OB3	20.7	20.3	5.7	2.0	▲14382(H-7/XⅡ下)	-
390	721	A12	B00	石核	OB2	13.2	17.9	9.2	1.7	▲16331(I-7/XⅡ下)	-
390	722	A12	B00	石核	OB3	23.5	22.9	9.6	3.3	▲16302(I-7/XⅡ下)	-
390	723	A12	B00	石核	OB3C	19.1	17.8	11.2	3.0	▲13956(I-8/XⅡ下)	No.62
390	724	A12	B00	石核	OB3	17.3	18.6	18.5	4.3	▲16304(I-7/XⅡ下)	-
390	725	A12	B00	石核	OB3C	36.5	15.6	23.2	12.0	▲12954(H-7/XⅢ上)	-
390	726	A12	B00	石核	OB2	25.6	29.9	21.9	10.9	▲12900(H-7/XⅠ)	-

第84表　第Ⅱ文化層第12～第14エリア出土石器観察表（3）

挿図No	図No	エリア	ブロック	分類L2	石材	最大長	最大幅	最大厚	重量	取上No(グリッド/層位)	接合No
392	727	A13	B30	ナイフ形石器	SH1A	20.8	8.7	4.5	0.5	▲18757(I-4/XⅢb)	No.64
392	728	A13	B30	ナイフ形石器	SH1A	24.4	12.7	7.6	3.5	▲18720(I-4/XⅢ)	No.63
392	729	A13	B30	二次加工痕剥片	SH1A	24.9	11.3	7.4	1.0	▲17603(I-4/XⅢ下)	-
392	730	A13	B30	剥片	SH2C	16.6	10.7	3.9	0.5	▲18745(I-4/XⅢb)	-
392	731	A13	B30	剥片	SH3A	19.0	7.3	2.4	0.3	▲18753(I-4/XⅢb)	-
392	732	A13	B30	台形石器	SH2C	13.9	19.9	6.5	1.3	▲18722(I-4/XⅢ)	-
392	733	A13	B30	二次加工痕剥片	SH3A	11.8	18.4	4.8	0.7	▲18727(I-4/XⅢ)	-
392	734	A13	B30	剥片	SH3A	13.7	11.0	5.2	0.5	▲18724(I-4/XⅢ)	-
392	735	A13	B30	剥片	SH1A	18.1	14.6	2.2	0.4	▲18719(I-4/XⅢ)	-
392	736	A13	B30	剥片	SH2C	21.0	20.2	3.6	1.0	▲18764(I-4/XⅢb)	-
392	737	A13	B30	微細剥離痕剥片	SH3A	20.8	19.1	8.3	2.6	▲18751(I-4/XⅢb)	-
392	738	A13	B30	剥片	SH3B	23.3	22.4	11.0	3.9	▲18721(I-4/XⅢ)	-
392	739	A13	B30	剥片	SH3B	18.5	20.5	5.0	1.3	▲18749(I-4/XⅢb)	-
392	740	A13	B30	剥片	SH3A	21.8	16.6	5.5	1.1	▲18746(I-4/XⅢb)	-
392	741	A13	B30	剥片	SH2C	17.4	24.1	4.3	1.4	▲18758(I-4/XⅢb)	-
392	742	A13	B30	台形石器	SH2C	20.6	22.2	6.7	2.2	▲18731(I-4/XⅢa)	-
392	743	A13	B30	剥片	SH1A	21.1	19.9	4.1	1.3	▲18717(I-4/XⅢ)	-
392	744	A13	B30	剥片	SH3A	24.1	21.1	7.4	1.6	▲18756(I-4/XⅢb)	-
393	745	A13	B30	剥片	SH1A	30.1	23.9	10.1	4.4	▲18763(I-4/XⅢb)	No.63
393	746	A13	B30	剥片	SH1A	31.3	26.0	5.8	3.9	▲18752(I-4/XⅢb)	-
393	747	A13	B30	二次加工痕剥片	SH3A	29.0	29.0	9.9	5.6	▲18729(I-4/XⅢ)	-
393	748	A13	B30	剥片	SH1A	27.1	17.8	6.8	2.2	▲18748(I-4/XⅢb)	-
393	749	A13	B30	石核	SH1A	22.5	28.3	29.0	19.0	▲18738(I-4/XⅢ)	-
394	750	A13	B00	剥片	SH1A	13.1	12.6	3.2	0.5	▲18713(I-3/XⅢb)	-
394	751	A13	B00	剥片	OB3A	19.7	14.5	8.7	1.5	▲14355(H-4/XⅢ上)	-
394	752	A13	B00	剥片	SH1A	26.0	21.1	6.6	3.1	▲14353(H-4/XⅢ上)	-
394	753	A13	B00	石核	OB3A	15.5	17.1	12.2	1.6	▲14354(H-4/XⅢ上)	-
396	754	A14	B31	台形石器	OB2B	26.8	17.7	5.4	1.6	▲17682(I-4/XⅢ)	-
396	755	A14	B31	二次加工痕剥片	OB2	25.2	20.8	7.0	2.6	▲17720(I-5/XⅢ上)	-
396	756	A14	B31	微細剥離痕剥片	OB2B	15.8	20.0	3.4	0.9	▲17681(I-4/XⅢ)	-
396	757	A14	B00	ハンマー	KAN	98.5	36.1	36.1	129.0	▲18506(J-4/XⅢa)	-
396	758	A14	B31	ハンマー	KAN	118.9	56.7	32.6	159.2	▲17743(I-5/XⅢ下)	-
398	759	A14	B32	台形石器	SH1A	26.4	17.1	5.2	1.8	▲18559(J-4/XⅢb)	-
398	760	A14	B32	剥片	SH1A	8.6	9.7	2.6	0.1	▲18510(J-4/XⅢa)	-
398	761	A14	B32	二次加工痕剥片	OB2B	11.0	11.3	4.2	0.2	▲18522(J-5/XⅢa)	-
398	762	A14	B32	剥片	OB3A	14.3	8.8	1.8	0.2	▲18527(J-5/XⅢa)	-
398	763	A14	B32	剥片	OB2B	13.8	11.9	3.5	0.5	▲18586(J-4/XⅢb)	-
398	764	A14	B32	二次加工痕剥片	OB2B	19.4	10.1	7.5	1.1	▲18553(J-4/XⅢb)	No.66
398	765	A14	B32	剥片	SH1A	39.2	31.4	12.1	10.0	▲18521(J-5/XⅢa)	-
398	766	A14	B32	剥片	OB2B	23.2	17.6	5.4	1.6	▲18518(J-5/XⅢa)	-
398	767	A14	B32	二次加工痕剥片	SH1A	28.3	21.0	4.4	2.2	▲18523(J-5/XⅢa)	-
398	768	A14	B00	台形石器	OB2B	11.2	12.1	5.2	0.5	▲18503(J-4/XⅢa)	-
398	769	A14	B00	剥片	OB3A	15.0	16.0	5.0	1.0	▲18502(J-4/XⅢa)	-
398	770	A14	B00	剥片	OB2	15.1	15.8	5.1	1.0	▲17980(J-4/XⅡ)	-
398	771	A14	B00	剥片	SH1A	14.9	14.9	3.5	0.8	▲18545(J-4/XⅢb)	-
398	772	A14	B00	剥片	OB2B	24.8	9.8	7.8	1.3	▲17614(I-4/XⅢ下)	-
398	773	A14	B00	二次加工痕剥片	OB3	16.2	16.4	5.9	2.9	▲17969(J-4/XⅡ)	-
398	774	A14	B00	二次加工痕剥片	OB2B	14.4	18.0	5.5	1.1	▲18529(J-5/XⅢa)	-
398	775	A14	B00	剥片	OB2B	13.2	22.8	10.8	1.5	▲17623(I-4/XⅢ下)	-
398	776	A14	B00	剥片	SH2D	32.9	14.3	4.8	1.9	▲17655(J-4/XⅢ下)	-
398	777	A14	B00	剥片	OB2B	23.5	17.6	4.8	1.4	▲17654(J-4/XⅢ下)	-
398	778	A14	B00	剥片	SH1A	37.1	33.4	12.3	13.9	▲17613(I-4/XⅢ下)	No.63
398	779	A14	B00	剥片	SH2C	40.5	29.9	9.5	10.5	▲17616(I-4/XⅢ下)	-
398	780	A14	B00	剥片	CC1A	37.4	46.2	10.2	12.5	▲17704(I-4/XⅢ)	-

第85表　第Ⅱ文化層エリア外出土石器観察表

挿図No	図No	エリア	ブロック	分類L2	石材	最大長	最大幅	最大厚	重量	取上No(グリッド/層位)	接合No
399	781	A00	B00	台形石器	OB2A	15.4	11.9	4.3	0.6	▲16514(H-6/XⅢ上)	-
399	782	A00	B00	台形石器	OB3A	20.5	18.2	7.2	1.4	▲14369(G-5/XⅢ上)	-
399	783	A00	B00	ナイフ形石器	OB3A	24.5	6.9	4.5	0.5	▲17885(J-6/XⅢ)	-
399	784	A00	B00	ナイフ形石器	SH2C	31.7	11.2	4.4	1.2	▲18755(I-4/XⅢ)	-
399	785	A00	B00	台形石器	CC1A	27.3	15.5	4.4	1.7	▲13952(I-8/XⅢ)	-
399	786	A00	B00	剥片	OB3A	13.7	7.4	1.9	0.2	▲17738(H-5/XⅢ上)	-
399	787	A00	B00	細石刃	OB3	12.6	5.5	2.3	0.1	●10196(え-19/XⅢ)	
399	788	A00	B00	細石刃	OB3C	10.1	4.4	1.5	0.0	▲16726(H-6/XⅢb)	-
399	789	A00	B00	微細剥離痕剥片	CC	37.1	10.7	7.8	2.0	▲14375(G-5/XⅢ上)	-
399	790	A00	B00	剥片	SH1A	31.7	37.2	8.5	8.0	▲17740(H-5/XⅢ上)	-
399	791	A00	B00	角錐状石器	OB2A	49.2	21.2	12.8	10.9	▲17758(G-5/XⅢ下)	-
399	792	A00	B00	角錐状石器	OB2	40.7	16.1	11.1	4.9	●10198(う-20/XⅢ)	-
399	793	A00	B00	剥片尖頭器	SA	77.6	32.3	11.6	22.5	○47093(I-35/XⅢ)	-
399	794	A00	B00	石核	OB3A	12.8	15.9	12.5	1.6	▲16515(H-6/XⅢ上)	-
399	795	A00	B00	石核	SH1	23.2	31.8	23.1	14.3	●9342(く-27/XⅢ)	-
399	796	A00	B00	ハンマー	SA	86.5	30.2	20.7	70.9	▲14370(G-5/XⅢ撹乱)	-

第４節　接合資料(第400～467図)

１　石材別接合状況(第400図)

接合作業を行った結果，171個体の接合資料を確認し，剥離過程の検討可能な資料が得られた。接合対象の出土遺物はＸⅢ層を主体に置くが，一部ＸⅡ層出土遺物との接合資料が確認されたことから，この２つの層を接合作業の対象とした。殆どの接合資料がブロック内接合に留まるが，一部がブロック間，またはエリア間で接合しており，それぞれの相関関係を示唆すると思われる。これらの接合関係は，同一母岩接合，破損石器接合で具体的に示している。なお，石材別接合状況は第400図に示した。以下，石材別分布状況を述べる。

石材は黒曜石・玉髄・頁岩・チャートと極少数だが水晶がみられる。数量では黒曜石が大半を占める。また，調査区内では石器製作技術などから大きく５つの区域に分けられ，石材毎の分布状況にはそれぞれ特徴がある。区域間の石材交流はみられないが，各エリア段階では若干の移動がみられる。以下，区域毎の接合資料の分布状況について述べる。

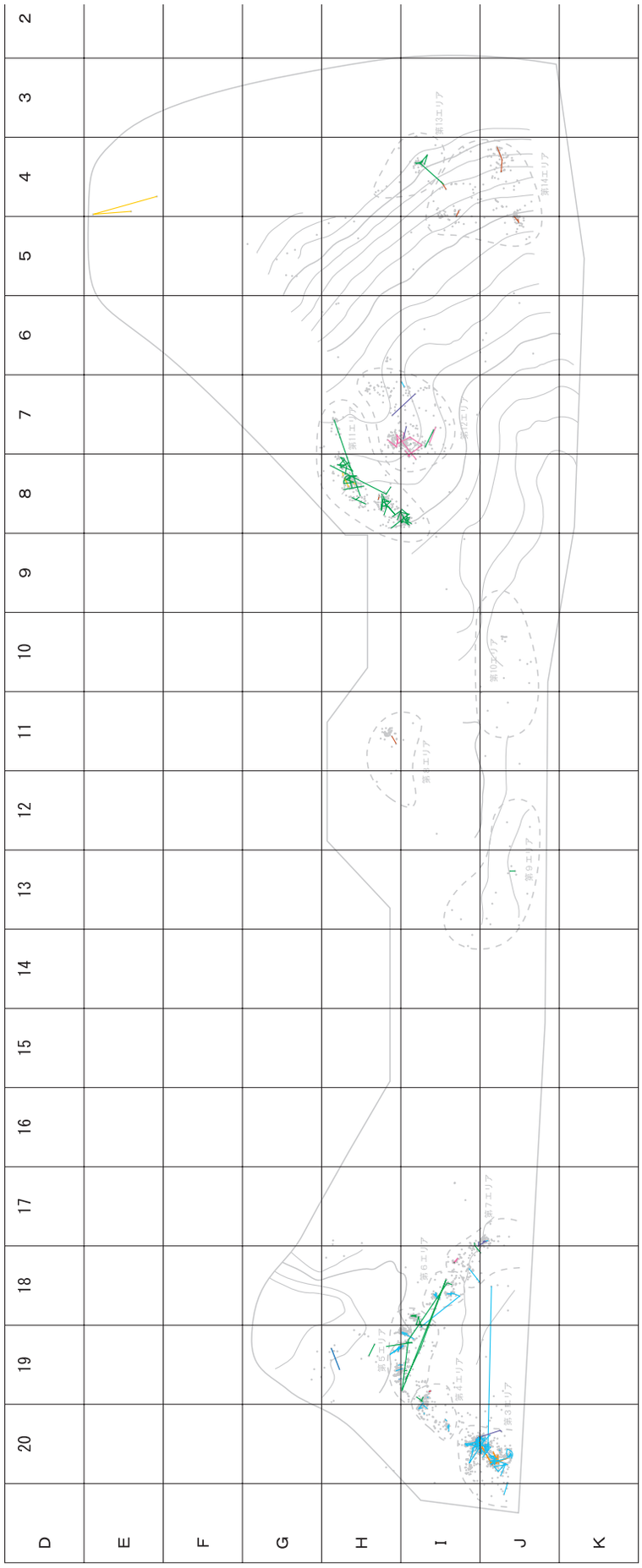
耳取遺跡17～20区に存在する第３～７エリアでは，黒曜石Ⅲ類を主体とした環状を思わせるブロック群が注目される。ブロック間の石材交流は極めて弱く，ほとんどがブロック内の接合に留まっている。石核の多くが小型の角礫を素材とし，平坦な礫打面から，横広の不定形剥片を取り出し，台形石器の素材剥片を目的としている。他の石器の出土は極めて少なく，専ら台形石器を主体とする。

他の石材は，玉髄等ごくわずかで剥片剥離技術も黒曜石に準じるが，接合資料No.39は硬質頁岩を使用しているが，同一母岩は本接合資料を含めて37点しか出土していない。そのため剥片素材石核として持ち込まれたものと考えられる。また，No.39はエリア間の接合が認められ，関係する黒曜石のエリアとの同時性が検討される資料である。

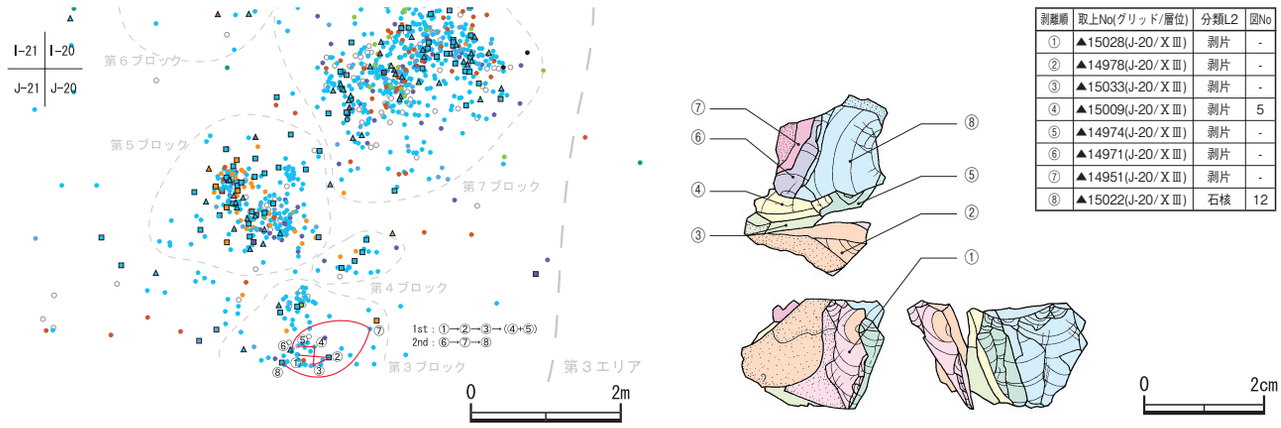
９～14区の区域に存在する第８～10エリアでは，第20ブロックを除いて散布的な状況を呈する。第20ブロックと，そのほかの出土石材との時間差などの相関関係は不明である。

Ｈ・Ｉ-８区の区域にある第11エリアでは，頁岩Ⅱ類と玉髄が主体で，黒曜石が客体的な出土状況を示す。折断技法による小型の台形石器やナイフ形石器が主体を成す。

Ｈ・Ｉ-７区の区域に存在する第12エリアでは，黒曜石による小型ナイフ形石器を主体とするブロックで形成されている。また，17～20区では

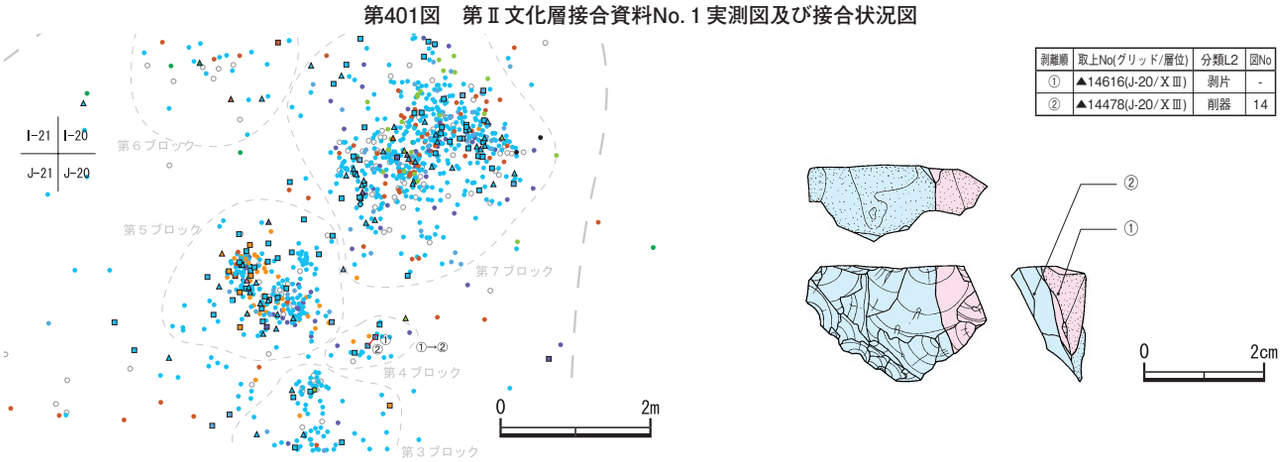


第400図　第Ⅱ文化層石材別接合状況図



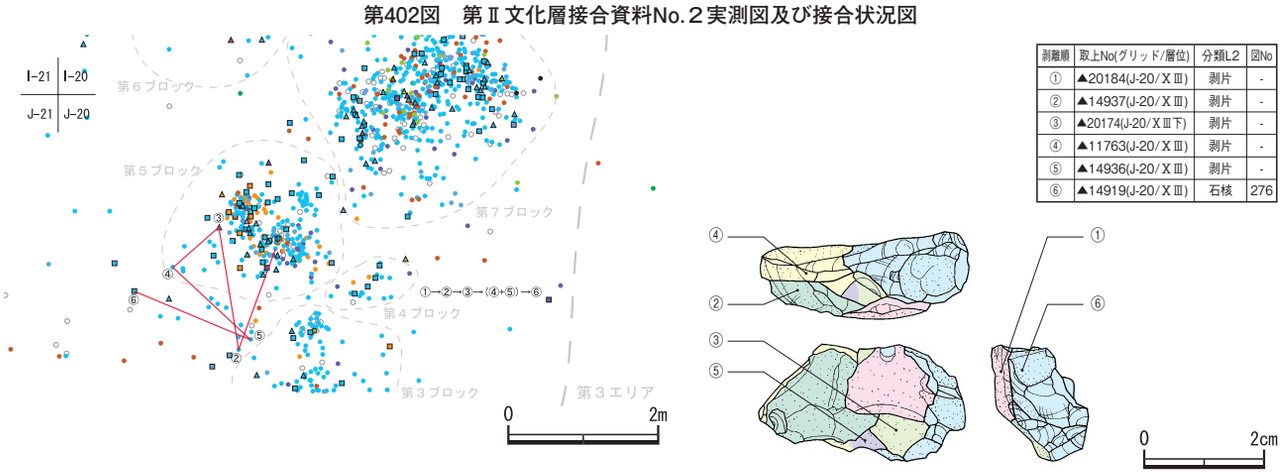
剥離順	取上No(グリッド/層位)	分類L2	図No
①	▲15028(J-20/ⅩⅢ)	剥片	-
②	▲14978(J-20/ⅩⅢ)	剥片	-
③	▲15033(J-20/ⅩⅢ)	剥片	-
④	▲15009(J-20/ⅩⅢ)	剥片	5
⑤	▲14974(J-20/ⅩⅢ)	剥片	-
⑥	▲14971(J-20/ⅩⅢ)	剥片	-
⑦	▲14951(J-20/ⅩⅢ)	剥片	-
⑧	▲15022(J-20/ⅩⅢ)	石核	12

第401図　第Ⅱ文化層接合資料No.１実測図及び接合状況図



剥離順	取上No(グリッド/層位)	分類L2	図No
①	▲14616(J-20/ⅩⅢ)	剥片	-
②	▲14478(J-20/ⅩⅢ)	削器	14

第402図　第Ⅱ文化層接合資料No.２実測図及び接合状況図



剥離順	取上No(グリッド/層位)	分類L2	図No
①	▲20184(J-20/ⅩⅢ)	剥片	-
②	▲14937(J-20/ⅩⅢ)	剥片	-
③	▲20174(J-20/ⅩⅢ下)	剥片	-
④	▲11763(J-20/ⅩⅢ)	剥片	-
⑤	▲14936(J-20/ⅩⅢ)	剥片	-
⑥	▲14919(J-20/ⅩⅢ)	石核	276

第403図　第Ⅱ文化層接合資料No.３実測図及び接合状況図

未調整の石核が主体であるのに比べて，石核調整段階の剥片を含む接合資料が確認されている。

３～５区の区域に存在する第13・14エリアでは，頁岩２類と黒曜石を主体としたブロックが形成される。ナイフ形石器と小型の剥片素材の台形石器が主体を成す。

２　接合資料(第401図～第466図)

接合資料No.１(第401図)　[OB3A]

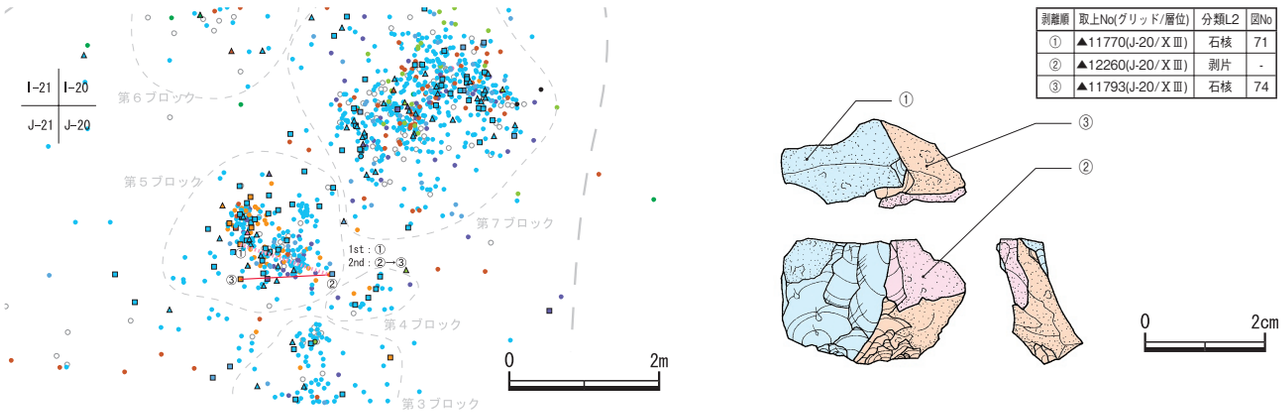
２～３cmの小角礫を素材とする石核と剥片の接合資料である。打面は一回の加撃で作出され，剥離は打点位置を適宜移しながら進行し，①以降を剥離している。

接合資料No.２(第402図)　[OB3A]

残核を削器に転用した資料の接合資料である。角礫の平坦部を打面に，剥片剥離を繰り返したものとみられる。左側縁の調整剥離との前後関係は不明だが，①は背面からの圧力で脱落している。

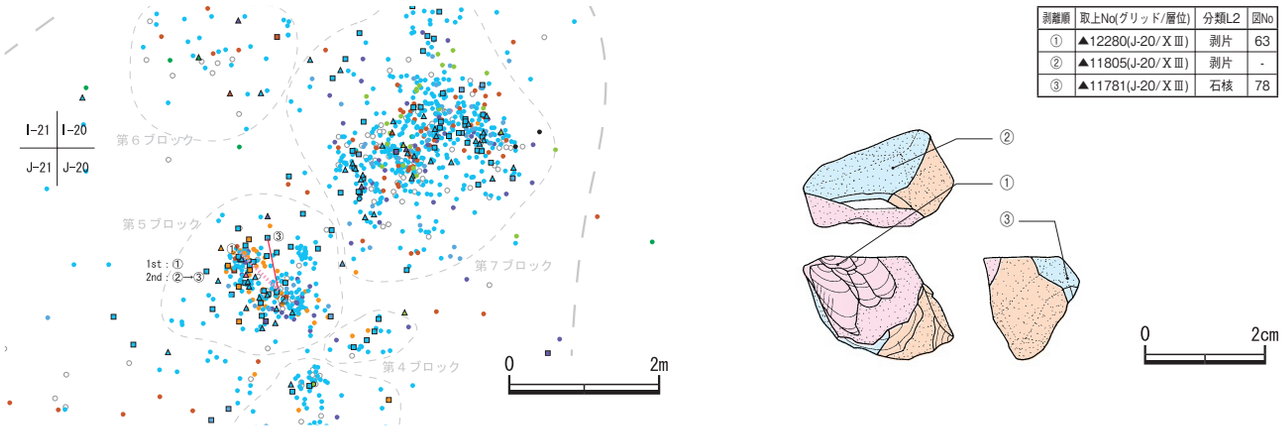
接合資料No.３(第403図)　[OB3A]

石核の原礫素材の規格が理解できる資料である。裏面左方向から縦長剥片を得ようとしたが，晶子に当たり失敗している。以後，正面上方の礫面から剥離が続けられ④は裏面まで達している。④と⑤は晶子によって破断されている。③と⑤は背面打瘤直下からの加撃によって破断されたことが確認で



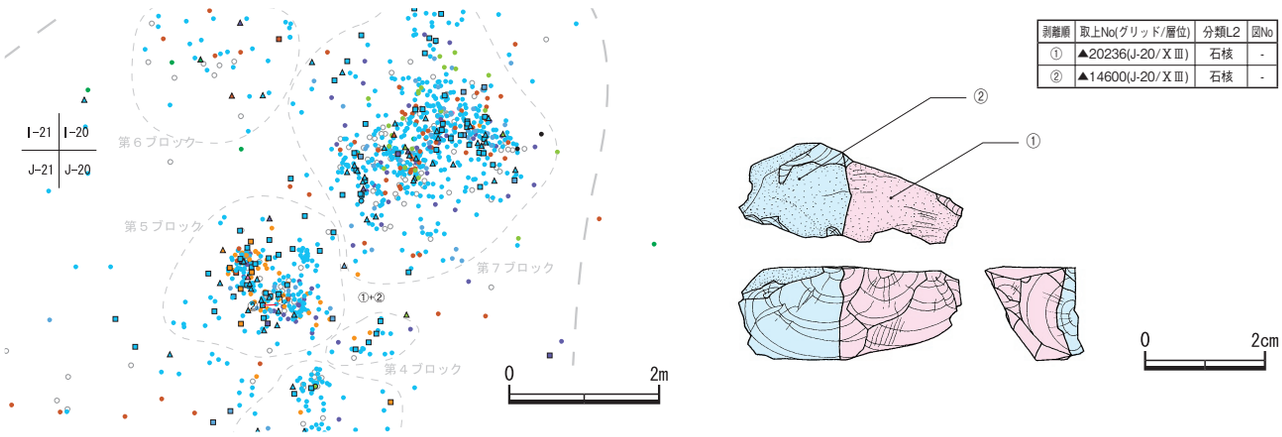
剥離順	取上No(グリッド/層位)	分類L2	図No
①	▲11770(J-20/XⅢ)	石核	71
②	▲12260(J-20/XⅢ)	剥片	-
③	▲11793(J-20/XⅢ)	石核	74

第404図　第Ⅱ文化層接合資料No.４実測図及び接合状況図



剥離順	取上No(グリッド/層位)	分類L2	図No
①	▲12280(J-20/XⅢ)	剥片	63
②	▲11805(J-20/XⅢ)	剥片	-
③	▲11781(J-20/XⅢ)	石核	78

第405図　第Ⅱ文化層接合資料No.５実測図及び接合状況図



剥離順	取上No(グリッド/層位)	分類L2	図No
①	▲20236(J-20/XⅢ)	石核	-
②	▲14600(J-20/XⅢ)	石核	-

第406図　第Ⅱ文化層接合資料No.６実測図及び接合状況図

きるが，偶発的な破断の可能性もある。

接合資料No.４(第404図)　[OB3D]

扁平な角礫素材の石核と剥片の接合資料である。残された剥離面には，上下の打面転移が認められる。しかし，素材があまりにも扁平で薄いため，数回の剥離に限定されている。(②→③)と剥離し，その後の剥離で終了している。

接合資料No.５(第405図)　[OB3A]

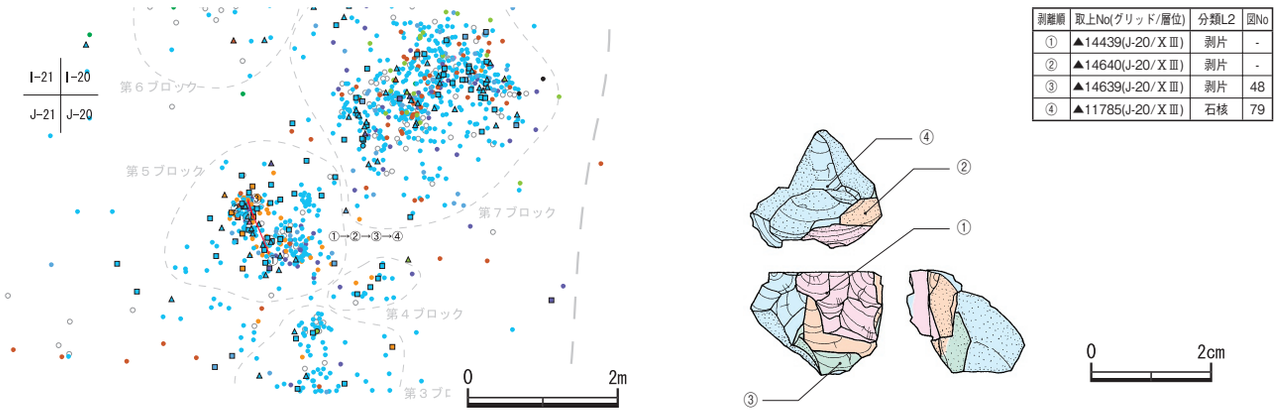
石核と剥片の接合資料で，石核は小型の角礫を素材としている。素材礫の平坦面をそのまま打面とし，①→②と剥離しているが，①と②の間に小型で横広の不定形剥片が取り出されているが，持ち出された可能性が高い。なお，③は残核として廃棄されている。

接合資料No.６(第406図)　[OB3A]

破損した石核または残核の接合資料である。丈の短い角礫を素材とし，角礫の平坦面をそのまま打面としている。正面の作業面からは同一方向に横広の不定形剥片が剥離されたことが観察できる。本遺跡に残された他の資料から類推すると，石核としての機能は残していると思われる。破砕は加撃の際，晶子によるとみられる。

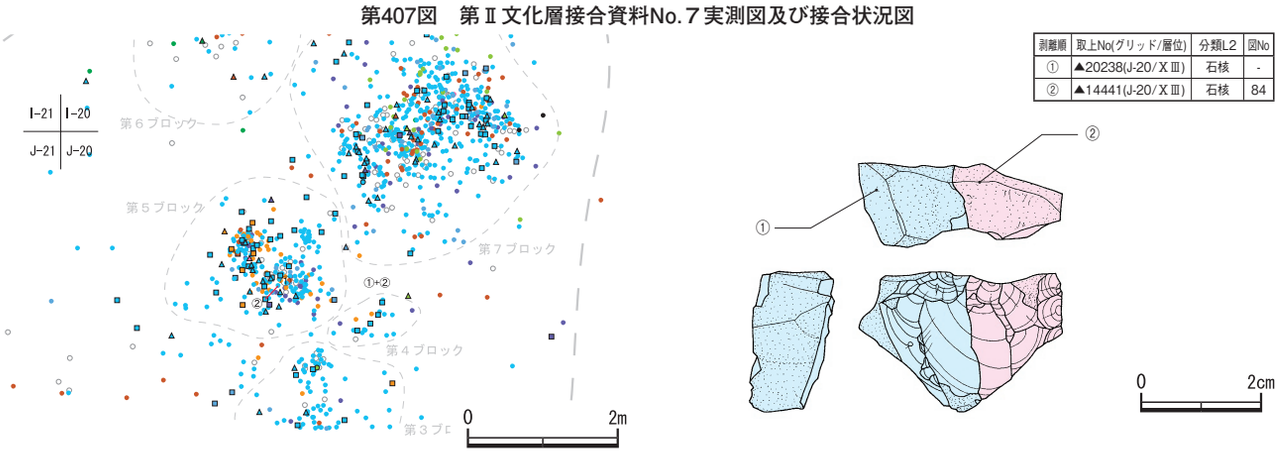
接合資料No.７(第407図)　[OB3D]

礫面を残したまま剥片剥離を行っている石核と剥片との接合資料である。礫面のほぼ平坦な部分を，打点を適宜ずらしながら剥離を行っている。背面の様子から，①以前の打面は一定の方向からの剥片剥離が行われたと思われる。③に関し



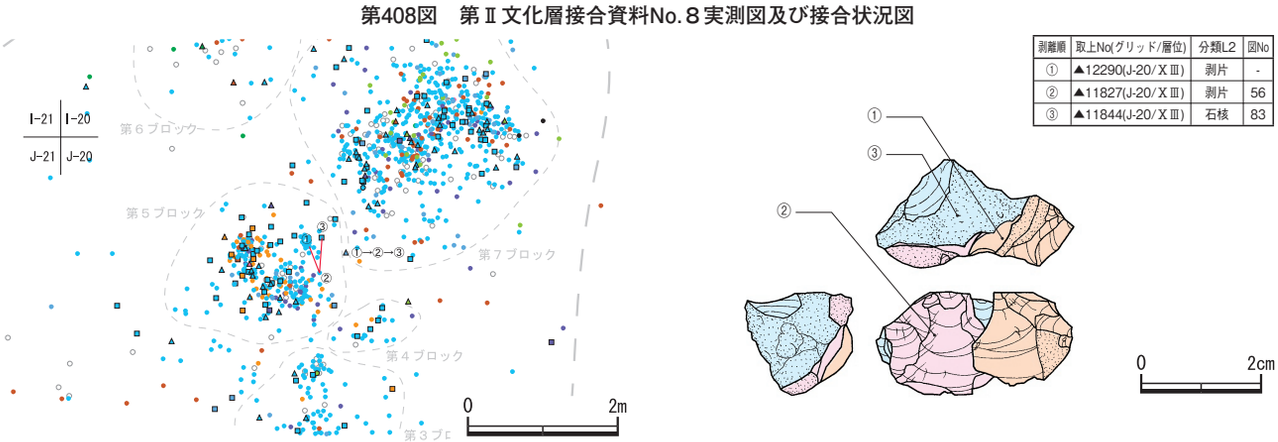
剥離順	取上No(グリッド/層位)	分類L2	図No
①	▲14439(J-20/ⅩⅢ)	剥片	-
②	▲14640(J-20/ⅩⅢ)	剥片	-
③	▲14639(J-20/ⅩⅢ)	剥片	48
④	▲11785(J-20/ⅩⅢ)	石核	79

第407図　第Ⅱ文化層接合資料No.７実測図及び接合状況図



剥離順	取上No(グリッド/層位)	分類L2	図No
①	▲20238(J-20/ⅩⅢ)	石核	-
②	▲14441(J-20/ⅩⅢ)	石核	84

第408図　第Ⅱ文化層接合資料No.８実測図及び接合状況図



剥離順	取上No(グリッド/層位)	分類L2	図No
①	▲12290(J-20/ⅩⅢ)	剥片	-
②	▲11827(J-20/ⅩⅢ)	剥片	56
③	▲11844(J-20/ⅩⅢ)	石核	83

第409図　第Ⅱ文化層接合資料No.９実測図及び接合状況図

ては，石核の右側縁に打点がずれる。

接合資料No.８(第408図)　[OB3A]

角礫素材の破断した石核の接合資料である。剥離作業中に破砕したことで放棄されている。素材の平坦面を打面に剥片剥離を繰り返す際に偶発的に破損したと思われる。②の右側縁を打面に数回の小剥離がみられるが目的は不明である。

接合資料No.９(第409図)　[OB3A]

角礫素材石核と剥片２点の接合資料である。礫面の平坦部を打面として単一方向から剥離が行われている。小型の台形石器目的剥片の獲得を試みたと思われるが，数回の試行後に廃棄されている。

接合資料No.10(第410図)　[OB3A]

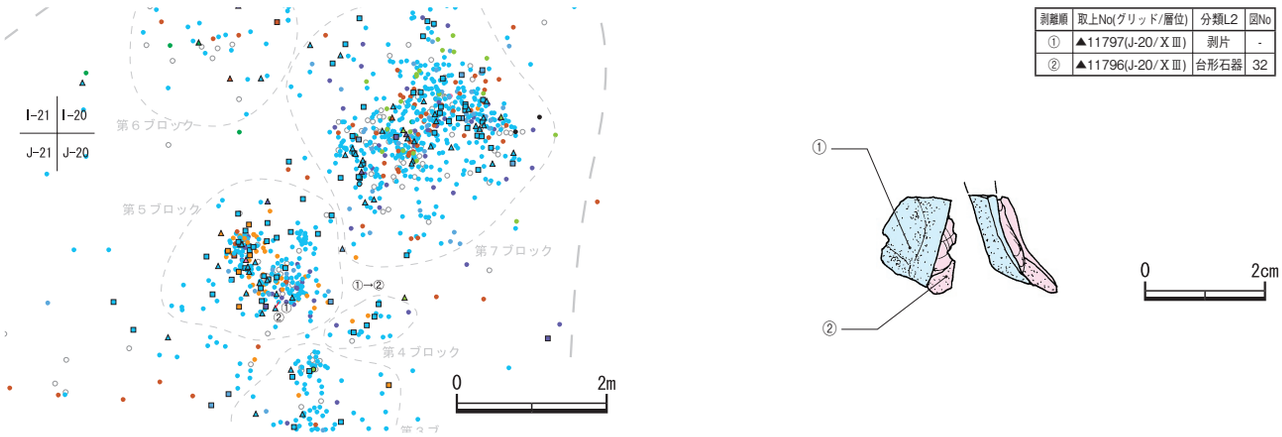
台形石器と剥片の接合資料である。礫面を多く残す石核から連続剥離されている。②は打瘤と下縁を調整された台形石器である。

接合資料No.11(第411図)　[OB3A]

台形石器と先行する剥片の接合資料である。平坦な礫打面から①・②を剥離している。②は側縁部に微細な調整を施した台形石器である。

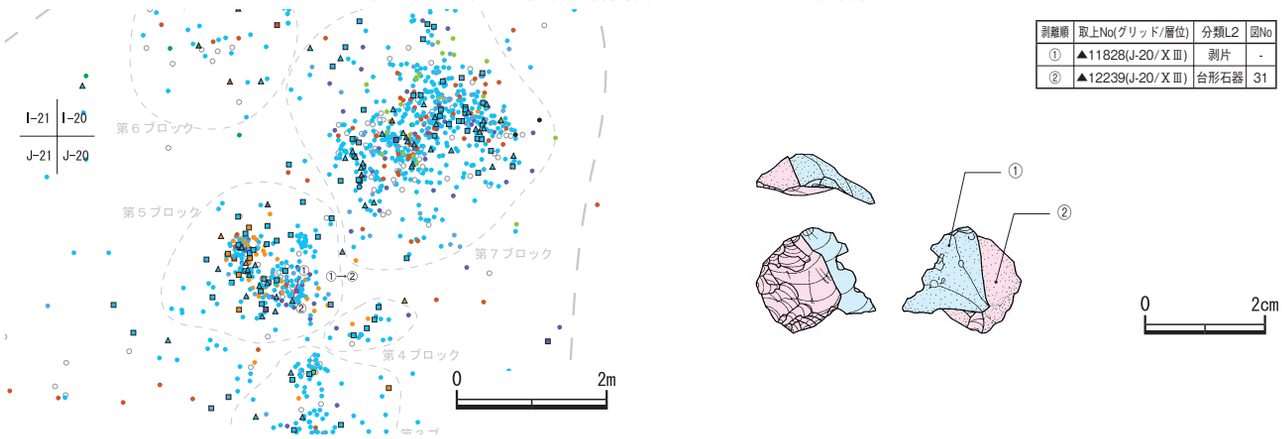
接合資料No.12(第412図)　[OB3D]

小型の角礫素材の平坦面を打面にした石核と剥片の接合資料である。同一打面より大きく３回の加撃が観察されるが，残存する剥片は晶子の影響を受けて，破砕されている。



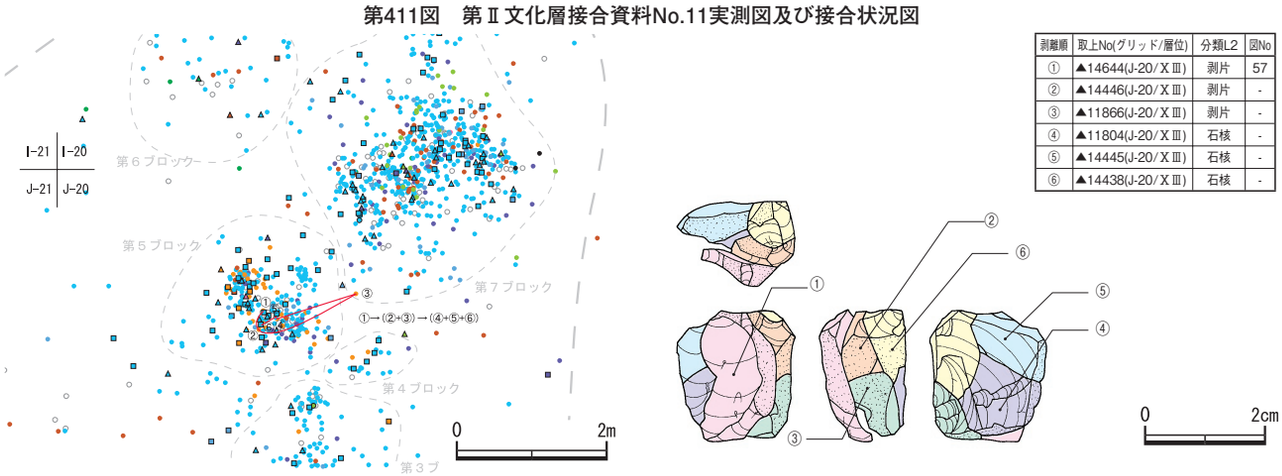
剥離順	取上No(グリッド/層位)	分類L2	図No
①	▲11797(J-20/Ⅹ Ⅲ)	剥片	-
②	▲11796(J-20/Ⅹ Ⅲ)	台形石器	32

第410図　第Ⅱ文化層接合資料No.10実測図及び接合状況図



剥離順	取上No(グリッド/層位)	分類L2	図No
①	▲11828(J-20/Ⅹ Ⅲ)	剥片	-
②	▲12239(J-20/Ⅹ Ⅲ)	台形石器	31

第411図　第Ⅱ文化層接合資料No.11実測図及び接合状況図



剥離順	取上No(グリッド/層位)	分類L2	図No
①	▲14644(J-20/Ⅹ Ⅲ)	剥片	57
②	▲14446(J-20/Ⅹ Ⅲ)	剥片	-
③	▲11866(J-20/Ⅹ Ⅲ)	剥片	-
④	▲11804(J-20/Ⅹ Ⅲ)	石核	-
⑤	▲14445(J-20/Ⅹ Ⅲ)	石核	-
⑥	▲14438(J-20/Ⅹ Ⅲ)	石核	-

第412図　第Ⅱ文化層接合資料No.12実測図及び接合状況図

接合資料No.13(第413図)　[OB3A]

角礫素材の石核の平坦面を打面にした接合資料である。①もふくめて上面からの剥片剥離がおこなわれているが，廃棄直前に左側面からの剥片剥離が観察できる。

接合資料No.14(第414図)　[OB3D]

小型の角礫素材の石核と剥片の接合資料である。平坦な礫面を打面に，主に上面からの剥片剥離が行われている。①は晶子によって偶発的に破断したものである。また，②の左側縁に二次加工がみられる。

接合資料No.15(第415図)　[OB3A]

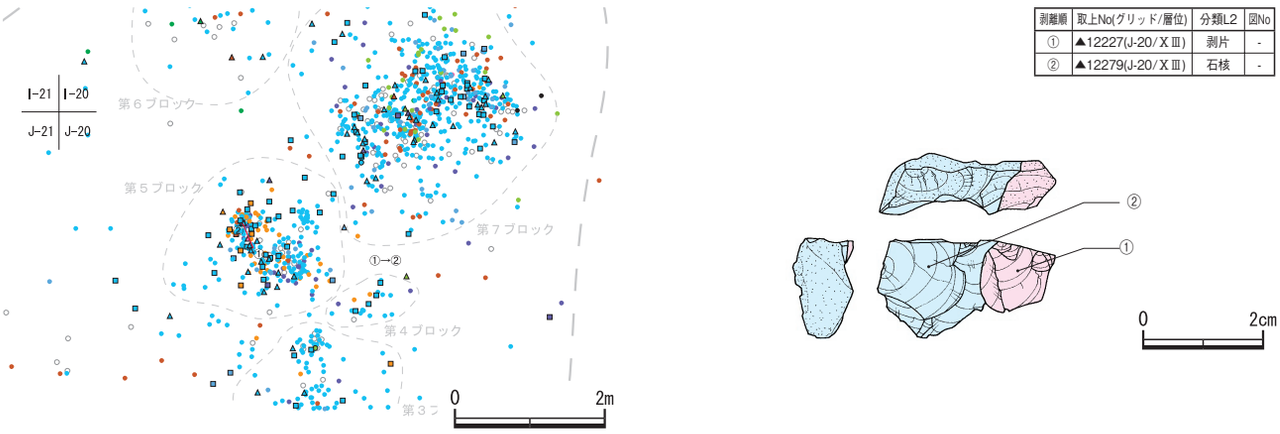
石核と剥片の接合資料で，石核は扁平な角礫を素材としている。剥片は全て同一打面からの剥離で得られている。①は加撃の際に節理のため，脱落したものである。③は④から②を剥離する際，剥離が裏面にまで達したため，偶発的に破断したものとみられる。

接合資料No.16(第416図)　[OB3A]

石核が三分割されている接合資料である。作業面以外は礫面が残る石核で，打面も平坦な礫面である。晶子のため偶発的な破断のあと遺棄されている。

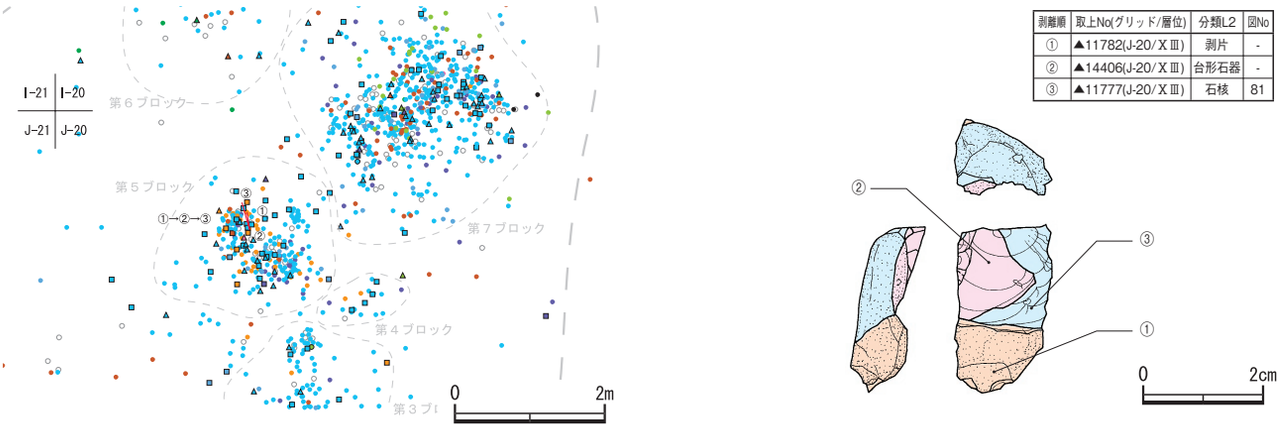
接合資料No.17(第417図)　[OB3D]

角礫の平坦面を打面に使用した石核と剥片の接合資料である。上方を打面に，２回剥片剥離を行っている。その際(②+③)は偶発的に破断したものと思われる。なお，①以前は左側縁の自然面を打面にした剥片剥離が行われている。



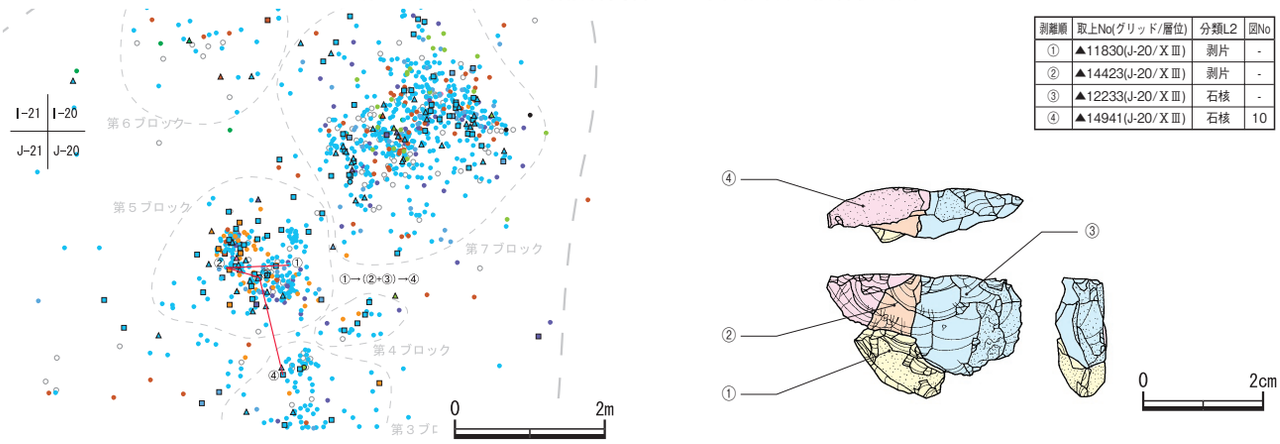
剥離順	取上No(グリッド/層位)	分類L2	図No
①	▲12227(J-20/Ⅹ Ⅲ)	剥片	-
②	▲12279(J-20/Ⅹ Ⅲ)	石核	-

第413図　第Ⅱ文化層接合資料No.13実測図及び接合状況図



剥離順	取上No(グリッド/層位)	分類L2	図No
①	▲11782(J-20/Ⅹ Ⅲ)	剥片	-
②	▲14406(J-20/Ⅹ Ⅲ)	台形石器	-
③	▲11777(J-20/Ⅹ Ⅲ)	石核	81

第414図　第Ⅱ文化層接合資料No.14実測図及び接合状況図



剥離順	取上No(グリッド/層位)	分類L2	図No
①	▲11830(J-20/Ⅹ Ⅲ)	剥片	-
②	▲14423(J-20/Ⅹ Ⅲ)	剥片	-
③	▲12233(J-20/Ⅹ Ⅲ)	石核	-
④	▲14941(J-20/Ⅹ Ⅲ)	石核	10

第415図　第Ⅱ文化層接合資料No.15実測図及び接合状況図

接合資料No.18(第418図)　[OB3B]

角礫の平坦面を打面とする石核と台形石器①と二次加工痕剥片②の接合資料である。①の剥離後，打面を右側縁の平坦な礫皮面に移して剥片剥離を行っている。①は剥離後に上下両端部に，②は下端部に刃潰し加工を施している。

接合資料No.19(第419図)　[OB3A]

石核と剥片の接合資料である。石核素材は扁平な角礫で，礫の平坦面を打面とし剥離が進行している。その後，打面を移し，①→②の順に剥離を行った後，剥離作業を終えている。

接合資料No.20(第420図)　[OB3A]

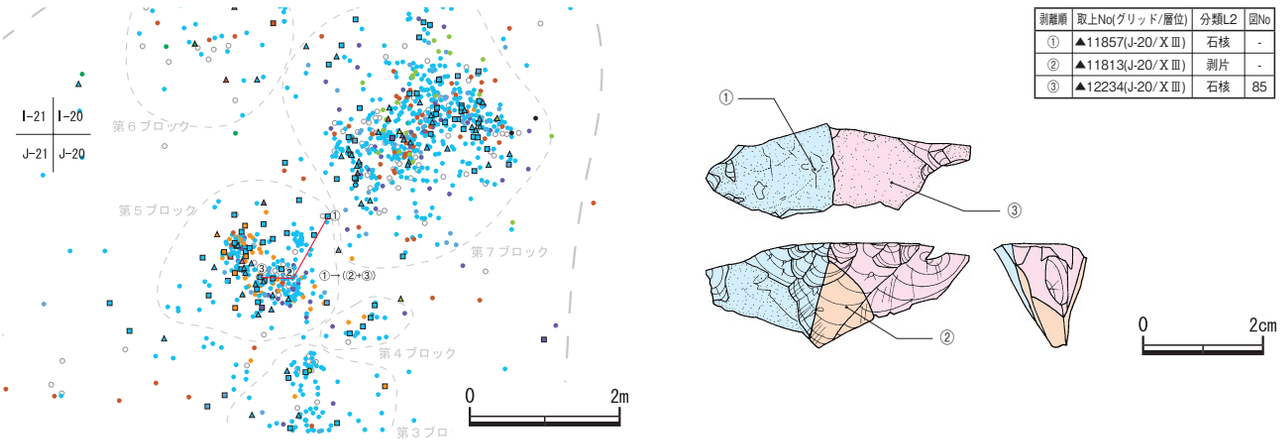
石核と剥片の接合資料である。石核素材は扁平な角礫で，礫の平坦面を打面とし，①を剥離し，左側縁の平坦面に打面を移し，更に打面を上位に移し，③を取り出している。

接合資料No.21(第421図)　[OB3B]

石核と剥片の接合資料である。石核素材の角礫の平坦面を打面とし，打面を起点に順次剥離が重ねられているが，②の剥離が伸びなかったため，直後に廃棄されている。

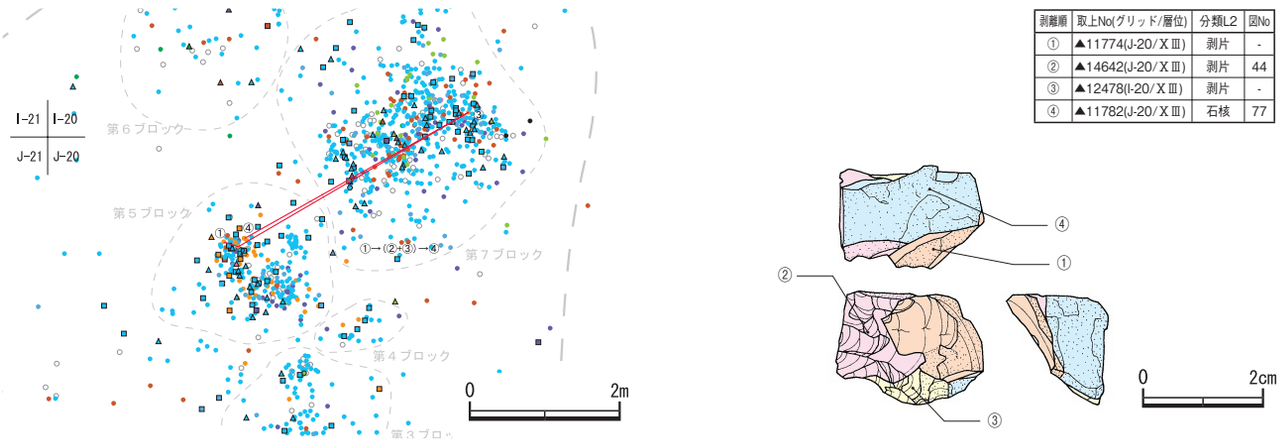
接合資料No.22(第422図)　[OB3A]

正面以外の各面はローリングの進行した自然剥離面で形成されている。右側縁を打面にしながら，数回の剥離作業を試



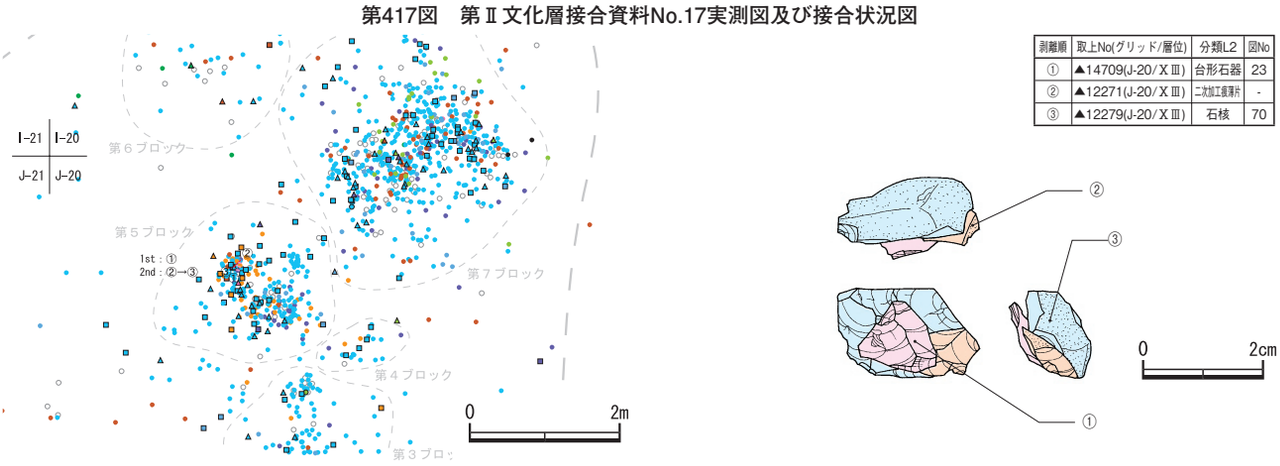
剥離順	取上No(グリッド/層位)	分類L2	図No
①	▲11857(J-20/Ⅹ Ⅲ)	石核	-
②	▲11813(J-20/Ⅹ Ⅲ)	剥片	-
③	▲12234(J-20/Ⅹ Ⅲ)	石核	85

第416図　第Ⅱ文化層接合資料No.16実測図及び接合状況図



剥離順	取上No(グリッド/層位)	分類L2	図No
①	▲11774(J-20/Ⅹ Ⅲ)	剥片	-
②	▲14642(J-20/Ⅹ Ⅲ)	剥片	44
③	▲12478(I-20/Ⅹ Ⅲ)	剥片	-
④	▲11782(J-20/Ⅹ Ⅲ)	石核	77

第417図　第Ⅱ文化層接合資料No.17実測図及び接合状況図



剥離順	取上No(グリッド/層位)	分類L2	図No
①	▲14709(J-20/Ⅹ Ⅲ)	台形石器	23
②	▲12271(J-20/Ⅹ Ⅲ)	二次加工剥片	-
③	▲12279(J-20/Ⅹ Ⅲ)	石核	70

第418図　第Ⅱ文化層接合資料No.18実測図及び接合状況図

みているが，規則性をなして剥離した痕跡が認められないことから，廃棄したと考えられる。

接合資料No.23(第423図)　[OB3B]

折断剥片２点の接合資料である。①→②の順で取り出されている①の左側縁から端部は折断された可能性が高い。

接合資料No.24(第424図)　[OB3A]

下縁に自然面を残す剥片の接合資料である。連続して同一打面から剥片剥離を行った際に①は晶子のために破断したものとみられる。

接合資料No.25(第425図)　[OB3A]

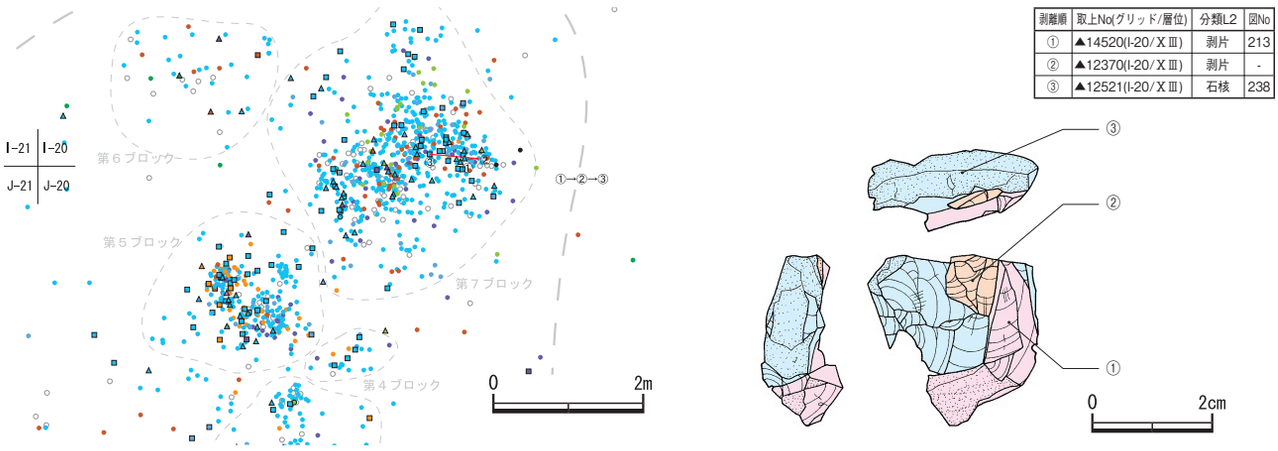
折断技法による台形石器目的剥片を得たと思われる接合資料である。角礫の平坦面を打面として，①を剥離後，同一打面から②→④と縦長剥片を得ている。その剥離後，②と④は折断され，特に②は三分割された可能性が高い。すなわち，②と③は同一の剥片と判断され，②と③の中間部は石器素材として消費された可能性が高い。

接合資料No.26(第426図)　[OB3A]

石核素材は扁平な角礫で，礫の平坦面が打面に利用されている。(①+②)を剥離する前に，左方向からの剥離作業の痕跡も認められる。その後打面を移し，２回剥片剥離を行い，③を残核として廃棄している。

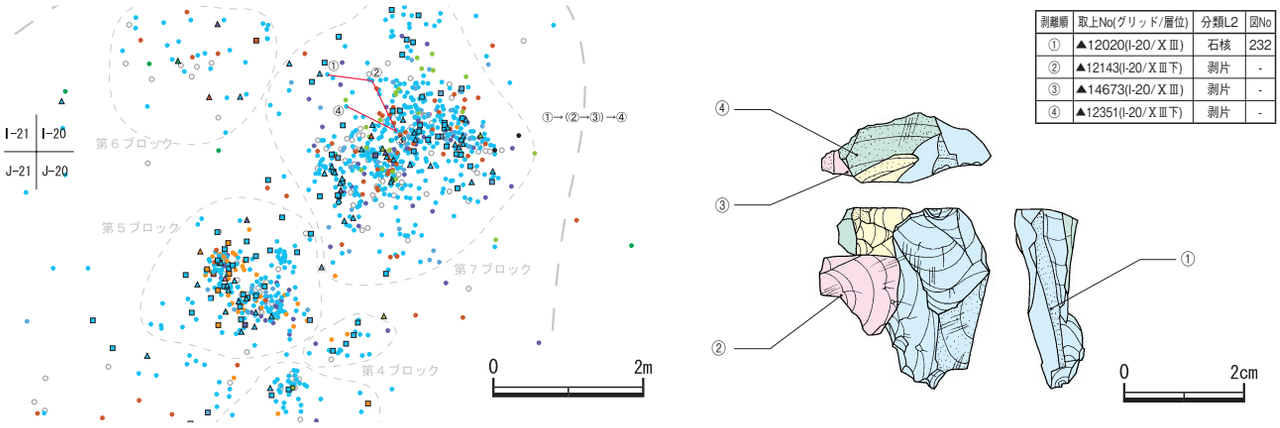
接合資料No.27(第427図)　[OB3A]

素材礫の礫皮面の除去を目的とした剥片と台形石器の接合資料である。左から①→④と連続剥離を行っている。また，



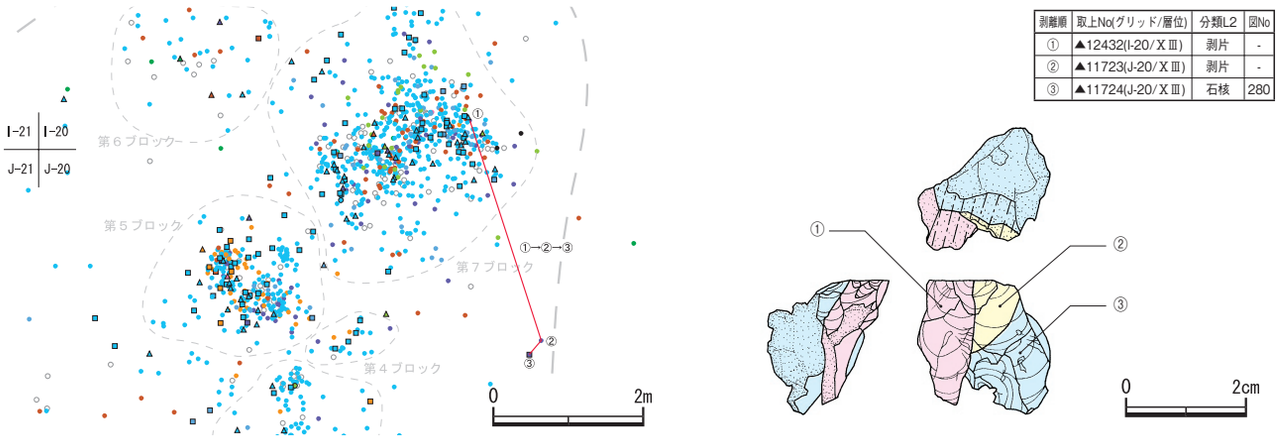
剥離順	取上No(グリッド/層位)	分類L2	図No
①	▲14520(I-20/Ⅹ Ⅲ)	剥片	213
②	▲12370(I-20/Ⅹ Ⅲ)	剥片	-
③	▲12521(I-20/Ⅹ Ⅲ)	石核	238

第419図　第Ⅱ文化層接合資料No.19実測図及び接合状況図



剥離順	取上No(グリッド/層位)	分類L2	図No
①	▲12020(I-20/Ⅹ Ⅲ)	石核	232
②	▲12143(I-20/Ⅹ Ⅲ下)	剥片	-
③	▲14673(I-20/Ⅹ Ⅲ)	剥片	-
④	▲12351(I-20/Ⅹ Ⅲ下)	剥片	-

第420図　第Ⅱ文化層接合資料No.20実測図及び接合状況図



剥離順	取上No(グリッド/層位)	分類L2	図No
①	▲12432(I-20/Ⅹ Ⅲ)	剥片	-
②	▲11723(J-20/Ⅹ Ⅲ)	剥片	-
③	▲11724(J-20/Ⅹ Ⅲ)	石核	280

第421図　第Ⅱ文化層接合資料No.21実測図及び接合状況図

①と④には調整された打面から剥離されたことが窺える。素材の黒曜石の特徴がNo.25の資料のそれに近い。

接合資料No.28(第428図)　[OB3A]

台形石器を含む剥片の接合資料である。上方の平坦な礫面を打面に①・②と縦長剥片を得た後に④の背面右側縁から加撃して，③を剥離している。③は台形石器に調整されている。また①も頭部が折断されており，末部に細かい調整痕と思われる剥離がみられるが，明確ではない。

接合資料No.29(第429図)　[OB3A]

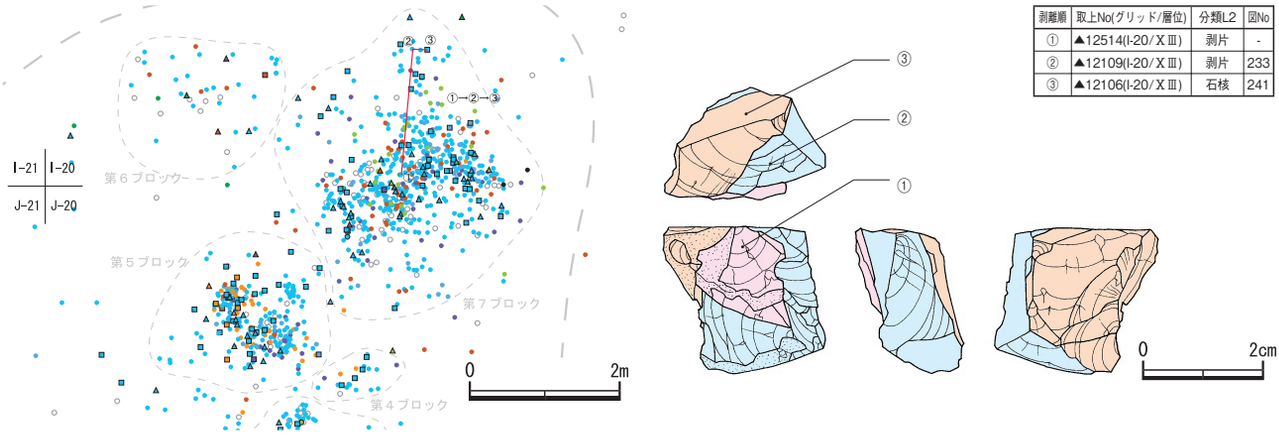
扁平な角礫を素材とした石核と剥片の接合資料である。平坦な礫面を打面に①からを剥離しているが，(②+③)は偶発的に半割されたものと思われる。③の剥離は背面の自然面にまで達しており，末端が階段状を呈する。

接合資料No.30(第430図)　[OB3A]

分割した角礫を素材とした石核と剥片の接合資料である。平坦な礫面を打面に剥片剥離を行ったあとに，ほぼ下縁から①を剥離し，分割した際の稜線を落とすように②を剥離している。①は剥離後，下縁の自然面等に二次加工が加えられているが，未製品に終わっていると思われる。

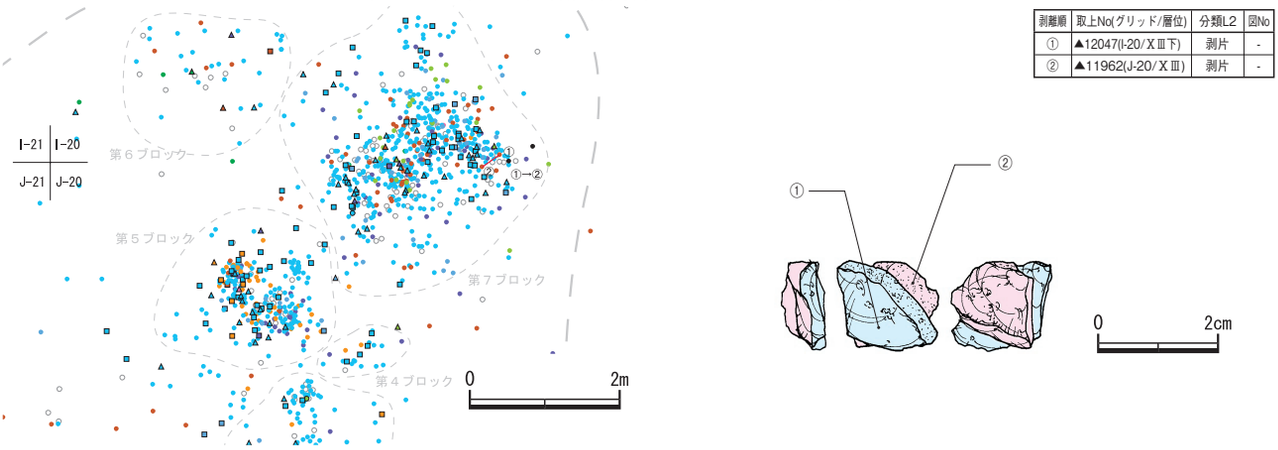
接合資料No.31(第431図)　[OB3A]

剥片２点の接合資料である。２点は平坦な礫打面からの連続剥離による剥片であるが，②の背面上部と下部に微細な剥離がみられる。



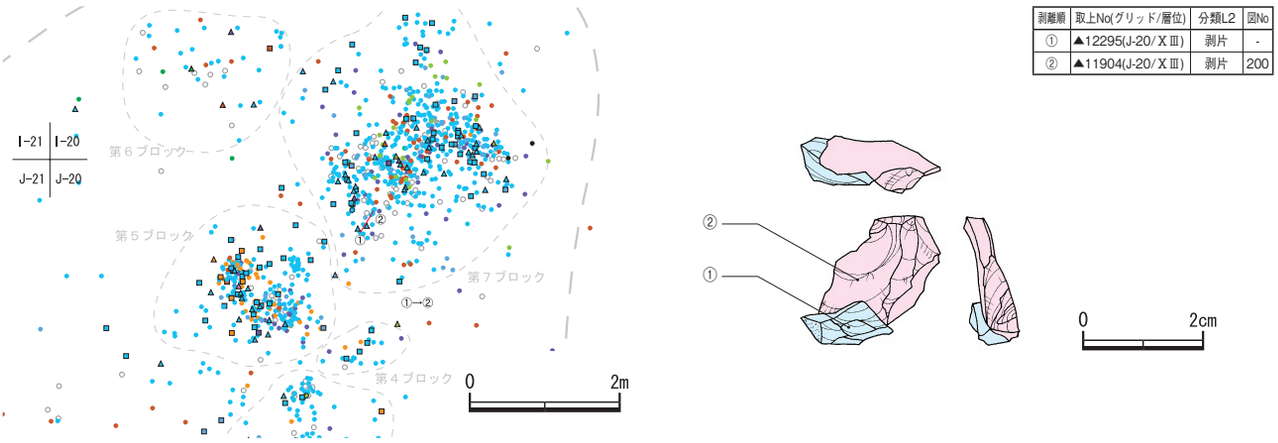
剥離順	取上No(グリッド/層位)	分類L2	図No
①	▲12514(I-20/ⅩⅢ)	剥片	-
②	▲12109(I-20/ⅩⅢ)	剥片	233
③	▲12106(I-20/ⅩⅢ)	石核	241

第422図　第Ⅱ文化層接合資料No.22実測図及び接合状況図



剥離順	取上No(グリッド/層位)	分類L2	図No
①	▲12047(I-20/ⅩⅢ下)	剥片	-
②	▲11962(J-20/ⅩⅢ)	剥片	-

第423図　第Ⅱ文化層接合資料No.23実測図及び接合状況図



剥離順	取上No(グリッド/層位)	分類L2	図No
①	▲12295(J-20/ⅩⅢ)	剥片	-
②	▲11904(J-20/ⅩⅢ)	剥片	200

第424図　第Ⅱ文化層接合資料No.24実測図及び接合状況図

接合資料No.32(第432図)　[OB3A]

石核と剥片，二次加工痕剥片の接合資料である。石核素材は平坦な角礫で，角礫の平坦面を打面として利用されている。①→②の順で剥離しているが，②の打面は右側縁の平坦面に移動する。なお，①の左側縁部には使用による微細な剥離痕が密集している。

接合資料No.33(第433図)　[OB3A]

角礫素材の石核の平坦面を打面とし，①→②→③の順で剥離が進行する。②の一側縁に二次加工による浅い角度の刃部が形成され，微細な剥離痕が多数観察される。

接合資料No.34(第434図)　[OB3A]

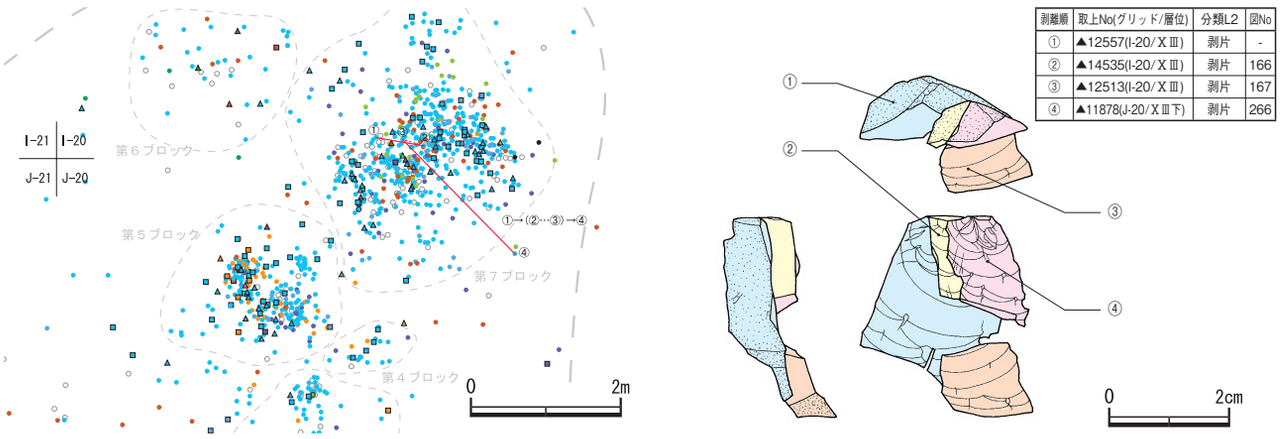
石核と剥片の接合資料である。小型の角礫を石核の素材とし，その平坦な礫面を打面として使われている。①に先行する剥離を含めて全てが打面を共有する。①は石核を二分する状況で剥離が行われ，その後，一回の剥離を行った時点で廃棄されている。

接合資料No.35(第435図)　[OB3A]

石核素材は扁平な角礫で，狭い平坦面を打点にして正面・裏面で剥離作業が行われている。おそらく(①+②)を剥離した際に上下に二分した可能性がある。

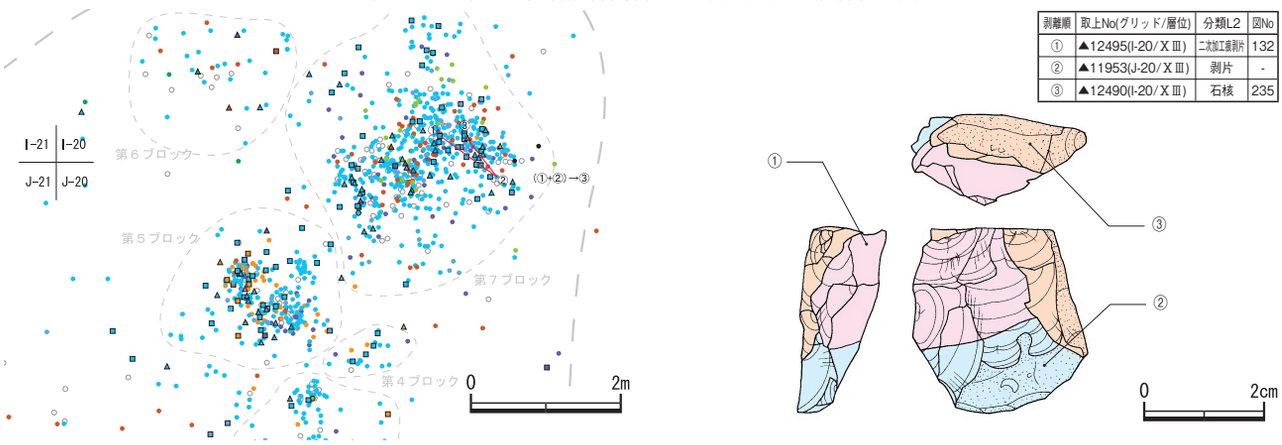
接合資料No.36(第436図)　[OB3A]

二分割された剥片の接合資料である。背面から腹面末部にわたって礫面を残すことから，角礫素材の石核が用いられたと思われる。直前に同一方向からの剥離が残され，破断面の



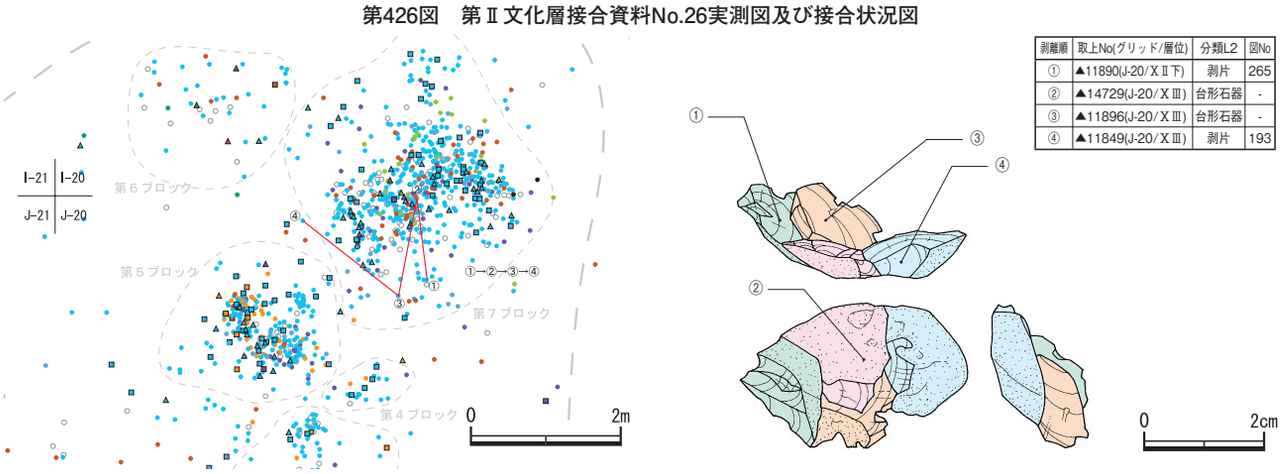
剥離順	取上No(グリッド/層位)	分類L2	図No
①	▲12557(I-20/Ⅹ Ⅲ)	剥片	-
②	▲14535(I-20/Ⅹ Ⅲ)	剥片	166
③	▲12513(I-20/Ⅹ Ⅲ)	剥片	167
④	▲11878(J-20/Ⅹ Ⅲ下)	剥片	266

第425図　第Ⅱ文化層接合資料No.25実測図及び接合状況図



剥離順	取上No(グリッド/層位)	分類L2	図No
①	▲12495(I-20/Ⅹ Ⅲ)	二次加工剥片	132
②	▲11953(J-20/Ⅹ Ⅲ)	剥片	-
③	▲12490(I-20/Ⅹ Ⅲ)	石核	235

第426図　第Ⅱ文化層接合資料No.26実測図及び接合状況図



剥離順	取上No(グリッド/層位)	分類L2	図No
①	▲11890(J-20/Ⅹ Ⅱ下)	剥片	265
②	▲14729(J-20/Ⅹ Ⅲ)	台形石器	-
③	▲11896(J-20/Ⅹ Ⅲ)	台形石器	-
④	▲11849(J-20/Ⅹ Ⅲ)	剥片	193

第427図　第Ⅱ文化層接合資料No.27実測図及び接合状況図

状況から晶子のための偶発的な破断とみられる。

接合資料No.37(第437図)　[OB3A]

角礫素材の石核を連続して剥離した剥片の接合資料で，台形石器④が１点含まれる。角礫の平坦面を打面に，打点をわずかにずらしながら剥片剥離を行っている。台形石器④は，得られた剥片の側縁部に刃潰し加工を行っている。なお，①の下端部に一部刃潰し加工が施されている。

接合資料No.38(第438図)　[OB3A]

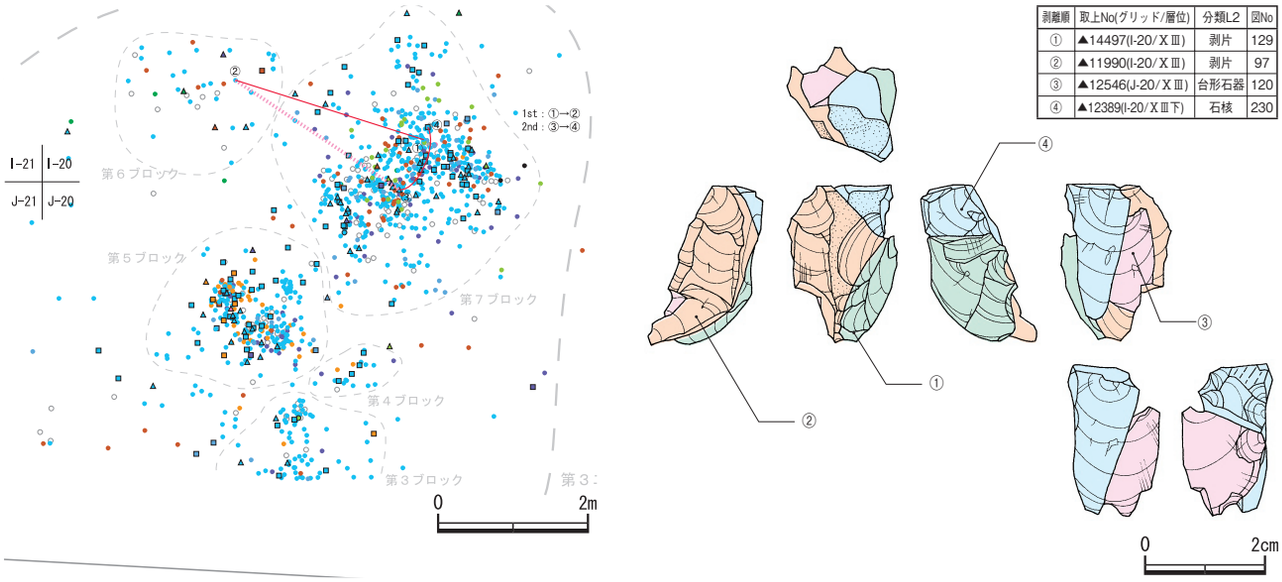
残核の接合資料と思われる。正面に数回の剥離面が残され，これ以上の作業進行は困難とみられる。裏面にも左右から数回の剥片剥離を試みた痕跡がみられる。

接合資料No.39(第439図)　[SH1A]

平坦な同一打面から連続して剥片を剥出した接合資料である。①が先行するが，他の５点より打面位置が低くなる。その後は打面を共有し，②→③→④→⑤→⑥と進行している。一様に横広の寸詰まり剥片を取り出している。残存する接合資料の前後にも剥離は行われたと思われるが，該当するような石核は発見できなかった。

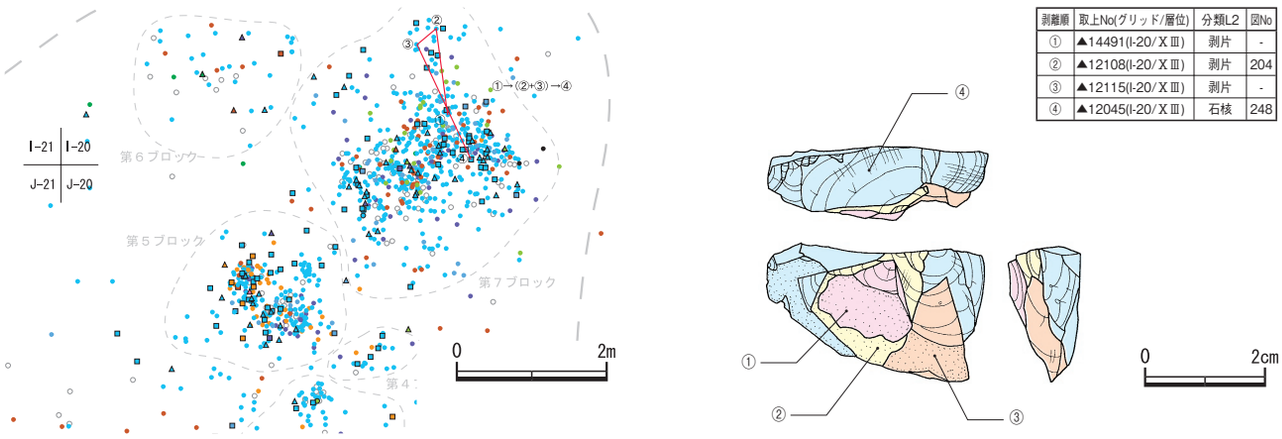
接合資料No.40(第440図)　[OB3A]

石核と台形石器の接合資料である。小型の礫を素材とする石核から剥片を剥離し，両側縁に背面方向から刃潰し加工を施して，台形石器に仕上げている。台形石器の基部には自然



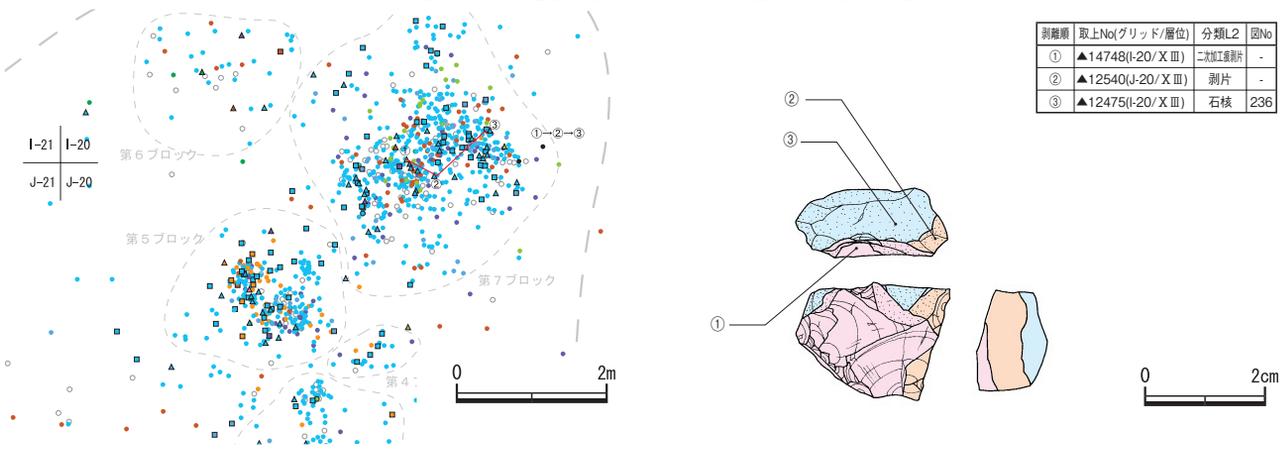
剥離順	取上No(グリッド/層位)	分類L2	図No
①	▲14497(I-20/XⅢ)	剥片	129
②	▲11990(I-20/XⅢ)	剥片	97
③	▲12546(J-20/XⅢ)	台形石器	120
④	▲12389(I-20/XⅢ下)	石核	230

第428図　第Ⅱ文化層接合資料No.28実測図及び接合状況図



剥離順	取上No(グリッド/層位)	分類L2	図No
①	▲14491(I-20/XⅢ)	剥片	-
②	▲12108(I-20/XⅢ)	剥片	204
③	▲12115(I-20/XⅢ)	剥片	-
④	▲12045(I-20/XⅢ)	石核	248

第429図　第Ⅱ文化層接合資料No.29実測図及び接合状況図



剥離順	取上No(グリッド/層位)	分類L2	図No
①	▲14748(I-20/XⅢ)	二次加工剥剥片	-
②	▲12540(J-20/XⅢ)	剥片	-
③	▲12475(I-20/XⅢ)	石核	236

第430図　第Ⅱ文化層接合資料No.30実測図及び接合状況図

面の平坦面を打面として，細かく浅い調整剥離が施されている。

接合資料No.41(第441図)　[OB3A]

破損した石核の接合資料である。小型の角礫から幅広の剥片を得る目的で加撃したところ，打点から偶発的に半割されたものと思われる。

接合資料No.42(第442図)　[SH2D]

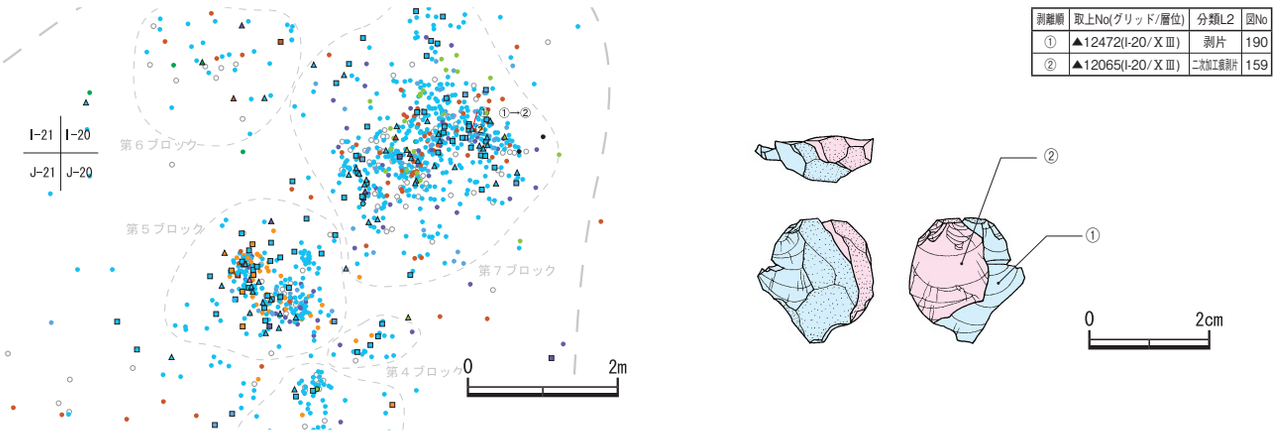
削器未製品の接合資料である。側縁に礫面を残したままの剥片の下縁を刃部調整中に，節理のため②が脱落したものと思われる。なお表示した図は便宜上腹面を示した。

接合資料No.43(第443図)　[SH]

敲石の破損過程を示す資料である。まず下部からの加撃のため①と(②+③)に分割される。その後二分された状態でそれぞれは敲石としての機能を果たしている。

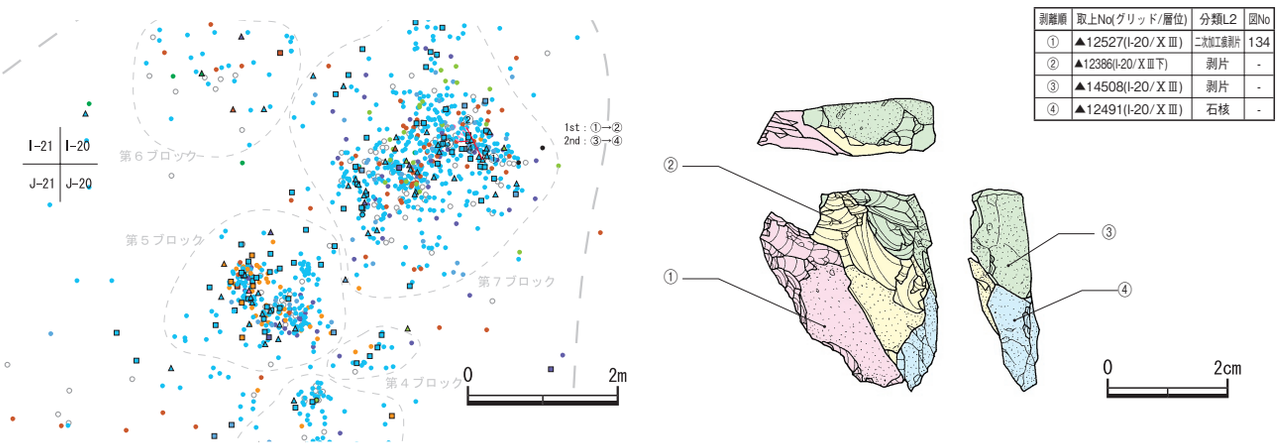
接合資料No.44(第444図)　[OB3A]

折断剥片の接合資料で，背面の末端部に一部礫面を残す剥



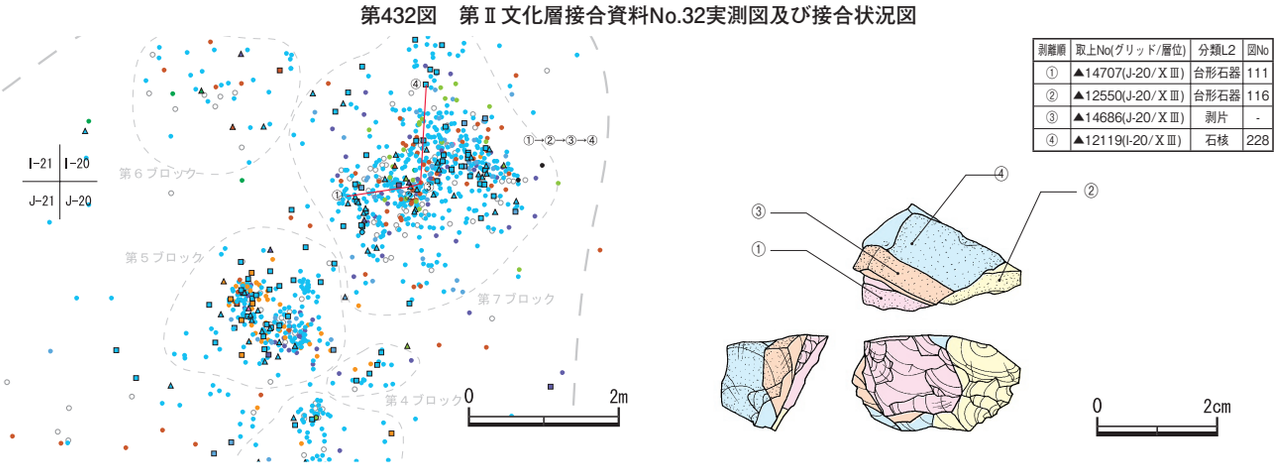
剥離順	取上No(グリッド/層位)	分類L2	図No
①	▲12472(I-20/ⅩⅢ)	剥片	190
②	▲12065(I-20/ⅩⅢ)	二次加工象剥片	159

第431図　第Ⅱ文化層接合資料No.31実測図及び接合状況図



剥離順	取上No(グリッド/層位)	分類L2	図No
①	▲12527(I-20/ⅩⅢ)	二次加工象剥片	134
②	▲12386(I-20/ⅩⅢ下)	剥片	-
③	▲14508(I-20/ⅩⅢ)	剥片	-
④	▲12491(I-20/ⅩⅢ)	石核	-

第432図　第Ⅱ文化層接合資料No.32実測図及び接合状況図



剥離順	取上No(グリッド/層位)	分類L2	図No
①	▲14707(J-20/ⅩⅢ)	台形石器	111
②	▲12550(J-20/ⅩⅢ)	台形石器	116
③	▲14686(J-20/ⅩⅢ)	剥片	-
④	▲12119(I-20/ⅩⅢ)	石核	228

第433図　第Ⅱ文化層接合資料No.33実測図及び接合状況図

片を背面から二分割している。分割した剥片の末端部を中心に腹面から刃潰し状の二次加工を施し，折断面はそのまま活かし，台形石器の右側縁としている。

接合資料No.45(第445図)　[SH1B]

平坦面を持つ円礫を分割ないしは剥片剥離の途中で半割し，それぞれを石核とした過程を示す接合資料で，⑤と②の石核に独立する。⑤の石核からは③→④と寸詰まりの剥片を得ているが，④は折断されている。②の石核は分割面を打面とし①の小型の横広剥片を取り出している。

接合資料No.46(第446図)　[OB3A]

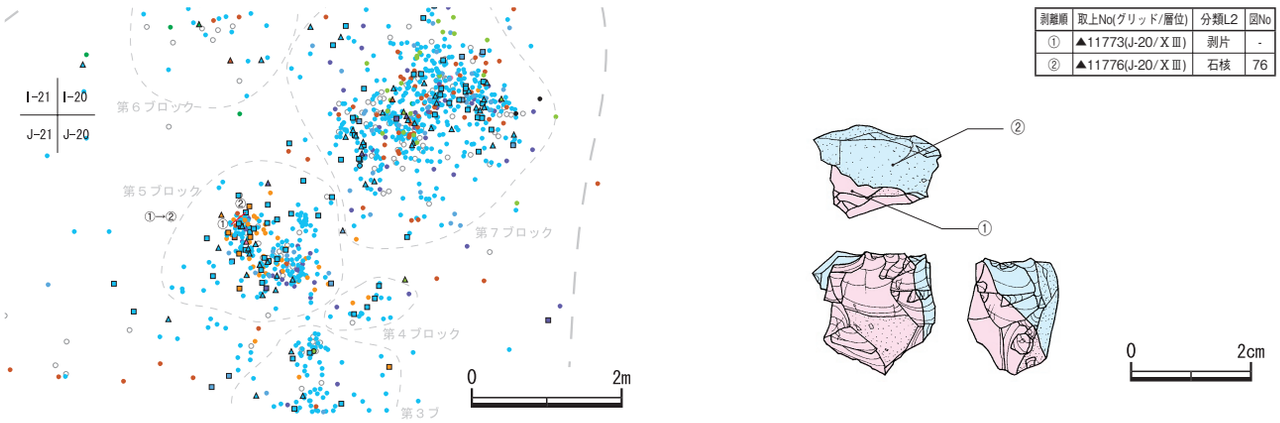
小型の角礫を使用した石核と剥片の接合資料である。礫面を残す平坦面を打面とし，①から順次剥片剥離が進行している。①は腹面からの圧力で上下に，(③→④)は背面からの圧力で左右に分割されている。

接合資料No.47(第447図)　[OB3A]

順次取り出される剥片と取り出された剥片を利用した台形石器の接合資料である。小型角礫素材の石核から，①→(②+③)→④の順で剥離が進行する。その際，全て打点の移動が行われている。④は剥離した剥片の頂部を大きく除去し，台形石器の左側縁部を形成することとなる。一方，端部は腹面から刃潰し加工が施され，右側縁を形成する。なお①の頂部にも小剥離が認められるが，目的は明確ではない。

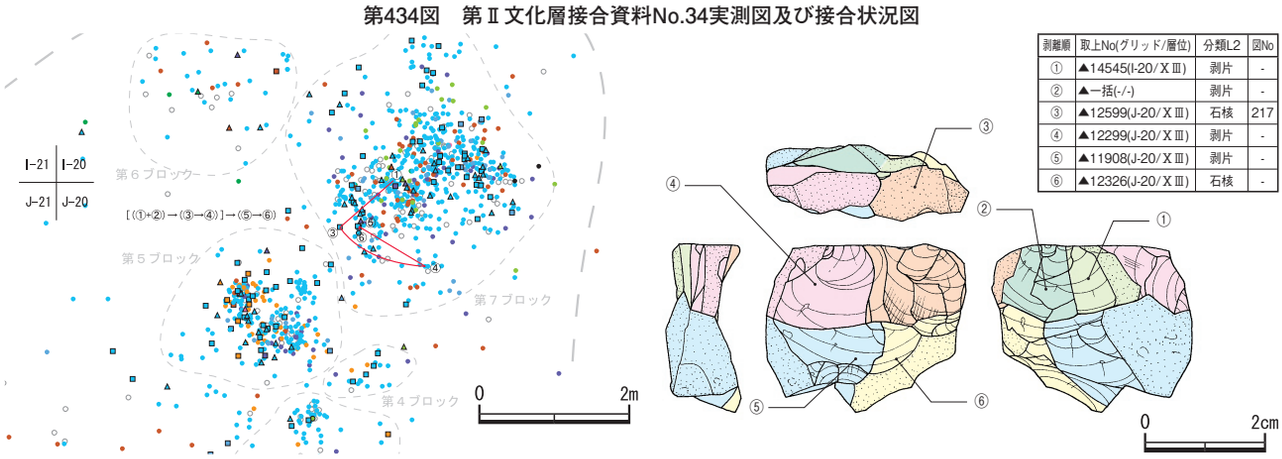
接合資料No.48(第448図)　[OB3A]

台形石器と剥片の接合資料である。極めて小さな素材を石



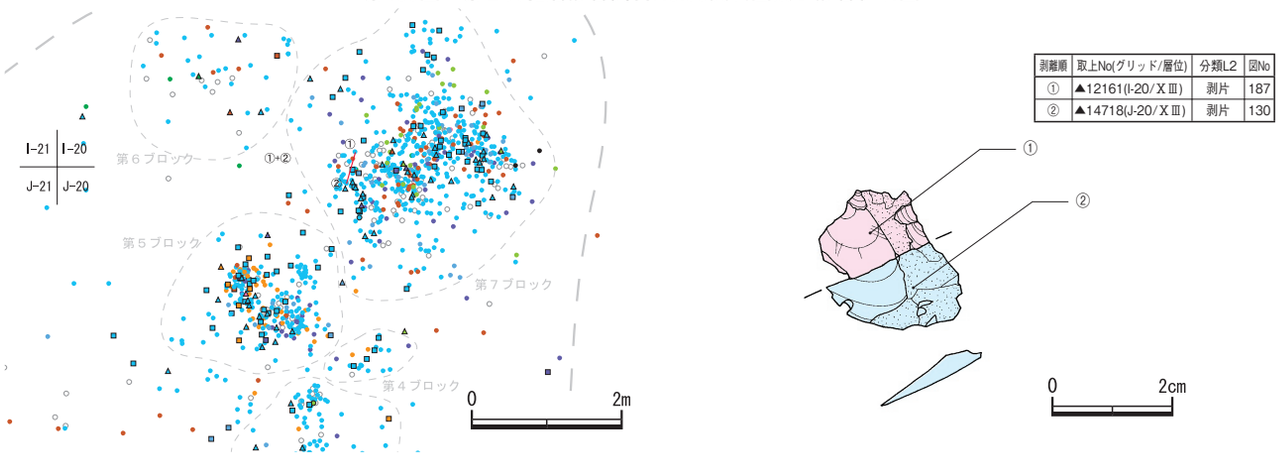
剥離順	取上No(グリッド/層位)	分類L2	図No
①	▲11773(J-20/ⅩⅢ)	剥片	-
②	▲11776(J-20/ⅩⅢ)	石核	76

第434図　第Ⅱ文化層接合資料No.34実測図及び接合状況図



剥離順	取上No(グリッド/層位)	分類L2	図No
①	▲14545(I-20/ⅩⅢ)	剥片	-
②	▲一括(-/-)	剥片	-
③	▲12599(J-20/ⅩⅢ)	石核	217
④	▲12299(J-20/ⅩⅢ)	剥片	-
⑤	▲11908(J-20/ⅩⅢ)	剥片	-
⑥	▲12326(J-20/ⅩⅢ)	石核	-

第435図　第Ⅱ文化層接合資料No.35実測図及び接合状況図



剥離順	取上No(グリッド/層位)	分類L2	図No
①	▲12161(I-20/ⅩⅢ)	剥片	187
②	▲14718(J-20/ⅩⅢ)	剥片	130

第436図　第Ⅱ文化層接合資料No.36実測図及び接合状況図

核に利用し，礫面の平坦部を打面にして剥離を行っている。①は剥離後に打瘤部分を折断し，下縁に調整を施した台形石器である。②の下縁にも調整がみられる。

接合資料No.49(第449図)　[OB3B]

角礫素材の石核と剥片の接合資料である。①は連続する上面からの剥離で得られた剥片を調整した台形石器で，一度右側縁に打面を移して②を剥離後に，③を大きく剥離し，裏面から数回剥離を繰り返している。

接合資料No.50(第450図)　[OB1]

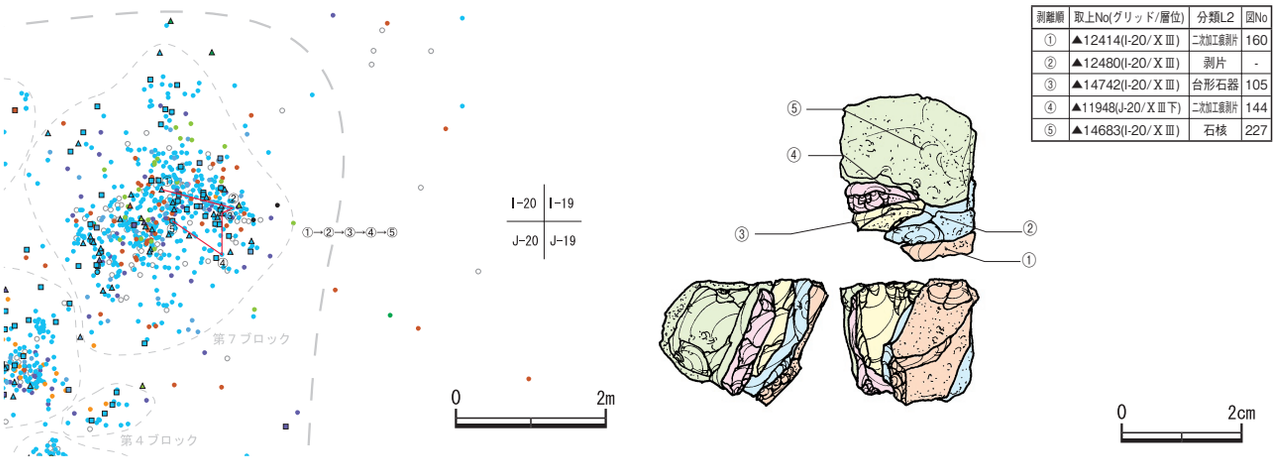
礫面を持つ横広剥片の分割資料同士の接合資料である，破断面に節理がみられ，偶発的な破断であったことが窺える。

接合資料No.51(第451図)　[SH1C]

円礫を分割し，その分割面を打面として剥片剥離を開始し，その後，作業面を打面に移しながら２方向から剥片剥離を行った接合資料である。②を剥離後，その作業面を打面にして③,④と右に打点をずらしながら剥離を行っている。その後，更に大きく右側縁に打点を移しながら剥離を行い，⑦に至っている。

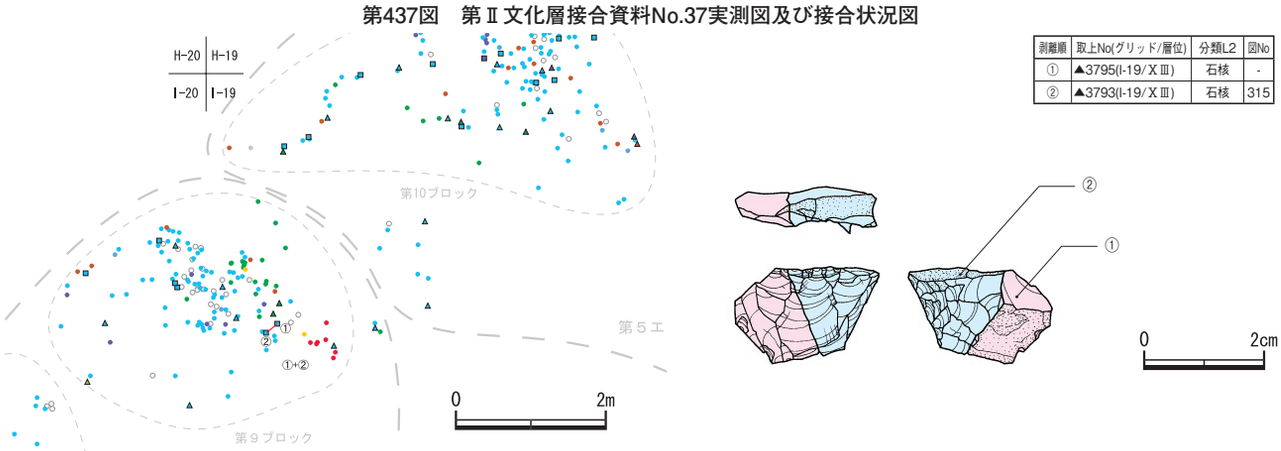
接合資料No.52(第452図)　[SH1C]

同一打面から連続剥離を行った剥片３点と打面転移剥片１点の接合資料である。下縁の平坦面を打面に①が剥離され，その後上下逆に打面を移して②以降の剥離を行っている。



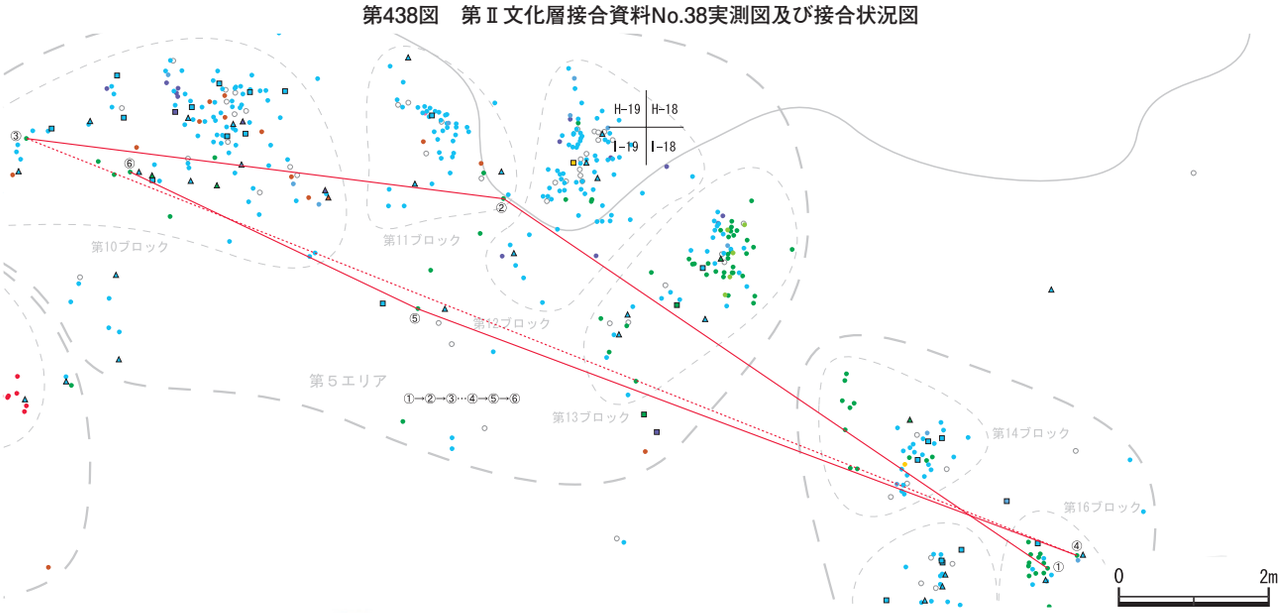
剥離順	取上No(グリッド/層位)	分類L2	図No
①	▲12414(I-20/ⅩⅢ)	二次加工剥片	160
②	▲12480(I-20/ⅩⅢ)	剥片	-
③	▲14742(I-20/ⅩⅢ)	台形石器	105
④	▲11948(J-20/ⅩⅢ下)	二次加工剥片	144
⑤	▲14683(I-20/ⅩⅢ)	石核	227

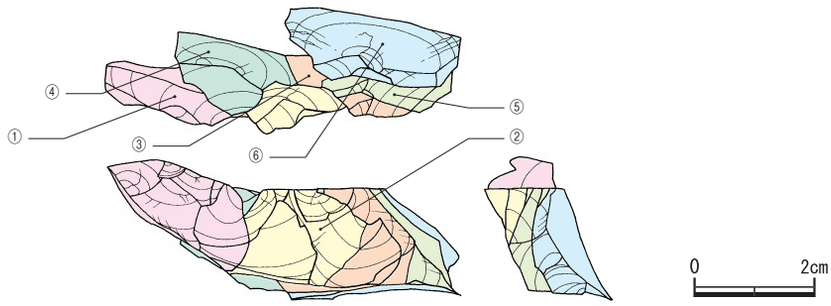
第437図　第Ⅱ文化層接合資料No.37実測図及び接合状況図



剥離順	取上No(グリッド/層位)	分類L2	図No
①	▲3795(I-19/ⅩⅢ)	石核	-
②	▲3793(I-19/ⅩⅢ)	石核	315

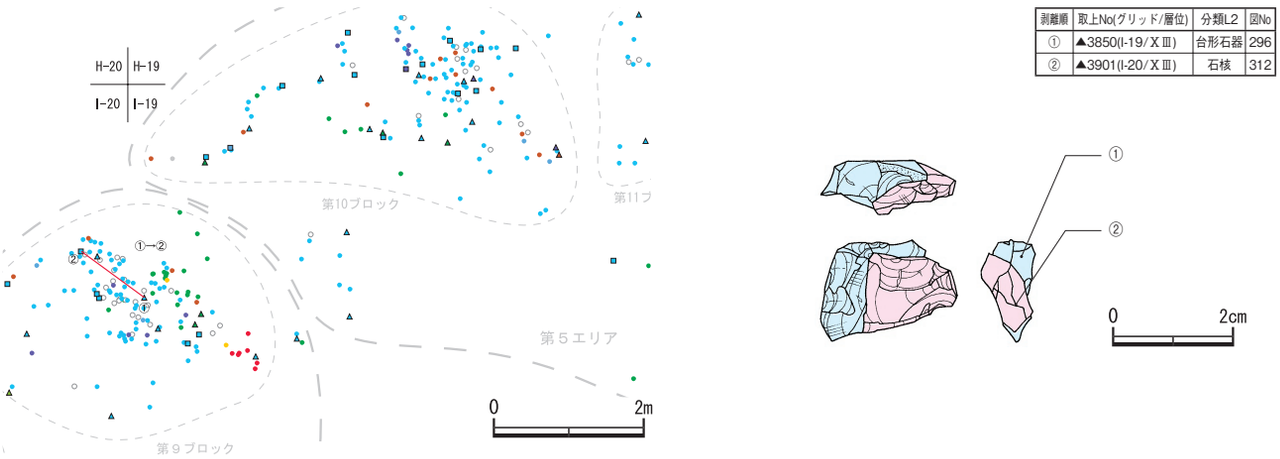
第438図　第Ⅱ文化層接合資料No.38実測図及び接合状況図





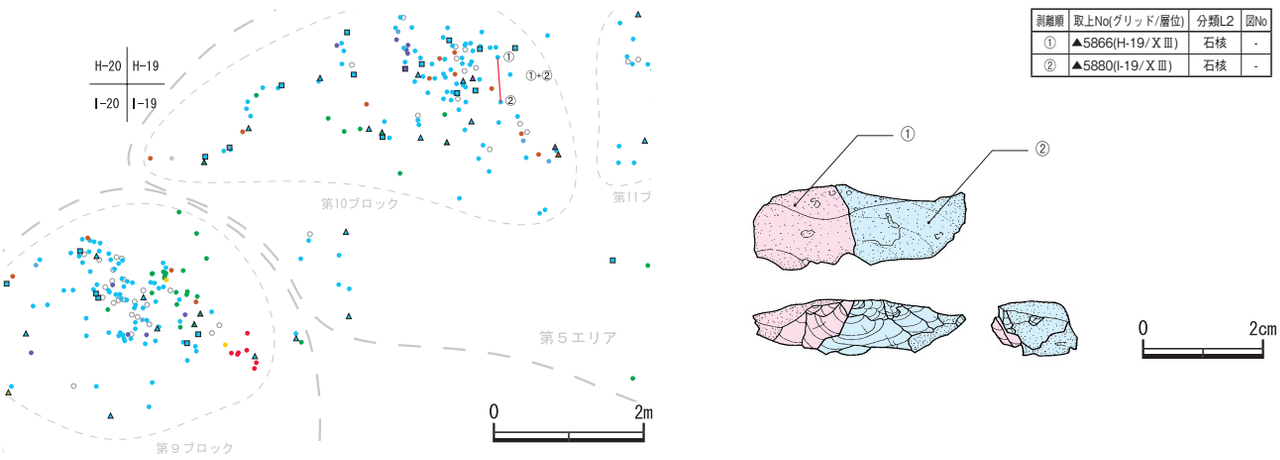
剥離順	取上No(グリッド/層位)	分類L2	図No
①	▲6093(I-18/ⅩⅢ)	剥片	432
②	▲5985(I-19/ⅩⅢ)	剥片	360
③	▲3704(I-19/ⅩⅢ)	剥片	341
④	▲6088(I-18/ⅩⅢ)	剥片	433
⑤	▲5975(I-19/ⅩⅢ)	剥片	-
⑥	▲4061(I-19/ⅩⅢ)	剥片	338

第439図　第Ⅱ文化層接合資料No.39実測図及び接合状況図



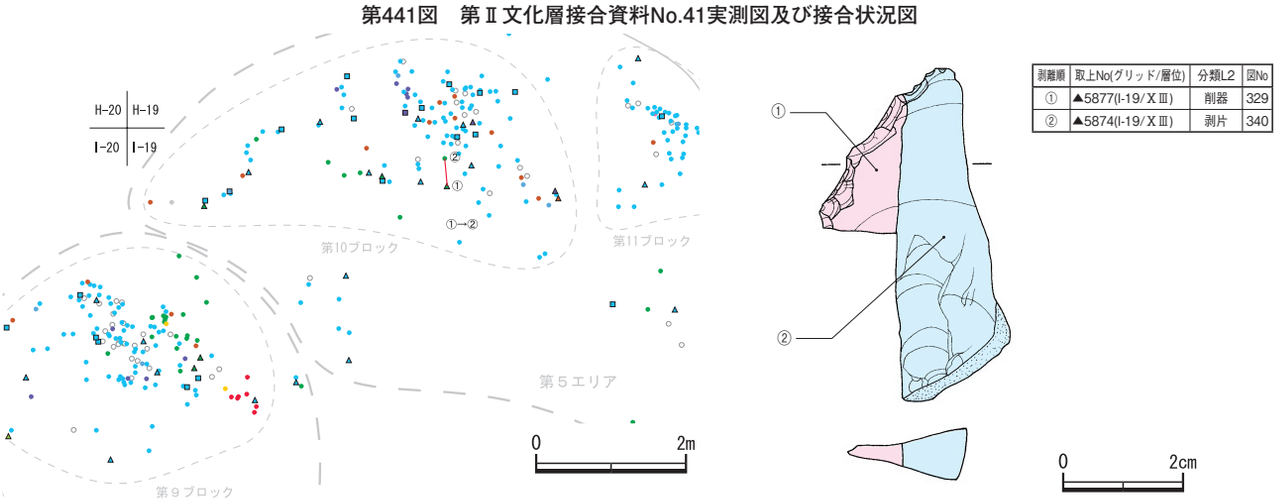
剥離順	取上No(グリッド/層位)	分類L2	図No
①	▲3850(I-19/XⅢ)	台形石器	296
②	▲3901(I-20/XⅢ)	石核	312

第440図　第Ⅱ文化層接合資料No.40実測図及び接合状況図



剥離順	取上No(グリッド/層位)	分類L2	図No
①	▲5866(H-19/XⅢ)	石核	-
②	▲5880(I-19/XⅢ)	石核	-

第441図　第Ⅱ文化層接合資料No.41実測図及び接合状況図



剥離順	取上No(グリッド/層位)	分類L2	図No
①	▲5877(I-19/XⅢ)	削器	329
②	▲5874(I-19/XⅢ)	剥片	340

第442図　第Ⅱ文化層接合資料No.42実測図及び接合状況図

接合資料No.53(第453図)　[SH1B]

円礫の頁岩素材の石核と剥片の接合資料である。左側縁を剥離作業が先行し，③→①の剥離へ移行し，正面が最終の作業面となる。取り出される剥片は丈の短い横広不定形剥片となる。

接合資料No.54(第454図)　[SH1C]

剥片３点の接合資料である。(①+②)を剥離したのち，同一打面から，さらに数回剥離を施している。その後打点を移動し，③→(④+⑤)が剥離される。(④+⑤)はその後分割される。

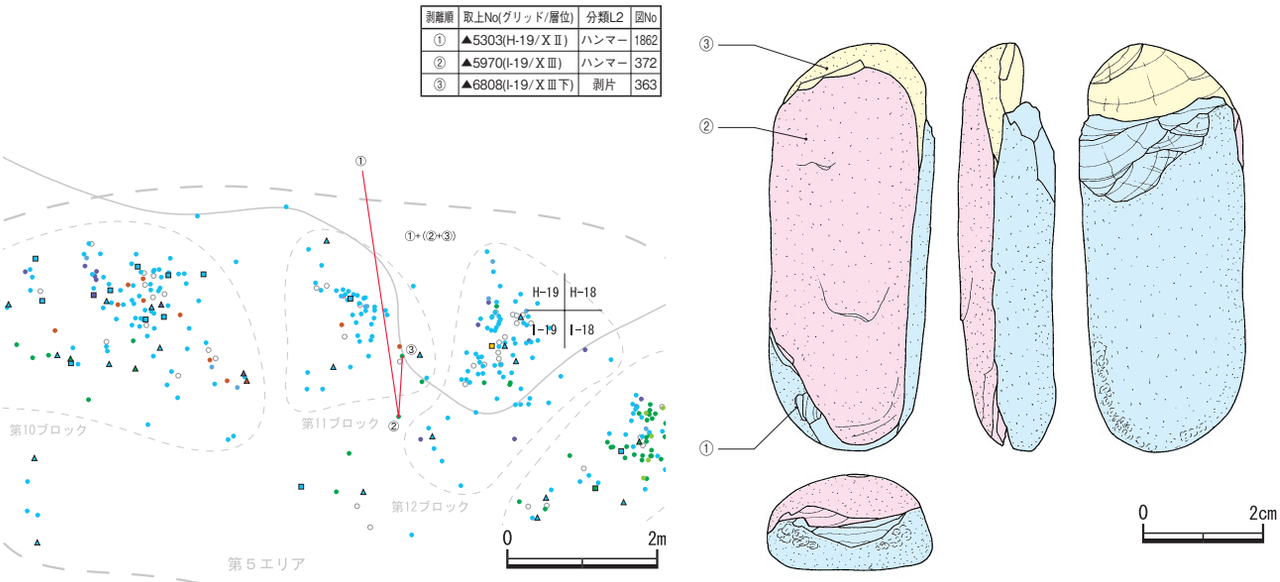
接合資料No.55(第455図)　[SH1B]

頁岩の円礫素材の石核と剥片の接合資料である。円礫の礫面を除去する目的で，左から右方向へ順次作業が進行し，④の剥離後，④の剥離面を打面(右側縁)として，⑥+⑦の剥離が開始される。

接合資料No.56(第456図)　[SH1B]

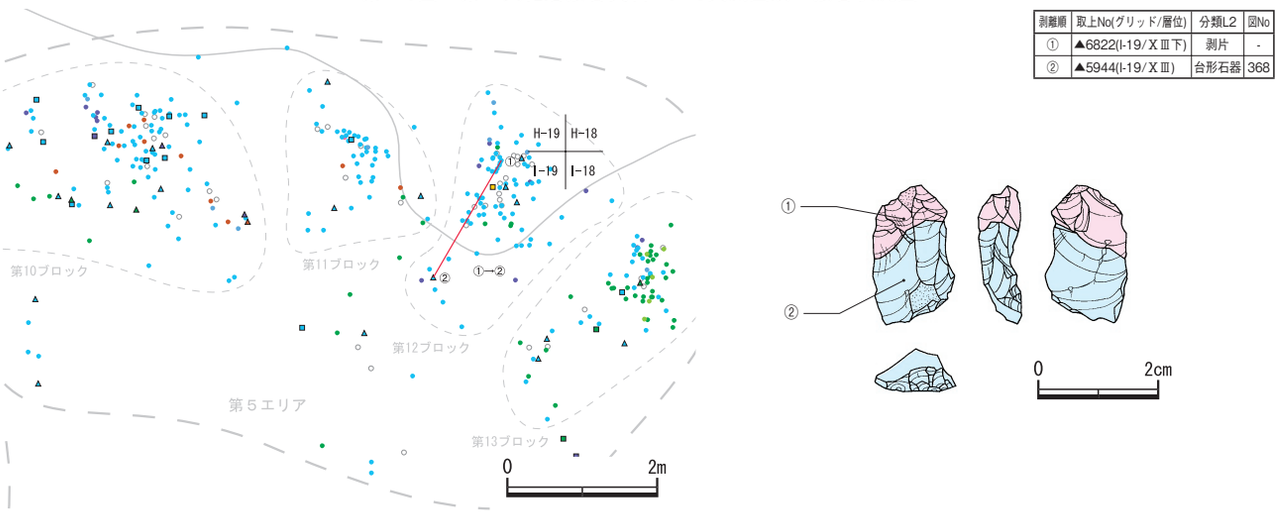
円礫を半割し，その分割面を打面にした石核と剥片の接合資料である。①→②→③の順で剥離が進行するが，打面は①の剥離面(左側縁)から，数回の剥離作業によって形成される。

剥離順	取上No(グリッド/層位)	分類L2	図No
①	▲5303(H-19/ⅩⅡ)	ハンマー	1862
②	▲5970(I-19/ⅩⅢ)	ハンマー	372
③	▲6808(I-19/ⅩⅢ下)	剥片	363



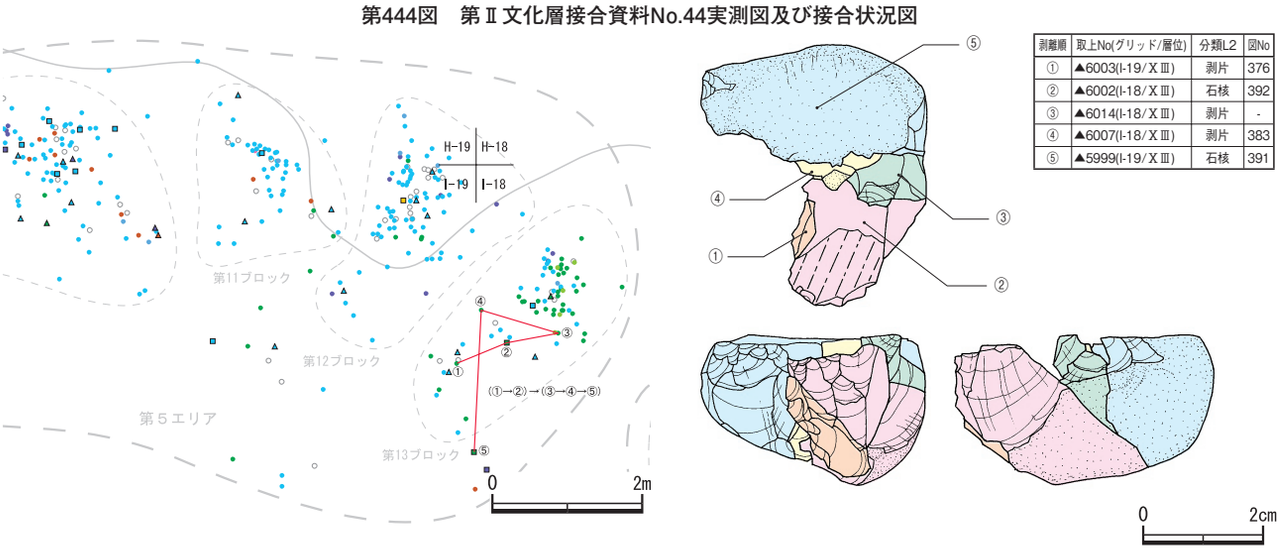
第443図　第Ⅱ文化層接合資料No.43実測図及び接合状況図

剥離順	取上No(グリッド/層位)	分類L2	図No
①	▲6822(I-19/ⅩⅢ下)	剥片	-
②	▲5944(I-19/ⅩⅢ)	台形石器	368

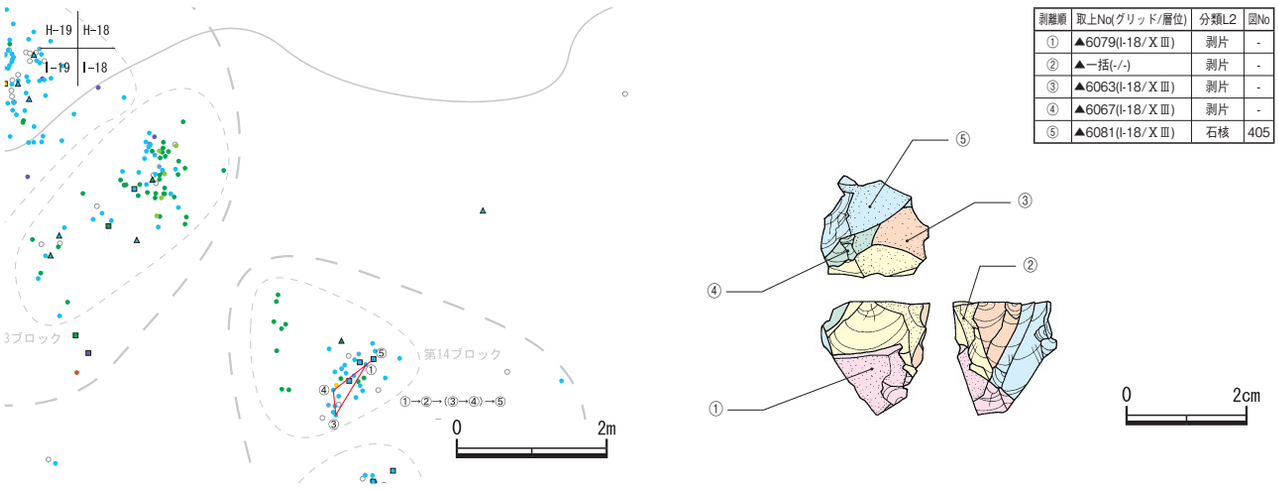


第444図　第Ⅱ文化層接合資料No.44実測図及び接合状況図

剥離順	取上No(グリッド/層位)	分類L2	図No
①	▲6003(I-19/ⅩⅢ)	剥片	376
②	▲6002(I-18/ⅩⅢ)	石核	392
③	▲6014(I-18/ⅩⅢ)	剥片	-
④	▲6007(I-18/ⅩⅢ)	剥片	383
⑤	▲5999(I-19/ⅩⅢ)	石核	391

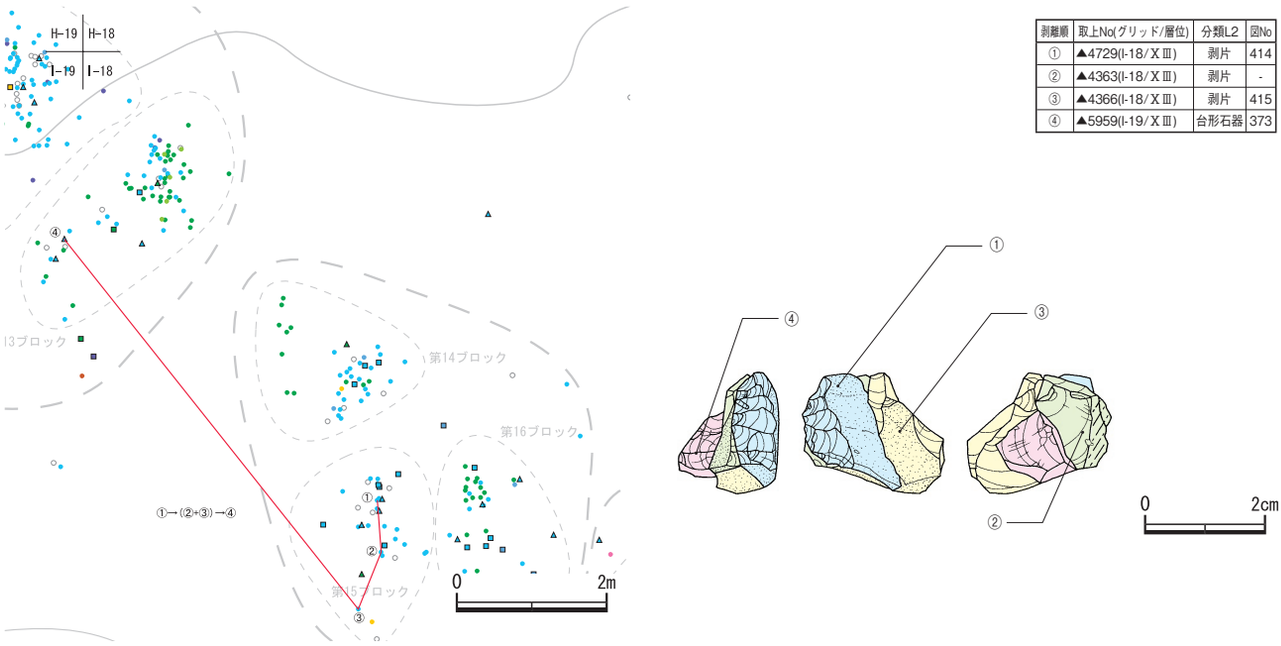


第445図　第Ⅱ文化層接合資料No.45実測図及び接合状況図



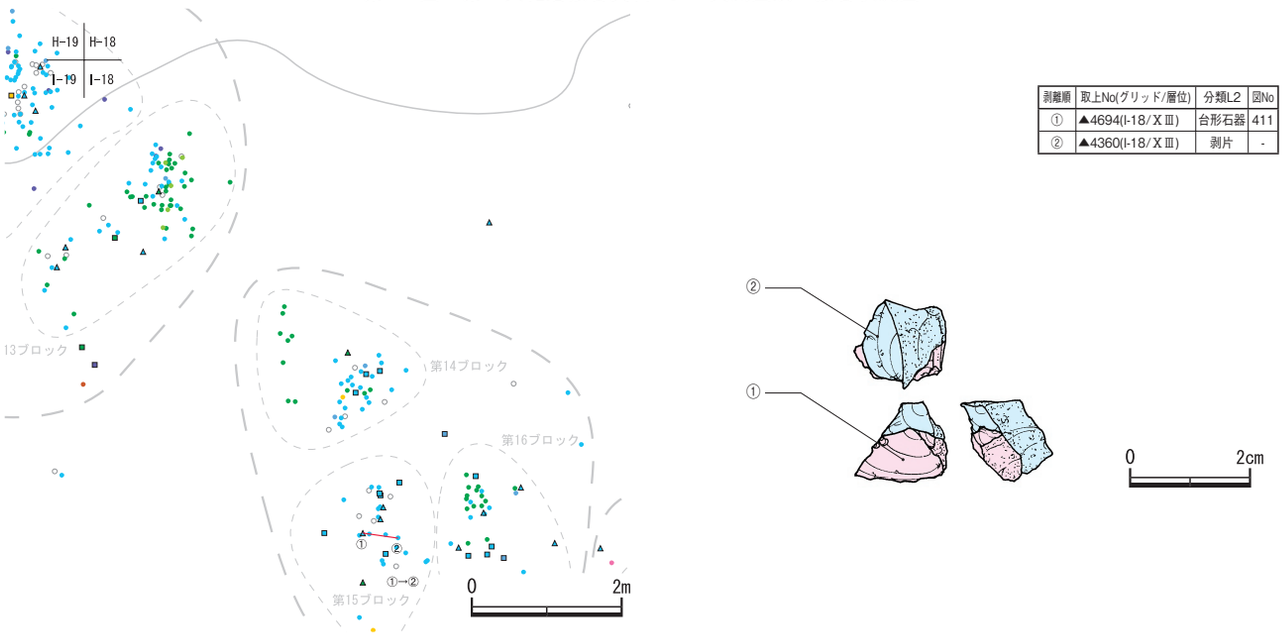
剥離順	取上No(グリッド/層位)	分類L2	図No
①	▲6079(I-18/XⅢ)	剥片	-
②	▲一括(-/-)	剥片	-
③	▲6063(I-18/XⅢ)	剥片	-
④	▲6067(I-18/XⅢ)	剥片	-
⑤	▲6081(I-18/XⅢ)	石核	405

第446図　第Ⅱ文化層接合資料No.46実測図及び接合状況図



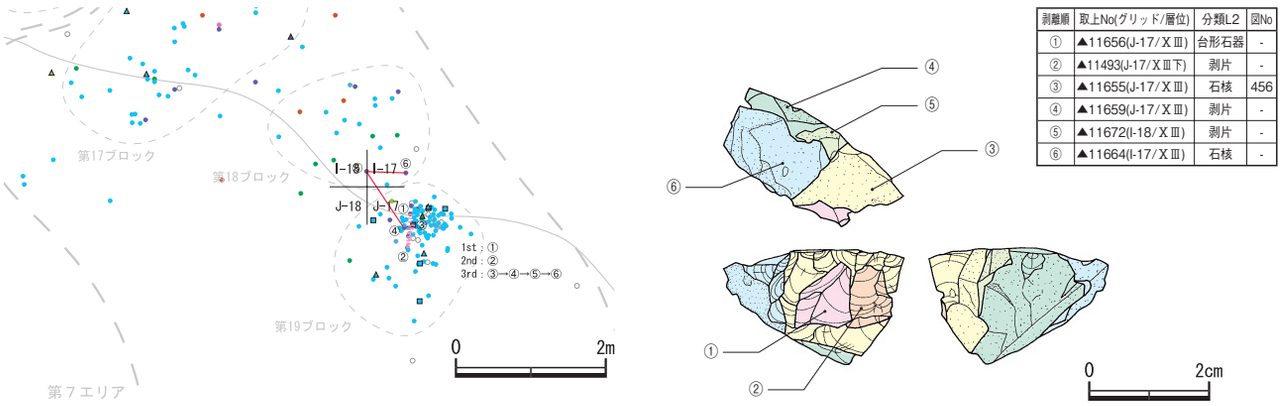
剥離順	取上No(グリッド/層位)	分類L2	図No
①	▲4729(I-18/XⅢ)	剥片	414
②	▲4363(I-18/XⅢ)	剥片	-
③	▲4366(I-18/XⅢ)	剥片	415
④	▲5959(I-19/XⅢ)	台形石器	373

第447図　第Ⅱ文化層接合資料No.47実測図及び接合状況図



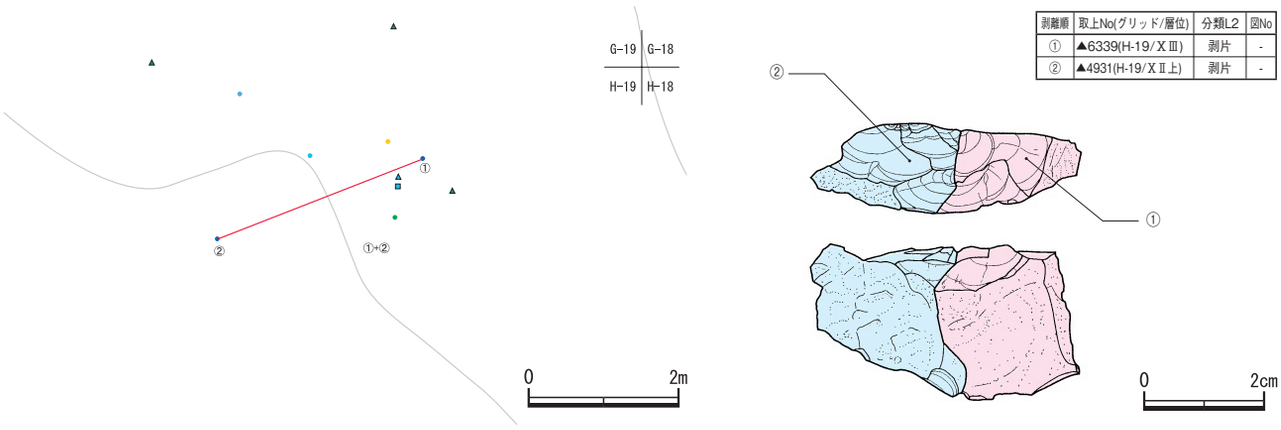
剥離順	取上No(グリッド/層位)	分類L2	図No
①	▲4694(I-18/XⅢ)	台形石器	411
②	▲4360(I-18/XⅢ)	剥片	-

第448図　第Ⅱ文化層接合資料No.48実測図及び接合状況図



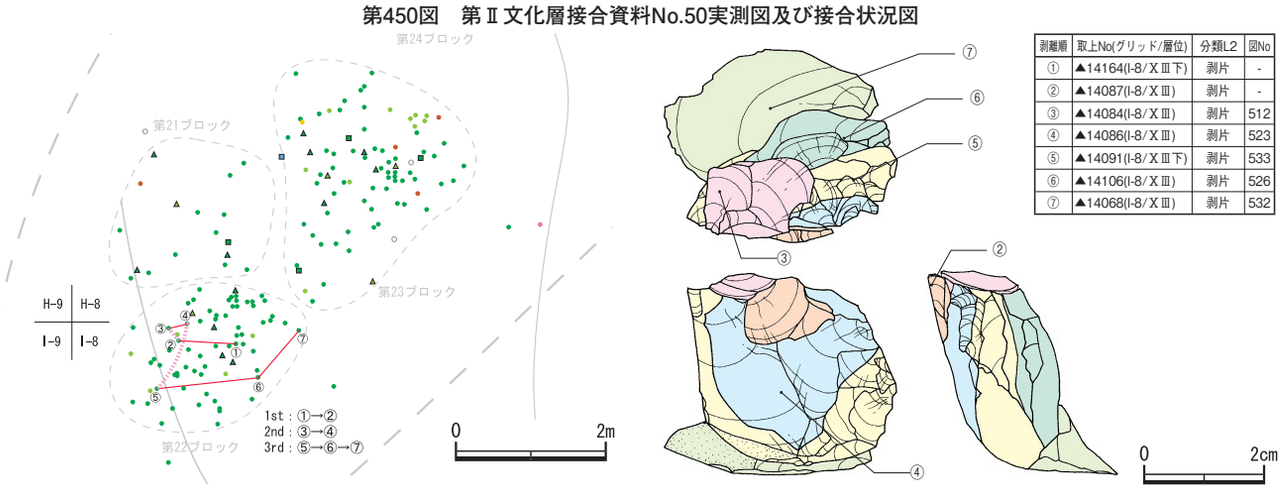
剥離順	取上No(グリッド/層位)	分類L2	図No
①	▲11656(J-17/ⅩⅢ)	台形石器	-
②	▲11493(J-17/ⅩⅢ下)	剥片	-
③	▲11655(J-17/ⅩⅢ)	石核	456
④	▲11659(J-17/ⅩⅢ)	剥片	-
⑤	▲11672(I-18/ⅩⅢ)	剥片	-
⑥	▲11664(I-17/ⅩⅢ)	石核	-

第449図　第Ⅱ文化層接合資料No.49実測図及び接合状況図



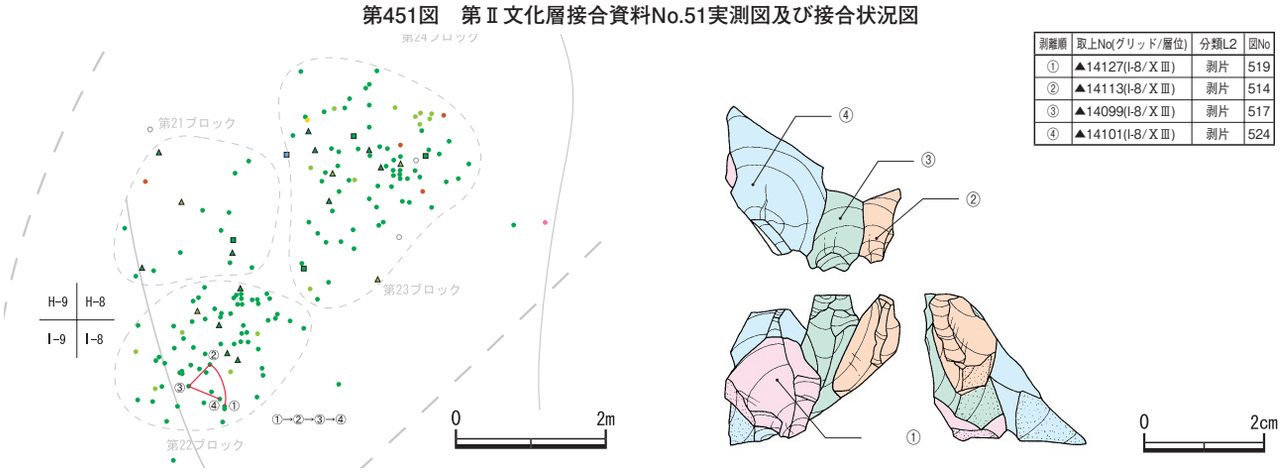
剥離順	取上No(グリッド/層位)	分類L2	図No
①	▲6339(H-19/ⅩⅢ)	剥片	-
②	▲4931(H-19/ⅩⅡ上)	剥片	-

第450図　第Ⅱ文化層接合資料No.50実測図及び接合状況図



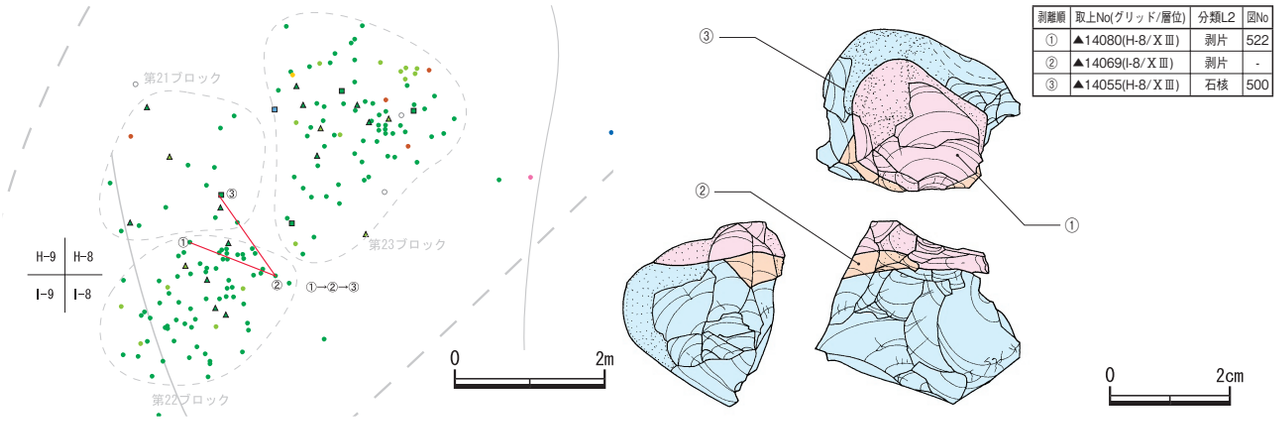
剥離順	取上No(グリッド/層位)	分類L2	図No
①	▲14164(I-8/ⅩⅢ下)	剥片	-
②	▲14087(I-8/ⅩⅢ)	剥片	-
③	▲14084(I-8/ⅩⅢ)	剥片	512
④	▲14086(I-8/ⅩⅢ)	剥片	523
⑤	▲14091(I-8/ⅩⅢ下)	剥片	533
⑥	▲14106(I-8/ⅩⅢ)	剥片	526
⑦	▲14068(I-8/ⅩⅢ)	剥片	532

第451図　第Ⅱ文化層接合資料No.51実測図及び接合状況図



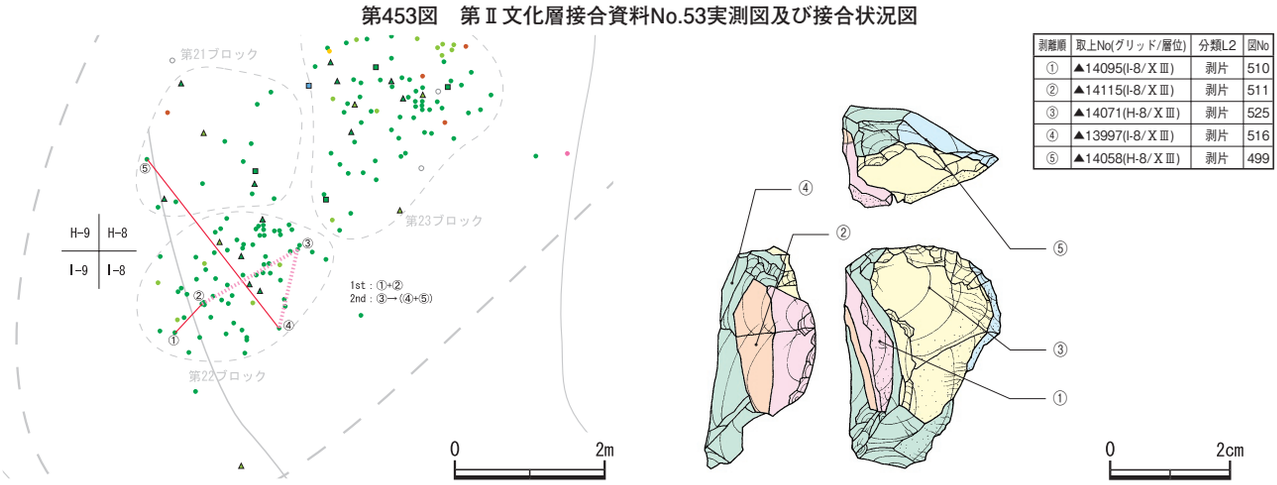
剥離順	取上No(グリッド/層位)	分類L2	図No
①	▲14127(I-8/ⅩⅢ)	剥片	519
②	▲14113(I-8/ⅩⅢ)	剥片	514
③	▲14099(I-8/ⅩⅢ)	剥片	517
④	▲14101(I-8/ⅩⅢ)	剥片	524

第452図　第Ⅱ文化層接合資料No.52実測図及び接合状況図



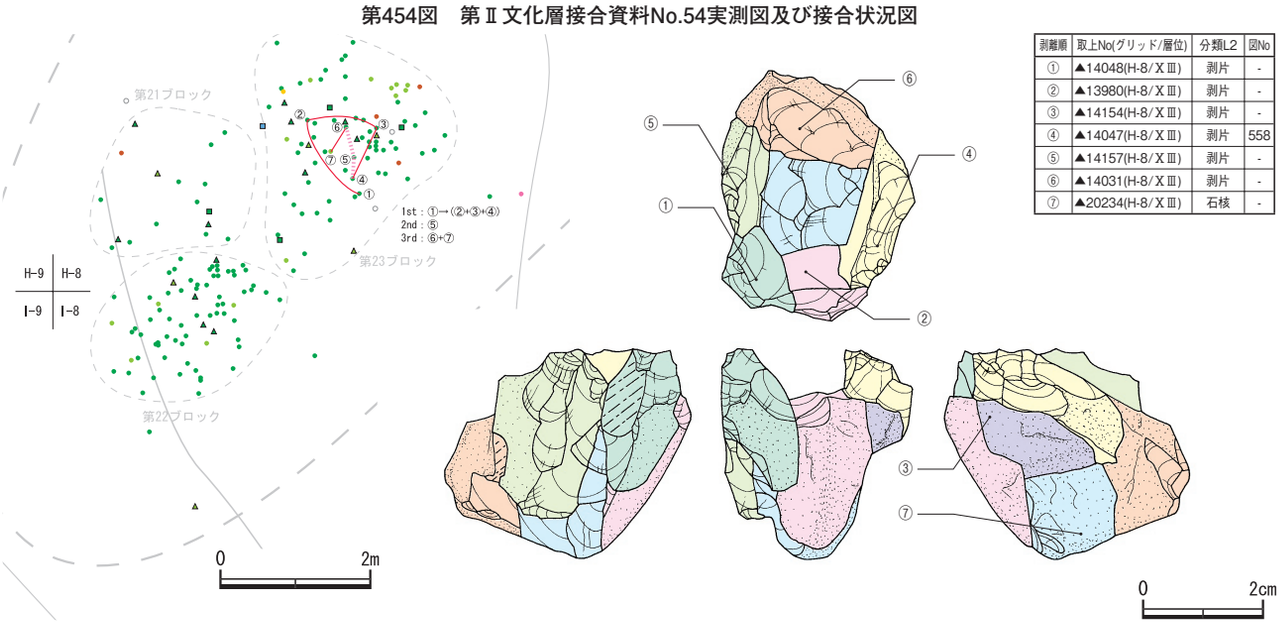
剥離順	取上No(グリッド/層位)	分類L2	図No
①	▲14080(H-8/Ⅹ Ⅲ)	剥片	522
②	▲14069(I-8/Ⅹ Ⅲ)	剥片	-
③	▲14055(H-8/Ⅹ Ⅲ)	石核	500

第453図　第Ⅱ文化層接合資料No.53実測図及び接合状況図



剥離順	取上No(グリッド/層位)	分類L2	図No
①	▲14095(I-8/Ⅹ Ⅲ)	剥片	510
②	▲14115(I-8/Ⅹ Ⅲ)	剥片	511
③	▲14071(H-8/Ⅹ Ⅲ)	剥片	525
④	▲13997(I-8/Ⅹ Ⅲ)	剥片	516
⑤	▲14058(H-8/Ⅹ Ⅲ)	剥片	499

第454図　第Ⅱ文化層接合資料No.54実測図及び接合状況図



剥離順	取上No(グリッド/層位)	分類L2	図No
①	▲14048(H-8/Ⅹ Ⅲ)	剥片	-
②	▲13980(H-8/Ⅹ Ⅲ)	剥片	-
③	▲14154(H-8/Ⅹ Ⅲ)	剥片	-
④	▲14047(H-8/Ⅹ Ⅲ)	剥片	558
⑤	▲14157(H-8/Ⅹ Ⅲ)	剥片	-
⑥	▲14031(H-8/Ⅹ Ⅲ)	剥片	-
⑦	▲20234(H-8/Ⅹ Ⅲ)	石核	-

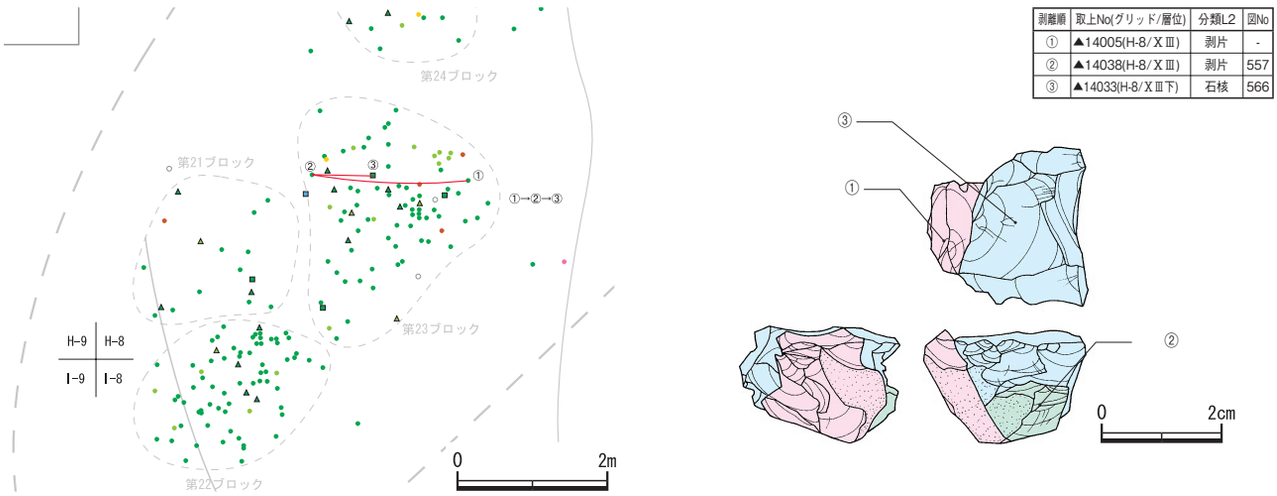
第455図　第Ⅱ文化層接合資料No.55実測図及び接合状況図

接合資料No.57(第457図)　[SH1A]

縦長剥片と折断剥片の接合資料である。石核は頁岩の円礫を分割し，その分割面を打面としたと考えられる。剥離作業は①→②→③と進行し，その間に失われているが，２点の剥片が剥離されている。①以下の剥離作業が①と打点を共有したかは明らかではないが，②以前に打面再生が行われた可能性もある。②・③はともに背面からの圧力で折断され，末部のみを残す。

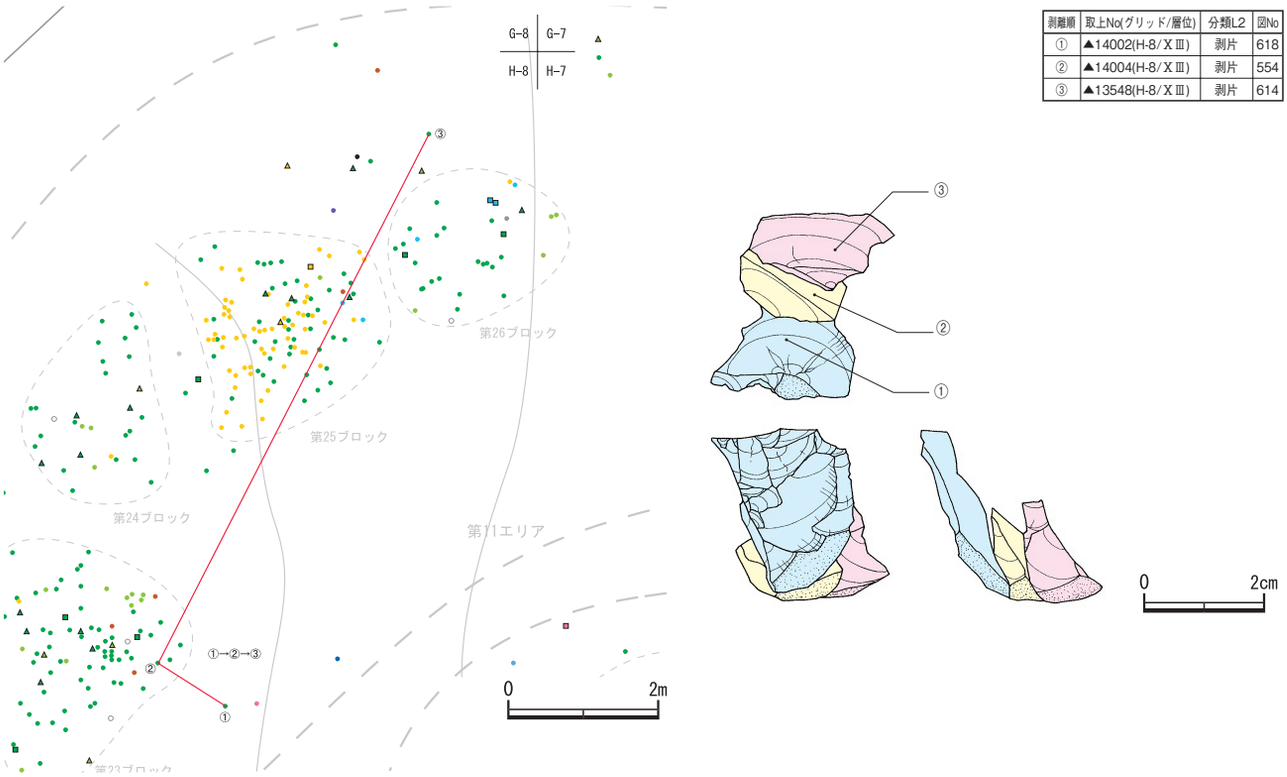
接合資料No.58(第458図)　[SH1B]

節理の多い原礫から，打面転移を繰り返しながら剥片剥離を行った接合資料である。下縁調整が先行した可能性がある資料で，左側縁部から①は下縁調整が先行した可能性がある。下縁部に小剥離が多数認められる。⑧を正面に図示したがポジティブ面があることから，本来は背面が剥離作業の正面となる。



剥離順	取上No(グリッド/層位)	分類L2	図No
①	▲14005(H-8/XⅢ)	剥片	-
②	▲14038(H-8/XⅢ)	剥片	557
③	▲14033(H-8/XⅢ下)	石核	566

第456図　第Ⅱ文化層接合資料No.56実測図及び接合状況図



剥離順	取上No(グリッド/層位)	分類L2	図No
①	▲14002(H-8/XⅢ)	剥片	618
②	▲14004(H-8/XⅢ)	剥片	554
③	▲13548(H-8/XⅢ)	剥片	614

第457図　第Ⅱ文化層接合資料No.57実測図及び接合状況図

接合資料No.59(第459図)　[CC1A]

二次加工痕剥片とチップの接合資料である。裏面(礫面)から連続して急角度の加撃が行われている。

接合資料No.60(第460図)　[OB3C]

小型のナイフ形石器のリダクションを示す接合資料である。二側縁加工ナイフ形石器の刃潰し加工段階で二分される。右側縁の刃潰し加工は最終段階に達しているが，左側縁の加工中に破断している。その後先端部を再加工して小型ナイフ形石器に再加工される。

接合資料No.61(第461図)　[SH1B]

剥片と二次加工痕剥片との接合資料である。角礫の緩やかな稜の部分を打面にして，加撃し，節理面に沿って①が脱落したものとみられる。①はその後上部を右側縁に調整剥離が施されている。

接合資料No.62(第462図)　[OB3C]

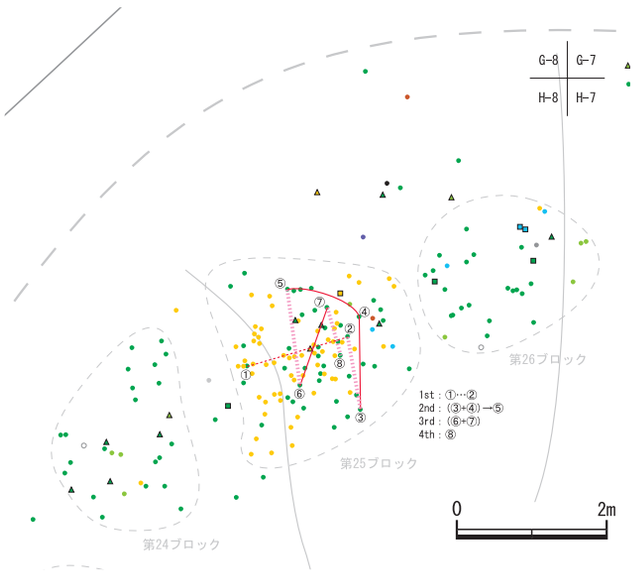
打面調整からの剥片剥離作業が窺える接合資料である。①と②が先行して剥離が開始される。両点とも礫面を打面とした剥離作業である。なお③のネガティブ面が⑧で，この面は以下の石核の打面として利用されることとなる。したがって③は素材剥片獲得を目的としたものではなく，打面形成を目的とした調整剥片の可能性が高い。なお①と②は実測後に接合した資料である。

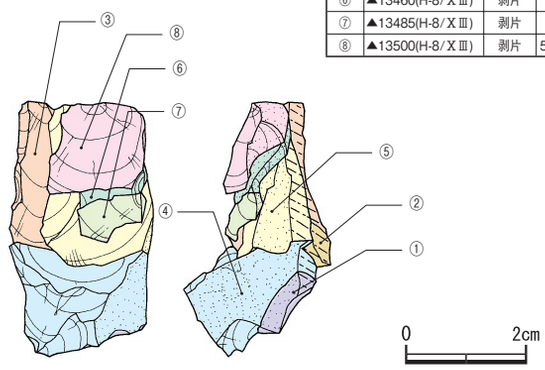
接合資料No.63(第463図)　[SH1A]

ナイフ形石器を含む接合資料である。平坦面を打面として①・②・③を剥離しているが，①は素材剥片を大きく変えることでナイフ形石器に仕上げられている。

接合資料No.64(第464図)　[SH1A]

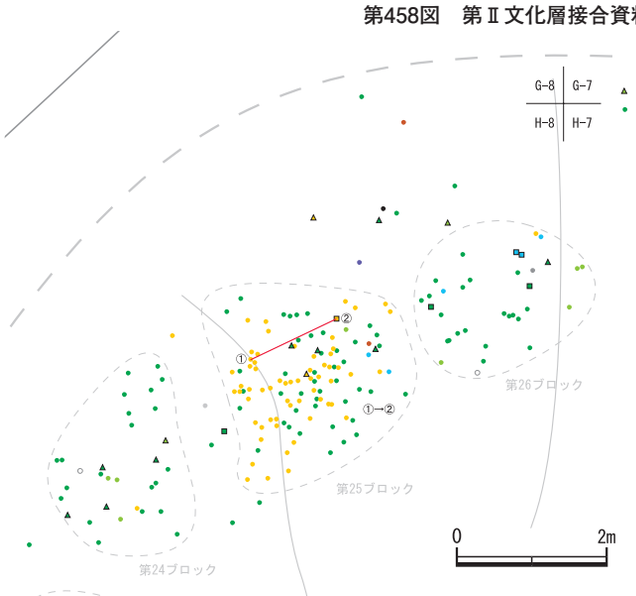
小型ナイフ形石器と剥片の接合資料である。①・②は連続

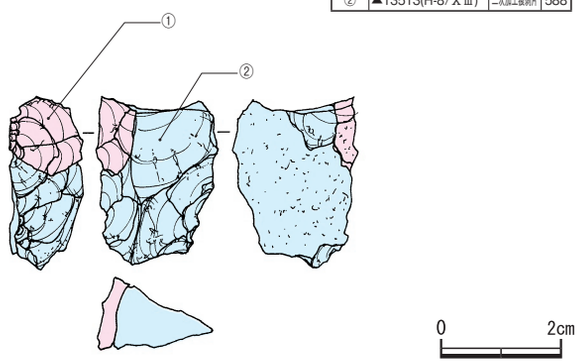




剥離順	取上No(グリッド/層位)	分類L2	図No
①	▲13469(H-8/Ⅹ Ⅲ)	剥片	-
②	▲13589(H-8/Ⅹ Ⅲ下)	剥片	-
③	▲12935(H-8/Ⅹ Ⅲ上)	剥片	-
④	▲13511(H-8/Ⅹ Ⅲ下)	剥片	-
⑤	▲13481(H-8/Ⅹ Ⅲ)	剥片	-
⑥	▲13460(H-8/Ⅹ Ⅲ)	剥片	-
⑦	▲13485(H-8/Ⅹ Ⅲ)	剥片	-
⑧	▲13500(H-8/Ⅹ Ⅲ)	剥片	585

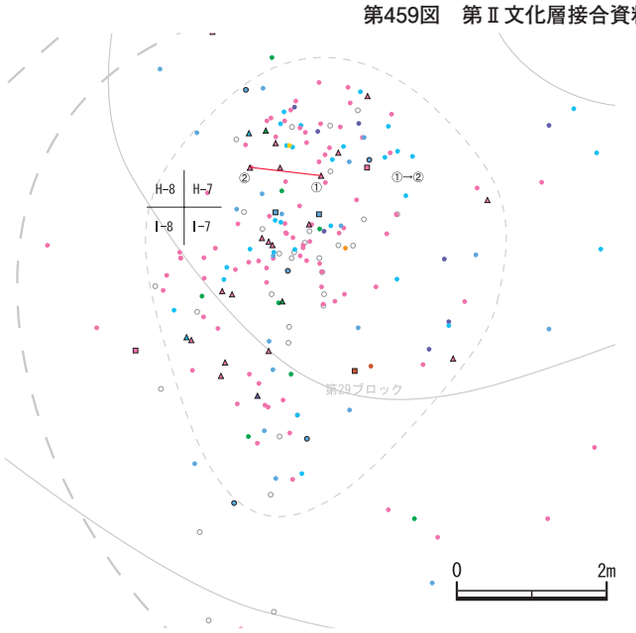
第458図　第Ⅱ文化層接合資料No.58実測図及び接合状況図

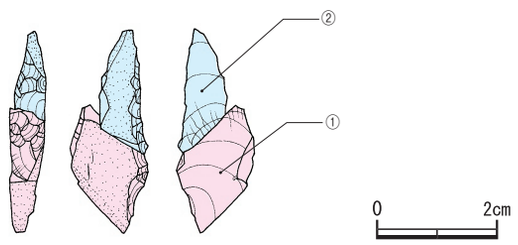




剥離順	取上No(グリッド/層位)	分類L2	図No
①	▲13593(H-8/Ⅹ Ⅲ)	チップ	584
②	▲13513(H-8/Ⅹ Ⅲ)	二次加工痕剥片	588

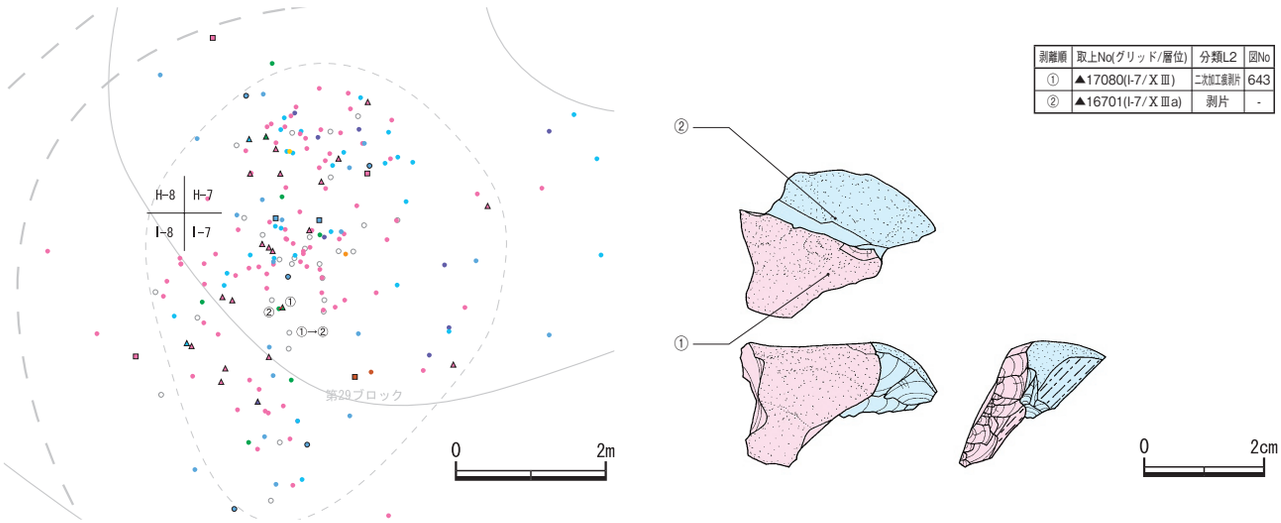
第459図　第Ⅱ文化層接合資料No.59実測図及び接合状況図





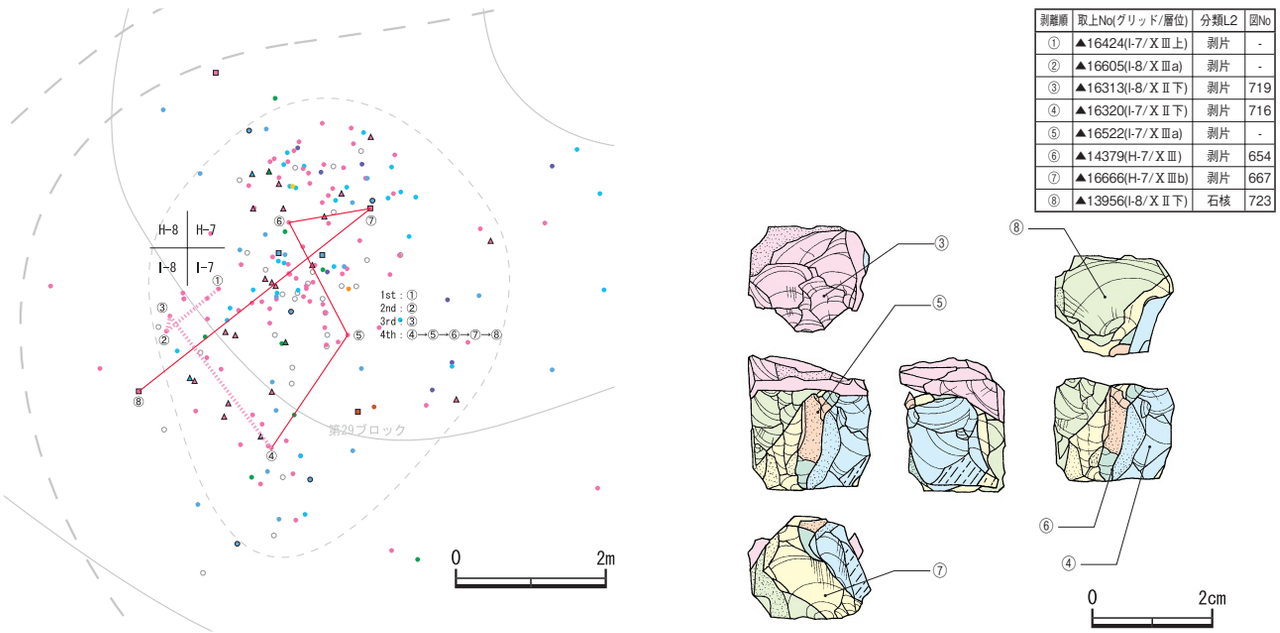
剥離順	取上No(グリッド/層位)	分類L2	図No
①	▲16588(H-7/Ⅹ Ⅲa)	ナイフ形石器	642
②	▲14377(H-7/Ⅹ Ⅲ)	ナイフ形石器	636

第460図　第Ⅱ文化層接合資料No.60実測図及び接合状況図



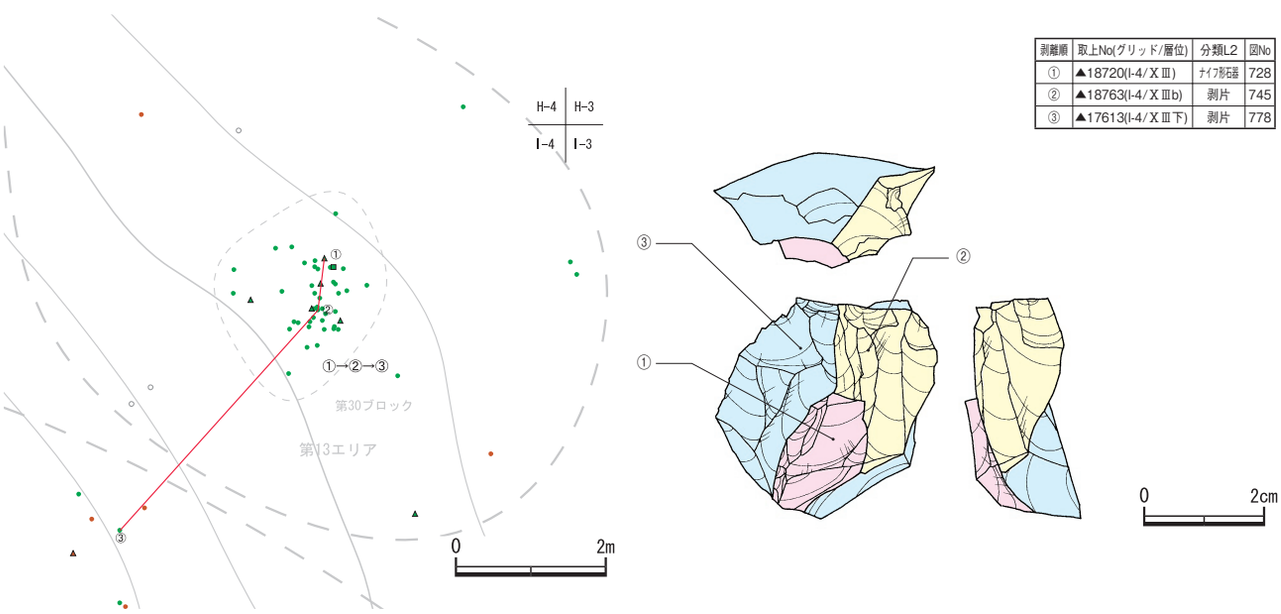
剥離順	取上No(グリッド/層位)	分類L2	図No
①	▲17080(I-7/XⅢ)	二次加工剥片	643
②	▲16701(I-7/XⅢa)	剥片	-

第461図　第Ⅱ文化層接合資料No.61実測図及び接合状況図



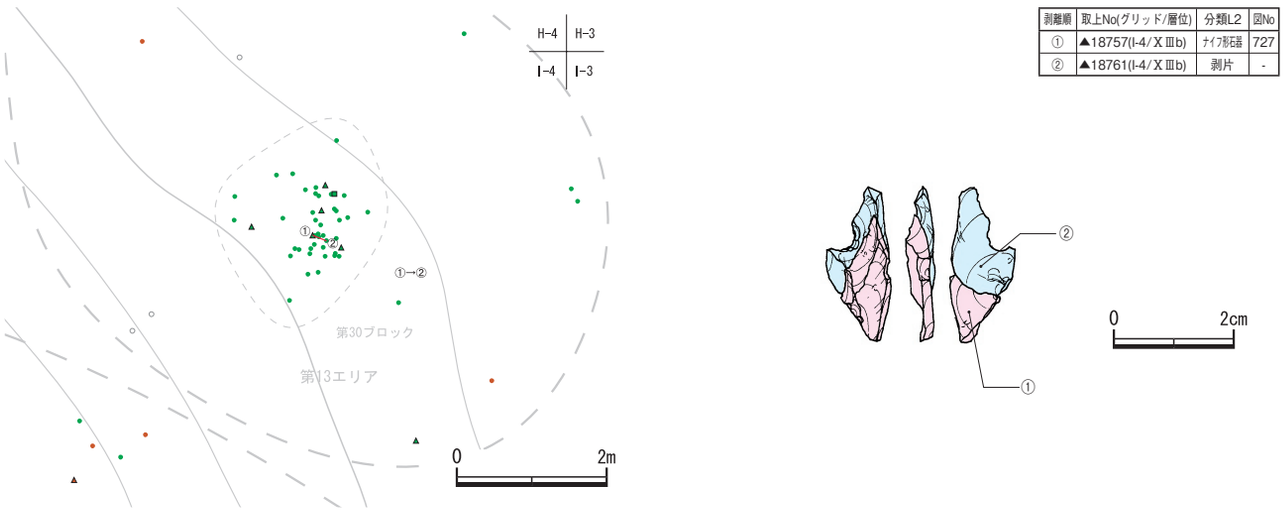
剥離順	取上No(グリッド/層位)	分類L2	図No
①	▲16424(I-7/XⅢ上)	剥片	-
②	▲16605(I-8/XⅢa)	剥片	-
③	▲16313(I-8/XⅡ下)	剥片	719
④	▲16320(I-7/XⅡ下)	剥片	716
⑤	▲16522(I-7/XⅢa)	剥片	-
⑥	▲14379(H-7/XⅢ)	剥片	654
⑦	▲16666(H-7/XⅢb)	剥片	667
⑧	▲13956(I-8/XⅡ下)	石核	723

第462図　第Ⅱ文化層接合資料No.62実測図及び接合状況図



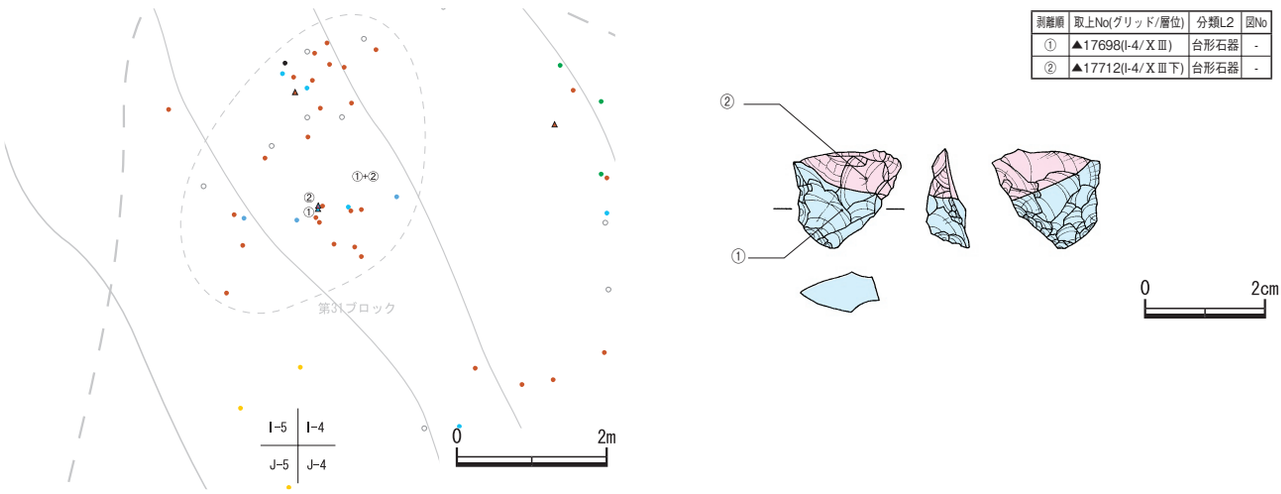
剥離順	取上No(グリッド/層位)	分類L2	図No
①	▲18720(I-4/XⅢ)	ナイフ形石器	728
②	▲18763(I-4/XⅢb)	剥片	745
③	▲17613(I-4/XⅢ下)	剥片	778

第463図　第Ⅱ文化層接合資料No.63実測図及び接合状況図



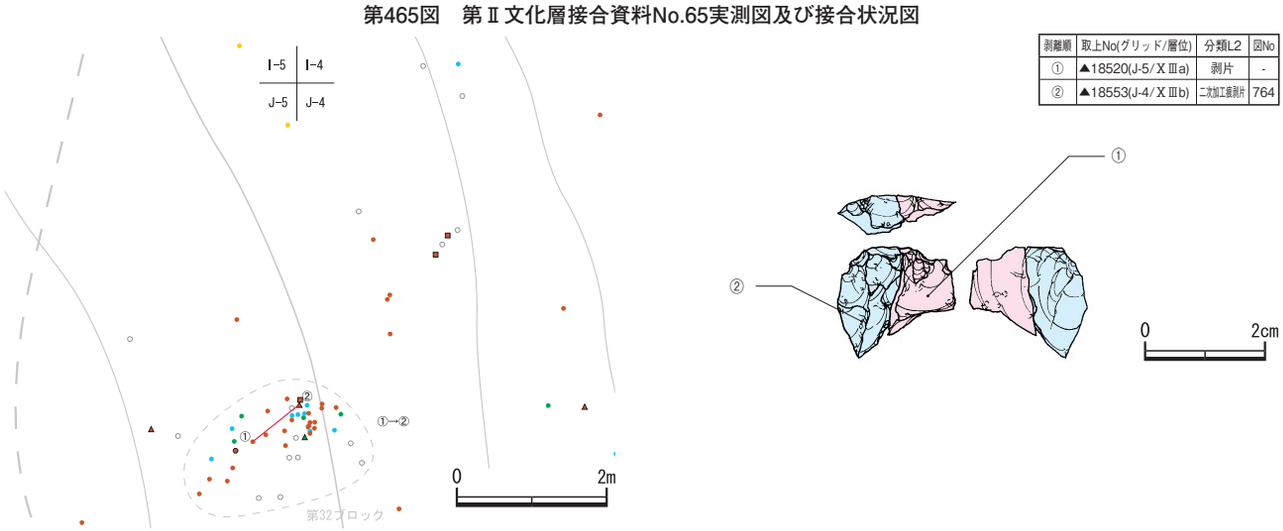
剥離順	取上No(グリッド/層位)	分類L2	図No
①	▲18757(I-4/ⅩⅢb)	ナイフ形石器	727
②	▲18761(I-4/ⅩⅢb)	剥片	-

第464図　第Ⅱ文化層接合資料No.64実測図及び接合状況図



剥離順	取上No(グリッド/層位)	分類L2	図No
①	▲17698(I-4/ⅩⅢ)	台形石器	-
②	▲17712(I-4/ⅩⅢ下)	台形石器	-

第465図　第Ⅱ文化層接合資料No.65実測図及び接合状況図



剥離順	取上No(グリッド/層位)	分類L2	図No
①	▲18520(J-5/ⅩⅢa)	剥片	-
②	▲18553(J-4/ⅩⅢb)	二次加工ある剥片	764

第466図　第Ⅱ文化層接合資料No.66実測図及び接合状況図

して剥がされ，打点も極めて接近する。①の小型不定形剥片の端部に刃潰し加工が認められ，これに先行する剥離の打点方向が基部方向となる。②には調整はみられない。

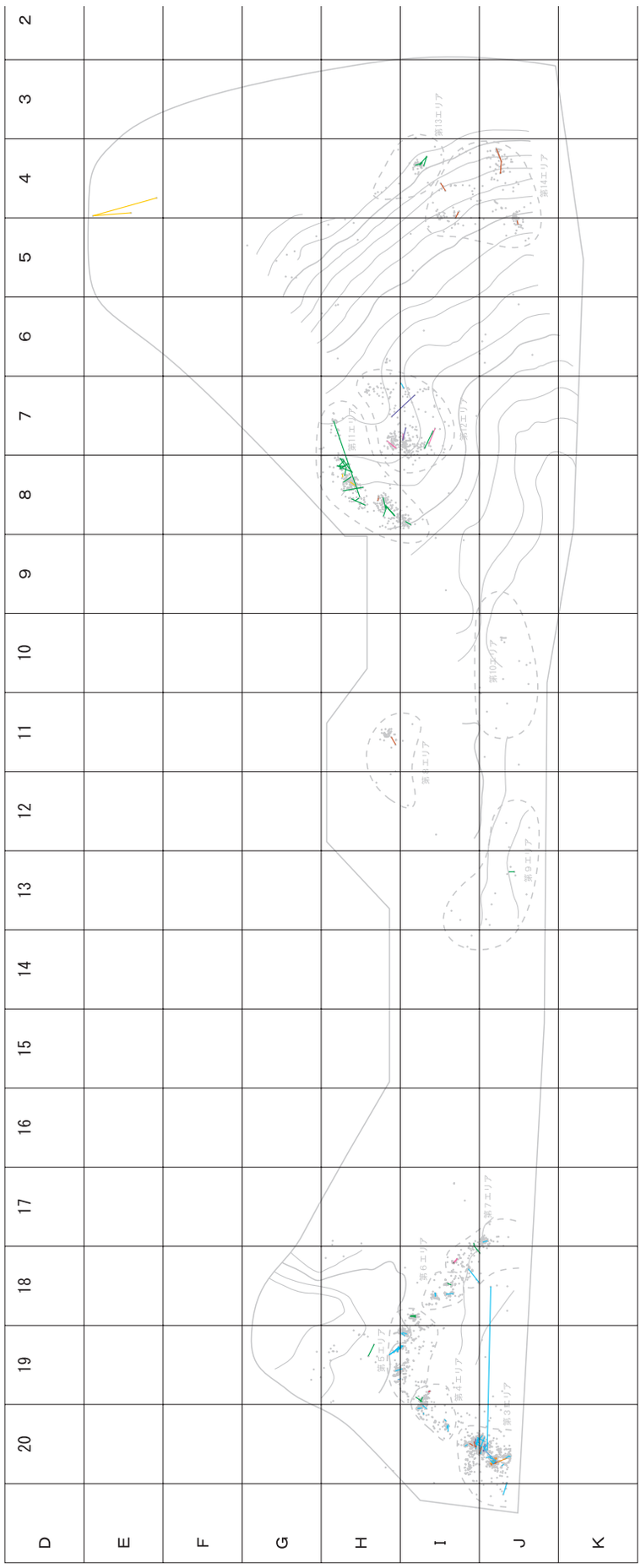
接合資料No.65(第465図)　[OB3A]

台形石器の破断した資料である。両側縁共に刃潰し加工がほぼ終了していることから，完成後の破砕で背面中心部分から破断している。

台形石器は，右側縁が打面に相当すると思われる。刃潰し加工は，右側縁の中央から先端部に数回，左側縁は腹面から入念に実施している。特に，腹面への整形剥離は活発に行われ，基部周辺は薄く尖り気味な仕上げとなっている。

接合資料No.66(第466図)　[OB2B]

二次加工剥片とチップ(分割)の接合資料である。素材とした不定形剥片の端部①を分割し，分割した剥離面に腹面方向から微細な調整剥離を加えている。刃部は先端部方向に設けられ，肉厚で断面三角形の小型ナイフ形石器状に仕上げている。



第467図　第Ⅱ文化層非実測接合遺物接合状況図

第３節　土器

１　土器群の概要

Ｘ層を中心として出土した土器については，縄文時代草創期に比定できる土器群である。当該期資料において69点を掲載した。これらのうち，接合可能であったのは図No18における２点である。なお資料はそのほとんどが小破片ともいえる破片資料が中心であり，接合および器形復元については良好とは言い難い状況であった。

器形については「胴部から口縁部にかけて，やや直行するもの」もしくは，「若干の外反を呈するもの」として捉えることができ，器種としては深鉢を想定できるが，いずれも小片ゆえの錯誤があるかもしれない。

胎土，調整法，粘土紐の貼り付け手法等から，大きく６つのグループとして捉えることとした。以下，分類とその概念について述べてみたい。

１類（第498図１～14，第503図44～50）

大きくは隆線文に属すると考えられる資料の一群である。基本的な器面調整はナデによって行われている。内面調整はていねいなナデにより行われ，指頭圧痕が所々に認められる。口縁部付近には幅５mm弱の隆起線文を３～４mmの間隔で２条程度を横位に貼付し，刻みを施す。刻みの手法は器壁に対して，直角ではなく斜位に上下から交互に行い，器壁本体にまで達する。これらは器形正位に対しても斜位の刻みを施している。なお，図No２～４において口唇部直下における隆起線文は爪によると思われる刺突が横位に施される。断面において直角の段を呈し，その下の隆線文とは異なる手法で施文しているようである。口唇部端とその下位の隆線には製作技法上の使い分けが行われている可能性がある。器壁表面は明るい褐色から赤褐色を呈するが，表面のみに焼成による厚さ0.5mm弱の赤化がみられるものの，器壁断面は主に黒色を呈する。胎土は極めて細かい細粒からなり，特に目立つ混和材などは見あたらない。その胎土成分に起因するためか，非常にもろい印象を受ける。

２類（第499図15～27，第504図51～62）

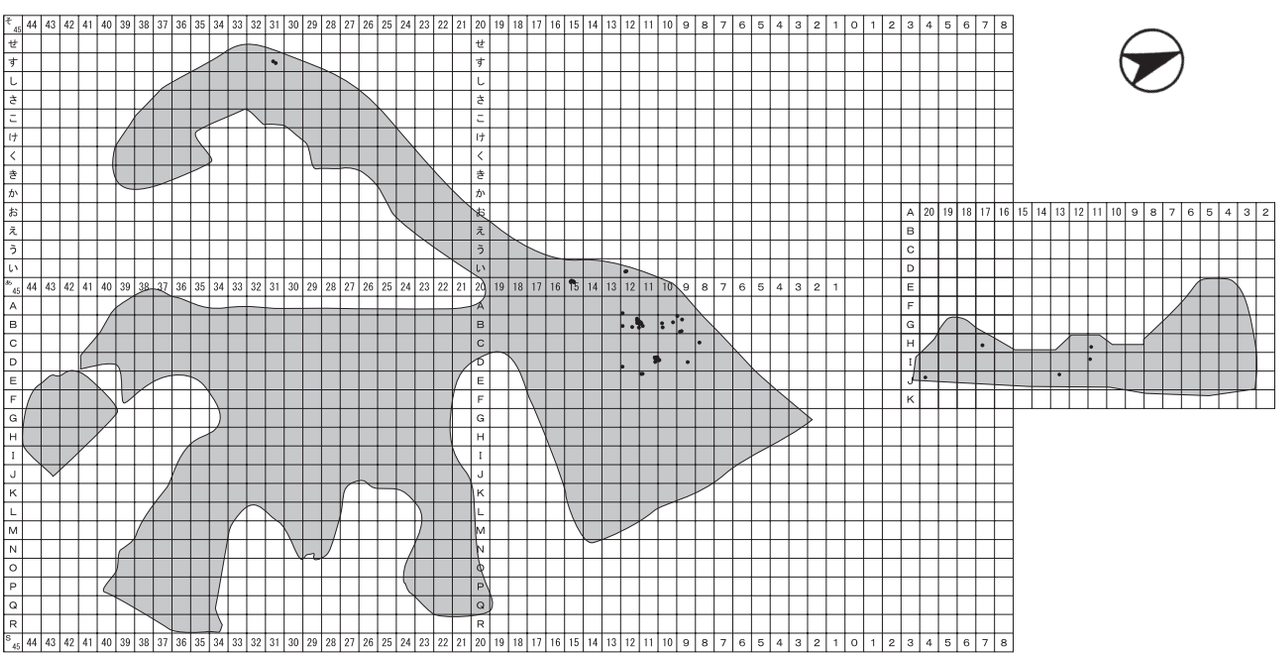
１類と同じく，隆線文系に属すると思われる一群である。基本的な器壁調整はていねいなナデにより行われ，指頭圧痕も確認できる。同時に工具によると思われる筋状の調整痕が確認できる資料も存在する。胎土は非常に細かな粒子を主体としているが，１類と同様に脆弱な印象を受ける。また，資料の器壁には層状剥離が観察でき，１片が５×３cm程度の輪積製法の結果による積層構造が想定できる。また図No25においては異なる２種類の粘土を混合した結果によると思われるマーブル状の筋が観察できる。口縁部から胴部にかけて隆線が横走する。隆線は最大で図No16において５条が確認できる。１本の隆線の幅は４～５mm程度で，６～７mmの間隔をもっている。隆線は刻みを有し，器形正位に対して斜めから垂直に，器壁に対しては直角に真上から押し当てる状態で施されており，施文具は棒状工具を想定できる。隆線は調整の後に貼り付けられ，隆線を施した後にはその周辺部に触れていないようである。特徴としては口唇部直下から下位の隆線まで一貫した手法による施文がなされていることである。図No16・17・26において補修孔がみられる。

３類（第500図28～31）

１・２類と同様に器壁に隆線を施す点においては共通するが，隆線に刻目を施さない点において異なる。本遺跡においては最大２条の隆線が図No28に確認できる。器壁調整は基本的にナデ調整が行われており，指頭圧痕も確認できる。色調は灰褐色から淡茶褐色を呈している。胎土は主に細粒を主体として構成されているが，１・２類に比較して砂質が非常に強く，砂粒が脱落することによる崩壊を観察できる。

４類（第501図32～34）

本来，貼付手法の観点において，二分できる一群であるが，隆線の断面が三角形を呈さない点において包括した。基本的な器面調整はていねいなナデ調整である。図No32は



第494図　草創期土器出土分布図

幅５mm程度の隆線に工具によると思われる刻目を施し，３mmの間隔を置いて２条横走する。隆線間には貼付時についたであろう爪痕が観察できるが，これらに意図は存在しないと思われる。口唇部端にも隆線と同様の手法による刻目が施される。本来の器壁に口唇上部から新たに粘土紐を貼付けた上で刻み，その後外壁面の上部から下位へと施文する順序が観察できる。なお器壁外面の刻目は，上下の隆線において対応を見せることから，一度に数条にわたっての施文が想定される。図No33・34は幅11～13mmの扁平な薄い隆線で，断面が台形状を呈し，爪による連続した刺突を施す。色調は外面が暗茶褐色，内面は明茶褐色を呈し，胎土は若干の砂質を示すが，脆弱な印象はなく，角閃石を含む特徴を有する。

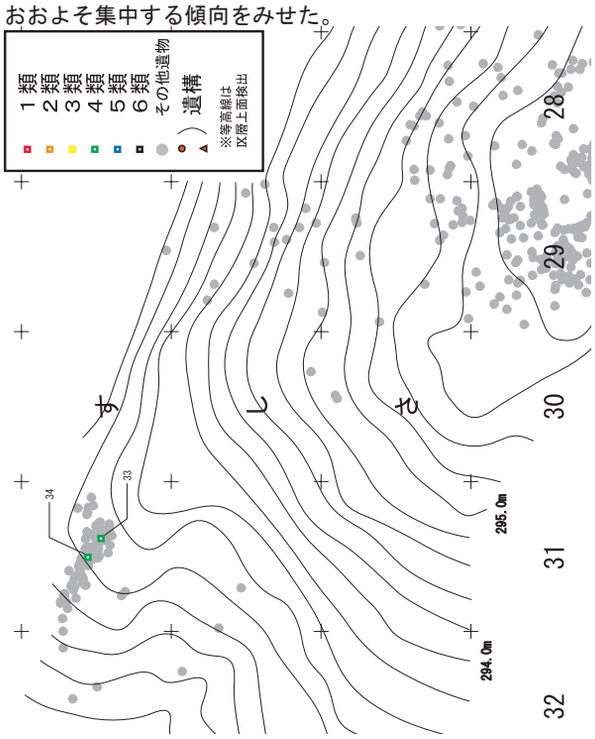
５類（第502図35～43）

幅広の断面三角形を呈する隆線を２～４条持つ一群を包括した。図No35・36・41は口唇部上端，もしくは内面より貼り付けを施す手法であり，図No37・39・43は口唇部上端より上位を越えない手法である。なお図No37と43は同一個体である可能性が高い。これらは隆線の貼り付ける位置には差異がみられるものの，その順序は口唇部から底部に向かう点において共通する。焼成状況は良好であり，やや厚手の器壁を持ち，堅密な印象である。工具によると思われる調整痕が観察でき，色調は赤褐色から明褐色を呈する。胎土は角閃石を含む特徴を有する。

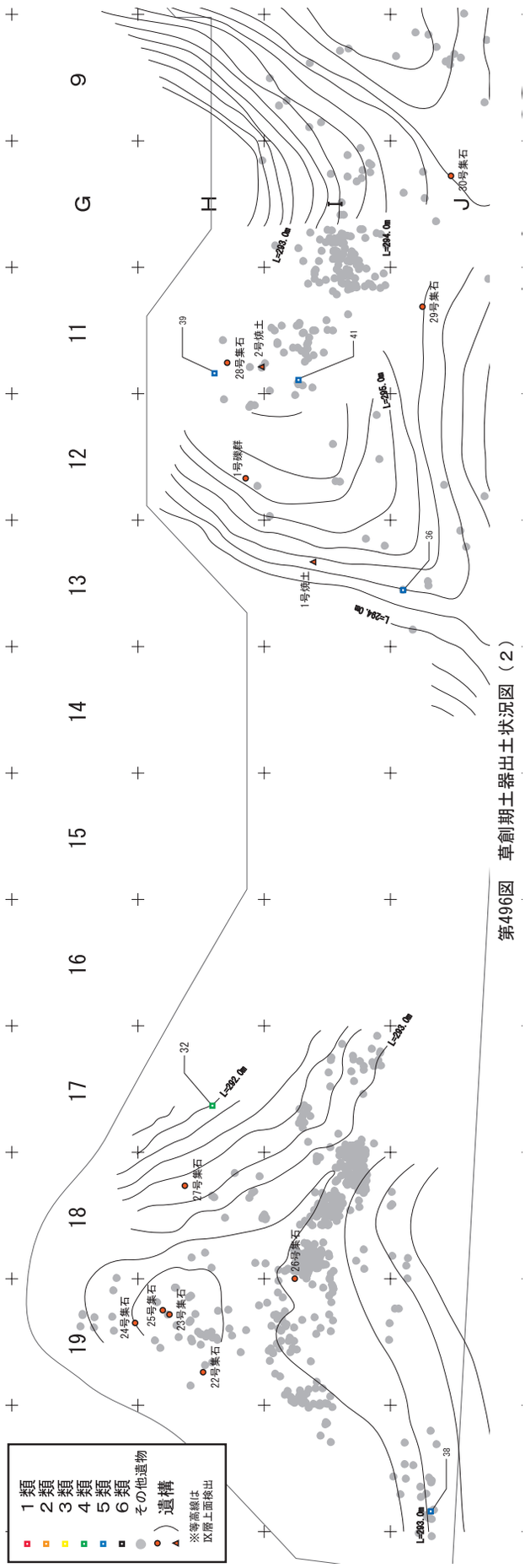
６類（第504図65～67）

胴部もしくは小片であり，胎土の特徴においてもいずれかの類として判別が困難なものについて設けた。

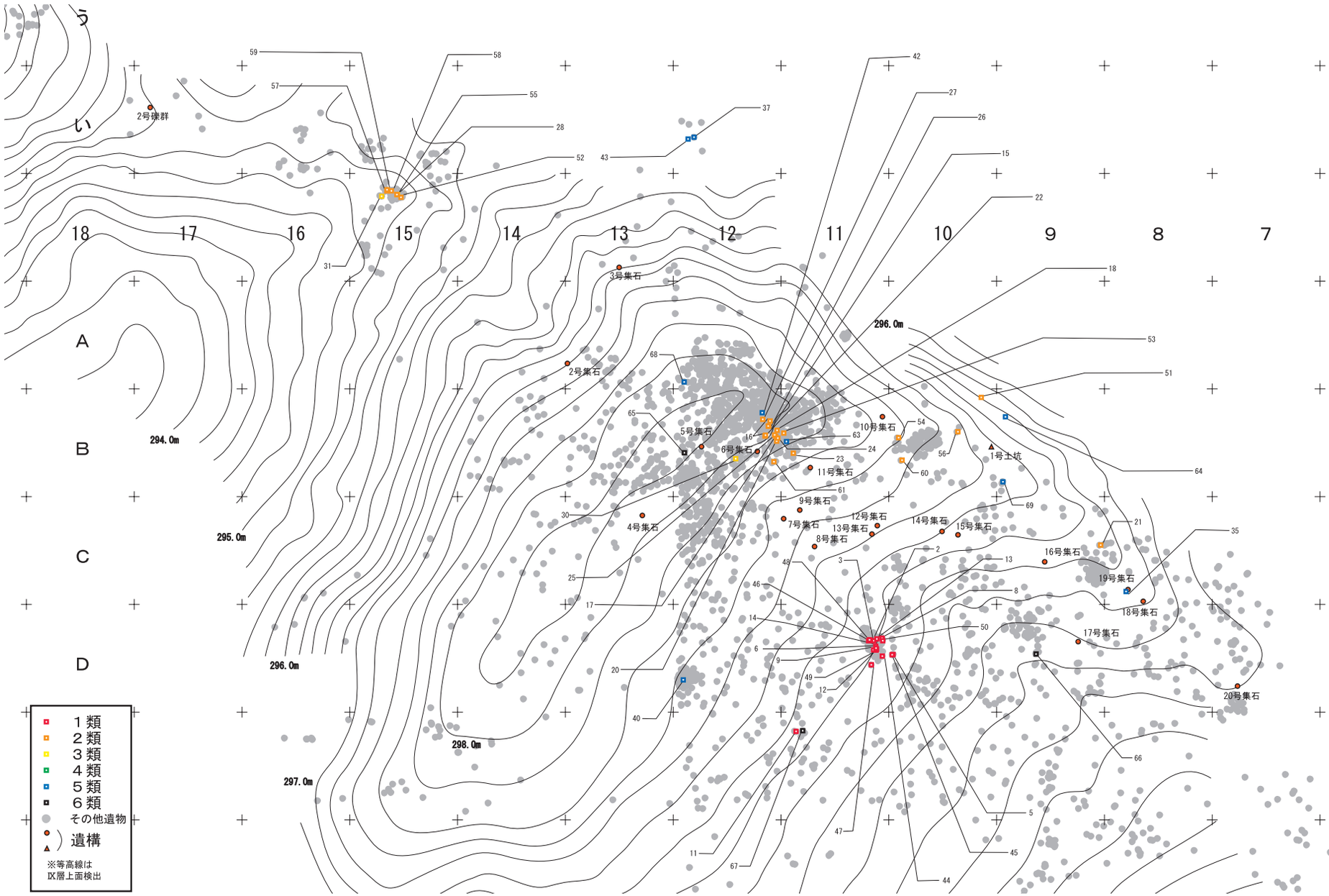
以上，土器について６類に大別を試みた。資料点数としては必ずしも多くはないものの，製作技法や胎土の特徴などからグループ化が可能であり，出土地点においてもそれぞれがおおよそ集中する傾向をみせた。



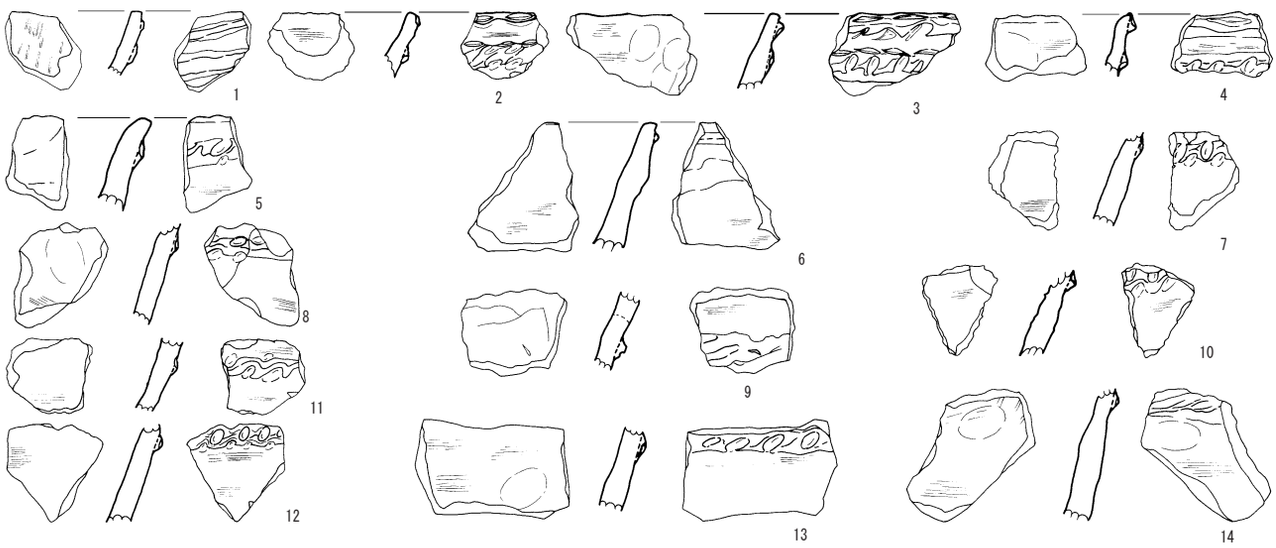
第495図　草創期土器出土状況図（１）



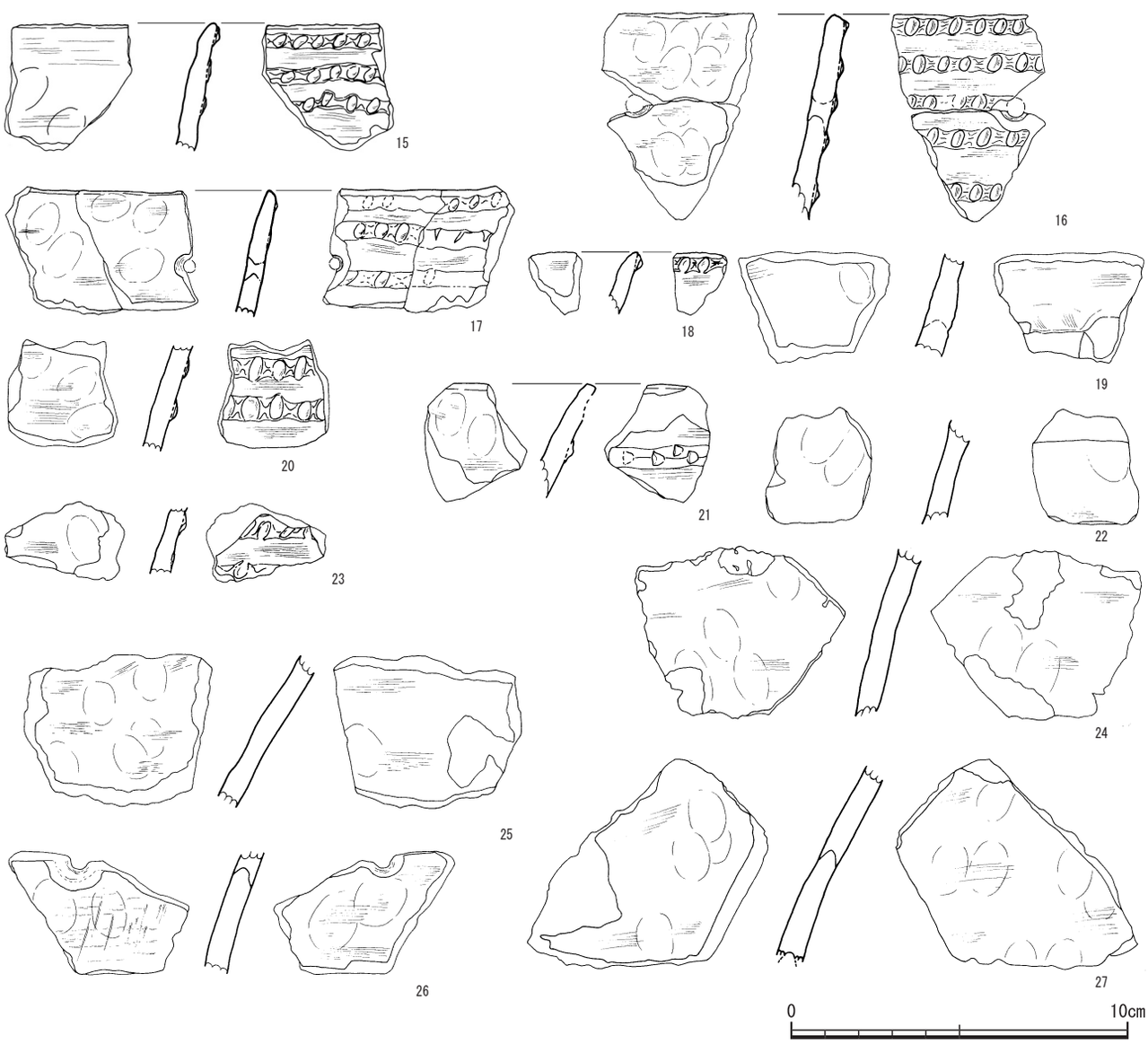
第496図　草創期土器出土状況図（２）



第497図　草創期土器出土状況図（３）

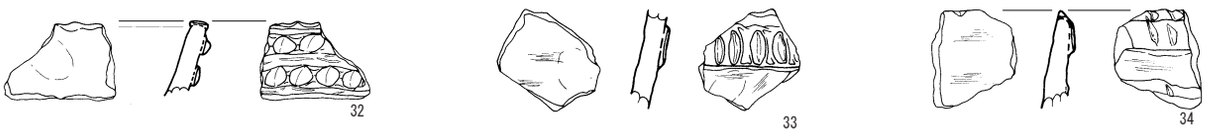


第498図　X層出土遺物実測図（１）

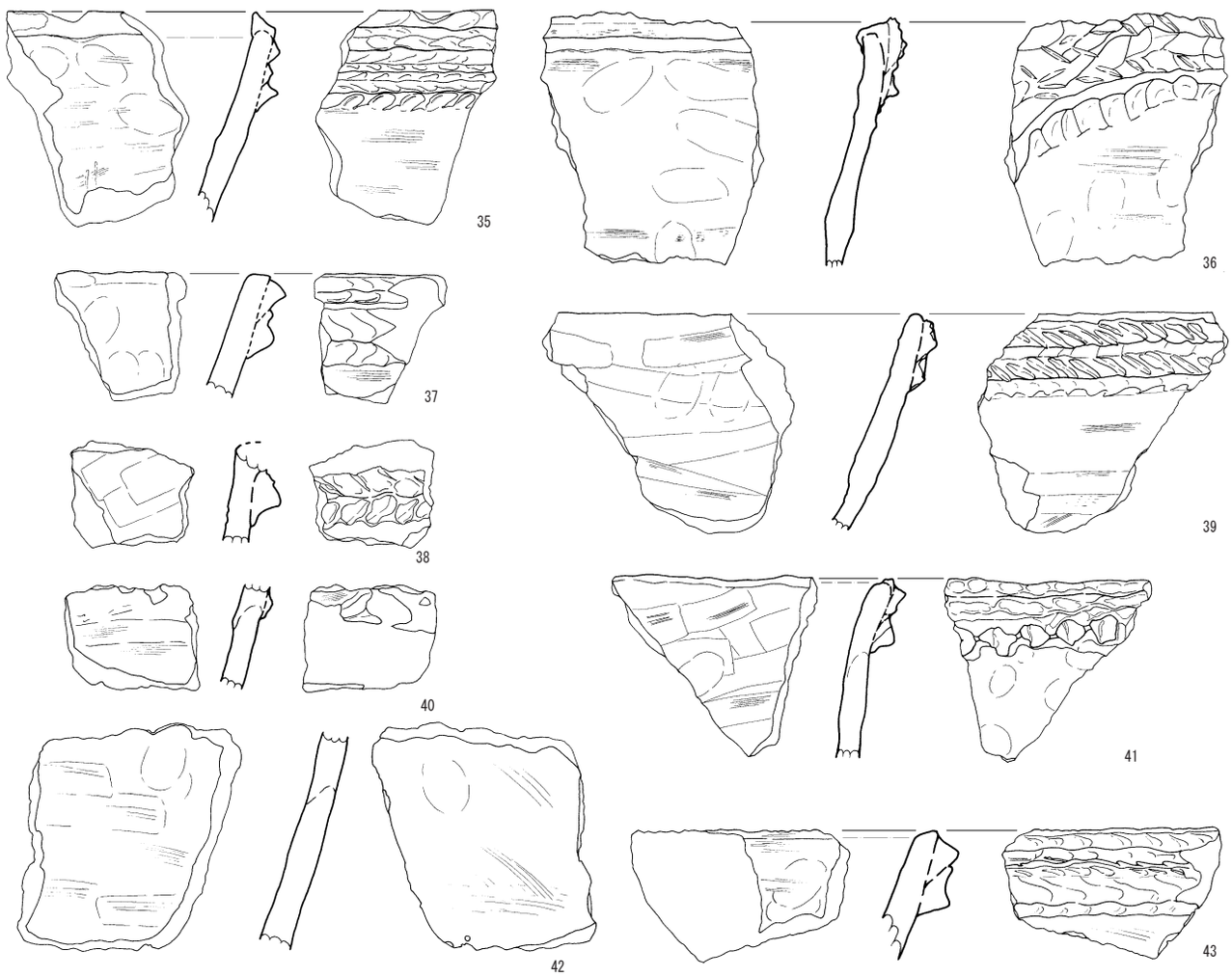


第499図　X層出土遺物実測図（２）

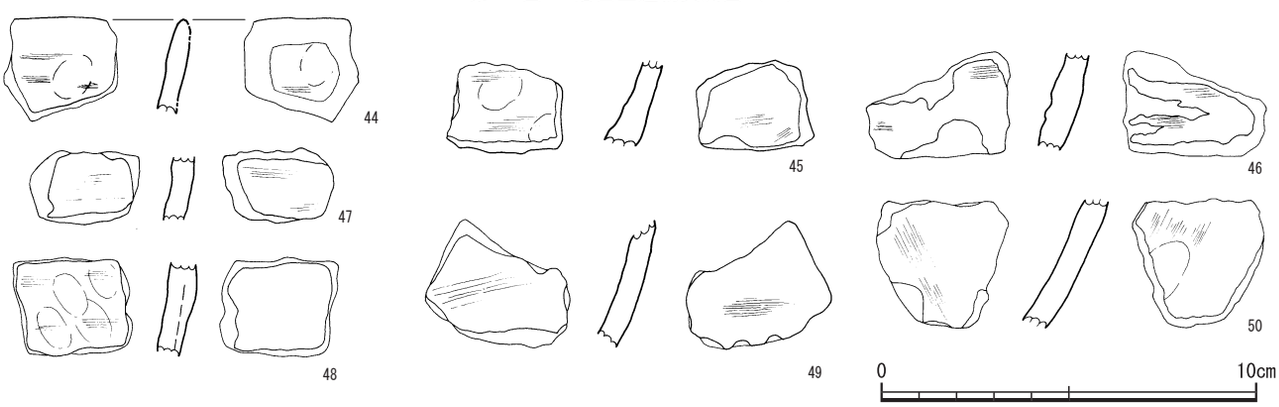
第500図　X層出土遺物実測図（３）



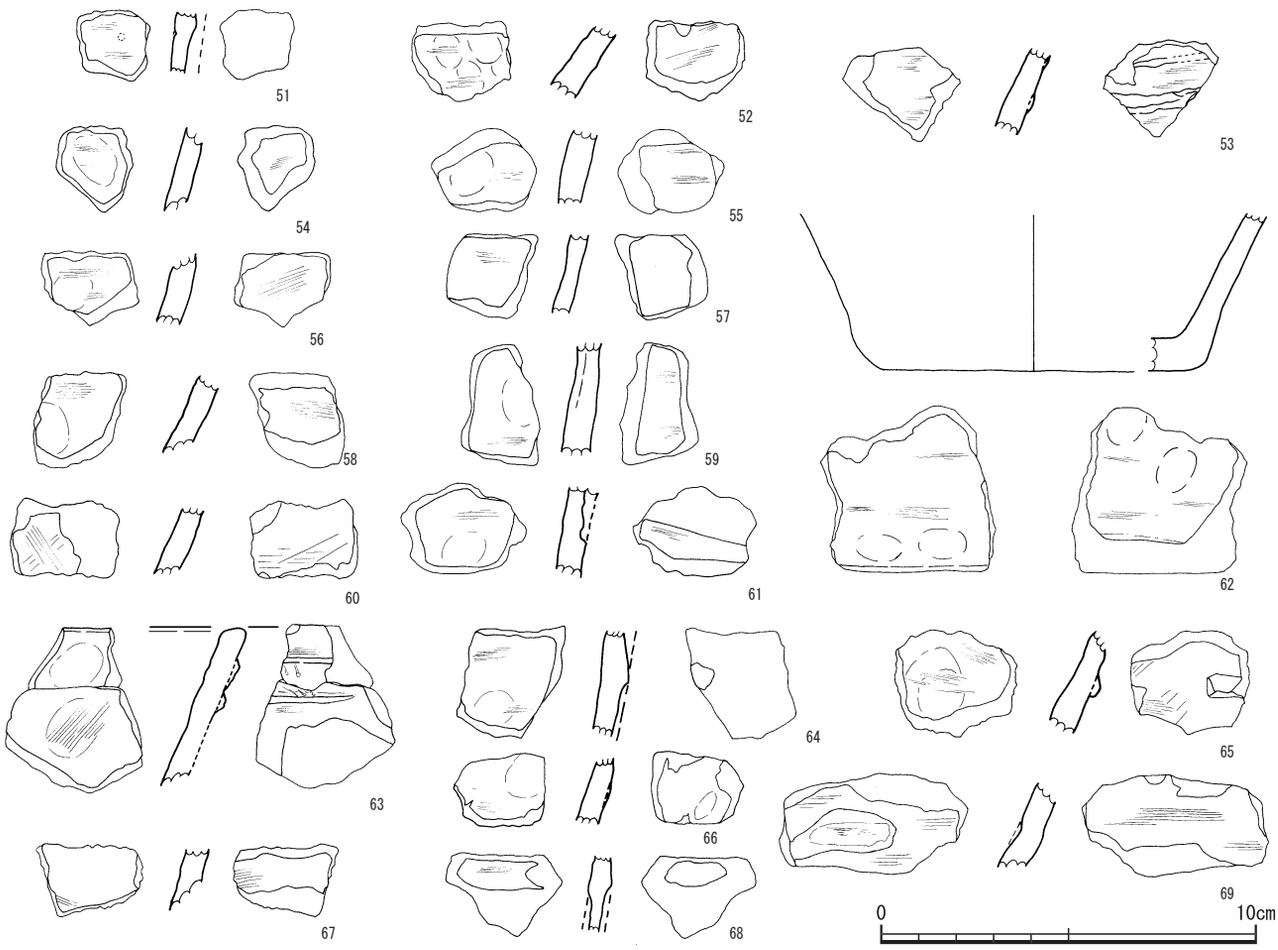
第501図　X層出土遺物実測図（４）



第502図　X層出土遺物実測図（５）



第503図　X層出土遺物実測図（６）



第504図　X層出土遺物実測図（７）

第88表　草創期土器観察表（１）

挿図No	図No	分類	取上番号	胎土	調整（内）	調整（外）	備考
498	1	１類	○44701(D-11/X)	輝,細	ナデ	ナデ	隆線文系交互刺突
498	2	１類	○56364(D-11/X)	輝,細,白	ナデ	ナデ	隆線文系交互刺突
498	3	１類	○56337(D-11/X)	輝,白	ナデ,指頭圧痕	ナデ,ﾂﾒ	隆線文系交互刺突
498	4	１類	○44700(D-11/X)	輝,細	ナデ,指頭圧痕	ナデ	隆線文系交互刺突
498	5	１類	○53853(D-10/X)	輝,砂,微	ナデ,指頭圧痕	ナデ	隆線文系交互刺突
498	6	１類	○56324(D-11/X)	輝,細,微	工具調整痕,指頭圧痕	工具調整痕目	隆線文系交互刺突
498	7	１類	○44674(D-11/X)	輝,細	ナデ	ナデ	隆線文系交互刺突
498	8	１類	○56369(D-11/X)	輝,細,微	ナデ,指頭圧痕	ナデ	隆線文系交互刺突
498	9	１類	○43437(D-10/X)	輝,細	ナデ	ナデ	隆線文系交互刺突
498	10	１類	○44697(D-11/X)	輝,細	ナデ	ナデ	隆線文系交互刺突
498	11	１類	○39290(E-11/X上)	細,白	ナデ	ナデ	隆線文系交互刺突
498	12	１類	○43436(D-11/X)	細,白,微	ナデ	ナデ	隆線文系交互刺突
498	13	１類	○43430(D-11/X)	輝,細	ナデ,指頭圧痕	ナデ	隆線文系交互刺突
498	14	１類	○56328(D-11/X)	細,微	ナデ,指頭圧痕	ナデ,指頭圧痕	隆線文系交互刺突
499	15	２類	○55885(B-12/X)	輝,細	工具調整痕,指頭圧痕	工具調整痕目	隆線文系
499	16	２類	○38040(B-12/VIII), ○55970(B-12/X)	細,白	工具調整痕,指頭圧痕	工具調整痕目	隆線文系
499	17	２類	○55871(B-12/X)	細,白	工具調整痕,指頭圧痕	工具調整痕目	隆線文系
499	18	２類	○40385(B-12/X)	細,白	ナデ	ナデ	隆線文系
499	19	２類	○44706(D-11/X)	輝,細,微	ナデ,指頭圧痕	ナデ,指頭圧痕	隆線文系
499	20	２類	○40380(B-12/X)	細,白	工具調整痕,指頭圧痕	工具調整痕目	隆線文系
499	21	２類	○56509(C-9/X)	輝,細,微	工具調整痕,指頭圧痕	工具調整痕目	隆線文系
499	22	２類	○55969(B-12/X)	輝,細	工具調整痕,指頭圧痕	工具調整痕目,指頭圧痕	隆線文系
499	23	２類	○56750(B-11/X)	輝,細	ナデ,指頭圧痕	ナデ	隆線文系
499	24	２類	○55909(B-12/X)	輝,細,白,微	工具調整痕,指頭圧痕	工具調整痕目,指頭圧痕	隆線文系
499	25	２類	○55872(B-12/X)	輝,細,白	工具調整痕,指頭圧痕	ナデ	隆線文系
499	26	２類	○56059(B-12/X)	輝,細,白	工具調整痕,指頭圧痕	工具調整痕目,指頭圧痕	隆線文系
499	27	２類	○56655(B-12/X)	輝,細,白	工具調整痕,指頭圧痕	工具調整痕目,指頭圧痕	隆線文系
500	28	３類	◎20838(あ-15/X)	輝,細	ナデ,指頭圧痕	ナデ,ﾂﾒ	隆線文系無刻
500	29	３類	○44682(D-11/X)	細,白	ナデ	ナデ	隆線文系無刻
500	30	３類	○40149(B-12/X)	輝,細,白	ナデ	ナデ	隆線文系無刻
500	31	３類	◎20814(あ-15/X)	輝,細	ナデ	工具調整痕目	隆線文系無刻
501	32	４類	▲4576(H-17/VII)	輝,細,微	ナデ	ナデ	扁平隆線文系
501	33	４類	●50262(す-31/X)	角,輝,砂	ナデ,指頭圧痕	ナデ,指頭圧痕	扁平隆線文系
501	34	４類	●50236(す-31/X)	角,輝,砂,微	ナデ	ナデ	扁平隆線文系

第89表　草創期土器観察表（２）

挿図No	図No	分類	取上番号	胎土	調整(内)	調整(外)	備考
502	35	５類	○19号集石(C-8/X)	輝,砂,微	工具調整痕,指頭圧痕	工具調整痕目,指頭圧痕	幅広隆線系
502	36	５類	▲3245(J-13/X)	角,砂,微	工具調整痕,指頭圧痕	工具調整痕目,指頭圧痕	幅広隆線系
502	37	５類	◎13853(い-12/X)	角,砂,微	ナデ,指頭圧痕	ナデ	幅広隆線系
502	38	５類	▲11509(J-20/X)	角,砂,微	工具調整痕,指頭圧痕	ナデ	幅広隆線系
502	39	５類	▲1372(H-11/VII下)	角,砂,微	工具調整痕,指頭圧痕	工具調整痕目	幅広隆線系
502	40	５類	○39327(D-12/X上)	輝,砂,白,微	工具調整痕,指頭圧痕	ナデ	幅広隆線系
502	41	５類	▲1387(I-11/VII下)	角,輝,砂	工具調整痕,指頭圧痕	ナデ,指頭圧痕	幅広隆線系
502	42	５類	○56659(B-12/X)	角,白,微	工具調整痕,指頭圧痕	工具調整痕目,指頭圧痕	幅広隆線系
502	43	５類	◎15439(い-12/VII)	角,輝,砂,微	工具調整痕,指頭圧痕	工具調整痕目,指頭圧痕	幅広隆線系
503	44	１類	○56319(D-11/X)	砂,白	ナデ,指頭圧痕	ナデ,指頭圧痕	隆線文系交互刺突
503	45	１類	○54039(D-10/X)	砂,白	ナデ,指頭圧痕	ナデ,指頭圧痕	隆線文系交互刺突
503	46	１類	○56335(D-11/X)	輝,砂,白	ナデ	ナデ	隆線文系交互刺突
503	47	１類	○56317(D-11/X)	輝,砂	ナデ	ナデ	隆線文系交互刺突
503	48	１類	○56336(D-11/X)	輝,細,微	ナデ,指頭圧痕	ナデ	隆線文系交互刺突
503	49	１類	○56322(D-11/X)	輝,細,白	ナデ	ナデ	隆線文系交互刺突
503	50	１類	○56370(D-11/X)	輝,砂,微	ナデ,指頭圧痕	ナデ,指頭圧痕	隆線文系交互刺突
504	51	２類	○52552(B-10/XIII)	角,細,微	ナデ	-	隆線文系
504	52	２類	◎20846(あ-15/X)	角,輝,細	ナデ,指頭圧痕	ナデ,指頭圧痕	隆線文系
504	53	２類	○55869(B-11/X)	細,白	ナデ	ナデ	隆線文系
504	54	２類	○52622(B-10/X)	角,砂,白	ナデ,指頭圧痕	ナデ	隆線文系
504	55	２類	◎23492(あ-15/X)	角,輝,細	ナデ,指頭圧痕	ナデ	隆線文系
504	56	２類	○52577(B-10/X)	角,細,白	ナデ,指頭圧痕	ナデ	隆線文系
504	57	２類	◎20813(あ-15/X)	角,輝,細,白	ナデ,指頭圧痕	ナデ	隆線文系
504	58	２類	◎23453(あ-15/X)	角,輝,砂	ナデ,指頭圧痕	ナデ	隆線文系
504	59	２類	◎20812(あ-15/X)	角,輝,砂	ナデ,指頭圧痕	ナデ	隆線文系
504	60	２類	○52626(B-10/X)	角,輝,砂,白	ナデ	ナデ	隆線文系
504	61	２類	○67645(B-12/X)	輝,砂,白	ナデ,指頭圧痕	ナデ	隆線文系
504	62	２類	○44714(D-11/X)	輝,砂,微	ナデ,指頭圧痕	ナデ,指頭圧痕	隆線文系
504	63	５類	○55864(B-11/X)	角,輝,砂	ナデ,指頭圧痕	-	幅広隆線系
504	64	５類	○52568(B-10/XIII)	角,砂,白	ナデ,指頭圧痕	-	幅広隆線系
504	65	６類	○67605(B-12/X)	輝,細	ナデ,指頭圧痕	ナデ	不明
504	66	６類	○56404(D-9/X)	輝,細,微	ナデ,指頭圧痕	ナデ,指頭圧痕	不明
504	67	６類	○39283(E-11/X上)	細,白	ナデ	ナデ	不明
504	68	５類	○40189(A-12/X)	輝,細,白	ナデ	ナデ	幅広隆線系
504	69	５類	○52639(B-9/X)	角,輝,砂,微	工具調整痕,指頭圧痕	工具調整痕目	幅広隆線系

第４節　石器

１　石器群の概要

細石刃文化期～縄文時代草創期該当の石器群は，直線で約500mの間に連綿として出土し，それらは一定のまとまりを成して分布する。出土石器の掲載にあたっては，第Ⅰ・第Ⅱ文化層と同様，「ブロック」・「エリア」の名称を使用するが，「ブロック」は，石器の出土状況が一定の集中状態を示す場合のみとし，遺物分布がやや散漫な状態の場合には「ブロック」の設定は行わなかった。なお，「エリア」の設定は，作業上の便宜的なものである。本遺跡の細石刃文化期～縄文時代草創期該当の石器群については，合計36のエリアを設定した。

発掘調査では，層位の観察の統一に努めたが，調査対象が広範囲に及んだため土層の堆積が必ずしも一定でなかった。そのため，ここでは便宜的にＸ層～ＸⅡ層までを同一の文化層として取り扱う。しかし，エリアによっては自然層位やレベルから峻別が可能な石器群も確認される。ここで設定した「文化層」は「同一時期」として認定されるものだけでなく，むしろ個別的な検討によって細分化を図ることが妥当と考えられるものも含まれる。なお，第Ⅰ・第Ⅱ文化層同様，平面・垂直分布，出土層位，石材等を挿図および観察表に掲載したので参照されたい。

石材分類については第Ⅰ・第Ⅱ文化層とほぼ同様の基準に基づくが，若干異なる点もあるので以下に再掲しておく。

黒曜石Ⅰ類(OB1)

光を通さない漆黒色で，白色の斑晶を含む。茶色の流理が散見されるものもある。上牛鼻，平木場，宇都，野下，八房側等の原産地資料に類似する。

黒曜石Ⅱ類(OB2)

光を通し，不純物を多量に含む一群である。三船，日東，五女木，小川内，芳ヶ野，荒平，小浜，長谷，小国等の原産地資料に類似する。細分は行うことができなかった。

黒曜石Ⅲ類(OB3)

不純物が少ない良質の黒曜石で飴色～黒色を基調とする。まれに乳白色を基調とするものもある。自然面は擦りガラス状を呈するものが多く，小礫が多い。上青木，桑ノ木津留の原産地資料やいわゆる霧島系の黒曜石に類似する。細分は行うことができなかった。

黒曜石Ⅳ類(OB4)

不純物が少ない黒色の良質な黒曜石で，まれに白色の不純物を含む。腰岳の原産地資料に類似するが一部，黒曜石Ⅲ類と峻別が難しいものが存在する。

黒曜石Ⅴ類(OB5)

不純物が少ない黒色～黒灰色の黒曜石で，腰岳の原産地資料に類似しないものを一括した。まれに球状の不純物を含むものや梨肌を呈するものなどがある。針尾島周辺で産出する黒曜石の一部等に類似する。

黒曜石Ⅵ類(OB6)

青灰色の比較的良質な黒曜石を一括した。不純物や自然面等の特徴は，バリエーションに富む。長崎県の針尾島周辺で産出される黒曜石に類似するが，本遺跡では原産地不明の一群が一部に含まれている。

黒曜石Ⅶ類(OB7)

不純物をあまり含まない灰色の黒曜石である。従来椎葉川周辺の原産地資料を指標としてきたが，本遺跡では原産地不明の一群をかなり含んでいる。

玉髄(CC)

基調色が白色のものから，いわゆる鉄石英に近い赤色のものまで，数種類が出土している。細分は行うことができなかった。

チャート(CH)

数種類が出土している。細分は行うことができなかった。

水晶(CR)

数種類が出土している。細分は行うことができなかった。

頁岩(SH)

黒色で節理が発達しない硬質頁岩からやや緑がかった軟質の頁岩まで数多くの種類が使用されている。細分は行うことができなかった。

砂岩(SA)

やや明るめの黄褐色を呈するものが多く，粒子の粗いものから細かいものまで存在する。細分は行わなかった。

２　石器

第１エリア

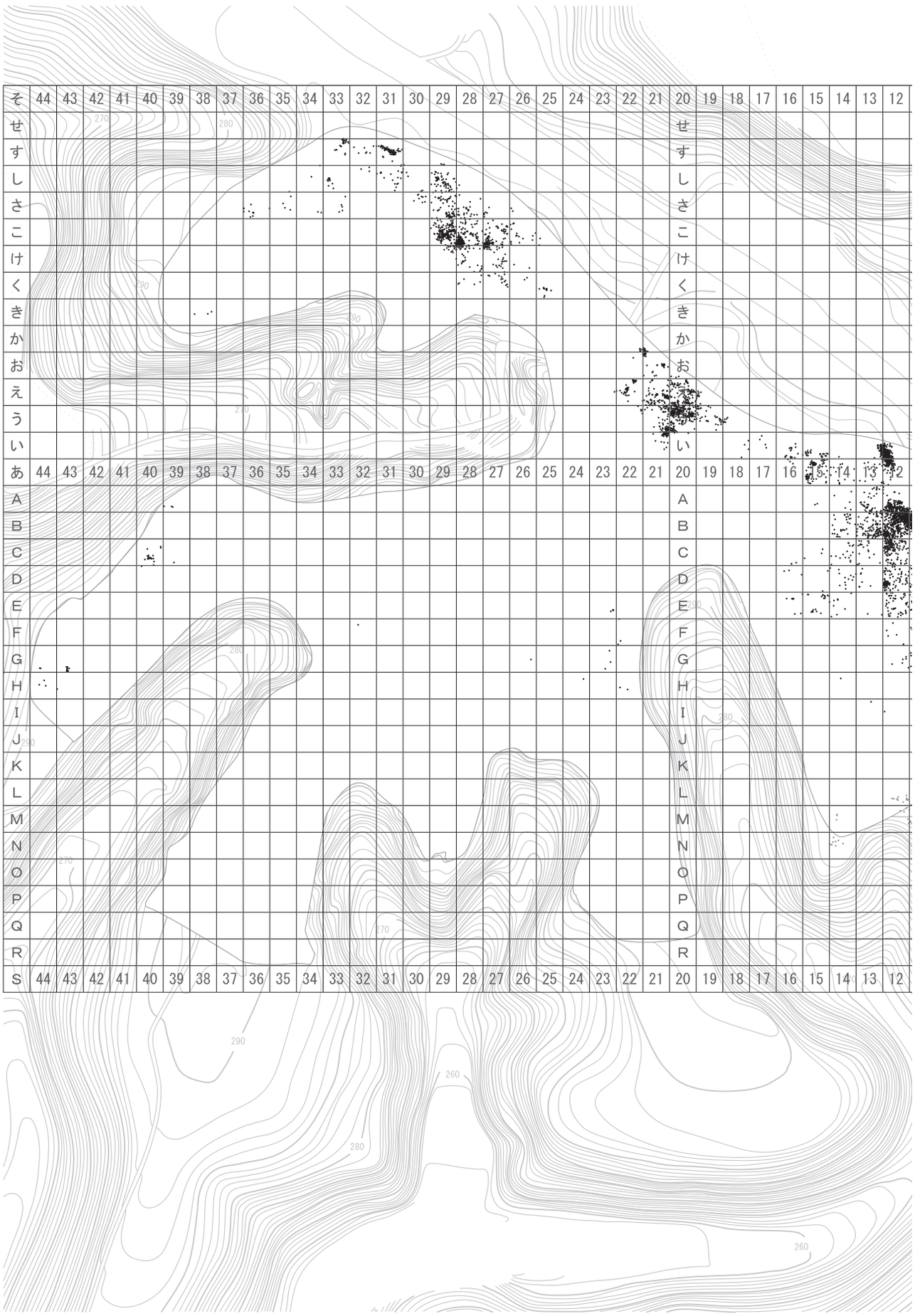
桐木遺跡Ｇ・Ｈ-43・44区に分布し，頁岩を主体に構成される。

石鏃未製品(70)と摩耗面を呈す破損品(71)，素材剥片(72～77)が出土し，未製品は黒曜石Ⅲ類，他は頁岩を使用している。６点の剥片については，どのような器種に供給されるかは明らかでない。しかし，出土している全てが頁岩で，剥片の形状からは安定した縦長の剥離技術の存在が看取される。ＸⅠ層出土となっているが，より下層の石器文化に帰属する可能性も考えられる資料である。

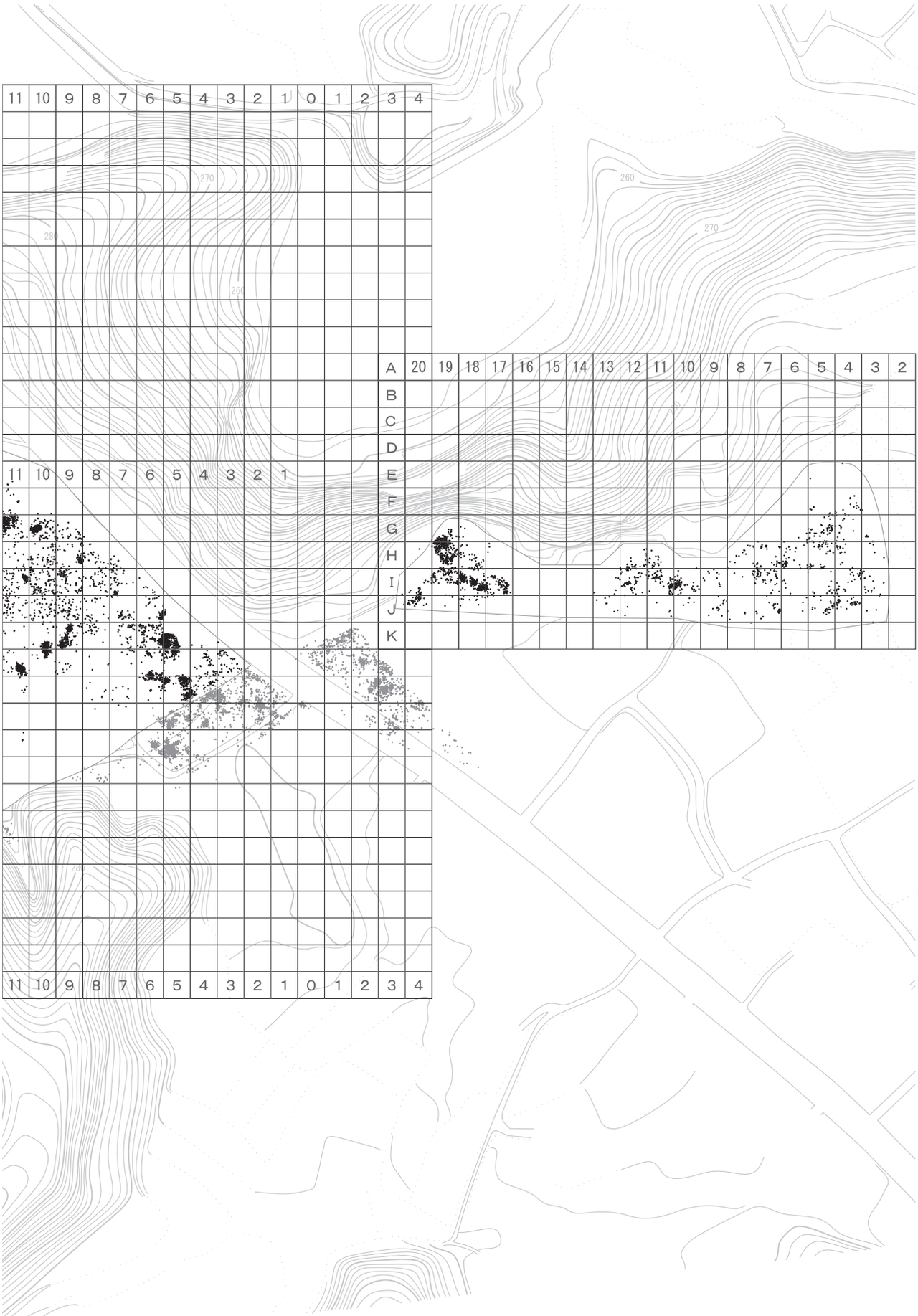
第２エリア

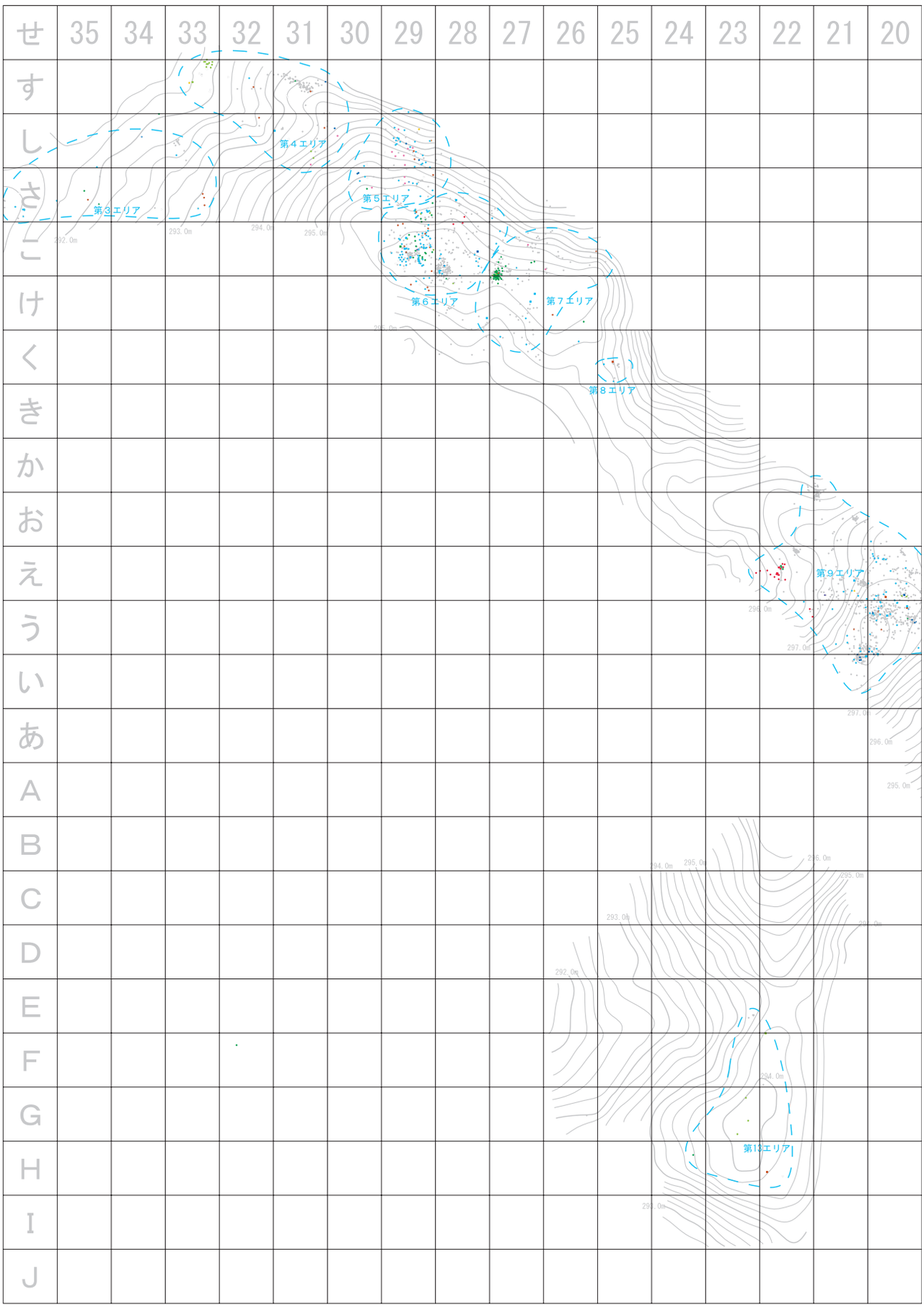
桐木遺跡Ａ～Ｃ-39・40区に分布し，第１ブロックを中心に，エリアを構成する。頁岩Ⅰ類を主体に，チャート及び黒曜石Ⅱ類が加わる。

２点のナイフ形石器(78・79)と石鏃，細石刃及び剥片が確認できる。78・79は二側縁加工ナイフ形石器で，明らかに下層からの浮き上がりと考えられ，81～83の剥片はナイフ形石器に付随するものとみられる。84の石鏃はその形状から上層からの混入とみられる。いずれにしても，上下層の遺物が混在し，不安定な集中区であるが，ナイフ形石器が主体であること，また，使用石材が頁岩主体の石材構成であることから，石鏃・細石刃が混入したと判断したい。なお，ＸⅠ層出

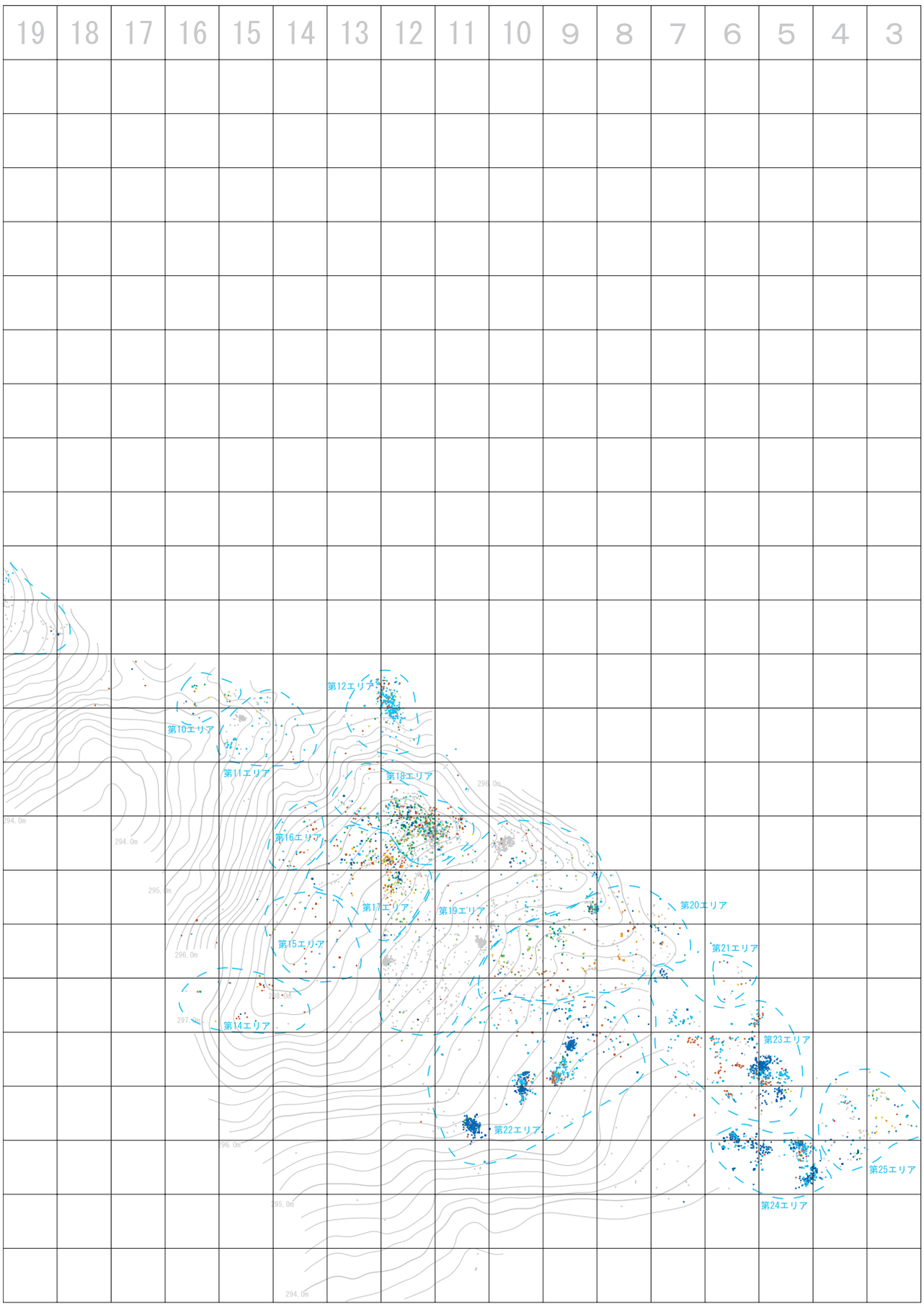


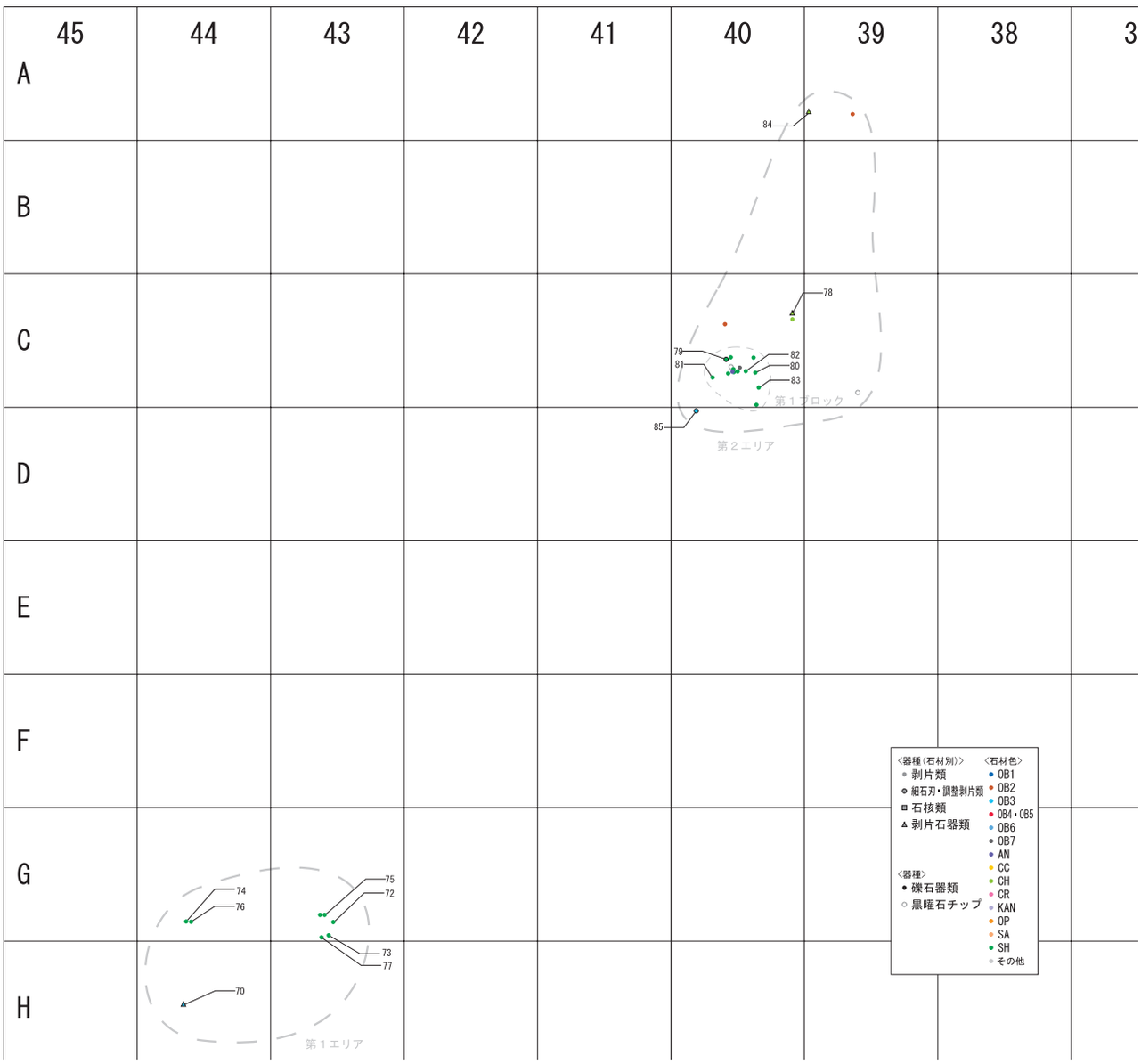
第505図　第Ⅲ文化層遺物出土状況図


11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1 0 1 2 3 4
A B C D E F G H I J K
20 19 18 17 16 15 14 13 12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2
270
260
280

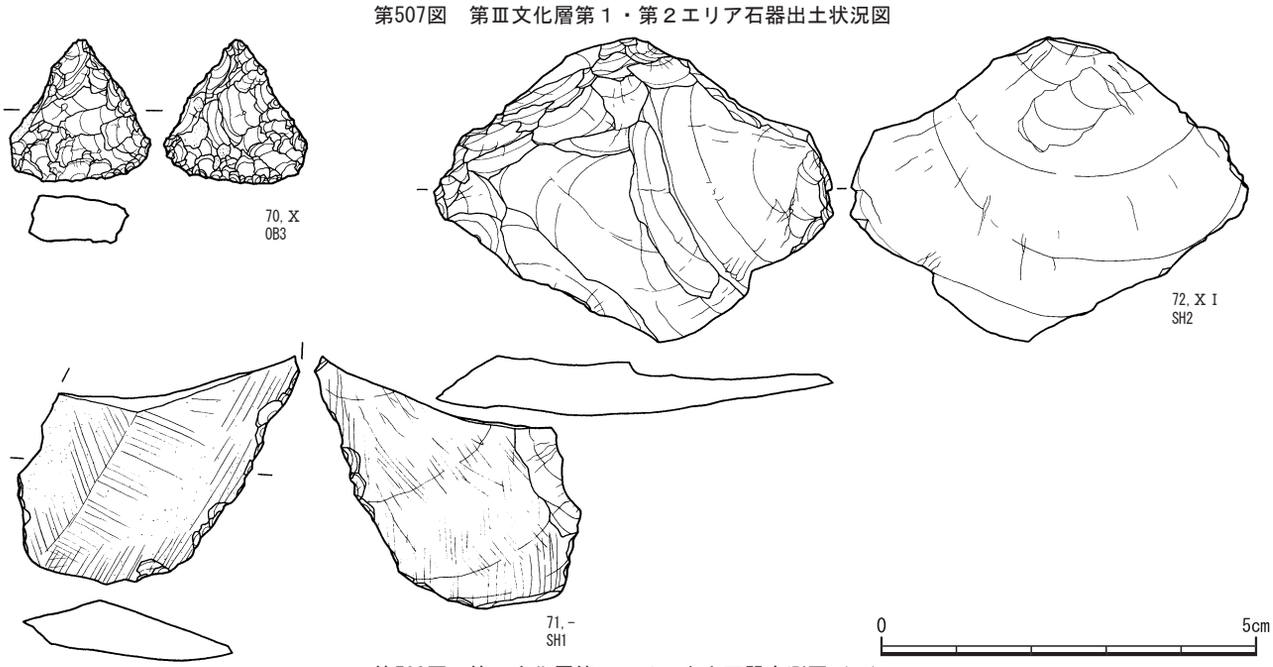


第506図　第Ⅲ文化層第３～第25エリア配置図

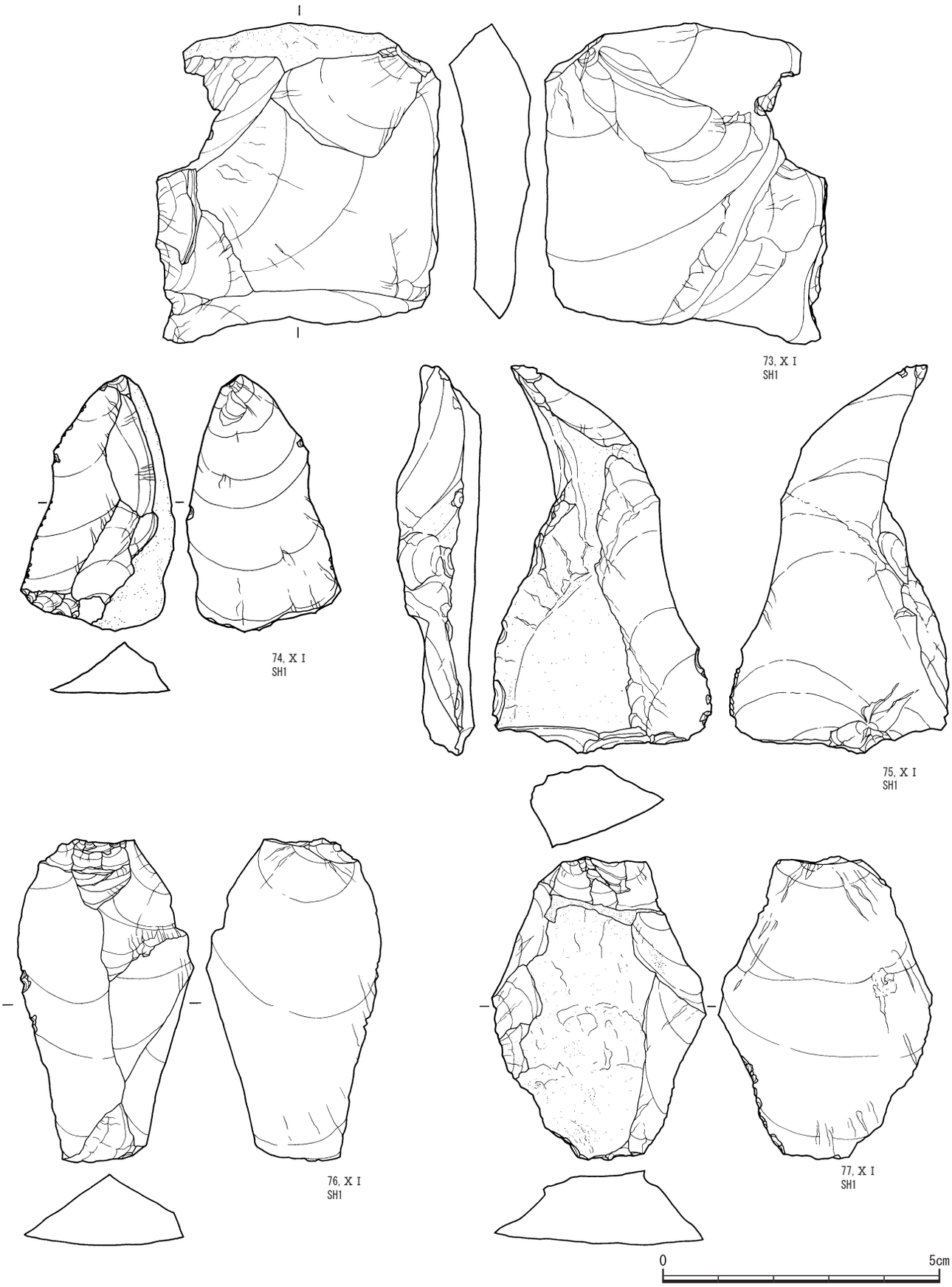

19
18
17
16
15
14
13
12
11
10
9
8
7
6
5
4
3
第10エリア
第11エリア
第12エリア
第14エリア
第15エリア
第16エリア
第17エリア
第18エリア
第19エリア
第20エリア
第21エリア
第22エリア
第23エリア
第24エリア
第25エリア
294.0m
295.0m
296.0m
297.0m



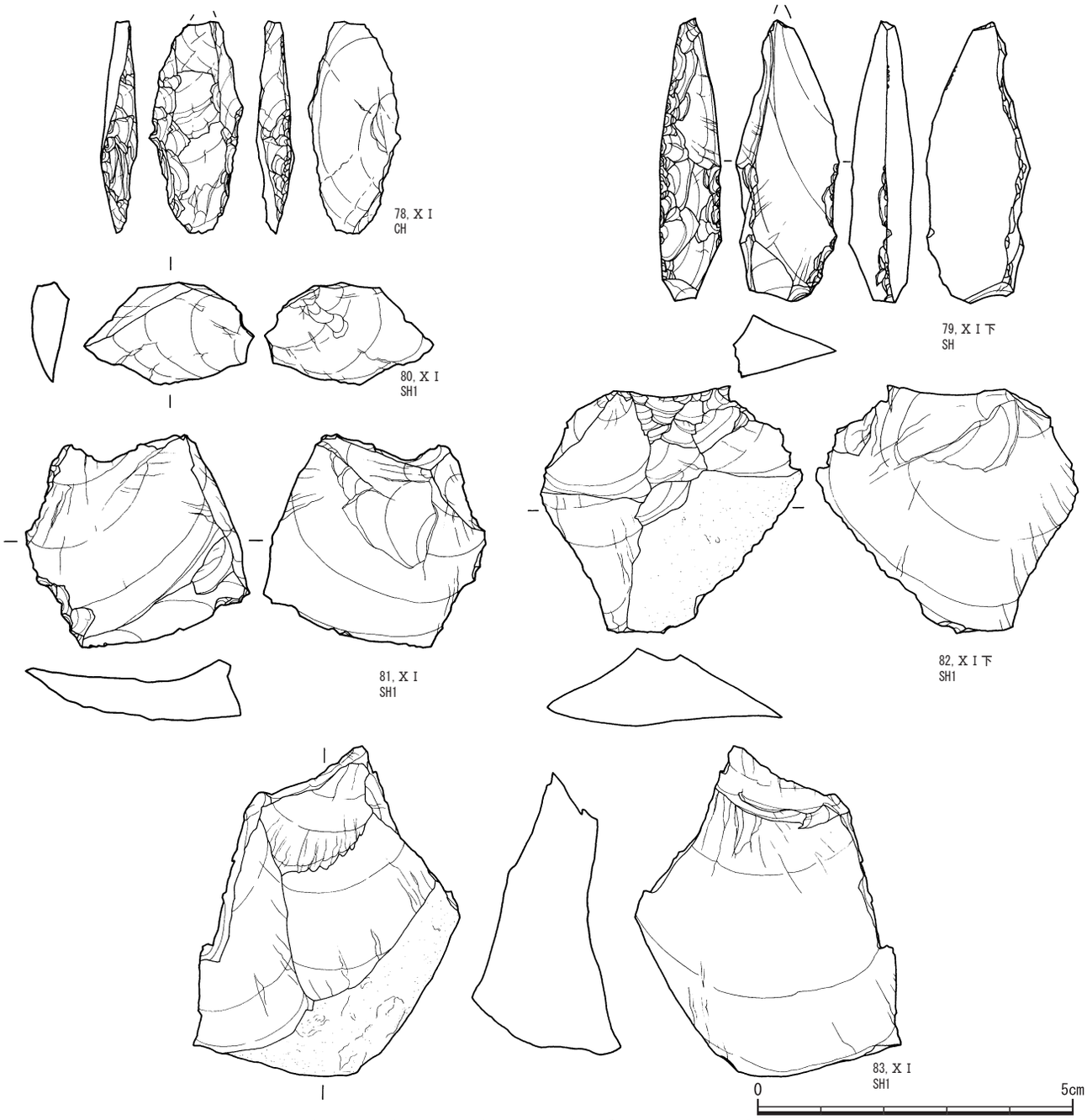
第507図　第Ⅲ文化層第１・第２エリア石器出土状況図



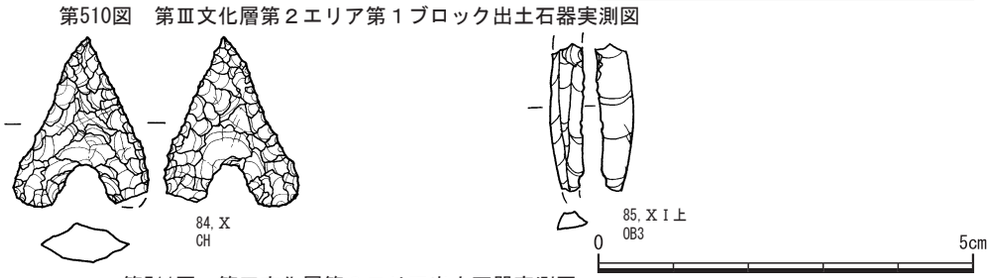
第508図　第Ⅲ文化層第１エリア出土石器実測図（１）



第509図　第Ⅲ文化層第１エリア出土石器実測図（２）



第510図　第Ⅲ文化層第２エリア第１ブロック出土石器実測図



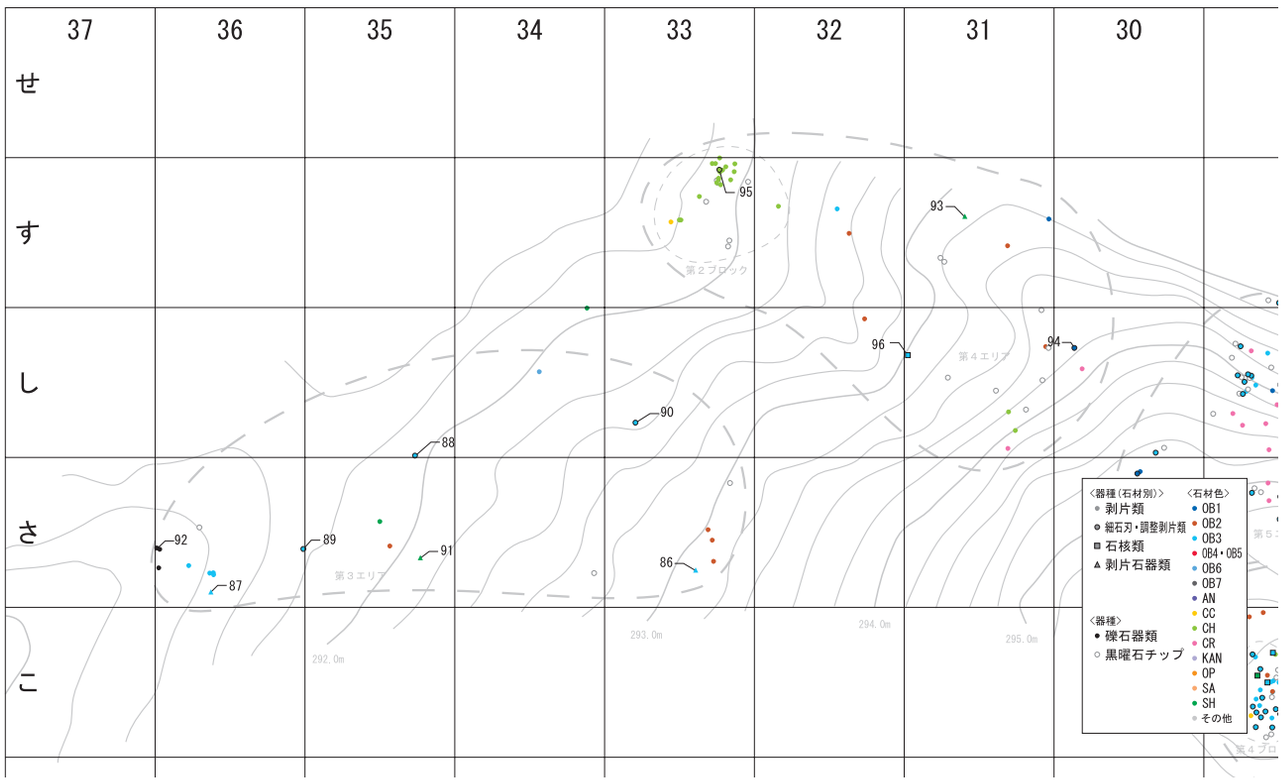
第511図　第Ⅲ文化層第２エリア出土石器実測図

土と取り扱われているが，第１エリアも含め，出土層位を再検討する必要がある。

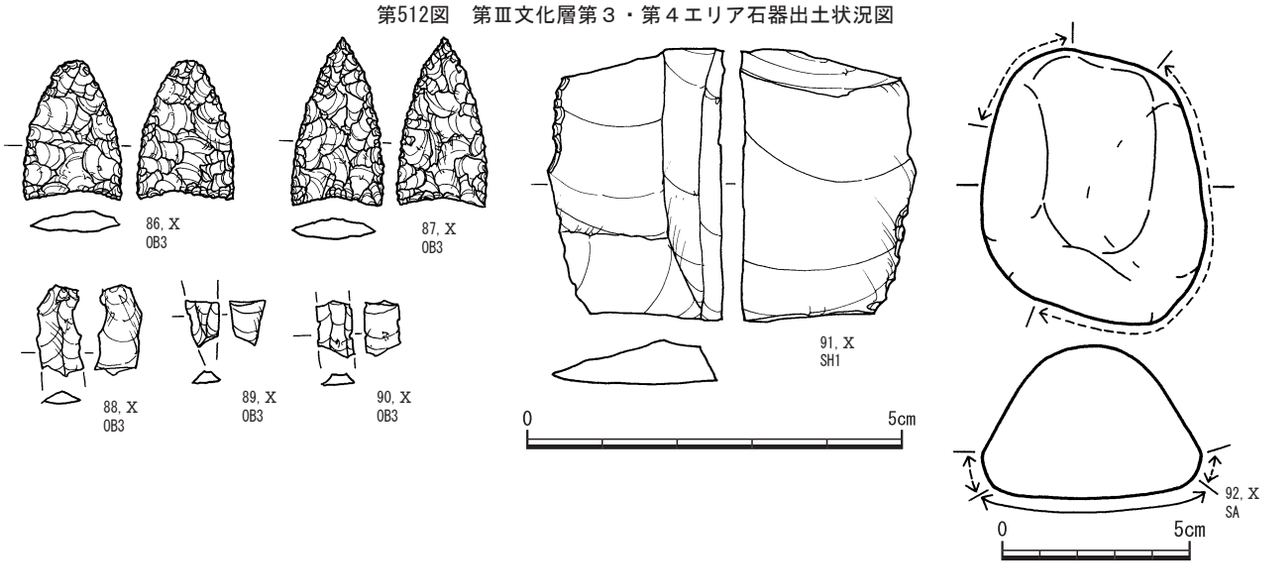
第３エリア

桐木遺跡さ・し-33～36区に分布し，黒曜石Ⅲ類を中心に黒曜石Ⅱ類，頁岩，砂岩で構成されるが，出土量は少ない。

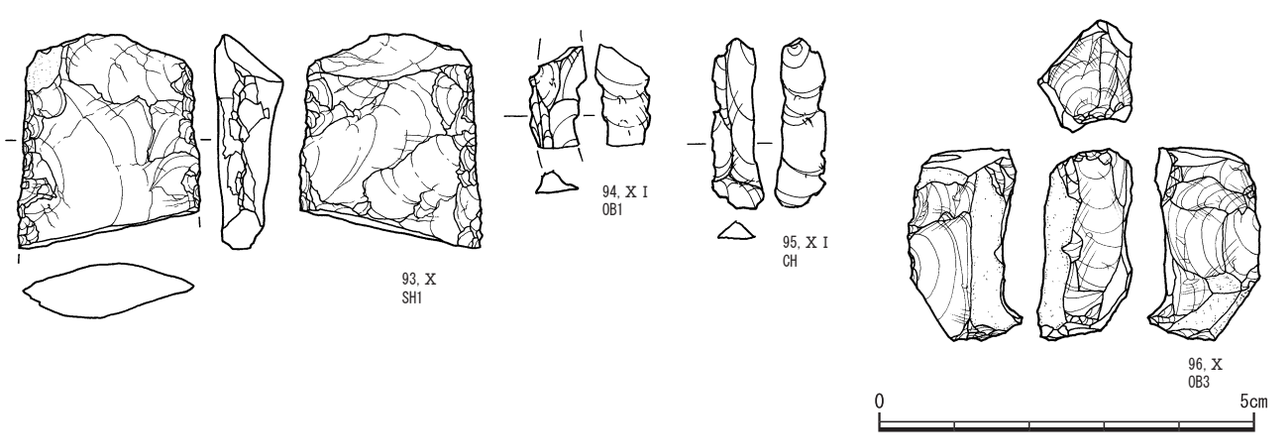
石鏃２点，細石刃３点，剥片１点，磨石１点が確認できる。石鏃(86・87)は相似形で長身，抉りは浅く周辺からの剥離は深く進行し，形状調整も入念で丁寧な仕上がりを呈している。89・90の細石刃から，細石刃の三分割が読みとれる。なお，石鏃・細石刃は黒曜石Ⅲ類が用いられている。



第512図　第Ⅲ文化層第３・第４エリア石器出土状況図



第513図　第Ⅲ文化層第３エリア出土石器実測図



第514図　第Ⅲ文化層第４エリア出土石器実測図